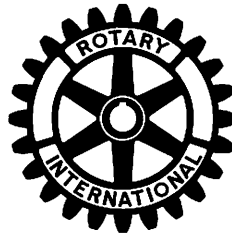


地区史Ⅱ

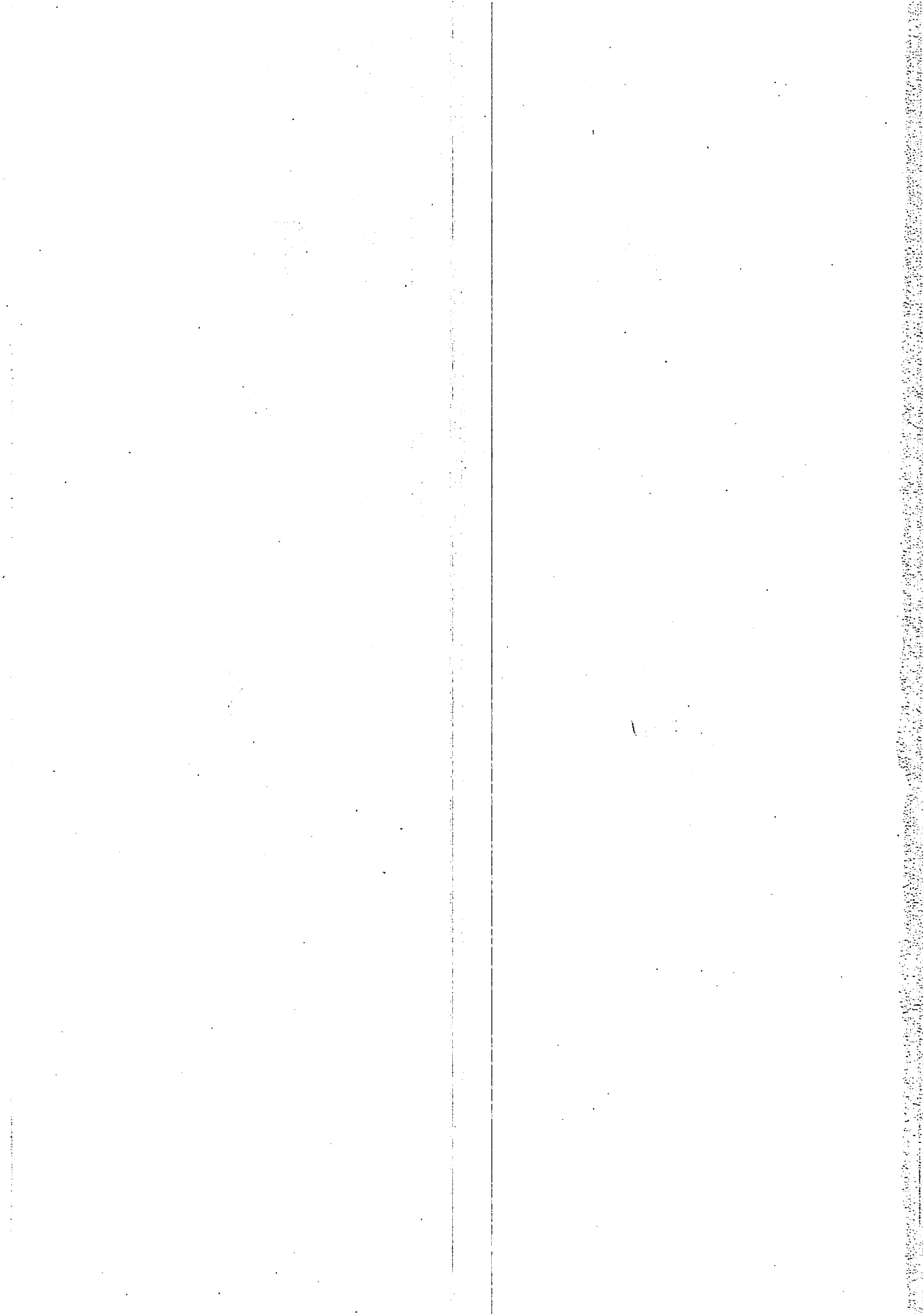


DISTRICT HISTORY II

1997～2014

国際ロータリー第2510地区

ROTARY INTERNATIONAL
D. 2510





ロータリー創始者 ポール・パーシー・ハリス



日本ロータリーの創設者 米山 梅吉

白瀧幾之助 画



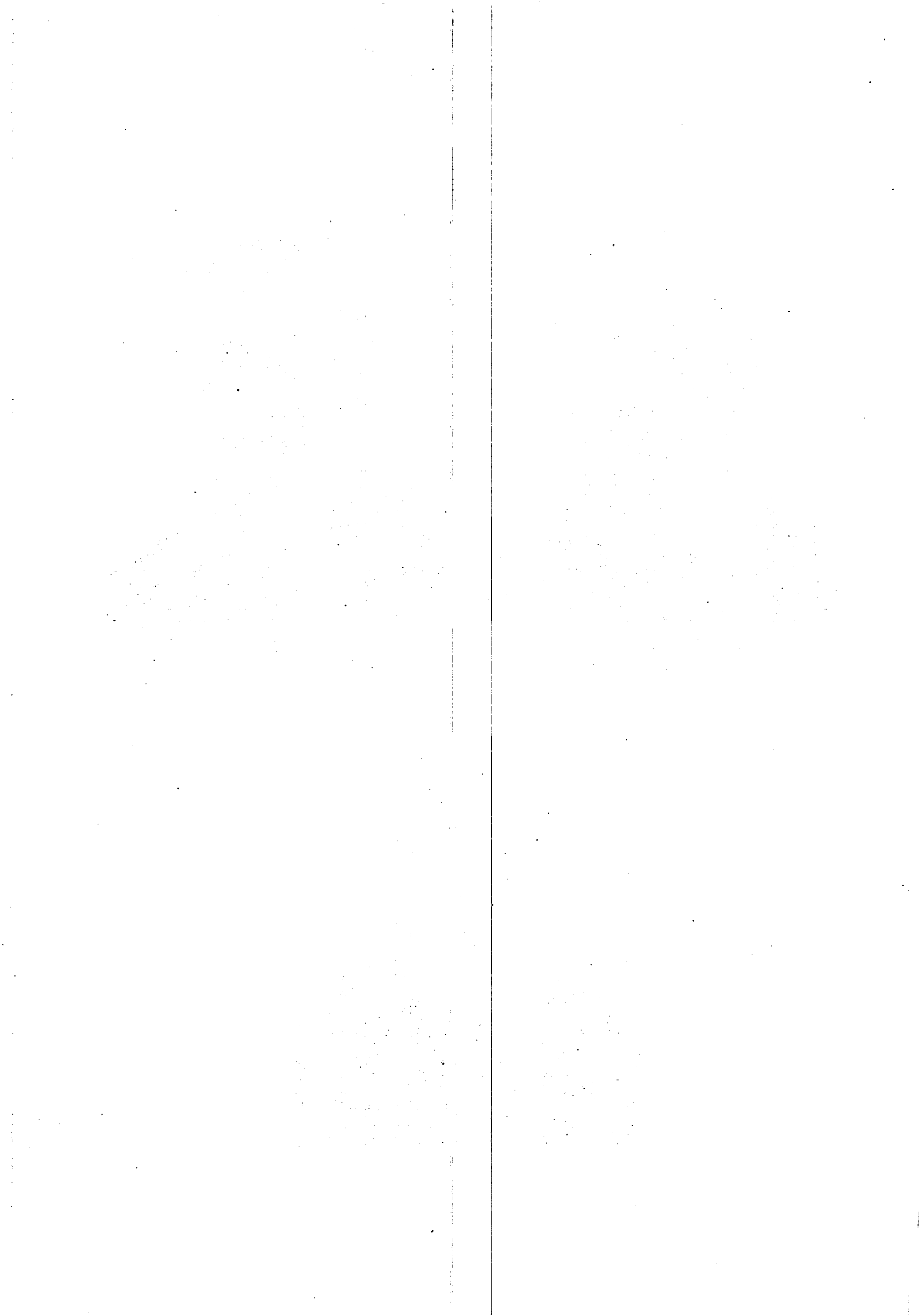
札幌RC初代会長 佐藤 昌介
第70地区(1936-37)ガバナー




文献翻訳の恩人 宮脇 富
第60地区日本東部(1953-54)ガバナー



国際ロータリー理事(1986-88) 伊藤 義郎





国際ロータリー第2510地区

地区史Ⅱ

目次



口 絵

ポール・パーシー・ハリス、米山梅吉、佐藤昌介、宮脇 富、伊藤義郎

発刊の辞	地区史編纂委員長 塚原 房樹	1
発刊ご挨拶	国際ロータリー第2510地区2014-2015年度ガバナー 羽部 大仁	2
祝 辞	元RI理事・元RI財団管理委員・RI第2510地区パストガバナー 伊藤 義郎	3

ロータリーの発祥

国際ロータリーの黎明	7
------------	---

日本ロータリーの歴史

日本ロータリーの発祥(札幌RC誕生まで)	21
----------------------	----

北海道ロータリー史

札幌ロータリークラブの誕生	31
戦時下の各クラブの活動	42
参考文献	49

トピックス

1	国際ロータリー第2510地区2005-2006年度パストガバナー 塚原 房樹	53
2	国際ロータリー第2510地区2012-2013年度パストガバナー 細川 好弘	56
3	国際ロータリー第2510地区2008-2009年度パストガバナー 矢橋 温郎	58
4	国際ロータリー第2510地区2014-2015年度ガバナー 羽部 大仁	60
5	国際ロータリー第2510地区2014-2015年度クラブ管理運営委員会 宮部 光幸	62

ガバナー編

1997-1998年度～2014-2015年度	73
-------------------------	----

クラブ編 (グループ別)

第2510地区クラブバナー(70クラブ)	147
第1グループ～第12グループ	152

あとがき	222
------	-----

折 込(国際ロータリー第2510地区の系統図)



発刊の辞

地区史編集委員長 塚原房樹

当地区で地区史が初めて編纂されたのは、西條正博ガバナーの年度で、ポール・ハリス没後50周年記念の追悼事業として、1996年12月に発刊されました。

よその地区では地区史を定期的に発刊していましたが、それまで64年の歴史を有する我が地区には地区史がありませんでした。

当地区の地区史には1970年の河野通正ガバナーから1996年の野口信夫ガバナーまで収録されていますが、その後の石垣博美ガバナーから現在の羽部大仁ガバナーまでの19年間は空白となっております。

そのことはもはや、地区史としてはすでに賞味期限が切れてしまい、地区史としての役目を失ったことを意味します。カレンダーも古いものは意味がありません。そこで新たに18年間の空白を埋めるべく、羽部ガバナーの英断で地区史の増補・編纂が企画されました。

私は18年前の地区史の発刊にも深く関わりをもち、このたびの「地区史・増補版」を発刊するにあたって、委員長の大役を担ったことを身に余る光栄に思っております。また願ってもない最高のスタッフを得て、この一年間苦労を共に出来たことは、まことに幸運なことでありました。

また、地区内全てのクラブと、パストガバナーの方々に原稿をお願いしましたが、ご多忙のなか、煩雑な資料の蒐集作業を厭わず、ご寄稿下さいましたことに衷心より御礼申し上げます。

貴重な一冊でありますから、折にふれて繻き、お役に立てていただけるなら無上の光栄であります。



「18年前を回顧して」

国際ロータリー第2510地区

2014-2015年度ガバナー 羽部大仁

創始者ポール・ハリスは、自叙伝「ロータリーへの道」の中で次のように言っています。「大河は無数の支流の集まりであり、その支流のそれぞれには、また無数の小川、溪流が流れ込んでいる。この小川や溪流の水は大河の流れに入るべく、丘を下り山を下ってやってくる。ロータリーの成長もまたこれと似ており、ロータリーが今日の姿あるのは、多くの国々の自己犠牲をいとわぬ無数のロータリアンのお陰である。」1905年2月23日ポール・ハリスが3人の仲間と語り、ロータリークラブの初会合を持ってから2015年2月で110年を迎えました。この記念すべき時に我が2510地区の「地区史」を刊行することは誠に意義深い事と考えております。

思い起こせば、1996年2月西條正博パストガバナーを委員長として、「地区史」編纂委員会が発足しました。これは我が地区としては初めての試みであったと聞いています。私も委員の一人として参画させていただき、委員会は10ヶ月に及んだと記憶しています。毎日のように市内ロータリークラブ合同事務所に出席し、文献資料室でガバナー編の手伝いをしていたことを今懐かしく思い出します。あとがきの下に一枚の写真があります。一緒に苦労した委員の中には今は既に他界している方が多く、現在ロータリアンとして存命なのは塚原パストガバナーと私だけになりました。

今年度の地区目標の一つに「地区史」編纂に協力することを掲げています。2013-14年度（安孫子建雄ガバナー年度）の地区諮問委員会に於いて、前回編纂してから18年が過ぎたこと、前回ご苦労戴いた塚原パストガバナーの強い応援もあり、2014-15年度に地区史を編纂することの決定を戴きました。今日までに多くの編纂委員会を重ねて刊行が待たれることとなりました。私にとりまして誠に感無量なものがあります。このような機会を後押しして下さった塚原パストガバナーに心からなる敬意と感謝を申し上げます。そして「地区史」の刊行を待たずに先立たれた多くのパストガバナーの墓前に捧げたいと思います。併せて、前回一緒に編纂の労苦を共にした亡き友にも捧げます。

この度の「地区史」が我が2510地区の将来に輝きを与えてくれることを確信し、更なる発展を念じます。それぞれのロータリークラブが地域社会において奉仕の理想を実践する時、地域社会で大きな輝きとなり、ロータリアン一人一人の輝きが、やがて世界中を平和に導くに違いないと思います。短期間に刊行された陰には地区史編纂委員会の皆様のご労苦を忘れることが出来ません。ご協力を戴いた関係の皆様へ深甚の感謝を申し上げます。



地区史の発刊に寄せて

元R I 理事
元R I 財団管理委員
R I 第2510地区パストガバナー 伊藤 義郎

18年の年数が経過致しましたが、此のたび、「地区史・増補版」の発刊を決められた羽部大仁ガバナーに心からなる敬意を表します。又、地区史編纂委員会委員長 塚原房樹パストガバナーと、委員の各位に、そのご苦勞に御礼と感謝を申し上げます。

当地区第2510地区の地区史であります、日本のロータリーの歴史でもあり、北海道のロータリーの歴史でもあり、貴重な史料であります。

日本のロータリーは全国一地区で始まり、次に北海道が一地区になり、又、戦時中は一旦解散を宣言した上で、別名の会として継続するなど、日本の歴史も色々ありますが、当地区史は北海道の歴史でもあります。

地区史の発刊は、各種の資料の分散を止める非常に有意義なことであり、又、各ガバナーの記録も加えて、各クラブの実態も含むのが地区史でありますので、総括的な北海道のロータリーの歴史になります。

改めて地区史の発刊に御礼を申し上げ、ご挨拶と致します。

Faint, illegible text on the left page of the document, possibly bleed-through from the reverse side.

Faint, illegible text on the right page of the document, possibly bleed-through from the reverse side.



ロータリーの発祥



国際ロータリーの黎明

ロータリーの始祖を偲んで

資本主義の欠陥があふれていたシカゴの街、1905年2月23日の凍てついた夜、シカゴの一青年弁護士であったポール・パーシー・ハリスが、親しい友人3人と語らって何か社会のためになるような集まりを始めようとしたのが、ロータリーの誕生となった。では、ポール・ハリスはどのような過程でロータリー運動についてのアイデアを得たのか。ロータリー創設110周年を迎えた今、この運動の大河のような今日の姿を源流にまで溯り、ロータリー運動を構成しているいくつかの要素を探ってみることは、まことに意義のあることであろう。彼の生い立ちに関わった人々と、彼を育んだ自然風土を訪ねることは、ロータリー運動を理解するのに適切な方法だと思う。

ロータリーの揺り籃 ニューイングランド

ポール・ハリスは、1868年（明治元年）4月19日シカゴの北60マイル、ミルウォーキーの南25マイル、北米第2の大湖ミシガン湖畔のラシーン市で生まれた。3歳の時、父親が事業に失敗して父母が別居したため、両親のもとを離れ父親の実家である、ニューイングランドのバーモント州、ウォーリングフォードに預けられた。ニューイングランドは、メイ・フラワー号でイギリスを逃れてきたピューリタンの祖先が拓いた土地で、森林や、入り江、湖沼は四季折々の異なる表情を見せる、豊かな自然に恵まれていた。特筆されるのは、その環境が孤独で思索的で、静かな生活を愛する詩人や作家達にとってもまた聖域であったことである。“緋文字”のホーソンを始めソロー、ロングフェロー、エマーソンなどニューイングランドの風土よりキラ星の如く輩出した文学者達は、彼らの作品を通してニューイングランドを頑固な宗教的迫害から人々を救い出し、信教の自由を啓蒙した。その結果、戒律厳しい軍隊的宗教といわれたピューリタニズムと共にプロテスタントの諸分派が並びたつに至った。カトリック移民やアイルランドと仏領カナダの移住者も数を増し、此処は宗教自由の揺り籃の地となった。

ポールは厳格なニューイングランドの家庭の躰である犠牲、献身、名誉、真実、誠実、愛情を祖父母から知らず知らずのうちに身に付け、隣人愛、友人愛の大切さを学んだ。後にポール・ハリスがロータリー運動に身を捧げるようになった源泉を探っていくと、バーモント山脈の谷あいの故郷、村人の人情や宗教や政治に対する寛容な心遣いにまで溯ることができる。このことは、「ロータリーは故郷の谷間で産声を上げた」と述懐した彼の晩年

の追想録に明らかである。グリーン山脈に挟まれたニューイングランドの自然は、ポールにとって冷ややかな非情物ではなく、森や湖水は有情そのものであり、ロータリーの心の揺り籃であった。

ポール・ハリスの学校生活

ポールは、ひどい腕白小僧で、村に何か異変が起こると村人は、まずポールを思い出すというほど、その腕白ぶりは激しかった。高等学校、専門学校と進むうち、腕白が過ぎて除名処分を受けたこともあり、バーリントンにあるバーモント大学に入学してからは、一時おとなしくなっていたが、その後彼のいたずら好きが又頭をもたげ、学友3人と共に再び退学処分になってしまった。その後は家庭教師について勉強し、19歳の春プリンストン大学に入学した。

1888年3月、プリンストン大学在学中、ポールは祖父危篤の報に接し、大恩人のもとに急行したが尊敬すべき祖父は、既にこの世の人ではなかった。翌年同大学を終えると、まず就職したのは、西ラトランドのシェルドン大理石会社の給仕としてであった。大学を出て給仕となったのは異例のことだが、彼はここで給仕という仕事は命ぜられた仕事をするだけでなく、命ぜられないことでも自分で探し求めてやらなければならないことを、身に染みて教えられたと後日述懐している。ここで一年ばかり勤めたポールは、祖母の勧めで法律を学ぶことになり、アイオワ州立大学法律部に入り弁護士の道を進むことになったが、その途中シカゴ市に一週間ほど滞在した。

当時のシカゴは、いわゆる典型的な開拓者の町で、当時アメリカでもっとも急速に成長を遂げている都市の一つといわれ、ポールはあらゆる人種、信条、文化からなる人間のるつぽとも言うべきシカゴの魅力に取りつかれてしまった。彼はシカゴには偉大な未来があり、将来アメリカの発展に重要な役割を果たすであろうことを直感で理解した。そして将来腰を落ち着ける時期が来れば、シカゴに住居を構えようと決意した。

放浪生活 THE ADVENTURER

1891年6月、ポールはアイオワ州立大学で法律の学位を取り卒業したが、在学中彼は、母代わりに彼を慈しみ育ててくれた最愛の祖母を失った。両親との縁に薄かったポールは、祖父母をまたとなく慕っていただけに祖母の死で事実上彼は一人ぼっちになった。後に彼は人々に対する奉仕の新時代を開いたが、彼の人格を形成し、そうした資質をポールに植えたのは、祖父母であった。その意味からも祖父ハワード・ハリスと祖母パメラ・ハリスの名は決して忘れてはならない。この二人こそロータリーの基礎を築いた功労者なのである。卒業後ポールはすぐに、弁護士開業はせずに5年間の予定で放浪の旅に出ることにした。

できるだけ多くの都市を旅行しながらいろいろな仕事に就いて人生を修業しようとした。

最初に足を向けたのは、サンフランシスコであった。そこで新聞記者になったが、間もなくカリフォルニアの果樹園などで働き、その後ロサンゼルスに出て実業学校の教師を経験した。デンバーでは、国民劇場の舞台に立ったり、再び新聞記者をやったり、一時はカウボーイの荒仕事までもやったりした。フロリダに出たからは、ホテルの夜勤番頭、大理石会社のセールスマンなどやったが、この雇い主のジョージ・クラークとポールはたちまち親友となった。そして十数年後にジョージは、ハリスの勧めでジャクソンビル・ロータリー・クラブを創設し初代会長になっている。こうしてポールは北米の各州を回ったが、かねてよりイギリスに行きたいと願っていたのでフィラデルフィアの新聞で英国渡航の水夫を募集していることを知り早速“ボルチモア号”に乗組み大西洋を渡ったがなれない荒仕事に、言語に絶する辛酸をなめ、英国のリバプールについた。この航海では、ロンドンを見物する暇もなかったことを大変残念に思い、もう一度英国に渡ろうと再度、“ミシガン号”の船員を志願した。前回とは比較にならない快適な航海で、彼はロンドンその他、憧れの歴史的な英国の風物を見物して、満足して無事フィラデルフィアに帰港した。

アメリカへ帰り、シカゴの世界博覧会を見たあと、ニューオーリンズを訪ね、又新聞記者をしたり、オレンジ農園で働いたりしたがここで突然の大暴風雨や洪水に見舞われ、危うく生命を失いかける目にも遭った。やがてポールは、彼の良き理解者である大理石会社のジョージ・クラークのもとに帰り、セールスマンとしてキューバやバハマ諸島まで足を延ばし、更に各地を回ることができた。するとジョージは「君のいわゆる5年間の放浪計画もそろそろ終わりに近いようだが、もう行きたいところはないかね」とポールへ親切に訪ねたので、彼は「実はもう一度ヨーロッパに行きたいのだが」と答えたところ、それから2週間後にポールは大西洋上にいた。この旅行でポールは、スコットランド、アイルランド、ベルギー、イタリー、フランス、オーストリア、ドイツ、オランダなどの各国を訪問して、多くの友人を得て視野を広め米国に戻った。欧州旅行を終えたポールは、いよいよ落ち着いた生涯の生活設計をたてるため、シカゴへ行こうとしたので、親友のジョージは何とかして思い止まらせようと、「君がシカゴに定住することにどれほど利益があるかわからないが、もし君が僕のところ留まっていれば、必ずシカゴに行く以上に金ができるとおもうんだがね」と。ポールはそれにこう答えた。「君の言う通りかもしれない。しかし僕は金を作るためにシカゴへ行くのではない。自分の人生を生き抜くために行くのです」と。このようにポールは断固とした信念を披瀝したので、ジョージは了解すると共に、更に彼がニューヨークの知識を得たいと願っている事を知り、一時的に彼をニューヨークの支配人の地位に就けてくれるという友情と援助の手を差し延べてくれた。

ポールがこの善意に満ちた友人ジョージ・クラークを終生の恩人として尊敬し感謝して

いたのは、こうした経緯からであった。RIの公式名簿には、1912～13年度の国際ロータリー会長はグレン・C・ミード、そして副会長には、ジョージ・W・クラーク（ジャクソンビル、フロリダ）の名が記されている。ポールはこのようにして親友のジョージの恩に報いたのであった。この放浪の旅で、異なった国の大勢の人々と知り合いを深めることができたことは、後にロータリー運動を展開する上で大きな財産となった。



ロータリー発生前夜のアメリカ

ここでロータリーの誕生を可能にさせた19世紀の末葉から20世紀の初頭にかけてのアメリカの歴史を少し振り返ってみたい。ニューイングランドその他の地方で、宗教自由のための闘争が、大規模の流血を見ずして成功したのに対して、政治上の自由のための闘争は、母国イギリスとの2回の血戦と嫌悪すべき内乱を経なければならなかった。北部と南部の身内同志の流血、窮乏、極度に悲惨な4年間を戦い続けたいわゆる南北戦争（1861～65）であるが、その結果、南部における奴隷制度の廃止、合衆国における民主主義の発展と、近代資本主義の発展に大きく寄与した。特にアメリカにおける資本主義経済の発展は目覚しく、1880年頃から20世紀初頭にかけて独占体制の段階に入り、そうなるや資本主義の欠陥と矛盾が至る所に姿を現すようになった。当時ヨーロッパの古い思想に変わろうとしていたのは、マルクスの「社会主義」とダーウィンの「進化論」であったが資本主義途上にあったアメリカで広く受け入れられたのは、「進化論」であった。その著書『種の起源』で有名なダーウィンの「進化論」も生物学の分野にのみとどまっておれば単なる学問上の一仮説に過ぎなかったものが、100%当時のアメリカの社会に取り入れられてしまった。これが社会ダーウィニズムと呼ばれ、「優勝劣敗」「適者生存」という弱肉強食の考え方は、当時の資本家階級には広く支持された。こうした事態の下では、当時の健全なる中産階級を中心に社会改良思想が生まれてくるのは正に当然なことであった。ロータリーの創始者ポール・ハリスは弁護士として、まさに当時のアメリカの健全なる中産階級の一員であったが、新大陸に理想の街を築こうと、ピルグリムファザーズたちが拓いたアメリカ発祥の地ニューイングランド出身の家柄であったことが、彼の思想を一層健全なものにしていたと考えられる。このポール・ハリスが、3人の友人と語らってフレンドリーで、「何か世の中のためになるような集まりをつくろうじゃないか」と、計画したのがロータリーの誕生となった。ちょうどその時がアメリカ初期資本主義のピークを迎えた1905年であったというのは、大変に興味深いことである。なぜならロータリーは、社会経済史的に見ると、誕生のその時から資本主義の欠陥を救う宿命にあったといえるのである。

シカゴより何の善きものが出すべき…

ロータリーを生んだシカゴは、古くからFort Dearborn（ディアボーン砦）と呼ばれていた。冬には強風が吹きすさび、Windy City（風の強い町）といわれ、すぐ側のミシガン湖は、海のような灰色の大波を立てていた。では19世紀の末葉から20世紀の初頭にかけてアメリカのシカゴには、どのような資本主義の欠陥があったのであろうか。一握りの資本家が、政治・経済の主導権を握り、**私利私欲中心の拝金主義**が横行し、**貧富の差の拡大**、**スラム街**が至る所に姿を現し、シカゴは伝染病や犯罪の温床となり、**商業倫理欠如**の上に虚構の繁栄が築かれていた。しかし、このような悪名高いシカゴは、決して罪悪と腐敗の記録のみではない。シカゴから良いことはなに一つ生まれないと言われてきたが、劣悪な勢力に対する輝かしい**社会改良の諸運動**が出現したのである。「シカゴより何の善きものが出すべき」という疑問に対する立派な答えが数々出された。まずセツルメント運動では、ジェーン・アダムスの始めた「シカゴ・ハル・ハウス」が有名で、これはスラム街の中に拠点を移してそこで資本主義下の貧民の更生運動をするものである。他には3名の伝道者による貧民救済の社会福音運動が、シカゴはもとより全米ばかりでなく海外諸国にまで伝播した。「婦人キリスト教禁酒同盟」も一小村で教鞭をとっていた、若い婦人フランセス・ウィラードの挑戦であった。シカゴ市民も立ち上がり大々的な浄化運動を展開、その活動的な努力により酒場、賭博場が姿を消していった。

シカゴでの生活 孤独との戦い

ポールが放浪生活を終え、かねての計画通り、シカゴに落ち着き弁護士を開業したのは、1896年2月、28歳の時であった。まさにシカゴは同族相食む(dog-eat-dog)熾烈な競争の「るつぽ」であった。彼の法律事務所は、着々と繁盛していった。しかしポールの心は少しも晴れなかった。多くの知り合いがいるとはいえ、実際は天涯孤独な彼の寂しい心を慰めてくれる本当に親しい友達は、殆どいなかった。ポールは真の友人を求めた。田舎からやってきた、寂しい人々を一緒にさせるクラブのようなものを、作る方法はないものであろうか。徐々にポールの夢は実現に近づいていった。故郷バーモントの古き良き家庭の躰である犠牲、献身、名誉、真実、誠実、愛情を思い出していた。本質的にポールが欲したクラブの理念とは、素朴で平穩無事なニューイングランドの谷間の生活と家庭の躰、村人たちの打ち解けた真の友情と相互扶助の精神を、シカゴの街に移し変えることであった。ポールは祖父母から教わった「寛容」の大切さを思い起こして、「**寛容の精神**」をクラブの理念を構成する必須の要件であると心に決めた。そして一人一人が自分の特定の職業を代表できるクラブにすれば、打ち解けた友情が生まれるだろうと考えた。ポールはこの構想を

何年も温め、熟慮に熟慮を重ねた結果、遂に1905年の2月、3人の若い実業家に声をかけて集まった。

ロータリー・クラブの創立

20世紀を5年過ぎたばかり、依然として景気の悪いシカゴの身を切るような寒い、その2月23日木曜日の夜、ポールは顧客でもある友人と夕食を共にした。友人は、石炭商をしているシルベスター・シールであった。ポールは当時有名なマダム・ガリのイタリア・レストランで食事をしながら新しいクラブの構想についてシールに詳細に説明した。シールはすぐにポールの構想を理解し、ポールと共に他の2人の実業家に会うことに同意した。2人は鉾山技師のガスターバス・ローアと彼の友人のハイラム・ショーレーという洋服商であった。4人とも皆都市生活の孤独に苛まれていて、彼らが後にしてきた故郷の連帯感あふれる生活に憧れていた。こうして舞台は整った。時に**1905年2月23日**、場所はシカゴのノース・ディアボーン街127番地、ユニティビル7階、ローアの小さな711号室から**偉大な社会運動が呱呱の産声を上げた**。第2回（まだ会の名前は無い）の会合は、ハリスの法律事務所で2週間後の3月9日に開かれ、7人が出席した。第1回の4人に加えて、ハリー・ラグルスとウィリアム・ジェンセン、アルバート・ホワイトが出席した。5番目に入会したので“**No.5の男**”と親しまれた印刷業のラグルスは、1911年に“National Rotarian”の第1号を印刷し、また会員の増強にかけては、クラブ随一でシカゴクラブの会員200人の3分の2は彼が集めたと云われている。**3回目の会合**は、3月23日にシールの事務所で行われた。この会合でポールはシールを初代会長に、ショーレーを記録係に、ジェンセンを文書係に、ラグルスを会計に指名した。そして特筆すべきは、この時**新クラブの名称が検討されたこと**である。いくつもの名称が「かんかんがくがく」真剣に討議され、「ロータリー」という名前が誕生した。また「**連続4回欠席したものは、会員資格を喪失すべきものとす**」と定められたのもこの会合であり、シールが「**石炭業界について**」話をしたのが、卓話の嚆矢となった。

助け合いから奉仕活動へ

シカゴクラブの定款・細則が作られたのは、1906年の1月のことであった。起草委員は3名で、ポール・ハリスとマックス・ウォルフ、もう1人はチャールズ・A・ニュートンであった。最初の綱領は、2カ条であった。

第1条 会員の業務上の利益を振興すること。

第2条 性質として社交クラブに伴う親睦その他望ましい諸点を振興すること。

つまり、その内容は「会員の相互扶助」と「親睦」を掲げこの2つこそがロータリーの目的であり、特質であるといつてよい。「会員の相互扶助」とは、具体的に会員相互の取引を義務づけたものである。会員が石炭が欲しいときは、シールから買い、洋服を仕立てたいときにはショーレーから作る。印刷に関することは、ラグルスに依頼するという具合に無限に及ぶのである。しかし当初の物質的相互扶助の運動の中から、やがて徐々に「親睦」の「話し合い」による、他人の不幸を、思いやる奉仕の心が芽生えてきた。

このきっかけとなったのが、弁理士ドナルド・カーターの物語である。オーレン・アーノルド著の「ゴールデン ストランド」によると、二代目会長のアル・ホワイトの時フレデリック・ツイードが、友人であるカーターにシカゴ・クラブへの入会を勧めて定款・細則の説明をしたところ、彼は即座に入会を断った。カーターは「この種のクラブはメンバー以外の人に利益をもたらしてこそ、社会的な意義があると思うよ。内部の利益交換に終始するクラブには、将来性がない」と自分の意見を述べた。多くの会員がこの提案に胸を打たれ、翌1907年、綱領に1カ条追加された。

第3条 シカゴ市の利益を推進し、その市民の中に市に対する誇りと忠誠の精神を普及すること。

ここに初めてロータリーは、対社会への奉仕概念を持つに至った。そしてこの社会のために何かいいことをしようという目的達成のために、シカゴのロータリアンが実践活動として行ったのが、シカゴの町の公衆便所の設置運動であった。

全米ロータリークラブ連合会結成

我々は、ロータリー運動は1905年の創立の時より、秩序正しく斬新的に全世界に拡大発展して現在に至ると考えがちである。しかしその発展の初期の歴史には、ポールの自伝によれば、大革命があり、幻滅、焦慮、自暴自棄、傷心の時代を経験しなければならなかった。1907年2月、ポール・ハリスはシカゴクラブ第3代の会長に就任したが、ポールはその時、抱負を3つ挙げている。1つはシカゴクラブを充実させること、第2は全米の重要な諸都市にロータリークラブを作ること、そして3番目に対外的な奉仕理念の追求を目指した。

最初の抱負は余り問題はなかった。この新しいクラブの人気は上々で入会申し込みが殺到していた。第2の目的については、まだ時期尚早だし、反対者もいるがやがて時が解決してくれるだろうとポールはみていた。もっとも厄介なのは、3番目の問題であった。社会への奉仕という概念は、会員同士の「親睦」と物質的「相互扶助」を柱とするクラブの創設理念から大きくかけ離れていた。確かにポール・ハリスが最初のロータリークラブを作ったときは、欠点の多い不備のものであったが、「寂しいから集まろうよ」といって集

まったクラブ内には、「友愛」と「親睦」による温かい雰囲気がいっぱいあふれていた。しかし創立後、わずか2年にしてロータリー運動史上もっとも大きな波乱が起こった。

ポールは、旧来のロータリークラブ内部だけの相互扶助と友愛を目的とした地方集団から、他者への奉仕という新しい視野を充実させ、国際的に組織の拡大を図る新たな団体をめざした。当然、「物質的相互扶助」と「親睦」のみに専念しようとする〈親睦派〉と、「奉仕活動」に力点を置いて活動しようとする〈奉仕派〉との対立を生み出した。この激しい対立闘争は、1907年のポールの会長就任から1910年のラムジーの会長就任に至る3年の間終始した。当時のクラブ幹事ウイル・ネフがハリー・ラグルス会長に語った次の言葉が、記録に残っている。「あと一カ月こんな状態が続いたら、このクラブもおしまいだなあ」“Another month of this and the club will cease to exist”。この闘争の妥協点として、クラブ内の争いの種となる奉仕哲学の追求とロータリーの拡大を主な任務とした機関として、全米ロータリークラブ連合会が設立され、事態は一応の解決をみた。このことに大いに貢献したのは、1908年に、入会した二人、チェスレイ・ペリーとアーサー・フレデリック・シェルドンである。



ロータリー哲学の確立

特にチェスレイ・ペリーは、1910～1942年の32年間国際ロータリーの事務総長を務めたのであった。ポール・ハリスは「もし私がロータリーの設計者と呼ばれるのならばチェスこそ、その施工者と呼ばれるべきものである」と言っている。このチェスレイ・ペリーが司会して14クラブの代表者を含む60名が、シカゴのコンGRESSホテルに集まって、全米ロータリークラブ連合会ができたのが1910年8月であった。この年の暮れポール・ハリスの「合理的ロータリー主義」と題する論文をもとにチェスが8頁のタブロイド型の“National Rotarian”を作り、翌年に配布した。これが今も続く“The Rotarian”の前身である。1911年シェルドンの演説の一説から“He profits most who serves best”が生まれ、同年ポートランド大会でのフランク・コリンズの言葉から“Service, Not Self”ができて、この2つがロータリーのモットーとなったのである。

1915年サンフランシスコの国際大会で11カ条からなる「全分野の職業人を対象とするロータリー倫理訓」が採択された。この倫理訓には、「綱領」や「4つのテスト」に含まれているおよそ、職業人たるものが身に付けなければならない行動規範が、ことごとく盛り込まれていて、一時期のアメリカのロータリー運動の指針となったが、国際ロータリーは1927年その頒布を中止した。この倫理訓を土台として1916年にガイ・ガンディカーの「ロータリー通解」が出されて、初期ロータリアンの奉仕哲学の追求はほぼ完成を見た。

1921年のロータリーの国際大会は、初めてアメリカを離れてスコットランドのエジンバ

ラで開かれたが、かねてからロータリークラブを律する一定の定款細則がほしいと言われていたので、委員会を組織して原案を作り、それが1922年のロサンゼルスで決定をみたのが今日の標準定款、推奨細則となっているのである。そしてこの時ロータリークラブ国際連合会もその名称を国際ロータリー（Rotary International）と改められた。

そしてロータリーは1923年のセントルイスの国際大会で、かの有名な「決議23-34号議案」が採択され時に成年に達したのである。では、ロータリーの先人の知恵の結晶とも言われるこの不滅の決議23-34の生まれた背景を訪ねてみよう。

ロータリーは創立以来一貫して職業倫理の向上をうたってきたが、1920年になって身体障害児のリハビリテーションの問題が全米に澎湃として起こった。そしてそれがついに国際身体障害児協会に発展してロータリーの看板事業となってくると、全米のほとんどのクラブは熱に浮かされたように身体障害児問題に夢中になり、まるで福祉団体の様相を呈し始めた。そこでロータリーの一業一人制は、職業を通じての奉仕によってのみ意義あるものとする者は、この際社会奉仕の項を綱領から削除すべしと極論するようになった。

さらに社会奉仕の主体をクラブにおくか、会員個々の活動に任すかについても論争され、やがてこれらの対立がロータリー分裂の危機を孕むに至り、ついに決議23-34ができたのである。この決議34号は当時の対立を見事ロータリー的に氷解させたばかりか、社会奉仕の概念をロータリーの世界で確立するとともに、ロータリーの深い哲理に基づく社会奉仕の行動基準を明らかにしたのである。

ウイルR・メーニャー・Jrの手による、全体で6項目からなるこの声明の中には、「一体何故ロータリーを必要とするのか。そしてロータリーの基本方針とプログラムは、何故かく定められているのか」という疑問にたいする解答が明快に示されている。特に第1パラグラフの「ロータリーは基本的には、一つの人生哲学であり、それは利己的な欲求と義務およびこれに伴う他人のために奉仕したいという感情との間に常に存在する矛盾を和らげようとするものである」という美しいフレーズは、特に我々日本のロータリアンの心をとらえて放さない。それはロータリーの原点の集大成であり、不滅の原理の宣言である。

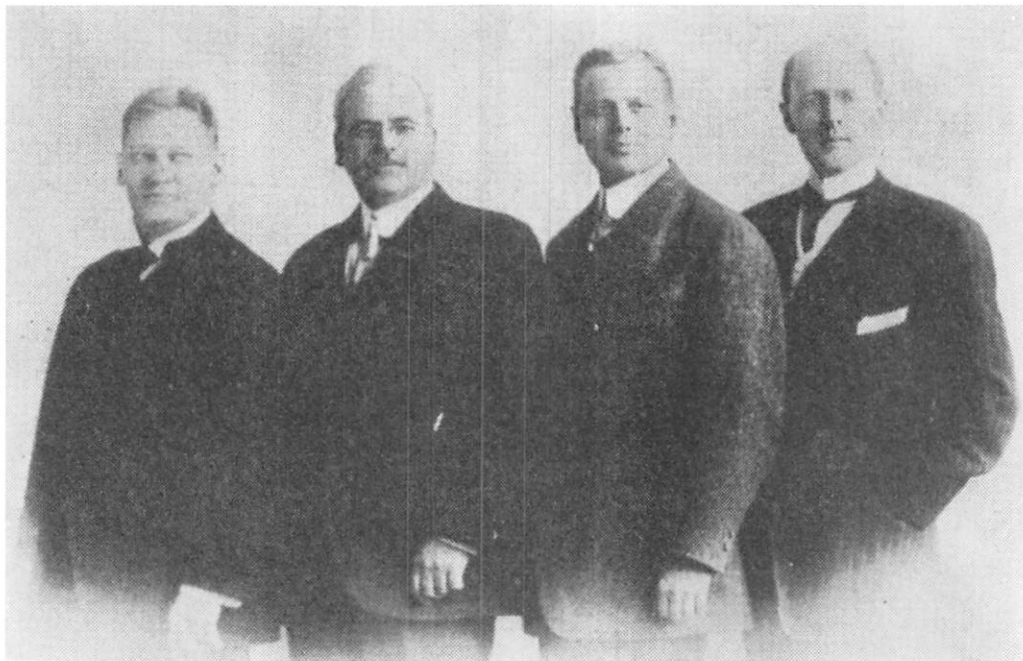


最後の言葉 His last words to Rotary

ポール・パーシー・ハリスは1947年1月27日に帰らぬ人となった。“The Rotarian”誌、1947年の2月号に彼のロータリー運動に対する“最後の言葉”が掲載された。「1905年には、ロータリー運動がこんなに世界的な規模になろうとは予想だにできなかった。一本のか弱い苗木を植えたからといって、その木が必ずや力強い大木となると誰が確信できたであろうか。しかし、最初の蕾を目にしたとき、初めて私は大きな木陰を夢見るようになった」。最初の蕾とは、1908年にサンフランシスコにできた第2のロータリークラブ

のことであろう。翌年にはオークランドに、引き続きロサンゼルス、シアトル、またさらにニューヨーク、ボストンとロータリーは拡大していった。創立から110年を経て今は、200以上の国と地域に広がり34,000のクラブ、会員数は1,200,000人に達している。

このロータリー運動の大河を溯り、小さな源泉を辿り、先人の心を訪ねたのは、その心を今のロータリーに活かしたいためである。ポール・ハリスはシカゴ郊外のマウントホープの墓地に、畏敬の友シルベスター・シールと並んで静かに眠っている。因みにポール・ハリス未亡人ジーン・トムソンは、故郷スコットランドのエジンバラ・ゲルケイス通りのニューイントン墓地に埋葬されている。二人は遠く海を隔てて離れていても、いつも一緒である。ハリス夫人が語っていたように「私たち二人は信仰によって、永遠の力の中に結ばれている」からである。



最初のシカゴロータリークラブの4人 1905年
左からガスターバス・ローア、シルベスター・シール、ハイラム・ショーレー、
ポール・ハリスの面々

ポール P. ハリス 年譜

- 1868年 4月19日米国ウィスコンシン州ラシーンに生まれる。
- 1871年 7月ポールと兄のセシルは、バーモント州ウォーリングフォードの祖父母のもとに預けられる。
- 1885年 バーモント大学入学。2年生のとき退学処分を受ける。(1933年同大学は、ポールに名誉博士号を送る。)
- 1887年 ニュージャージー州プリンストン大学に入学。
- 1888年 3月ポールの祖父死去、西ラトランドのシェルドン大理石会社に勤務。
- 1889年 アイオア州立大学法学部入学準備のため、アイオア州デモインのセントジョン・スチブソン・ワイズナント法律事務所で法律を勉強。
- 1890年 9月アイオア大学法学部に入学。10月祖母パメラ死去。
- 1891年 6月同大学法学部卒業。人間としての幅を広げるため5年間の放浪の旅に出る。
- 1892年 フロリダ州ジャクソンビルで生涯の友、大理石商ジョージ・クラークと出会う。
- 1893年 2度英国に渡る。キューバおよびバハマ諸島迄足を延ばす。
- 1894年 ヨーロッパの主要都市すべてを回る。最後に大都市ニューヨークを経験する。
- 1896年 冒険の旅を終え、2月末シカゴに移り法律事務所を開設。
- 1900年 秋に同業の友人宅を訪ねたときロータリー・クラブの着想が閃く。
- 1905年 2月23日の夜ポールと3人の若い実業人、シルベスター・シール、ガスターバス・ローア、ハイラム・ショーレーは、シカゴのディアボーン街のユニティビルにあったローアの事務所で会合を開き、そこでポールは、職業のいろいろ異なった実業人のクラブを作り、そのクラブを土地の様々な仕事や職業を反映したものにする。という構想を述べた。ロータリーはこの会合から生まれた。
- 1907年 ポールはシカゴクラブの3代目の会長に就任。
- 1910年 RIの前身全米ロータリークラブ連合会の会長に就任。英国エジンバラ出身のジーン・トムソンと結婚。
- 1912年 ポールとジーンはシカゴの郊外に居を構え、その家をジーン夫人の郷里にある街路の名称に因んでカムリー・バンクと名づける。
- 1928年 『ロータリーの創設者 ポール・ハリス』 発刊
- 1935年 2月9日、マニラでの第5回太平洋地域大会にRI会長ロバート・ヒル夫妻とともに出席の途次日本を訪問、帝国ホテルで月桂樹の記念植樹を行い、東京會館での歓迎晩餐会に出席。関西では新大阪ホテルでの京阪神合同の歓迎午餐会に出席。『ロータリーの理想と友愛』 発刊。
- 1947年 1月27日、79年に亘る生涯をシカゴで閉じる。
- 1948年 『わがロータリーへの道』 発刊。

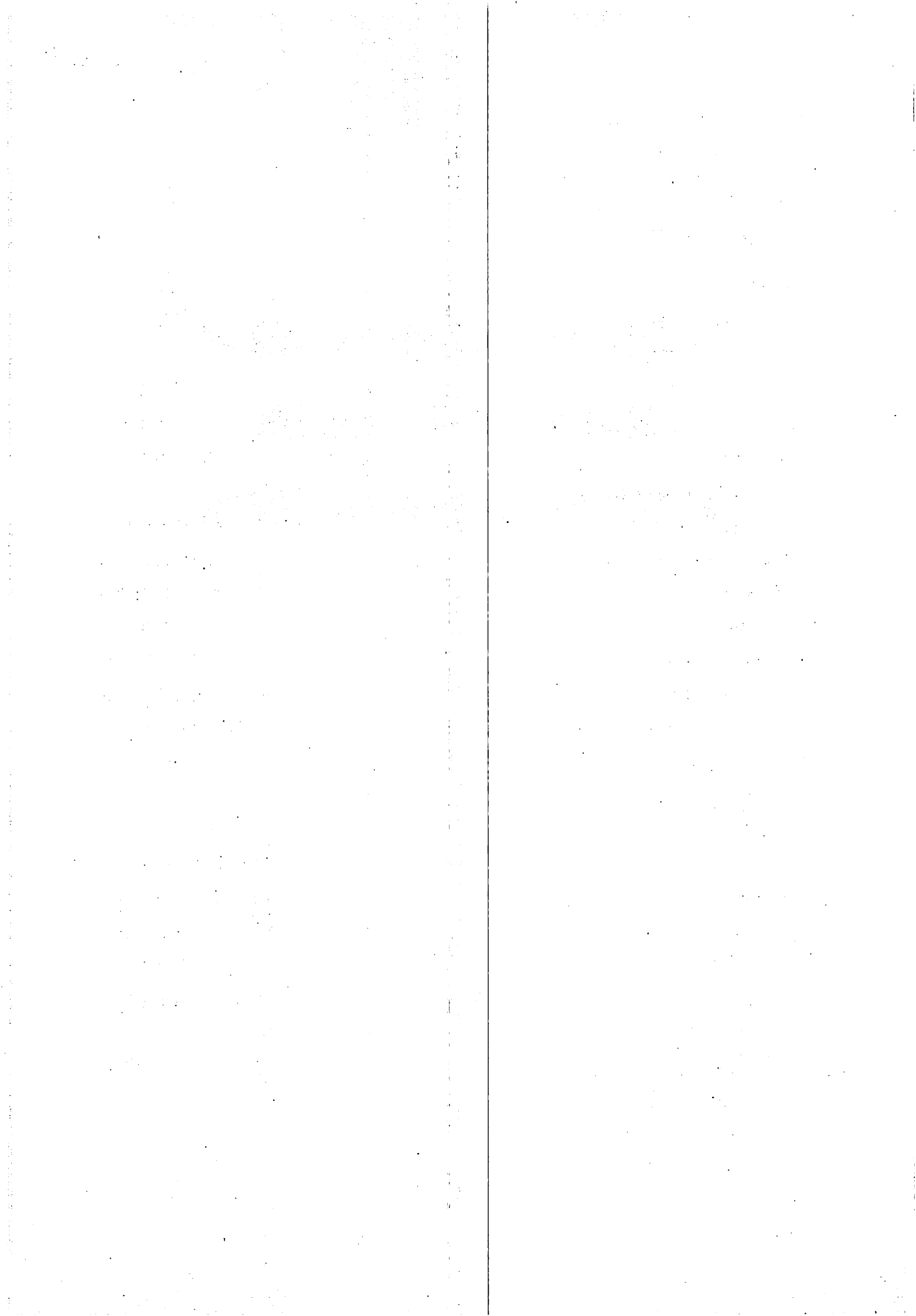
1. 1950年1月1日以前在中华人民共和国领域内居住的中国公民，以及具有中华人民共和国国籍的人，都是中华人民共和国公民。
2. 中华人民共和国公民不分民族、种族、性别、职业、家庭出身、宗教信仰、教育程度、财产状况、居住期限，都有选举权和被选举权；但是依照法律被剥夺政治权利的人除外。
3. 中华人民共和国公民必须遵守宪法和法律，保守国家秘密，爱护公共财产，遵守劳动纪律，遵守公共秩序，尊重社会公德。
4. 中华人民共和国公民有依照法律纳税的义务。
5. 中华人民共和国公民有受教育的权利和义务。
6. 中华人民共和国公民有劳动的权利和义务。
7. 中华人民共和国公民有休息的权利。
8. 中华人民共和国公民有进行科学研究、文学艺术创作和其他文化活动的自由。
9. 中华人民共和国公民有言论、出版、集会、结社、游行、示威的自由。
10. 中华人民共和国公民有宗教信仰自由。
11. 中华人民共和国公民有居住和迁徙的自由。
12. 中华人民共和国公民有婚姻、家庭、母亲和儿童受国家保护的权利。
13. 中华人民共和国公民有受国家保护的权利。
14. 中华人民共和国公民有依法获得赔偿的权利。
15. 中华人民共和国公民有依法获得补偿的权利。
16. 中华人民共和国公民有依法获得救济的权利。
17. 中华人民共和国公民有依法获得法律援助的权利。
18. 中华人民共和国公民有依法获得法律保护的义务。
19. 中华人民共和国公民有依法获得法律保护的义务。
20. 中华人民共和国公民有依法获得法律保护的义务。

1. 中华人民共和国公民有依法获得赔偿的权利。
2. 中华人民共和国公民有依法获得补偿的权利。
3. 中华人民共和国公民有依法获得救济的权利。
4. 中华人民共和国公民有依法获得法律援助的权利。
5. 中华人民共和国公民有依法获得法律保护的义务。
6. 中华人民共和国公民有依法获得法律保护的义务。
7. 中华人民共和国公民有依法获得法律保护的义务。
8. 中华人民共和国公民有依法获得法律保护的义务。
9. 中华人民共和国公民有依法获得法律保护的义务。
10. 中华人民共和国公民有依法获得法律保护的义务。
11. 中华人民共和国公民有依法获得法律保护的义务。
12. 中华人民共和国公民有依法获得法律保护的义务。
13. 中华人民共和国公民有依法获得法律保护的义务。
14. 中华人民共和国公民有依法获得法律保护的义务。
15. 中华人民共和国公民有依法获得法律保护的义务。
16. 中华人民共和国公民有依法获得法律保护的义务。
17. 中华人民共和国公民有依法获得法律保护的义务。
18. 中华人民共和国公民有依法获得法律保护的义务。
19. 中华人民共和国公民有依法获得法律保护的义务。
20. 中华人民共和国公民有依法获得法律保护的义务。



日本ロータリーの歴史





日本ロータリーの発祥 …… (札幌RC誕生まで)

ロータリアン1号・RC1号

福島喜三次氏は、1881年佐賀県有田市で生まれた。東京高商（現在の一ツ橋大学）を卒業後、三井物産に入社してテキサス州ダラスの三井の子会社東洋綿花の社長に就任、在任中にダラスRCに入会をした。日本人として第1号のロータリアン誕生である。

当時三井銀行の重役であった米山梅吉氏は、財政問題調査団の一員として渡米した際、1918年の元旦を、案内役のダラスの福島宅で迎えたが、この時ロータリーの何たるかを聞き大いに心を動かされた。1920年1月福島喜三次氏は東京に転勤となったが、そのおりダラスRCは彼の送別会を開き、その席で日本にもロータリークラブを作るようにと勧められた。帰国後、国際ロータリー連合会の本部から、1920年6月末までに日本にロータリークラブを創立するようにとの委任状が福島氏に届けられた。そこで福島氏は米山氏に相談し、ロータリークラブ創立の準備にとりかかったが、当時の日本は、第1次大戦に連合国側として参戦、一時的な景気に沸いたものの、戦後は恐慌に襲われ、不景気の中で農民運動や初のメーデーが行われるなど揺れ動いていて、ロータリー運動に対する関心は全くなく、6月末の期限が切れてしまった。そこで、期限延期を本部に申請したところ、パシフィック・メール汽船会社の横浜支店長のウィリアム・ジョンストンを世話役に加えることを条件に、改めて福島喜三次氏に委任状が届いた。このジョンストンは上海RCに居たことがあり、かなりロータリーには精通していた。

このようにして、米山梅吉を創立者として、福島氏とジョンストン氏が特別代表の資格でこれを助け、創立計画も着々と進展し、1920年9月1日には東京RCの創立委員会を開き10月20日には、24名のチャーターメンバーで創立総会が銀行クラブで開催されるに至った。初代会長には、米山梅吉、そして幹事には福島喜三次が就任した。国際ロータリーのチャーターの日付は、1921年4月1日で登録番号は855号である。ジョンストンは間もなくサンフランシスコに転任したので東京RCは、同氏の功労を記念して名誉会員第1号に推薦をした。また、日本人ロータリアン第1号の福島氏は、東京RCの初代幹事として米山氏を助けたが、大阪へ転勤のため、僅かに2回例会に出席したのみで退会をした。大阪に転勤した同氏はその後再び東京転勤となり、1932年東京RCのパストサービス会員として入会されクラブのために尽くされた。

創立当初の東京RCの会員は、「ロータリー日本50年史」によると定款細則などに対する関心が薄く、出席も悪かったのでクラブの存続も危ぶまれるほどであったとある。活動はきわめて低調で国際大会に代表を送るでもなし、奉仕活動などもろくにしていなかった。だがそれから間もなく東京RC、大阪RCは勿論のこと、わが国民にロータリー運動というものを強く認識させ、わが国内にこの運動を大きく展開させる事件が起こった。それは、1923年9月1日午前11時58分、東京を中心に突如として襲った関東大震災であった。

この時の国際ロータリーの活動によって、会員はロータリー運動の何たるかを初めて知らされたという。すなわち大震災の報が外国に伝わるや、国際ロータリー会長ガイ・ガンディカーと事務総長チェスレー・ペリーは直ちに電報で、救済基金として2万5千ドルの送金を行い、また世界中の503のロータリー・クラブから総額8万9千ドル余の見舞金が到着した。この義援金によって、まず東京市の孤児院の敷地内に、別棟「ロータリーの家」を新築の上寄贈することを決定、さらに東京、横浜の小学校188校に備品送呈、殉職警察官遺族への援助などを繰り広げた。ここに東京及び大阪RCの会員は、「社会奉仕」及び「国際奉仕」の何たるかを身をもって理解し、これからロータリーについて勉強もし、真摯に奉仕の実践活動に取り組むようになったというのである。関東大震災後、東京RCは一変して月1回の例会を週1回とし、国際大会にも代表を送り、国内の拡大(Extention)にも大いに努めることになった。

大阪ロータリークラブの創立

大阪に転勤した福島喜三次氏は、星野行則氏と話し合う機会を得て、ともに英米訪問実業団の一員となって渡米し、1922年にシカゴ国際ロータリー本部を訪れ、チェスレー・ペリー事務総長から、ロータリーに関するいろいろな教えを受け、そこで大阪にもロータリー・クラブを作ることを委任されたのであった。こうして1922年11月、25名で大阪ロータリークラブが、わが国二番目のクラブとして創立された。会長星野行則、副会長村田省三、幹事福島喜三次であった。登録番号は1349号でその日付は、1923年2月10日であった。

初めは暗中模索であったが、まず会員間の親睦を深めることから始め、時間励行と出席の義務とで会員を例会に引き付け、さらに当時は珍しかった家族同伴の小旅行や運動会、それに趣味の同好会などを盛んに催したので、それが効果をあげ和気あいあいとした愉快的なクラブとなって評判を取ったのである。このように大阪RCは東京よりはるかに進歩的で、星野会長、福島幹事は、国際ロータリー連合会の本部から拡大委員会の委員を嘱託されたのを機に、神戸の松方幸次郎と語り、1924年8月に神戸RCを結成させた。この間

にも1924年アメリカでは排日法案が強化され、また、その頃国内では、ロシア革命の成功が強い刺激となってマルクス研究が盛んになっていた。このような時代に友愛と奉仕とを説いて、シカゴの市井の庶民の中から生まれたロータリークラブが、日本においては東京、大阪の一流の実業家、名士の中から選ばれた人たちによって最初に受け入れられたということは、極めて特異なことであった。



48 RC結成

震災を契機として、日本全国の大都市にもロータリーを認識させ、ロータリー運動の拡大は本格的になっていった。しかし当時の日本は、まだいわゆる“地区のない地帯”（Non-district Territory）で、ガバナーが居らず、クラブ拡大には不便な状態にあったので国際ロータリーは、1924年に米山梅吉氏をロータリークラブ拡大の初代特務代表者（Special Commissioner）に任命しロータリー運動の拡大と指導に当たらせた。同氏は、更に2年間これに在任して、名古屋と京都にロータリークラブを結成した。2代目の特務代表者には井坂孝氏（1926-27）、3代目は平生鈺三郎氏（1927-28）が任命され、井坂氏の時には横浜、朝鮮の京城に、平生氏のときには満洲の大連、奉天の各RCが結成された。これで国内六大都市すべてにロータリークラブができるとともに、その後、台湾に台北RCもでき、かくしてロータリー拡大の波は、当時日本の勢力下にあった東洋の諸国におよんだ。

米山梅吉氏は1926年7月から1年間国際ロータリーの理事となったのを機会に、日本の全ロータリークラブは一堂に会して、初めての第1回の会合をインターシティ・カンファランスとして大阪で開いた。第2回インターシティ・カンファランスは1927年東京で開かれ、この会合で会員の選考を一層厳格にすることや、ロータリーの襟章を必ずつけることが申し合わされ、また日本、朝鮮、満洲を合わせて一つの地区を設定してもらいたいという要望が決議されたが、国際ロータリーは時期尚早との断を下した。

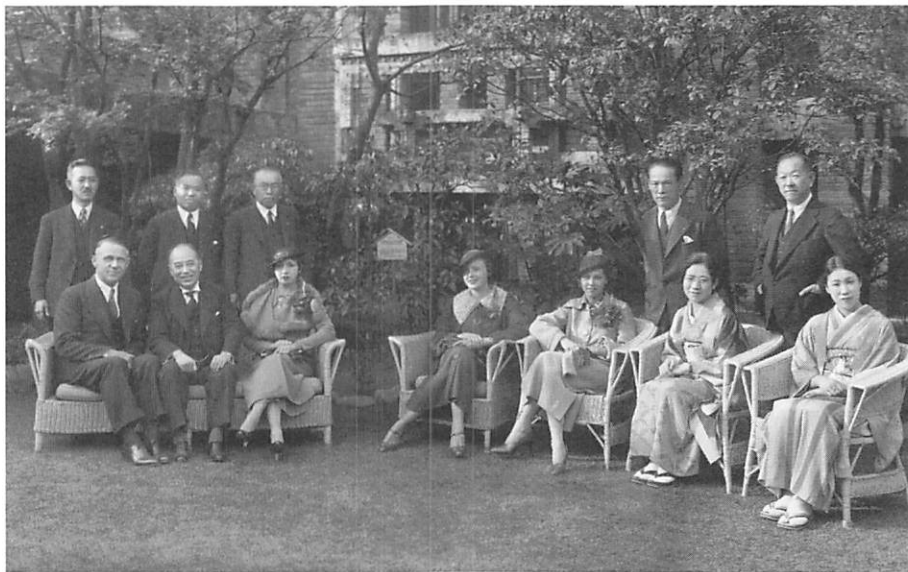
この年1927年、国際ロータリーでは、総合企画委員会“**Aims and Objects Committee**”の制度ができて、クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕の四大部門“**Four Avenues of Service**”が生まれた。

翌1928年再び地区設定の要望が高まり、平生鈺三郎スペシャル・コミッショナーは強硬に“**Great dissatisfaction and disappointment**”と書いた書状を送って、ついに国際ロータリー理事会に日本、朝鮮、満洲を合わせた「**第70区**」を容認させた。わずか7クラブでの地区設定は相当無理であったと言わねばなるまい、そして初代ガバナーには米山梅吉氏が就任した。なお米山氏は、初期の地区活動の育成のため、3期連続してガバナーに就任された。わが国内のクラブ拡大は、東京クラブ創立の1920年から1940年のRIを脱退するまでの20年間に結成されたロータリークラブは48クラブに達したのである。



第2回太平洋地域大会

太平洋地域大会の目的は、太平洋沿岸にある各クラブが集まって国際親善を図るとともに、世界平和に貢献しようとするものである。第1回は、ハワイのホノルルで開かれ、次いで地区が新設された1928年、第2回が東京で開催されたが、これは地区設定を要請したとき日本におけるロータリーの成長ぶりを披露するために計画されたものである。東京RCでは、他からの応援も合わせてわずか170名の会員により、関東大震災のお礼心もあって運営に万全を尽くした。海外からの出席は9カ国109名で国際ロータリー会長サットン



トム・サットンRI会長夫婦を囲んで
後列左より 水島、小林(雅)、鹿島(精)、犬丸、東郷
前列左より トム・サットン、米山

夫妻も参加された。特筆すべきは、この太平洋ロータリー地域大会の第3日に大阪クラブの土屋大夢が、「ロータリー以前の偉大なるロータリアン」と題して二宮尊徳の話を英語でスピーチをして、至誠、勤労、公平に触れ、その報徳の教えはロータリーと同じではないかといって一同に感銘を与えたことである。

1928年日本が第70地区として発足したので、1929年4月米山ガバナーのもとで第1回70地区年次大会が京都で開催された。このとき“*He profits most who serves best*”というモットーの“*profits*”は物質だけを指すのか精神的なものが含まれるかについて論議が集中した。また米山ガバナーはロータリーの6つの綱領と11の倫理訓を翻訳して繰り返し読んでいるという大連クラブの古沢丈作の報告を激賞している。1930年第2回地区年次大会は、米山ガバナーのもとで神戸にて開催された。国際ロータリーから派遣されてきた元会長のフランク・マルホランドはその聞こえた雄弁で一同を魅了した。同じく関東大震災のときの恩人である元会長のガイ・ガンディカー夫妻も前後して日本を訪れた。



ロータリー創立25周年記念

1930年は、世界最初のロータリークラブがポール・ハリスとその友人たちにより米国イリノイ州シカゴに誕生して25年目、またこの年は東京RCが作られて10年目に当たった。そこで誕生の地シカゴで盛大に記念の国際大会が開かれ、58カ国から11,000人の登録があり、日本からは東京RCの名誉会員徳川家達公が出席し、「民族の勃興」と題して日本の成長を英語でスピーチしたが、シカゴ市も最高の礼をもって迎え有名な儀仗黒騎馬隊をもって送迎した。

1931年第3回地区年次大会は、横浜で行われた。この時ガバナー・ノミニーには新しく井坂孝が選ばれ第2代のガバナーになることになった。井坂ガバナーによって初めてガバナー月信が送ってこられたのは、1931年8月であった。また井坂ガバナーはこの中で特に業務遂行上の賄賂の厳禁を求め、かつロータリーの活動はその6つの綱領の達成に限るべきで、慈善に走ったり、寄付集めに浮き身をやつすことのないよう要請している。

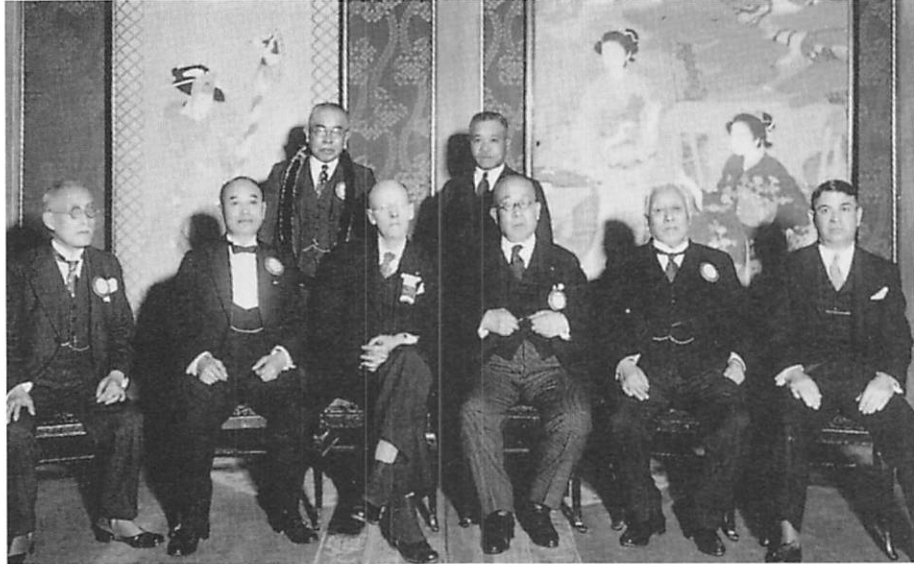
1931年9月満洲事変は突発した。その翌年3月に満洲国建国が宣言された。世界の非難に反発して日本は、1933年に国連を脱退した。孤立に走る母国を前に、日本のロータリーの前途が安穏であり得なかったのは当然のことであった。第4回地区年次大会は1932年大阪において、井坂ガバナーのもと村田省蔵が大会幹事となって開かれたが、厳しい暗い時代で、この只ならぬ雲行きはついに5・15事件となって犬養首相の暗殺にまで及んだ。しかしまだそこには、平和の姿が残っていた。このような時代背景の中で、北海道にもロータリークラブが誕生した。1932年12月3日井坂ガバナーを迎えて豊平館で日本8番目のクラブとして「札幌ロータリー・クラブ」は発会式を行い佐藤昌介を会長に選んだ。国際ロータリーのチャーターの日付は1933年1月18日で登録番号は1621B号であった。



ポール・ハリスの来日

ロータリーの創始者ポール・ハリスが夫人と来日したのは1935年2月9日である。当時の国際ロータリー会長ボブ・ヒル夫妻とともに、マニラで開かれる第5回太平洋地域大会に向かう途中日本へ立ち寄るという知らせがあった。

東京では委員会を設けて歓迎の準備をしたが乗船が荒天のため予定より3日遅れて横浜に入港した。そのためあわただしい日程となり、横浜で小憩の後上京して帝国ホテルで記念植樹を行い、芝公園の中にある紅葉館での純日本式の午餐会に臨んだ。その夜は、東京会館で行われた東京・横浜両RCの歓迎晩餐会に出席、余興の桜踊りなどを楽しんだ後船で神戸へ向かった。翌日も京都見物の後、新大阪ホテルでの歓迎午餐会に出席、歓を尽くす間もなくその夜のうちに神戸を出帆した。



ポール・ハリス歓迎会で、同氏を囲んでの記念撮影

ポールの来日は、その後の国際情勢の変化のため、これが最初にして最後の機会となった。この来日のおり、歓迎に馳せ参じた日本のロータリアンがポールに「あなたは、何故ロータリークラブを作ったのですか」と訪ねたところ、ポール「只、寂しかったから」と答えたことは有名である。またこの時ポールが帝国ホテルの中庭に植えた月桂樹は、1968年にホテル旧館が取り壊される際、神奈川県の大井町に移されたが残念ながら枯死寸前であった。しかし東京RCの矢野一郎氏が挿し木によって育てた数本が二世となって、そのうちの一本が米山記念館と皇居の北の丸公園で今も元気に繁っている。



米山梅吉・ロータリー訣別の言葉

ポール・ハリスを、慌ただしく迎え、送った日本のロータリーには、その後苦悩の年月が待っていた。札幌RCの創立後の1936年には、いわゆる2・26事件が起き、そして翌年の7月に日華事変が勃発した。ロータリーは反戦的であり、亡国的であると断じる一般の誤解は重圧となり、機構改革、日満ロータリー連合会、そしてクラブ解散と非情なる時の動きはあまりに早く、それは止まるところなく、ついに1941年12月太平洋戦争へと繋がっていった。1940年9月11日東京RCはついに解散した。創立者米山梅吉は、重い足を引きずるようにして壇上に立った。そして20年に亘ったロータリー歴の最後の言葉を残した。「……創立以来20年を顧みる時、誠に感無量である。この間ロータリークラブが、いかに国家に貢献してきたか、その歴史は燦と輝いている。また、その間において幾度か有難い思し召しを戴いている。私の臉には、絵巻物の如くにそれらが彷彿として来る。私は只皆様方にお礼を申し上げ、自分の不行き届きの点をお詫びしたい。……1940, 9, 11」

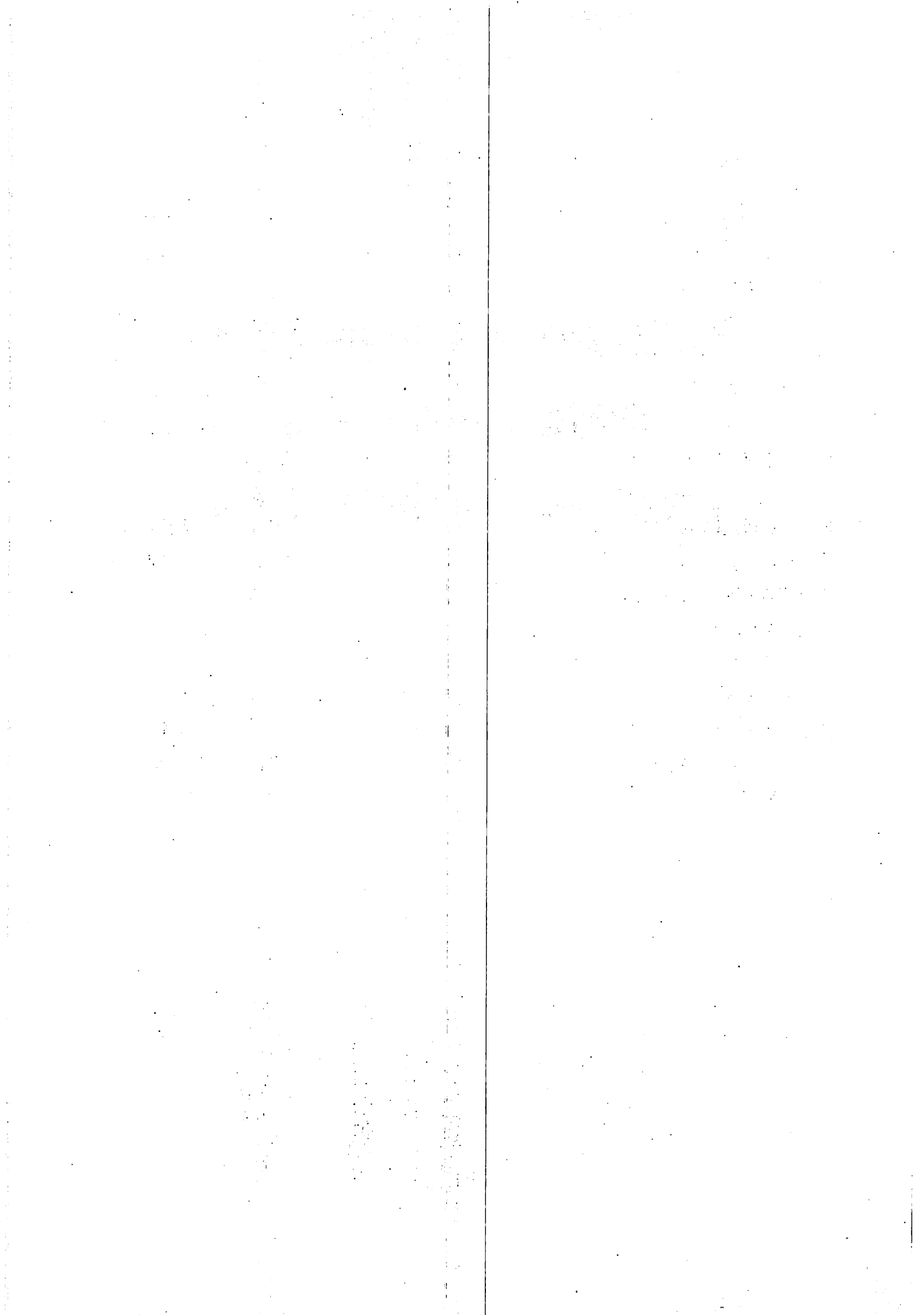
米山 梅吉 年譜

- 1868年 2月4日江戸・芝田村町に和田家の三男として和田梅吉生まれる。
- 1875年 静岡県駿東郡長泉村の栄雪舎入学
- 1881年 静岡県沼津中学校入学。
- 1883年 12月沼津中学校退学、向学の志やみがたく単身上京、銀座江南学校に入る。
- 1886年 東京府渋谷・東京英和学校入学。米人ニコール・バックにつき語学勉強。
- 1887年 同校退学、東京銀座福音会英語学校入学。同年駿東郡長泉村の米山藤三郎家に養子縁組、米山と改姓。年末渡米サンフランシスコ着。
- 1889年 サンフランシスコの福音会に寄宿、在米8年間に亘りベルモント・アカデミー、ウエスレアン大学、シラキューズ大学において修学、法学専攻。(年月不詳)
- 1893年 米国シカゴ世界博覧会において6カ月間、日本製品の説明係を務める。
- 1895年 帰朝。
- 1896年 東京博文館より小説『提督ペリー』を出版。米山はると結婚。日本鉄道会社入社。
- 1897年 三井銀行入社。
- 1918年 財政調査団に加わり渡米、テキサス州ダラスのロータリアンであった、福島喜三次氏宅で正月を迎える。ロータリー・クラブのことが話題となる。
- 1920年 福島喜三次とウィリアム・ジョンストンの応援を得て、10月東京ロータリークラブを創立(登録番号855)、初代会長となる。
- 1924年 日本の初代スペシャル・コミッショナー(地区のない時代のガバナーの代役)に就任。ロータリーの拡大に努める。
- 1926年 6月デンバーの国際大会にてRI理事に選ばれる。
- 1928年 7月満洲国を含む第70地区設定にともない初代ガバナーに就任。『ロータリーの創設者ポール・ハリス』翻訳出版。
- 1929年 7月ガバナー重任。米国テキサス州ダラスの国際大会に出席。
- 1933年 4月東京の第5回地区年次大会にRI会長代理として出席。
- 1934年 5月名古屋の第6回地区年次大会にRI会長代理として出席。
- 1935年 ポール・ハリス夫妻来日、歓迎挨拶。
- 1936年 『ロータリーの理想と友愛』翻訳出版。自著『常識関門』出版。
この年2・26事件を境にロータリーへの弾圧高まる。
- 1939年 7月第70地区を3地区に分割、日満ロータリー連合会結成、初代会長に就任。
- 1940年 大陸での戦火の拡大にともないロータリーに対する非難は一段と激しくなった。
ついに米山梅吉日満ロータリー連合会会長は、9月4日RI脱退を決議。
- 1946年 4月28日永眠、9月福島喜三次逝去。



北海道ロータリー史





札幌ロータリークラブの誕生

「東京クラブ幹事小林雅一は札幌を訪れ間宮脩治らと話し合ったが、小竹文次郎も加わり30名を得て、1932年12月3日井坂ガバナーを迎えて豊平館で札幌ロータリークラブは発会式を行い佐藤昌介を会長に選んだ。

そして1933年8月4日村田ガバナーを迎えてチャーター伝達式を豊平館で行い、晩餐会を公会堂で催したが会員家族ら128名が参会した。」と『ロータリー日本五十年史』は簡潔に述べている。この辺の経緯については札幌RC三十年の歩みに詳しいので、以下これを辿ってみよう。「札幌RCは東京RCのお世話によって誕生したのである。**日本のRCの創設者当時東京RCの米山前会長**が三井とも関係のあった**拓銀の間宮脩治君**を通じてRCを札幌に設立を慫慂せられたのにはじまり、米山さんの意を受けて、たまたま昭和7年8月**東京RCの名誉幹事であった小林雅一さん**の会社（内外編物）の**札幌事務所長の佐藤清君**に熱心とその設立を勧められ、小林さんの勧説によって間宮、佐藤両君が動き、これに**北門貯蓄銀行の小竹文次郎君**も加わって趣旨を説明し、同志を募ったのである。

小竹君らは大正時代から札幌に社交倶楽部を設立していて、市内一流の実業家を以て会合を随時して、一つには修養にもつくし一面明るい文化都市を築く努力もしていたことだし、また佐藤君は明るい性格の社交家で、柄のいい人達とともにゴルフの会をつくっていたことから、案ずるより産むが易しといった調子で、札幌市内における有力な実業家、専門職業人の人々を網羅して11月、30人の会員を獲得して、当時の第70区ガバナーと交渉の上、井坂ガバナーにお越しいただき、12月3日発会式をあげたのであった。



札幌ロータリークラブ創立総会 昭和7年12月3日

その日定款規約を制定し、会長以下役員を決定したが、初代会長には前北海道帝国大学総長であった当時北海道農会会長であった佐藤昌介男爵が推され、副会長には間宮脩治君、幹事には佐藤清君、会計に小竹文次郎君が就任した。一世の徳望を担った佐藤男爵の会長就任はよくクラブの充実を見たことであり、男爵の徳望は後に推されてガバナーともなり、札幌クラブをして日本並びに世界のRCに強く認識せしめたのであった。間宮君、佐藤君、小竹君は創設の功労者であり、特に小竹君は永く会計を歴任され、かつ第7代会長も勤められ、本会にとって忘れ難い人である。」

ここで札幌RCチャーターメンバー 30名の職業分類を見てみよう。

製造業 7、卸小売業 7、教育 5、土木・建築・不動産業 3、金融業 3、交通 2、報道 2、病院 1

見事にバランスのとれた構成である。因みに札幌商工会議所70年の歩みによれば、昭和5年札幌市の産業別人口比率は、有業者人口5万8,104人、無業者人口11万0,472人、農業3.7%、林業0.2%、水産業0.2%、鉱業0.5%、建設業5.1%、製造工業24.4%、卸小売業21.7%、金融・保険・不動産業2.0%、運輸交通業8.5%、公務9.3%、サービス業24.8%、その他0.7%となっているから、これに照らしても札幌RC創立の当事者がいかに苦心したかが偲ばれる。

また、同誌昭和5年の記述によれば、札幌市の人口は大正11年末12万7,040人であったのが、昭和5年末には16万8,576人となって33%の増加を示している。またこの期間において会社本店数は43社から68社へ、商事会社は大正11年の15社から73社に増加している。

昭和7年末札幌市の総人口17万6,390人、同年三越札幌支店が進出し、札幌駅西側の跨線橋の完成によって南北流通、諸産業も発展して札幌市の最初の勃興期に当たるかも知れない。

札幌市は元来他府県からの移住者によって開拓された街であって住民の連帯感も強く、街並みも整い始めてそろそろ地域社会に対する関心が深まりつつあった時期のようだ。

札幌RCは、良き人々を得て生まれるべき時に生まれた。

第1期（昭和7～昭和15年）

第1期は国際ロータリーの日本普及時代とそれに続くロータリークラブ解散に至る波乱の時代である。全国ロータリー普及の波は大きく、本道においても昭和8年12月小樺RC、昭和9年10月函館RC、同年同月旭川RC、昭和10年3月帯広RC、昭和11年10月室蘭RC、同11年11月釧路RC、昭和12年9月野付牛（北見）RCと相次いで道内主要地域にクラブが設立されている。

特筆されることは第70区（全国1区）5代ガバナーに佐藤男爵が就任されたことである。東京、大阪からガバナーが選出される前例を破ってまだ田舎都市であった札幌からガバナーを出すことは破天荒なことであって、もとより佐藤男爵のロータリアンとしての人

格識見もさることながら、歴代ガバナーの支援を受け先輩大クラブの支持をいただいたことは、札幌クラブが生みの親である東京クラブと常に密接な連携を保ち、チャーターナイトには東京、大阪、京都、名古屋、横浜等から多くの来客があり、北海道色豊かな行事と札幌RC会員こぞっての歓迎振りがすこぶる好評を博したこともあるが、その陰には幹事宮脇富の熱心なロータリー研究と持ち前の明朗な性格がロータリーの長老に親しまれ札幌RCへの好感となってあらわれたことも与って力があるだろうと札幌RC三十年の歩みの筆者は書き残している。草創期の会員のロータリーに対する関心の深さと熱き友情を読み取ることが出来る。

昭和8年4月、『札幌ロータリアン第1号』が創刊され、巻頭には「ロータリーの主義精神」が掲げられ、この創刊号は『札幌ロータリー倶楽部沿革史』に綴り込まれ、保存されている。

札幌RC最初のビジターは、昭和8年5月、東京RC河野寅三氏と記録されているが、当時は来客も少なく専らゲストスピーカーを招いて職業人としての研鑽に励み、会員増強にも努力したようだ。小樽RC発足以来同クラブから頻繁にビジターを迎えるようになり両クラブは懇親を増していった。



第1回北海道連合大会

第1回北海道連合大会は昭和10年10月26日札幌商工会議所講堂において開催された。朝吹ガバナー代理として芝染太郎氏、東京RCから北島亘氏らの名前がみえるが、議長佐藤昌介（札幌）、副議長伴房次郎（小樽）、同副議長佐藤潔（函館）、幹事宮脇富（札幌）、SAA岡田重次郎（旭川）錚々たる顔ぶれで熱心な論議が交わされ、全国に先駆けての地域連合会に朝吹ガバナーは賞讃のメッセージを芝氏に託している。



第1回北海道連合大会（商工会議所講堂） 昭和10年10月26日

芝氏は後に日満ロータリーの創立に大いに活躍し、昭和14年6月地区専任幹事として唯一人、日本ロータリーの生き残りをかけてクリーブランドのRI国際大会で熱弁を振るい、宮脇氏は昭和14年『国際ロータリー月報』1月号に第70区を日満ロータリーと改称して自治体とするを含む宮脇案を発表するなどロータリー史上最悪の受難期に大いに活躍、日本ロータリーRI復帰後も永年に亘って力を尽くし、文献の整備等、『ロータリー日本五十年史』に日本ロータリーの功労者としてその名を残した先達である。

北海道連合大会は第2回昭和11年10月25日函館、第3回昭和12年7月30日小樽、第4回昭和14年7月16日帯広と続くが、第5回は室蘭に内定と記されているが、詳細は残されていない。第4回と思われるが、日満ロータリー改組案につき札幌RCの提案により大会の態度決定が議され、各クラブの賛成を得たと記されている。

溯って昭和12年5月15、16日の両日第70地区年次大会が佐藤ガバナー主宰のもとに開催された。国際ロータリー特派員米山梅吉、パストガバナー井坂、朝吹両氏の名前が見られるが、『ロータリー日本五十年史』は、前夜懇談会200名に余る出席者が予定されたので午後2時から各クラブの4大奉仕の委員がそれぞれに集まって打ち合わせ会を開いたが、これが後に部門別協議会として大会プログラムに入れられたのであったと書いている。前日午後上野駅発ロータリアン特別列車を仕立てての札幌入り、札幌RCほか道内会員家族総出の歓迎にその盛會が偲ばれるし、大会会計中間報告は、大会登録料収入5,942円、ガバナー事務所補助1,000円、これに対し支出計8,400円、札幌RC会員負担1,500円とある。年次大会はこの札幌大会で9回目となるのだが、年々豪華になるのを嫌って札幌で質素にとの裏話は微笑ましい。

第70地区の設置

ロータリー普及の波は日本内地のほかに及び、昭和2年8月京城（ソウル）に、昭和3年11月大連、昭和4年奉天、昭和5年ハルビンに、次に満洲国の首都となった新京にも昭和9年ロータリークラブが設置されているのだが、昭和3年5月5日第3回日本ロータリー連合懇親会が名古屋において開催され、ここで地区設定の要望が強まって、当時の平生鈺三郎スペシャルコミッショナーはRI理事会に書状を送り、やや強引に日本は朝鮮、満洲をあわせて第70地区を構成し、昭和3年7月から発足した。これは後に昭和7年ホルルにおける第4回太平洋地域大会の席上、中華民國のロータリアンから苦情がでたがとりあげられなかったという。昭和6年の満洲事変をきっかけとして戦争は支那大陸に広がり、満洲国承認問題では昭和8年国際連盟を脱退、国家主義的傾向を強めてやがてロータリー暗黒の時代へと繋がるのである。

ロータリーの日本化・3区時代・日満ロータリー連合会の発足そしてRIから離脱 ――

日本ロータリーの進展は著しく、ロータリーに対する理解が深まるにつれ日本的にこれを咀嚼しようとする動きが見られる。昭和11年神戸における年次大会で「大連クラブのロータリーの宣言は日本文として適切にロータリー精神をあらわしているから、これを第70地区の宣言にしたい」との神戸RC直木太一郎の提案は、おりからの日本化問題に関連して思わぬ波乱をまき起こしたのであったと『ロータリー日本五十年史』は書いている。既に昭和10年5月京都で開催された年次大会でも、ロータリー運動の方向や、世界情勢に動かされて中央集権か地方分権かに悩む国際ロータリーの現況が前夜懇談会で語られたとあるのは、R.I.B.I.の前例もあること故のRIの苦悩を垣間見る思いである。

昭和13年8月比叡山に開催の地区協議会では、「ロータリーは現在のような中央集権を改め、各国それぞれの国情、風俗、習慣などを尊重し、自治的に分権して進めることが世界的浸透を得る途であるから機構をそのように改組する案を次の国際大会に提案する用意をしなければならない」という意見が出され、改組案研究会ができた。この時「これは、国家中心の全体主義の盛んになってきた日本において、何とかしてロータリーを守りたいという念願から出されたもので、米山梅吉自らその説明に当たった」とも書かれている。苦悩に満ちた選択であったろうし、この思いがRI離脱後も職能クラブまたは曜会としてロータリーの精神を受け継ぎ、ロータリーの復活に開花するのである。

昭和13年7月、東京丸ビルにガバナー事務所を開き、芝染太郎が専任幹事に就任、やがて日満ロータリー連合事務所となるのであるが、『国際ロータリー月報』を発刊し、『ガバナー月信』はこれにとってかわられることとなる。



第1回第70地区年次大会（京都）知恩院三門

札幌RC昭和13年8月31日例会記録に、宮脇幹事物資不足のため、栄光ある『札幌ロータリアン』は8月13日第63号を以て休止するを告げ、以後は西洋紙に謄写印刷を以て例会記録を残すのみとある。但し、『国際ロータリー月報』を購読して日本ロータリーの動向に留意したと記されている。

昭和14年6月のクリーブランド国際大会には、第70地区からR.I.J.M.設置案があわただしく用意され、Jは日本、Mは満洲をあらわすのだが、単身参加した芝染太郎は情勢判断の結果、大会に先だって行われる立法委員会において提案を撤回したのであったが、やがてRI理事会は、昭和14年度から第70地区を三つの地区に分割し、さらにその連合会を作る事を黙認して自治地域の適用を許した。

かくて、第70地区は三つに分割され、第70地区は名古屋以東の東日本の20クラブ、第71地区は西日本及び台湾の19クラブ、第72地区は朝鮮、満洲の3クラブとなり、この統括機関として日満ロータリー連合会を組織し、初代会長には米山梅吉が就任し、第1回年次大会を昭和15年5月5、6日に開催するが、やがて日本はロータリーを離脱し、これが最後の年次大会となった。

第2期（昭和15～昭和24年） RI 離脱から戦後まで

日満ロータリー連合会が陣容を整えるに時間を要し、その間国際ロータリーとの関係について会員のすべてに徹底することは困難であったし、例会に憲兵や警察の特高がしばしば出入りする事態に及んで混乱は避けられず、国民生活も窮乏の度を加えフリーメイソンとの混同、インターナショナルの呼称に対する警戒心が高まり、第71地区の一部に国際ロータリーから離脱する動きも見受けられるに至った。



第1回日満ロータリー連合会委員会 東京会館に於いて
右より 米山、松本、朝吹、森村、貝瀬、里見、井坂、大澤

8月14日の日満ロータリー連合会の協議で一応ロータリーを存続する決議を行ったにも

かかわらず翌月4日の委員会で国際ロータリーから離脱を決定して連合会を解散し、これに代わる新しい団体を再組織することに決し、米山梅吉はロータリークラブを解散することとし、新団体の創立委員25名を指名した。

長老パストガバナーを中心に、東京、横浜、仙台、京都、大阪、今治、京城、平壤、奉天、新京各クラブから委員を指名し、札幌RC宮脇富がこれに加わっている。更に宮脇を合む7名の新定款起草委員を選出して、9月25日新団体結成発起人会を開催し、米山梅吉司会のもとに検討を加え、表人定款を決定した。新団体の名称についてはいろいろな案がでたというが、結局「七曜クラブ連合会」といったものになったがこの連合会の運営は記録も残されておらず明瞭ではない。

第3期（昭和24～昭和44年）

昭和24年に東京・京都・大阪・名古屋・神戸・福岡・札幌の順序でそろって、国際ロータリーへ復帰をした。そしてこの7クラブで第60地区を形成することになり、初代ガバナーには東京クラブの手島知健氏が選ばれた。以下復帰以後の20年間を年譜で振り返ることとする。

1949(昭和24年) 3月 待望のロータリー復帰承認される。

5月 日本ロータリーR160地区に指定。初代地区ガバナーに手島知健選任。

1950(昭和25年) 4月 復帰後第1回の第60地区年次大会を京都に開く。

6月 “Service above self” “He profits most who serves best” 共にロータリー標語として公式に認められる。

1951(昭和26年) 6月 道内7クラブによる第1回インターシティ・ゼネラル・フォーラムを札幌にて開催。シニアアクティブ会員になる資格年限20年を15年に改正。



第60区年次大会
大会第1日 上野精養軒にて

- 7月 RI加盟認証番号制を廃止。
- 1952(昭和27年) 4月 「手に手つないで」(矢野一郎作詞/作曲) 他Rソング入選発表。
- 7月 第60地区を分割、第60地区および第61地区の2地区となる。
- 1953(昭和28年) 1月 『ロータリーの友』創刊。
- 7月 第60地区ガバナー宮脇富就任。地区年次大会を札幌で開催(9月)。
- 1954(昭和29年) 8月 新築中のRI中央事務局完成、エバンストンに移る。
- 10月 「四つのテスト」の邦訳、本田親男の応募訳入選決定。
- 1955(昭和30年) 5月 RI創立50周年記念国際大会をシカゴにて開催。
- 7月 全国4地区に分割、第60地区、第62地区、第63地区、第64地区。
- 1956(昭和31年) 7月 全国各地で1日研修会実施。
- 11月 ロータリー財団週間を年中行事として実施決定。
- 1957(昭和32年) 7月 日本ロータリーを5地区に分割、新たに第350地区、第355地区、第360地区、第365地区、第370地区となる。
- 1958(昭和33年) 3月 世界理解週間を制定。
- 1959(昭和34年) 7月 第365地区および第370地区の地域を整理分割し、新たに第368地区を新設。全国6地区となる。
- 1960(昭和35年) 2月 初代RI幹事チェス・ペリー逝去。
- 1961(昭和36年) 5月 国際大会東京に開かれる。参加74カ国より23,366名、新記録達成。
- 1962(昭和37年) 1月 『ロータリーの友』創刊10周年を迎える。
- 1963(昭和38年) 1月 Matched District, Matched Club 計画実施。
- 6月 仙台に日本初のIAC誕生。
- 11月 ポール・ハリス未亡人Jean Harris 逝去。
- 1964(昭和39年) 3月 ロータリー文献東京事務所開設。
- 6月 新クラブ結成の最少人数を25人より20人に改める。
- 1965(昭和40年) 6月 ロータリー財団にGSE制度を制定。
- 1966(昭和41年) 10月 新たに『職業分類指針』“Guide to Classification” 発刊。
- 1967(昭和42年) 1月 次期RI会長に東ヶ崎潔氏を指名。
- 1968(昭和43年) 1月 ローターアクト計画ホッジス会長より正式発表。
- 7月 米山記念奨学会財団法人となる。
- 1969(昭和44年) 3月 東ヶ崎潔RI会長夫妻来道、札幌市内5RC合同歓迎例会。
- 6月 日本ロータリー復帰に尽力したミーンズRI事務総長夫妻を歓迎して札幌市内5RC合同例会。
- 7月 ガバナー援助のために地区に地区幹事、地区会計長を設ける。

- 9月 静岡県三島郊外に米山記念館竣工。
- 10月 IAC、RAC、青少年活動を一括し、青少年活動週間を設定。

第4期（昭和45年～平成8年）

1970（昭和45年）から1996（平成8年）までは、ガバナー編、クラブ編に詳述されているが、第3期に倣って、地区内外の身近なロータリーの動きを拾ってみたい。

1970（昭和45年）3月～9月 大阪万国博会場に、ロータリー例会場を設置。期間中出席者総数は家族ビジターを含め23,300名に達した。

- 6月 規定審議会を立法機関とする。
- 7月 北海道を二分割、当地区番号は351となる。

1971（昭和46年）1月 第350、351地区IA連合年次大会を札幌で開催。

- 4月 米アイオワ州、597地区よりGSE 7名を受け入れる（第1回）。
- 6月 『ロータリー日本五十年史』発刊。

1972（昭和47年）2月 札幌冬季オリンピックセンターを札幌グランドホテルに設置、内外ロータリアンを集め記念インターシティ・ミーティングを開催。

- 2月 スチュアートRI事務総長就任。

1973（昭和48年）1月 『ロータリーの友』創立20周年記念論文入選者発表。

1974（昭和49年）6月 規定審議会で、区域限界を同じくする2つ以上のクラブ結成とRI人頭分担金半期6ドルを決定。

- 8月 豪サウスウエルズ州、965地区よりGSE 6名を受け入れる（第2回）。

1975（昭和50年）2月 RI創立70周年を記念して『ロータリーの世界』を刊行。

- 5月 『ロータリーの友』英語版創刊。

1976（昭和51年）10月 マンチェスター RI会長夫妻来道。北海道、東北5地区連合年次大会を札幌で開催、参加者4,620名は当時世界最大の年次大会。

1977（昭和52年）7月 地区番号が300番台から200番台に変更、当地区は第251地区となる。

1978（昭和53年）2月 沼津で米山梅吉翁生誕110年記念式典挙行。

- 5月 第69回東京国際大会、参加95カ国、40,155名は史上最高。

1979（昭和54年）1月 RI事務総長にピグマン氏就任。

- 10月 「職業奉仕週間」新設される。

1980（昭和55年）2月 ロータリー創立75周年。

- 10月 クラリッヒRI会長夫妻来道、札幌・札幌真駒内両RC歓迎合同例会を開催。

- 1981(昭和56年) 3月 RI事務局、日本支局を開設。
- 1982(昭和57年) 7月 向笠広次日本人として2人目のRI会長に就任。
- 1983(昭和58年) 3月 モナコ・モンテカルロ規定審議会で人頭分担金値上げ。
7月 ロータリー特別週間が特別月間に。
- 1984(昭和59年) 7月 当251地区で7分区制度を11分区制度に改編。
- 1985(昭和60年) 7月 ポリオ撲滅プログラム発表。
- 1986(昭和61年) 2月 ロータリーの会員数100万人を突破。
7月 北海道で初めて伊藤義郎会員(札幌RC)がRI理事に就任。
- 1987(昭和62年) 4月 マット・カパラスRI会長夫妻来札、市内10RC合同歓迎例会を開催。
- 1988(昭和63年) 3月 チャールズ・ケラー RI会長夫妻来札、札幌・札幌真駒内RC歓迎合同例会。
- 1989(平成元年) 1月 シンガポール規定審議会で女性の入会をクラブの裁量とする旨票決。
- 1990(平成2年) 7月 ロータリー環境保全デーを新設。
- 1991(平成3年) 4月 ポリオ・プラス募金終了、日本47億円。
7月 ロータリーの地区番号4桁に変更。
- 1992(平成4年) 2月 札幌東RC関西以北で初めて「はまなすプロバスクラブ」を設立。
- 1993(平成5年) 7月 北海道南西沖地震発生、地区内会員1人当たり2,000円の義援金。
- 1994(平成6年) 1月 第2680地区阪神大震災義援金、1,000万円送る。
- 1995(平成7年) 3月 RIアジア第1・第3ゾーンRACT研修会を会津若松市で開催。
- 1996(平成8年) 2月 ポール・ハリス没後50周年、記念行事として地区史編纂委員会を設置。

 **第5期 (平成9年～現在)** 

- 1996(平成8年) 7月 新世代のためのリーダー会議。
9月 上磯RC設立。
- 1997(平成9年) 2月 長野オリンピック(2600地区)協賛。
7月 「新世代のための月間」に改称。
10月 ロータリー研究会(竹山RI理事)。札幌清田RC設立。
- 1998(平成10年) 4月 米山梅吉記念館新館落成。
12月 米山奨学学友会(北海道)設立。
- 1999(平成11年) 3月 札幌インナーホイールクラブ設立。

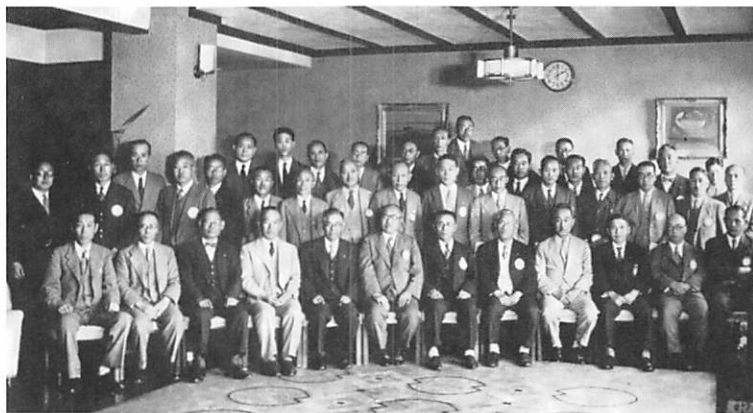
- 2000(平成12年) 3月 有珠山噴火・洞爺湖RC活動停止。
7月 地区インターネット・コミュニケーション役員・ガバナー補佐制度。
- 2001(平成13年) 5月 財団学友会設立。
6月 米山奨学金大学推薦制度。札幌大通公園RC設立。
山の手IAC・函館大谷IAC設立。
7月 DLP開始・一業種一会員廃止・地区大会秋開催。
- 2002(平成14年) 4月 札幌セントラルRC設立。
- 2003(平成15年) 10月 3220地区(スリランカ北部)に中古自転車寄贈。
12月 「家族月間」創設。
- 2004(平成16年) 6月 大阪(関西)国際大会。
7月 ガバナーノミネー 2名選出。
10月 韓国3700地区姉妹地区締結。
- 2005(平成17年) 2月 ロータリー 100周年。
7月 ガバナー事務所固定化。
函館セントラルRC設立。
- 2006(平成18年) 12月 上磯RCが北斗RCに名称変更。
- 2007(平成19年) 6月 全日本ロータリークラブ親睦合唱祭(Kitara)。
- 2008(平成20年) 4月 千歳プロバスクラブ設立。
- 2009(平成21年) 6月 第100回国際ロータリー年次大会(バーミンガム)。
7月 そらぶちキッズキャンプ支援。
- 2011(平成23年) 3月 東日本大震災義援金。
6月 小平RC脱退。
- 2012(平成24年) 4月 最後のGSE(1840地区・ドイツ)。
国際ロータリー日本青少年交換研究会札幌会議。
7月 田中作次RI会長・未来の夢計画。
- 2013(平成25年) 6月 札幌あけぼのRC脱退。
- 2014(平成26年) 6月 札幌セントラルRC脱退。
- 2015(平成27年) 地区史発刊。

戦時下の各クラブの活動

札幌ロータリー倶楽部

札幌ロータリー倶楽部解散

札幌RCはスポンサー東京RCとの密接な連絡を絶やさず、東京RCにおいて昭和15年9月11日臨時総会を開催して「日満ロータリー委員会」が決定した日満各地のロータリークラブを解散すると共に新組織に再編成する方針のもとに仮に水曜倶楽部として例会を継続することになった旨が伝えられた。



第389回（最終）例会記念 昭和15年9月28日

札幌RCも再編成の意を以て努力し、9月28日先ず札幌RC解散の運びとなり、この日をもってする決算報告を行い、記念撮影を終え、記念品をそれぞれに頒った。

昭和15年11月20日新組織準備委員はここに至る経緯を説明し、準備委員会で内定した新組織の名称を**札幌職能倶楽部**とし、規約、内定を逐条審議、全員賛成のもとに決定した。

札幌職能倶楽部初代会長宮脇富はつぎのとおり挨拶して会員の自重を促している。**札幌職能倶楽部**は、要約すれば会員相互の親睦を図り、会員各自の職能により公益有先の実をあげ臣道実践に勉めるにある。倶楽部は決して政治的な目的を持つものでなく、全く忠良なる臣民としての修養の道場たらしむるものである。

会計年度も1月～12月と改め、規約の中に特に外国人の入会を認めぬことを謳ったのは、軍、警察との紛雑を避ける含みであったと記録されている。

これより後、例会の記録は個人的日誌、メモ等に拠るほかないが、例会を継続していたものと思われ、昭和18年12月2日例会の記事に、次年度から名称を**札幌水曜会**と変更され

た旨記録され、現に保存されている昭和19年1月の会員名簿は札幌水曜会会員名簿として印刷されている。この時会員数は52名。

巻末には各地同種会として、小樽火曜倶楽部、函館職能協議会が掲載されている。この時東京は水曜会である。改称の背景は判然としないが東京になったものであろう。定款には変更が無いと記録されている。かくして、札幌水曜会の名のもとに例会を続けていたが、昭和21年6月25日例会において、7月から札幌ロータリー倶楽部の旧名に戻して定款昔のままとする決議がなされた。因みに、昭和21年7月～22年6月期間の決算報告は札幌ロータリー倶楽部の名において印刷されている。

復帰を願う熱意がよく表れているのだが、正式復帰にはまだ日を待たねばならなかった。

昭和22年初頭から、東京水曜会を中心としてロータリーの復帰を願う声が全国的に高まり、同年3月には各地曜会の有志が東京に集合、遠くは札幌からも参加して、「ロータリー復帰協議会」を結成、7月には戦前のロータリークラブで現在も例会を継続しているもの17、その会員数1,050名との調査もあって念々復帰の機運は昂まった。

折しも昭和23年9月にはRI中央アジア駐在員としてボンベイに在ったジョージ・ミーンズが来日し東京、神戸、大阪の曜会に出席して日本の状況を視察、復帰には努力するがそれまではロータリーの名称や徽章の使用を慎むよう助言して帰米、札幌ロータリー倶楽部はロータリー復帰協議会と緊密な連絡のもとに、昭和24年3月30日臨時総会を開催して、国際ロータリーに復帰するため札幌水曜会を解散し本部の承認を得るまで札幌仮ロータリー倶楽部を創設する旨の決議を行った。

先の決議に基づき創立委員7名に宮脇富名誉会員を加えてチャーターメンバーの選考を始め創立の準備を進め、昭和24年4月20日シカゴ本部特派のミーンズ副幹事、手島ガバナーが中心となってチャーターメンバーの査閲を行い、予定者50名から45名を確定し、同日午後には創立総会開催の運びとなった。

続いて22日、ミーンズと手島ガバナーは小樽に赴き、56名の会員と懇談したと記録されている。これは間もなく、小樽ロータリー倶楽部の復帰へと繋がるのである。

札幌ロータリー倶楽部再承認

昭和24年5月2日付を以て再承認された旨シカゴ本部からの電報を受領し、5月4日の例会で会員一同大いに祝意を表した。チャーター番号は、特にまえと同じ1621Bである。

因みに、この時期に復帰したクラブは、東京、京都、大阪、名古屋、神戸、福岡、札幌の順に7クラブである。

ここに北海道ロータリーは念願の復帰を果たし、苦難の時代を終えて一途に発展へと向かうのである。



国際ロータリー復帰チャーターナイト 昭和24年9月

小樽ロータリー倶楽部

小樽ロータリー倶楽部解散

昭和15年12月17日、旧小樽ロータリークラブの解散式を海陽亭で行う。なおほぼ一ヵ月前、札幌職能倶楽部（旧札幌ロータリークラブ）が発足している。昭和16年1月21日、小樽ロータリークラブの旧理事らの努力により、『小樽火曜倶楽部』の発会式を挙げる（会員数43名）。昭和15年を契機に、国際政局の緊迫、わけても日米関係の悪化に伴い、軍部の強制的な圧迫でロータリークラブが解散の悲運に遭い、日本全国から消え去ったのである。

小樽ロータリークラブの慈父であり、チャーターメンバーにして52年の永きにわたり在籍した坂牛PG（昭和62年没、享年97歳）は当時の状況をこう回顧している。

『…会長を務める事になったが、決して快適な役割ではなかった。戦時中の事ゆえ軍の命令は勿論、その意向さえも至上命令であった。表向き何の批判も出来なかった事は、人権の尊重、言論の自由を享有する世界の民主主義国家の人々には、容易に理解できなかったかも知れない。しかし現実に憲兵隊の冷たい監視を受けながらただ虚ろな例会を続けていたというだけで、真に満たされることの無い、限りない悪夢の毎日であった。』

『小樽火曜倶楽部』の例会はどうであったか

道内の他のクラブでは、当局の圧迫に耐え切れず解散したところや、余りの面倒臭さと、事なかれ主義から軍部に迎合し、その結果雲散霧消したクラブさえあった。しかし、これも時局がら強引な圧力には抗しがたいものがあったようだ。

小樽火曜倶楽部では特に次の三項目を特高・憲兵隊から念を押されている。

- ①名称。内容の如何に関わらず、速やかに解散せよ。
- ②どうしても継続というなら、例会ごとに許可願いを出せ。
- ③書類、特に発信・往信はその都度事前に提示せよ。

特に③は例会ごとの出席者名簿と、例会内容の報告であるからとても煩雑で、耐えうるものではなかった。また、国際奉仕などとんでもないことで、会則の目的事項から外してしまった。

宮城遥拝・愛国行進曲の斉唱・皇軍の武運長久祈願・戦没将兵に対する黙禱などは、この時局に色濃く反映している。

戦局が苛烈になると同時に、また敗戦へと大きく軸がグラリと傾いていくのにしたが、極端に記録が少なくなっていく。特に昭和19年～20年の記録は10項目にも満たない。

しかし『小樽火曜倶楽部』としての例会はキチンとやり通している。会合の中止は、ロータリークラブの解散から火曜倶楽部へ移行した混乱期で、これは全国の各クラブとも当然の事である。それと終戦時会場が進駐軍に接收されホテルの営業を停止された時のみで、しかしこれとて次週には例会場を移し再開している。結局僅か4～5回の中止となっている。しかも出席督促は厳しく常に80～90%台を維持しているのである。当時の未曾有の混乱期と軍の圧力の中で万難を排し例会続行を頑張り通した会員にとって、復帰間近しの感触を得たことに、一同欣喜雀躍したことは、かろうじて残された僅かな断片的な記録を見ても、十分に伝わり胸が痛む。

前述の坂牛PGはこう言っている。

『…精神的な目的を持った人と人の繋がり位い、強い結合はない。迫害に遭う度に益々強くなる信仰の様なもので、一度会員の胸底に深くしみ込んだロータリーの良さというものは抹消されるどころかかえって如何にしてロータリーの会合を持ち続けたいという熱望から…』これは強制的に解散させられ、火曜倶楽部を創らざるを得なかった時の述懐である。

それでは復帰前後はどのような状態であったか、断片を繋ぎ合わせてみる。

戦時中はどこでもそうであっただろうが、当倶楽部でも**金属類抛出が提議**され満場一致で可決されている。その結果、銅製の立派なゴングを供出している。供出代金が80何円支払われたというから、それは見事なものだったに違いない。

昭和20年7月31日、外食券発行に伴い、**例会の食事**をいかにすべきか、緊急理事会が開かれている。その結果各自おにぎり持参で、おかずはホテルからとしている。ちなみにこの時の食費と会場費、税金など一切を含めた金額は会員42名で、一人あたり3円40銭位になっている。終戦後極端な食料逼迫の中、食事は各自済ませてから、という時もあったが、食事ナシの例会は意味が無いということで、無理をして主食を持参している。海宝麺・冷

凍ホッケなど。またトドのステーキの臭さには実際参ったと書かれている。

昭和20年 8月15日（終戦）

10月 2日（例会場進駐米軍使用のため休会）

10月 9日（理事会を開き、別会場を確保している）

10月16日（例会再開、なお応召した会員4名とも全員無事に帰還している。
会員42名）



函館ロータリー倶楽部解散

函館RCは、原忠雄の会長時代、1940年9月5日第314例会を総会に変更しクラブ解散の決議をしたが、引き続き会名を“**函館職能協会**”と改め、会員、役員、委員、組織および機能等一切を函館RC時代その俣に踏襲、9月12日第1回例会を開き、その後毎木曜日開会して依然クラブ活動を続けた。

函館職能協会と改名するまでは、極度に不当な軍部、官憲の弾圧を受けたが、全会員が元来市内で信用の高い名士ばかりだったので、改名後はさしたる弾圧もなく、ただクラブ員が辛苦の末1938年に完成したクラブハウスが海軍に接收されるとか、ことあるごとに軍部、官憲から無理と思われるような多額の寄付金を強いられるものの、関係は表面スムーズとなり、また、クラブ活動も、従軍者への慰問袋の発送、傷病兵、軍属、留守宅、戦災孤児、戦争遺族の救護慰問、戦没英霊の弔慰、防空自衛の強化等に重点が移ったのは、戦時下の国民として祖国に尽くす当然のことであった。

しかし、戦局がいよいよわが国に不利となり、全土が米国の烈しい爆撃をうけるようになって、函館市もまた1945年7月14日空襲をうけ、青函連絡船が全滅し、市街の一部が類焼破壊するにおよび、同年8月2日から例会を中止するにいたった。

そして、その年の8月15日終戦となったのであるが、協会はいちはやく1945年10月3日、協会長登坂良作君の名で、会員にクラブ再興の通告を發し、当時の極度な食糧難をおし、11月1日から番茶で初の例会を開き、1946年4月17日には公然“**函館ロータリークラブ**”と改称、食糧難がいよいよ厳しいので隔週木曜日に例会を開くことにしたが、7月4日からは、各自弁当持参ということにし、毎週開会に踏み切った。

東京RCがその頃呼びかけたRI復帰運動に即応協調したのはもちろんで、1949年復帰に対する情勢好転とともに、東京RCの指示とスポンサークラブ札幌RCの指導により、同年

4月、一時“函館木曜クラブ”と仮称して復帰の手続きを終え、6月2日の定時総会で再び“函館ロータリークラブ”準備会と名称を還元したのであった。

1949年3月から5月までの間に、まず東京、京都、大阪、神戸、名古屋、福岡、札幌の7クラブが復帰し、この7クラブがスポンサーになって各都市のRCが相次いで復帰したが、函館RCは、通信上の手違いから多少時期が遅れ、同年9月8日函館仮RCとして再出発し、1949年9月16日全国中16番目にRIから再チャーターされた。

チャーター番号は戦前通りの第3747号であった。



函館職能協会時代の会員増強



国際ロータリー復帰チャーターナイト 昭和24年9月

創立以来第314回の例会をもって1940年9月5日解散したクラブは、翌週9月12日に函館職能協会の第1回の例会を開催している。換骨奪胎の新発足は名称を変更しただけで総ての機能もロータリーと殆ど変わりなく、年度が1月から12月と改正されただけであった。注目する点はクラブ運営の重点である増強も常に行われていたことである。その年の11月には早速新会員の入会が行われている。因みに函館職能協会時代迄の雌伏9年に亘る隠れキリシタン時代に56名もの新入会員がいる。転勤その他の理由で退会した会員は62名。さてこの函館職能協会時代に入会された会員は、単なる協会会員であったのだろうか。名称は職能協会であったが、皆立派なロータリアンであった。開戦そして敗戦、ロータリーの復帰、国家の復興すら覚束ない時代の中で、脈脈として受け継がれたロータリーの哲学を慕って入会されたのであろう。我々は今この先人達に心からの敬意を表して先輩と呼んでいる。名称はロータリアンではないが、我がクラブを支えそしてロータリーを伝承してくれた会員であるからです。この人達があったればこそ、1949年9月16日全国で16番目にRIに再認証された。まさにロータリーは世代を越えて継承され受け継がれていることの実証である。

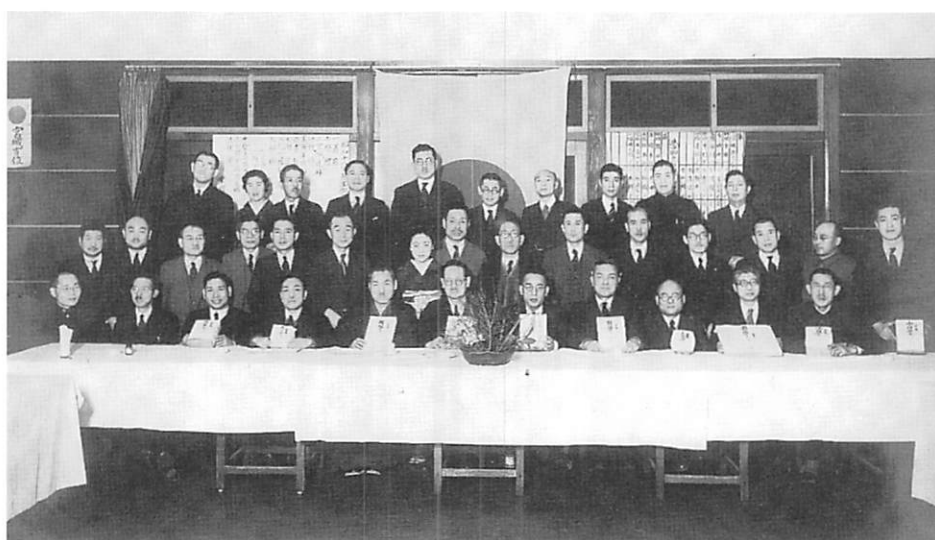
戦時下においては、室蘭は重要軍需産業港湾であり、ロータリーの主要構成メンバーは、製鉄、製鋼、造船、海運等のトップであり、きびしい統制下におかれた。また市街中心は建物疎開され、中国人労務者の強制労働、捕虜収容所の外国人に対する処遇問題－収容所長の平手嘉一大尉は戦後絞首刑となった－などがあり、室蘭市や商工会議所の発行した市街略図ですら発行禁止とされる様な、情報、言論、思想、宗教の圧迫下であり、戦争末期には空襲、艦砲射撃によって500名を超す死傷者を出すなど、ロータリーの存続し得る余地はなかった。

当然昭和15年の第5回北海道連合大会は返上した事と思われるが、記録は残っていない。

且つ創立会長の栗林徳一翁、戦前のチャーターメンバーの小林秀光会員、鈴木栄会員をはじめ、長老会員がすべて故人となられて、この時代を知る事が出来なくなった。

わずかに「室蘭ロータリークラブ25年のあゆみ」に故栗林徳一氏が、「1940年（昭和15年）室蘭ロータリーは『室蘭経済懇談会』と改称して臼井邨三郎氏が会長となり、私（栗林）は室蘭商工会議所会頭を兼ねていたので、商工会議所の外郭団体として統制経済下の地方産業界に友愛精神を注入することにつとめた」と述べているのと、「奉仕の50年（室蘭ロータリークラブ50年史）」の座談会において、栗林、小林両氏が、㊦百貨店（現プリンスホテル）の応接間で木曜日に例会を開き、鈴木要吉さん（室蘭毎日新聞）がよく卓話をした」との記事が残るのみである。

昭和25年12月15日、国際ロータリー復帰。全国より53名の参加者を迎え、チャーターナイトを、翌26年6月14日洞爺湖温泉にて伝達式を行っている。



室蘭経済懇談会時代（昭和18年）

参 考 文 献

- ポール・ハリス “ロータリーの理想と友愛” (米山 梅吉 訳)
- ポール・ハリス “ロータリーの創始者ポール・ハリス” (米山 梅吉 訳)
- 笹部 誠 “ロータリーあれこれ”
- ガイ・ガンディカー “ロータリー通解” (小堀 憲助 訳)
- Oren Arnold “The Golden Strand”
- Paul Harris “My Road to Rotary”
- ハロルド・トーマス “ロータリー・モザイク” (松本 兼二郎 訳)
- James Walsh “The First Rotarian”
- 蒲原 権 “福島喜二次伝”
- 小堀 憲助 “ロータリークラブ”
- 小堀 憲助 “ロータリー思想の理論構造”
- 小堀 憲助 “ロータリー発生史”
- 内田 稔 “無我の人 米山梅吉”
- 青森北東クラブ “米山梅吉翁と青森県”
- 米山 梅吉 “常識関門”
- 森 光繁 “ロータリーの本”
- 直木 太一郎 “ロータリアン読本”
- ロータリー日本五十年史
- ロータリー日本六十年史
- 東京ロータリークラブ50年のあゆみ・東京ロータリークラブの70年
- 大阪ロータリークラブ50年史
- 函館ロータリークラブ25年史・50年史
- 札幌ロータリークラブ30年の歩み・40年の歩み・50年の歩み・60年の歩み
- 室蘭ロータリークラブ創立60周年記念誌 1936-1996
- 日満ロータリー月報
- 奉仕の50年 室蘭ロータリークラブ
- 1970～2014 ロータリーの友
- 1936～2014 ガバナー月信
- 1977～2014 地区要覧
- 1970～2014 地区年次大会記録誌
- 1970～2014 地区協議会記録誌
- 口絵写真 ポール・P・ハリス (奉仕の冒険)
米山 梅吉 (米山 梅吉 傳)

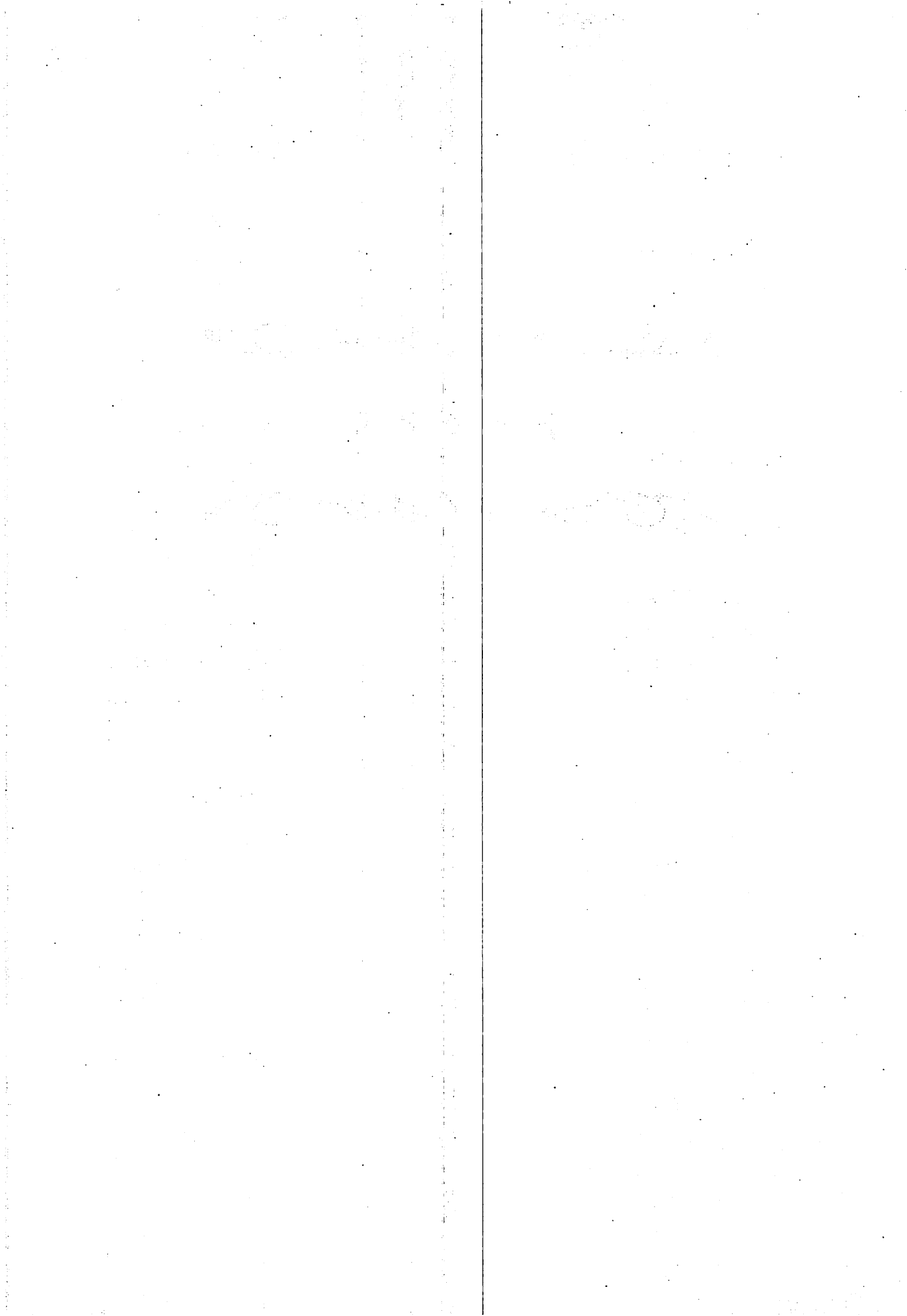
Faint, illegible text on the left side of the page, possibly bleed-through from the reverse side.

Faint, illegible text on the right side of the page, possibly bleed-through from the reverse side.



トピックス





前地区史から現地区史までの18年間を回顧する

2510地区2005-2006年度 PDG 塚原房樹

当地区の地区史の初版は、野口ガバナー年度の1996年に発刊されました。このたびの増補版の出版は、羽部ガバナー年度の2014年です。実に18年の歳月が経過しました。その間、国際ロータリーを中心とするロータリー運動の著しい変化は隔世の感があります。主な変化を振り返ってみます。

1. 会員数の減少

まず最大の話は、会員の減少です。当地区の会員数は奇しくも前・地区史を発刊した1996年の4,254人がピークでした。それが現在2014年7月はクラブ数70、期首会員数は2,497人、ピーク時の60%を切ってしまいました。

日本全国でもピーク時は1996年の13万人でしたが、現在8万8千人に減少しました。なぜ会員は減少したのでしょうか。ロータリーを取り巻く環境の変化が挙げられます。国内では規制緩和により個人経営者や中小企業は不利になり、特に1992年大店法が改正され、日本中の商店街がシャッター通りと化したのが大きな原因です。地域の商店主や中小企業の方々は、それぞれの地域の中の優秀なロータリーの構成員でありました。また情報社会への移行は、先進国では工業化社会(物づくり)の終焉を意味し、中小企業の数が増減しました。

世界的にみると、先進国の会員数の減少が目立ちます。

ちなみに2013-14年、会員数が最も減少した国は、アメリカが58,481人減で(-15%)、次いで日本の23,248人減(-21%)、イギリスの7,743人減(-16%)、となっています。

しかしインドとアジアの多くの地域では会員数が増加しています。インドは34,068人増(+38%)、韓国12,671人増(+26%)、台湾7,567人増(+49%)と活発に成長しています。

これらの地域、特にインドでは、ロータリーは人々の関心を集めており、大きな存在感をもっています。アメリカやヨーロッパよりも平均年齢が若く、クラブは活気に満ちていて、ロータリアンになることは名誉で重要なことだと考えられています。RIは会員増強にあれこれ知恵を絞っています。

いずれにしても会員増強は過疎化が進む我が地区にとっても現在の焦眉の問題です。

2. ロータリー運動の目的の変化

ロータリアンの目的は、綱領(ロータリーの目的)の推進にあります。それは職業を通じての奉仕にほかなりません。職業奉仕は長らくロータリーの主概念でした。しかし近年、ロータリーの目的は職業奉仕から人道的奉仕に変わりました。ロータリーは世界最大の

NPO団体であるといっばからないRI会長もおられました。ロータリーはもともと「個人奉仕と精神的奉仕」を標榜する団体でした。それが最近、「団体奉仕と金銭奉仕」を主体とする団体に変身してしまいました。もともとライオンズクラブは創立の時から、「団体奉仕と金銭奉仕」を目的とした団体でした。先見の明があったのでしょうか。ロータリーも「奉仕の理想を求める運動」から、広報・宣伝を主体とする社会奉仕団体となりました。

また現在の経済社会は国際化に伴い、企業の合併、買収、巨大化が進み、これらはロータリーの古典的職業奉仕観では対応しきれなくなりました。ロータリーの職業奉仕は啓蒙思想としての限界を迎えました。人間の欲望は自由に解き放す、その代り不正は徹底的に完膚なきまで叩くという、こういう警察国家ではロータリー的な寛容や倫理は単なる観念論にすぎません。だからRIとしては職業倫理などという問題はもう司法に委ねる以外ない、市場は市場の監視と規制に任せてロータリーとしては人道的事業に専念するのが最も効率的な道なのだ、そのためにはやはり会員を増やし財団の資金を増やさねばならぬということになりました。

RI職業奉仕委員会は古典的・啓蒙的職業奉仕論に変えてCSRとISOの採用を推奨しています。CSRとは企業の社会的責任“Corporate Social Responsibility”のことでISOは人権の社会的責任規格“International Organization for Standardization”のことです。RIは現在のロータリアンや新世代に職業奉仕の説明をするよりISOを活用したほうが理解されやすいと考えています。RIは従来の職業奉仕を「貴重な歴史的資料」として保存するにとどめたいという意向です。

3. DLP CLP 戦略計画 未来の夢計画

1996年2月 RI理事会は「地区リーダーシッププラン」(DLP)を採用しました。委員会の構想する地区管理機構案は、以前ならガバナーだけが遂行するものとされてきた任務をガバナー補佐への委任を認めるものでした。

またその基本概念をクラブ・レベルに適用するため、RI理事会は、2004年11月の会合で、効果的なロータリー・クラブの管理の枠組としてクラブ・リーダーシップ・プラン (CLP) を採択しました。

CLPにより推奨ロータリー・クラブ細則を改正されました。改正された細則は、四大奉仕部門をクラブの活動の「理念および実践の枠組」とし、新規のクラブ委員会(会員増強・退会防止、広報、クラブ管理運営、奉仕プロジェクト、ロータリー財団)を常任委員会として設置することを推奨しています。そして新たに戦略期計画と未来の夢計画が導入されました。

RIの戦略期計画“Strategic Plan”は、より「存在価値のあるロータリーを目指した計画です。同様に、未来の夢計画“Future Vision Plan”も「ロータリー財団のあるべき姿

を目指した長期計画」です。RIは効果的なクラブ実現のためにこれらの運動を現在強力に展開中です。

4. ネット革命 Eクラブ 衛星クラブ

フランク・デブリン会長（2000-01）はインターネットの利用をロータリアンに強く要されました。今や、ロータリーの通信手段としてネットが主役となり、ネット抜きのロータリーは考えられません。当初違和感のあった、インターネット上で例会を開くEクラブも、すっかり定着してその数を増やしています。

クラブ会報も、会合もネットを利用するクラブが増えています。

衛星クラブは、親クラブの代替的な例会の時間と場所を提供するものとみなされます。衛星クラブは公式の独立したロータリークラブではありません。

衛星クラブは2011-2014 年度国際ロータリー試験プログラムで、ひとつのロータリークラブが一週間の間に異なる場所、曜日、時間に、複数回の例会を行うことによる効果を調べるものです。そして衛星クラブは、新クラブ創設を支援し、何らかの理由で既存のロータリークラブに入会できない人等のニーズに応える目的のために組織されるものです。期待される効果は地元とその周辺地域の様々な職業に属する人々にロータリー活動をアピールできることです。

5. 新しい酒は新しい革袋に

18年間の主なトピックスを取り上げました。各ロータリー年度の詳細は、ガバナー編をご覧ください。この後、地区史の改訂増補版が出版されるのは早くても10年後になるでしょう。ロータリーの奉仕理念は時代を超えても変わらぬ普遍の真理です。しかし時代の変化と共にロータリーの奉仕プログラムは大きく変化することでしょう。

新しい酒は新しい革袋にという言葉がありますが、そのころは、地区史に対する考え方や、編集スタイルも変わっていることでしょう。2510地区の輝かしい未来を信じて18年間の報告といたします。

『少年よ大志を抱け』 青少年奉仕の志を伝えよう

パストガバナー (2012-13) 細川 好弘

クラーク博士が札幌農学校の教頭を辞して日本を去るにあたって、教え子たちに贈った言葉、若者は大きな志を持って世に出よという『少年よ大志を抱け』は身近に永く伝えられております。ロータリアンもまた、未来への投資として『ロータリアンは青少年の模範』というモットーを掲げて、青少年奉仕の巾広いプログラムが未来のロータリアンを育くむように、『超我の奉仕』を日々心がけております。

「青少年奉仕は、指導力養成活動、社会奉仕や国際奉仕プロジェクトへの参加、世界平和と異文化の理解を深め育む交換プログラムを通じて、青少年並びに若者によって、好ましい変化をもたらされることを認識するものである。」

(2013-標準クラブ定款 第5条)

「若い人の多様なニーズを認識しつつ、よりよき未来をもたらすために彼らの生活力を高めることによって、若い人々に将来への準備をさせることは、各ロータリアンの責務である。」

すべてのクラブと地区は、新世代の基本的ニーズ（健康、人間の価値、教育、自己開発）を支援するプロジェクトを立ち上げるよう奨励されている。」

(ロータリー章典 8.060)

私たち第2510地区の熱い想いを掲げられた先輩各位の功績を緋くと、従来の青少年奉仕委員会が1996年、手続要覧の第8章に新世代のためのロータリープログラムとして掲げられました。

その後1996-97年度（野口年度）青少年奉仕委員会（ライラ委員会組織あり）でスタートしましたが、新世代委員会に変更、新世代のためのロータリー会議が開催された。以下に1998年から2014年までの新世代委員会の主な活動記録を記します。

1998-99年度 (伊藤長英年度)	新世代委員会（インターアクト、ローターアクト、新世代活動推進委員会）青少年交換は国際奉仕所属で地区大会に於いて新世代の未来を築くフォーラムを実施、財団奨学生、米山奨学生も参加、多大の成果を挙げた。
1999-2000年度 (森本正夫年度)	地区大会並行プログラムとして新世代フォーラム開催元RI理事 今井鎮雄先生による新世代研究会開催。
2000-01年度 (遠藤正之年度)	RYLA感動を呼び起こして復活開催。
2001-02年度 (岩城秀晴年度)	新世代のための月間を記念してRYLA開催。
2002-03年度 (小林 博年度)	手続要覧に沿った組織となり、RYLAはジュニアクラスとシニアクラスに分離して開催。
2003-04年度 (佐藤秀雄年度)	RYLA【平和】をテーマに開催。
2004-05年度 (遠藤秀雄年度)	RYLA【人権について】をテーマに開催。
2005-06年度 (塚原房樹年度)	ライラ委員会休止 新世代セミナー開催（講師 関場慶博PG）。新世代小冊子発行
2006-07年度 (丸山淳士年度)	新世代セミナー開催（講師 宮崎幸夫氏）。新版新世代小冊子発行
2007-08年度 (酒井正人年度)	新世代奉仕 小冊子の活用。
2008-09年度 (矢橋温郎年度)	地区大会で新世代プログラム。
2009-10年度 (渡邊恭久年度)	地区大会で新世代プログラム。
2010-11年度 (佐々木正丞年度)	地区大会で新世代フォーラム、新世代奉仕第5の奉仕に。
2011-12年度 (熊澤隆樹年度)	地区大会並行プログラムとして新世代フォーラム開催。
2012-13年度 (細川好弘年度)	ライラ委員会復活、地区大会並行プログラムでRYLA開催。
2013-14年度 (安孫子建雄年度)	RYLA開催（講師 矢部輝夫氏）コンセンサスゲームも行う。
2014-15年度 (羽部大仁年度)	輝くRYLA開催（ライラリアンと共に札幌市慧林寺にて）新世代奉仕委員会が青少年奉仕委員会に。

ロータリーは前途洋々たる0才から30才代の青少年に未来を託すプログラムが推進されております。

子供と親のためのマナーキッズ活動から、青少年の人生にためになる感動と成長を願う熱意の継続は無限です。

私の同期ガバナーにローターアクト出身のロータリアンがおられます。青少年の指導者を指導するのはロータリアンです。

心温かく接すれば、敵味方をつくらず違いを認め合う日本人の美しい心が伝わる、古来の文化も伝えて下さい。

過ぎし日、私たちは 青少年でありました。

R. I. 3700地区との提携のいきさつについて

2510地区2008-2009年度 PDG 矢橋 温郎

1982～83年度 山賀ガバナー当時、既に姉妹地区提携の下地はあったようです。

当年度ロータリーアクト委員長は秦泉寺さん(札幌北)で3700の地区の卵PDGが小樽迄来られた際打合せをして居られたようです。

その後は私が竹山ガバナーの下でロータリーアクト委員長を仰せつかりました。当時、韓国は日本の終戦の時のように発展途上国で円の持ち出しが制限されていてその上若い人の出国も制限されていました。(成人は東京でも大阪でもビザは取れました。)然し若い人達にはビザを発行していなかったのです。それで札幌の韓国領事館のみ発行をしてくれたものですから札幌で取るようにした為わざわざ札幌迄大邱から来られたのです。その上、円が不足して居りましたのでこの円を作るのに大変困っていたのです。そこで私が今年、大邱保健大学に寄贈をした140点の「典雁」(韓国では新郎が新婦に愛の証として贈る木彫りの鴨)を大邱と慶州から買っていたのを利用して(この当時3700地区は広い地域で慶州



も安東も同じだったのです。)私が円で支払うのを3700地区の呂PDGがウォンで支払って両替の受け取りを札幌でするようにしたものののです。竹山ガバナーの年度に先方からも大勢のロータリーアクトと慶州の崔ガバナーが御夫婦で来札されました。又当方からは竹山ご夫婦を始めとしてロータリーアクトが訪韓して交流をし、

慶州仏国寺の境内に桜の植木を持参して植樹をしましたが、管理が悪い為枯れてしまいました。仕方なく翌年又私と室蘭RCの中島会員(歯科医)が2人で訪韓し先方のロータリーアン達と今度は慶州のコーロンホテルの庭に植樹し直してやっと根付いたものです。

その後数年に亘り韓国のロータリーアクト達が「桜の会」というものを作り毎年各地で会合をして竹山理事と私が必ず呼ばれていたものです。

それ以後も毎年のように私とその年度のガバナーから依頼を受けてガバナー代理として3700地区の各地で行われる年次大会に必ず出席をしたものです。

そして10数年経ってから、丁度ゴールデンウイ



一夕の時に何の予告もなく3700地区のバスターガバナー 3人が私に電話をしてきてグランドホテルに来ているので来てくれないかといってこられたのです。お目に掛かったら2510地区との姉妹提携を正式にしたいといわれました。

私も正式な申し出を受けたものですから、早速当時の佐藤ガバナー（千歳）に連絡をしてルネッサンス・ホテルでお目に掛かり然るべきPDGを窓口にして頂きたいと御願いをし岩城PDG(札幌南)の御指名を頂きました。

その後何とか先方のPDGの皆さんと岩城PDGとの話し合いの場がほしいと思いました。東京ディズニーランドホテルでたまたま日韓親善会議が開催されたので岩城PDGに出席をして頂いて御紹介をしました。

その後何とかして2510地区の全PDGの方々と3700地区のPDG全員を御紹介する機会を探していた時、丁度大阪の国際大会が開催されました。その夜北海道ナイトがありました、これを利用しようと思って先方に大阪グランビアホテルで開かれる北海道ナイトに出席してもらおうよう連絡をしました。

もし万一の場合は私が大阪ニューオータニホテルに泊まっているといったものですから先方が間違えて50数人が大阪ニューオータニホテルに来てしまったのです。困ったのはホテルの方です。ロビーは3700地区の人達が溢れ返っておりました。それで私の札幌の家に電話をしたようで今度は私の家内から又私に電話が来たのです。私は慌ててニューオータニホテルに連絡をしてタクシー 20台程使ってグランビアホテルに運転手に2、3千円を渡して廻してもらおうよう御願いをして全員をグランビアホテルに集めたのですが既に北海道ナイトは終わってしまっていたのです。50人ものロータリアンが夕食も食べていないというので大急ぎでホテルと交渉して食事を作ってもらおうと思っていたのですが、部屋がなかったので仕方なくロビーを仕切ってもらって何とか食事だけは出したのです。これでこの計画は失敗して仕舞ったのです。

その後、遠藤PDG(登別)の年度になりましたので数回に亘り御願いに上がりました。

その後、岩城PDGがロータリー 100周年記念として両国の姉妹提携を御発表なさいました。

大急ぎで3700地区に連絡をして急遽、韓国の都ガバナーの公式訪問を中止されて、登別の遠藤ガバナーの地区大会に総勢10名のメンバーと共に来て頂いて両地区の姉妹提携の調印をしたのが、3700地区と当地区の姉妹地区提携のいきさつなのです。



「徳多きロータリアン」

国際ロータリー第2510地区

2014-2015年度ガバナー 羽部 大仁

「人づくりのロータリー」と公式訪問の卓話で話した。若者の育成も忘れることは出来ない。今年度ゲイリー・C. K. ホァン国際ロータリー会長はロータリーファミリーを通じて会員増強を訴えた。現在120万人会員を130万人会員へと10万人の増強である。勿論我が地区でも101名の純増を掲げてこの目標に挑戦している。この厳しい社会状況下で難しい気もするが、全力を尽くしたい。

話は表題に戻るが、ロータリー運動は将に「人づくりである」と断言している。現実の社会を見つめると、我々の心の中には自己中心的なエゴが歴然として存在している。恥ずかしいことだが事実であろう。このエゴを知ることで相手を思いやる心の必要性をロータリークラブはこの110年間訴え続けて来た組織である。「ロータリーは紳士の修養道場である」は昔からの名言である。ロータリーは国際理解と親善と平和を推進するために奉仕活動を行ってきた。地域社会に奉仕することにより、国際理解で世界に奉仕することにより、修養を積むことにより、すばらしい人間が形成されてくるのである。是非これからの世界をロータリー運動で輝かせて欲しいと念ずるばかりである。

昔から「量より質」との議論が絶えないが、すばらしい奉仕の実践により私たちの心はやがてすばらしい心に醸成されてくる。従って多くのロータリアンの入会がやがて多くのすばらしいロータリアンの集合体となるのである。量か質か一切問題にならないと考えるのである。

次に若者の育成も大切なキーワードである。公式訪問を通じて多くのクラブで話したことはあるが、比叡山延暦寺を建てた伝教大師最澄の「山家学生式」にある「一隅を照らす これすなわち 国宝なりと」（社会の一隅にしながら、社会を照らす生活をする。その人こそ、なくてはならない国宝の人である）と最澄は中国（唐）に渡り天台・真言・禅・法華を学び若者の育成こそ、仏教の最大の事業であると桓武天皇に上奏したのがこれである。「悪事を己に向かえ、好事を他に与え、己を忘れて他を利するは、慈悲の極みなり」この心はロータリーの超我的奉仕に通じるものであると私は考えている。「一灯隅照 万灯照國」一人一人のロータリアンが社会全体に奉仕の理想を掲げて生活することにより、世界中を平和に導くことになるとゲイリー・C. K. ホァン国際ロータリー会長は力説されたのである。

「最も良く奉仕する者、最も多く報いられる」は、ロータリーの公式標語の一つである。

これは精神的な報いでないかと以前から考えてきたが、確信を持って心が報われるのであると考えるに至った。それは多くの出会いの機会を通じての感動であった。私に与えられた公式訪問は今日までに60クラブを終え、残り10クラブである。昨年の12月にガバナー補佐会議を皮切りに、今年1月の国際協議会、2月の地区チーム研修セミナー、3月のPETS、4月の地区研修協議会、6月の世界大会（シドニー）そして7月1日のガバナー会でスタートした年度も4ヶ月を終えて、残り8ヶ月である。

今年度第2510地区の最大の事業は全てのクラブと又グループで実施した「ロータリーデー」である。これは人道的な緊急性の高いポリオ撲滅に向けての街頭募金などである。公共イメージの向上の一環として北海道新聞の一面に広報したことも初めての取り組みとなった。地区内の全会員に感謝したい。

準備の期間とこれまでの公式訪問を通じて多くのすばらしいロータリアンとの出会いがある。12名のガバナー補佐と70名のクラブ会長、それに70名のクラブ幹事は私の盟友である。「徳多き」ロータリアンに出会ったことが、地区ガバナーとして最高の報いであったと思う。良き友を多く得た事に感謝。

CLPから戦略計画へ

2014-15クラブ管理運営委員会 宮部 光幸

新しい推奨クラブ細則

RIは地区ガバナーのリーダーシップの比重を増大させるために、2000年に地区リーダーシップ・プラン (DLP) を実施して、まず地区組織の変革がなされた。次に、2000年9月、RI理事会は、『僅か5つの常任委員会しかない新しいクラブの管理組織を推奨 (CLP)』を数年の試行期間の後、2004年、RIの『新しい推奨クラブ細則』として採用した。

RI2510地区においては

2009-10年度、地区クラブ奉仕委員会は渡邊ガバナーの特命事項としてCLPの導入に向けての活動を開始。RIクラブ会長要覧の『効果的なロータリークラブとなるための活動計画の指標』の内、クラブ管理運営の項について集計調査を行った。この結果、岩見沢東、札幌北、札幌手稲、岩内、小樽南、苫小牧東、千歳セントラル等が新細則に準じてCLPを採用していた。また、千歳セントラルはCLPの導入の先行クラブであったので、現地でのヒヤリングを行った。この結果、地区でのCLP実施状況を知るためには独自の調査が必要と判断された。

2010-11年度、引き続きCLPの実施状況と導入に向けてのクラブの意識調査『CLPに関する調査』を実施した。「CLPの導入を必要とするか」という問いに対する、会員規模、創立周年数等との相関も調査をした。この背景には「CLPは会員数40人以下の小中規模のクラブの組織活性のための方策」であり、大規模クラブは在来の組織形態で支障がないとの風潮があったため、その意向を調査したものである。結果は72クラブ中、21クラブが導入済、24クラブが検討中。規模、年数との関連はなく、導入予定なしのクラブも含め「CLPの勉強中」の回答が多数であった。

2011-12年度。9月に熊澤ガバナーは「お茶やお花の様に、形から入るものもある。CLPも同じである」とし、これまでの調査を踏まえた「2510地区のCLPの形」をガバナー月信に発表し、導入実施推進を一気に進める指示がでた。当委員会は12月に『CLPの長期計画立案の特別委員会』を発表した。

つづく2012-13年度、推進結果の調査を行った。導入クラブは増大したが、多くの導入の形態は「CLPの奉仕プロジェクトにクラブ奉仕を除く3奉仕部門を組み込んだ便宜的なもの」が多かった。「導入はしたけれど、どこが違うのか」「この後どうするのか」という質問が委員会によせられた。また、委員会の調査が3度に及んだため、繰り返しの質問に返答しないクラブも多く、回答率70%余であり、これを分母とする導入クラブが60%であ

ったため、委員会としては過去に導入済の回答を寄せたクラブ数も加算すると、地区の過半のクラブが導入済であると判断した。

また同年度設置された「地区CLP特別委員会」は塚原PGと熊澤PGにクラブ奉仕委員会を加え、地区のCLP導入について今後の方向の協議を重ねた。その結論の結果は「これ以上の導入推進は見送り、次の段階に進む」というものであった。

戦略計画へ

2013-14年度、クラブ戦略計画の推進を課題とした。この取り組みには地区内の先行事例の調査等があったが、安孫子ガバナーは「CLP導入の結果が見えない、クラブの実相の全数調査が必要」との見解であった。「地区クラブの棚卸」というのが、その時の言葉である。方法として7月にガバナー宛に送付される『効果的なクラブとなるための活動計画の指標』の全項目集計を提案し、特命として実施した。

2004年の推奨クラブ細則の変更に始まるロータリークラブの変革はCLP導入の形で先行したが、根本には新しい時代の要請に応える地区とクラブの変革にあり、これを推進するリーダーシップの育成にある。このための段階的な長期にわたる継続的なプログラムはRIでは先の「効果的なクラブの指標」として提示され、CLP資料「元気なクラブづくりのために」で会員全てにその活用を促し、クラブ会長、幹事、会計要覧に提示され、7月1日までに回答がクラブに義務付けられている。

内容はCLP5常任委員会の各領域に対応した質問からなり、会員数などのクラブのプロフィールと領域別の選択回答と記入欄となっており、クラブの多様な実情に合わせ、長期的な展望を誘導する形になっている。

この回答は従来、ガバナー公式訪問に際し、クラブ運営を知るデータであるが、これはガバナーのための資料の一部にとどまる。しかしながら「指標」の目的はクラブ全体で回答を考え、次年度その回答に沿って「クラブ運営」を実践するためのガイドラインを得ることにある。

この集計と記載部分の集約は全71クラブの提出により、12月に完了した。結果はCLPの導入は59%であった。長期的な「戦略計画」に取り組んでいるとする回答は22%であった。次に、顕著な結果はグループごとの取り組み状況の差異であった。これは置かれている情報量と地区への委員出向によるコミュニケーション等の差によるものと集計は物語っていた。

それにも増して現れたのは「著しく多様なクラブ」の実相であった。この状況に地区が応えるには「先行クラブでの実績を上げ、追従するクラブを増やす方法」とは別に「グループ毎の課題にガバナー補佐が対応する方法」を進める地区運営に実効性を持たせることが必要であることを併せて集計は訴えている。

次にこの集計結果の取り扱いを巡って、当該年度・安孫子ガバナー、羽部エレクト、嵯峨ノミニーの間で協議がなされたが、現段階ではクラブが公表を前提として「指標」の回答をしていないことを考慮し、今年度の役員用資料とした。しかしながら「指標」の役割、RIの意図を反映している文書であることを勘案し、地区運営における「ガバナンス能力」の向上を考える時、地区とクラブの「戦略計画」を共有し「新しい時代のロータリークラブ」作りにとり組む必要の重要性を集計は再認識させた。



ガバナー編



※ロータリー歴はガバナー・ノミネー決定宣言時より抜粋。

地区パストガバナ一年代別一覧表

(※印は物故者)

年度	氏名(所属クラブ)
70(全国1区)	
1928~1931	※米山梅吉(東京) (スペシャル・コミッショナー)
1931~1933	※井坂孝(横浜)
1933~1935	※村田省蔵(大阪)
1935~1936	※朝吹常吉(東京)
1936~1937	※佐藤昌介(札幌)
1937~1938	※里見純吉(大阪)
1938~1939	※松本健次郎(門司)
70(全国3区)	
1939~1940	※森村市左衛門(東京)
1940年9月まで	※平沼亮三(横浜)
60(全国1区)	
1949~1951	※手島知健(東京)
1951~1952	※星野行則(大阪)
60(全国2区)	
1952~1953	※小林雅一(東京)
1953~1954	※宮脇富(札幌)
1954~1955	※柳瀬省吾(横浜)
60(全国4区)	
1955~1956	※小松隆(東京)
1956~1957	※伊藤文吉(新潟)
350(全国5区)	
1957~1958	※佐藤幸三(仙台) (S34.6.13 逝去70歳)
1958~1959	※伊部政次郎(函館) (S53.1.25 逝去76歳)
1959~1960	※真崎健夫(札幌) (S52.11.21 逝去84歳)
350(北海道1区)	
1960~1961	※坂牛直太郎(小樽) (S62.4.25 逝去95歳)
1961~1962	※両角克治(釧路北) (S62.11.22 逝去83歳)
1962~1963	※阿部謙夫(札幌) (S47.1.2 逝去77歳)
1963~1964	※滝本庄蔵(札幌西) (H1.9.3 逝去96歳)
1964~1965	※寿原九郎(小樽) (S58.5.21 逝去83歳)
1965~1966	※嵯峨旻(釧路) (S47.4.10 逝去67歳)
1966~1967	※岡田正雄(旭川) (S61.12.19 逝去67歳)
1967~1968	※小畑信愛(函館) (S56.2.15 逝去87歳)
1968~1969	※島本融(札幌) (S51.5.5 逝去72歳)
1969~1970	※秋山康之進(札幌) (S58.4.8 逝去75歳)
351(北海道2区)	
1970~1971	※河野通正(深川) (S59.3.29 逝去70歳)
1971~1972	※富田恭(函館東) (S59.2.12 逝去79歳)
1972~1973	※塩谷猛(札幌西) (H9.1.20 逝去84歳)
1973~1974	※柿本恒一(岩見沢) (S51.11.2 逝去58歳)
1974~1975	※森松定男(札幌南) (H6.11.18 逝去86歳)
1975~1976	※青木一雄(小樽) (S51.6.14 逝去70歳)

年度	氏名(所属クラブ)
1976~1977	※大野和男(札幌) (S58.6.2 逝去74歳)
251(北海道2区)	
1977~1978	伊藤義郎(札幌)
1978~1979	※富田嘉市(室蘭) (H15.1.30 逝去85歳)
1979~1980	※太宰六郎(函館) (H5.2.16 逝去85歳)
1980~1981	※小川忠一(札幌東) (H2.12.21 逝去81歳)
1981~1982	※佐久間三八(苫小牧) (S63.2.15 逝去80歳)
1982~1983	※山賀勇(小樽) (S62.6.6 逝去81歳)
1983~1984	※竹山涼一(札幌南) (H21.10.10 逝去86歳)
1984~1985	※河邨文一郎(札幌西) (H16.3.30 逝去86歳)
1985~1986	※望月武義(岩見沢) (H9.1.28 逝去81歳)
1986~1987	三浦祐晶(札幌北) (退会)
1987~1988	※坂本忠(札幌) (H7.8.2 逝去87歳)
1988~1989	※大橋康次(札幌東) (H18.11.14 逝去92歳)
1989~1990	※初谷真一(小樽南) (H8.3.7 逝去76歳)
1990~1991	※白石欽一(札幌手稲) (H20.11.6 逝去89歳)
2510(北海道2区)	
1991~1992	※佐藤鉄彌(札幌北) (H15.7.13 逝去84歳)
1992~1993	※北村實(函館) (H5.12.4 逝去60歳)
1993~1994	※富山惟夫(留萌) (H14.11.15 逝去78歳)
1994~1995	富原薫(札幌)
1995~1996	※西條正博(札幌) (H19.11.7 逝去85歳)
1996~1997	野口信夫(小樽) (退会)
1997~1998	※石垣博美(札幌セントラル) (H25.7.6 逝去90歳)
1998~1999	伊藤長英(苫小牧北)
1999~2000	森本正夫(札幌西北)
2000~2001	※遠藤正之(札幌幌南) (H20.7.24 逝去77歳)
2001~2002	岩城秀晴(札幌南)
2002~2003	小林博(札幌北)
2003~2004	佐藤秀雄(千歳)
2004~2005	遠藤秀雄(登別)
2005~2006	塚原房樹(札幌東)
2006~2007	丸山淳士(札幌真駒内)
2007~2008	酒井正人(函館五稜郭)
2008~2009	矢橋温郎(札幌西)
2009~2010	渡邊恭久(滝川)
2010~2011	佐々木正丞(札幌)
2011~2012	熊澤隆樹(小樽)
2012~2013	細川好弘(静内)
2013~2014	安孫子建雄(江別)
2014~2015	羽部大仁(札幌幌南)

1936~1937

※1953~54年度以降、恒例的にテーマは出され続けるようになった。
1954~55年度から日本語の「公式訳文」が付けられるようになった。



RI会長 ウィリアム R. メーニャ・ジュニア
ガバナー 佐藤 昌介
ロータリー暦
1932年 札幌RC初代会長

地区 70 / 全国 1 区

1937年 3月 1日~5日 第6回太平洋地域大会をニュージーランド・ウエリントンで開催。
1937年 5月 15日~16日 第9回第70地区年次大会を札幌市公会堂で開催。参加者 476名
1937年 6月 6日~11日 第28回国際ロータリー年次大会をフランス・ニースで開催。参加者 5,790名

1953~1954

“ Rotary is Hope in Action ”



RI会長 ホアキン・セラトサ・シビルス
ガバナー 宮脇 富
ロータリー暦
1940年~41年 札幌RC第7代会長

地区 60 / 全国 2 区(日本東部)

1953年 9月 29日~10月 1日 第60地区年次大会を札幌、中央創成小学校で開催。(ホスト 札幌RC)
1954年 6月 6日~10日 第45回国際ロータリー年次大会をワシントン州シアトルで開催。参加者 8,015名

1958~1959

“ HELP SHARE the FUTURE ”
「将来を造るに助力しましょう」



RI会長 クリフオード A. ランダル
ガバナー 伊部政次郎
ロータリー暦
1955年~56年 函館RC第22代会長

地区 350 / 全国 5 区 65RC 2,497名

1958年 8月 17日~19日 第350区年次大会を小樽市、石山中学校で開催。参加者700名
1959年 4月 13日~14日 第350区地区協議会を函館市、五島軒で開催。
ホストクラブ 函館RC、函館東RC 参加者 235名 (60クラブ、5の仮クラブ)
1959年 6月 7日~11日 第50回国際ロータリー年次大会をニューヨークで開催。参加者 73カ国 15,475名

1959~1960

“ Vitalize Personalize Build Bridges of Friendship ”

「生気を与えよ 気をつけよ 友愛の橋をかけよ」



RI会長 ハロルド T. トーマス
ガバナー 真崎 健夫
ロータリー暦
1956年~57年 札幌RC第26代会長

地区 350 / 全国 5 区 80RC 3,105名

1959年10月13日~14日
1960年4月11日~12日

第350区年次大会を福島市公会堂で開催。参加者 785名 ホストクラブ 福島RC
第350区地区協議会を山形市、大沼デパートホールで開催。
ホストクラブ 山形RC、山形西RC 参加者 232名 (75クラブ、4の仮クラブ)

1960年5月29日~6月2日

第51回国際ロータリー年次大会をマイアミ州マイアミビーチで開催。
参加者 67カ国 11,354名

1960~1961

“ You ARE ROTARY. Express! Expand it! ”

「あなたはロータリーです それを表現して下さい それを 膨張させましょう」



RI会長 J. エド・マックロウリン
ガバナー 坂牛直太郎
ロータリー暦
1943年~44年 小樽RC第12代会長
1950年~51年 小樽RC第22代会長

地区 350 / 北海道 1 区 38RC 1,702名

1960年9月28日~29日

国際ロータリー第350区、352区、355区、360区連合年次大会を東京丸ノ内東宝劇場で開催。
参加者 3,642名 ホスト 東京北RC

1961年4月15日~16日

第350区地区協議会を札幌市自治会間で開催。参加者 185名(34クラブ、3の仮クラブ)
ホストクラブ 札幌RC、コ・ホストクラブ 札幌南RC、札幌東RC

1961年5月28日~6月1日

第52回国際ロータリー年次大会を東京で開催。
参加者 74カ国 23,378名(海外7,353名 国内16,025名)

1961~1962

“ Act A. Aim for action C. communicate for understanding T. Test for leadership ”

「行動 行動に努めよ 理解に途を求めよ 指導力を高めよ」



RI会長 ジョセフ・A. エービー
ガバナー 両角 克治
ロータリー暦
1966年~67年 釧路北RC第9代会長

地区 350 / 北海道 1 区 45RC 2,020名

1961年8月26日~28日

国際ロータリー第350区年次大会を小樽市、函館公会堂で開催。
参加者 515名(ホストクラブ 函館RC・函館東RC)

1962年4月21日~22日

第350区地区協議会を帯広市大谷学園講堂で開催。195名(42クラブ、2の仮クラブ)

1962年6月3日~7日

第53回国際ロータリー年次大会をカリフォルニア州ロサンゼルスで開催。
参加者 22,302名

1962~1963

“ kindle the spark within ”
「内部に火を燃やせ」



RI会長 ニッティシ C. ラハリー
ガバナー 阿部 謙夫
ロータリー暦
1958年~59年 札幌RC第29代会長

地区 350 / 北海道 1 区 49RC 2,566名

- 1962年 9 月22日~24日 第350区年次大会を旭川市公会堂で開催。ホストクラブ 旭川RC・旭川西RC
1963年 4 月28日~29日 第350区地区協議会を小樽市、小樽緑陵高等学校で開催。
ホストクラブ 小樽RC、小樽南RC 参加者 294名(48クラブ)
1963年 6 月 9 日~13日 第54回国際ロータリー年次大会をミズーリ州セントルイスで開催。参加者 10,779名

1963~1964

“ MEETING ROTARY’S CHALLENGE IN THE SPACE AGE ”
「宇宙時代におけるロータリーの進路」



RI会長 カール P. ミラー
ガバナー 滝本 庄蔵
ロータリー暦
1952年~53年 札幌西RC初代会長

地区 350 / 北海道 1 区 54RC 2,433名

- 1963年10月 5 日~ 7 日 国際ロータリー第350区、352区地区連合年次大会を札幌市民会館で開催。
参加者 1,539名(350区 49クラブ、352区 74クラブ)
1964年 4 月25日~26日 第350区地区協議会を洞爺湖温泉で開催。
ホストクラブ 室蘭RC、室蘭東RC、伊達RC 参加者 346名
1964年 6 月 7 日~11日 第55回国際ロータリー年次大会をオンタリオ州トロントで開催。参加者 14,661名

1964~1965

“ Let Us Live Rotary ”
「ロータリーに生きよ」



RI会長 チャールズ W. ベッテンギル
ガバナー 寿原 九郎
ロータリー暦
1952年~53年 小樽RC第24代会長

地区 350 / 北海道 1 区 61RC 2,830名

- 1964年 9 月12日~13日 国際ロータリー第350区地区年次大会を帯広市で開催。参加者 820名
1965年 5 月30日~ 6 月 3 日 第56回国際ロータリー年次大会をニュージャージー州アトランティック・シティで
開催。参加者 9,368名
1965年 6 月27日~28日 第350区地区協議会を札幌ロイヤルホテルで開催。ホストクラブ 札幌東RC

1965～1966

“ ACTION, CONSOLIDATION AND CONTINUITY ”

「行動 強化 継続性」



RI会長 C. P. H. ティーンストラ

ガバナー 嵯峨 旻

ロータリー暦

1954年～55年 釧路RC第9代会長

地区 350 / 北海道 1 区 61RC 2,984名

1965年10月11日～13日

国際ロータリー東日本連合地区年次大会を東京国立屋内総合競技場で開催。

参加者 8,349名(350区、352区、353区、355区、358区、359区)

1966年 6 月12日～16日

第57回国際ロータリー年次大会をコロラド州デンバーで開催。参加者 67カ国 12,929名

1966年 6 月26日～27日

国際ロータリー第350区地区協議会を北見市、藤学園で開催。

ホストクラブ 北見RC、北見東RC 参加者 470名

1966～1967

“ A Better World Through Rotary ”

「ロータリーでより良き世界を！」



RI会長 リチャード L. エヴァンス

ガバナー 岡田 正雄

ロータリー暦

1962年～63年 旭川IRC第25代会長

地区 350 / 北海道 1 区 65RC 3,153名

1966年 9 月24日～26日

国際ロータリー第350区地区年次大会を釧路市で開催。

参加者 1,155名 ホストクラブ 釧路RC、コ・ホストクラブ 釧路北RC

1967年 5 月21日～25日

第58回国際ロータリー年次大会をフランス、ニースで開催。参加者 101カ国 19,362名

1967年 6 月18日

第350区地区協議会を北海道自治会館で開催。参加者 389名 ホストクラブ 札幌西RC

1967～1968

“ Make your Rotary Membership Effective ”

「ロータリアンとしての あなたの資格を 効果的に」



RI会長 ルーサー H. ホッジス

ガバナー 小畑 信愛

ロータリー暦

1957年～58年 函館RC第24代会長

地区 350 / 北海道 1 区 70RC 3,368名

1967年 9 月16日～18日

国際ロータリー第350区地区年次大会を室蘭文化センターで開催。参加者 1,200名

1968年 5 月12日～16日

第59回国際ロータリー年次大会をメキシコ・シティーで開催。

参加者 80カ国 12,187名

1968年 6 月 8 日～ 9 日

第350区地区協議会を札幌グランドホテルで開催。参加者 70クラブ 350名

1968~1969

“ PARTICIPATE ”
「参加し敢行しよう」



RI会長 東ヶ崎 潔
ガバナー 島本 融
ロータリー暦
1932年~33年 札幌RC第32代会長

地区 350 / 北海道 1 区 73RC 3,530名

- 1968年10月5日~6日 国際ロータリー第350区地区年次大会(合同仙台大会)を仙台城趾で開催。
参加者 2,260名(351区、352区、353区) ホストクラブ 塩釜RC、仙台南RC、塩釜東RC
- 1969年5月25日~29日 第60回国際ロータリー年次大会をハワイ州ホノルルで開催。参加者 14,453名
- 1969年6月15日~16日 国際ロータリー第350区地区協議会を旭川市、旭川拓銀ビルで開催。ホストクラブ 旭川RC

1969~1970

“ REVIEW and RENEW ”
「検討し 更新しよう」



RI会長 ジェームズ F. コンウェイ
ガバナー 秋山鹿之進
ロータリー暦
1966年~67年 札幌RC第37代会長

地区 350 / 北海道 1 区 83RC 3,886名

- 1969年9月20日~22日 国際ロータリー第350区地区年次大会を北見市、北見会館で開催。
参加者 1,200名 ホストクラブ 北見RC、コ・ホストクラブ 北見東RC
- 1970年5月31日~6月4日 第61回国際ロータリー年次大会をジョージア州アトランタで開催。参加者 10,803名
- 1967年6月14日 第350区地区協議会を小樽市民会館、公会堂で開催。参加者 82クラブ 720名
ホストクラブ 小樽RC

1970年~1996年のガバナー編は1996年に発刊されました国際ロータリー第2510地区「地区史」に掲載されておりますので、そちらをご参照願います。

100

100

100

100

100

100

100

100

100

100

100

100

100

100

100

100

100

100

100

100

100

100

100

100

100

100

100

100

100

100

100

100

100

100

100

100

100

100

100

100

100

100

100

100

100

100

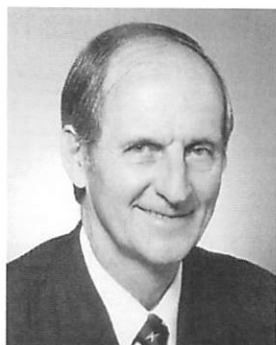
100

100

1997～1998 “SHOW ROTARY CARES”

「ロータリーの心を」

RI会長 グレン W.キンロス ガバナー 石垣博美



略 歴 北海道未来総合研究所 理事長
昭和23年 東京大学経済学部卒業
ロータリー歴 1970年 札幌西RC入会
1984年 札幌西RC会長
1988-92年 地区GSE委員長
1994年 札幌西RC会長
ポール・ハリス・フェロー
生年月日 大正12年2月10日 士別市

- 重点目標 ①北海道を起点とする。北海道を軸として南北交流に眼を向けよう。北はサハリン、南はフィリピン、オセアニアに至る東経135°線上の隣人たちとの交流を図ろう。世界社会奉仕の心を届けよう。
- ②野口年度からのテーマの継承として、新世代の育成プログラムをさらに展開しよう。
- ③会員増強(とくに女性のおよびクラブの拡大に努めよう)。
- ④財団、米山などへの「寄付文化」の育成・促進を図ろう。
- ⑤意識開発に努めよう (Invent Rotary)

	世界	日本	地区	新結成クラブ
クラブ数	28,736	2,240	70	札幌清田 1997年10月14日
会員数	1,213,748	129,328	4,093	

会合	場所	開催日	RI会長・RI会長代理	参加者	ホストクラブ
国際大会 (第89回)	インディアナポリス (アメリカ)	6月14日 ～17日	グレン W.キンロス		
地区大会	札幌パークホテル パークプラザ 札幌コンサートホール・キタラ	5月22日 23日	イアン S. ナイト	2,268	札幌西RC
地区協議会	ホテル ニュー王子	4月26日	直前G：野口 信夫 GN：伊藤 長英		苫小牧東RC

大会テーマ：ロータリーの心を
特別講演：「いま、若者に未来はあるか。」 京都造形芸術大学教授 野田 正彰 氏

分 区	分区代理	開催月日	開催地・会場	ホストクラブ
第1・第2 分区合同	平井 誠治 戸井 康堯	10月26日	留萌市・留萌市中央公民館	留 萌 R C
第3分区	吉村 誠治	10月19日	美唄市・美唄ホテルスエヒロ	美 唄 R C
第4・第5 分区合同	佐藤 亮藏 遠藤 正之	3月7日	札幌市・札幌ロイヤルホテル	札幌モーニングRC
第6分区	中井 宏治	4月22日	倶知安町・ホテル第一会館	倶 知 安 R C
第7分区	清水 慧子	4月5日	長沼町・長沼町民会館	長 沼 R C
第8分区	加藤 鉄二	3月8日	様似町・様似町中央公民館 大ホール	様 似 R C
第9分区	菊地 千之	2月11日	室蘭市・室蘭プリンスホテル	室 蘭 R C
第10・第11 分区合同	川野 修 青田 秋彦	2月22日	函館市・ホテル函館ロイヤル	函館五稜郭RC

石垣博美ガバナー一年度の思い出

この年度のR. I. 会長はグレンW. キンロスで年度テーマは「ロータリーの心をあなたの住むところ私たちの世界そこに住むすべての人々に」でした。

これを受けて石垣ガバナーは種々な計画を立てられて居られましたが、不幸にしてこの年度中は病魔に襲われてばかりでした。却って年度が終わってパストガバナーになられてからの方がお元気でした。

私は石垣ガバナーから地区の代表幹事を仰せつかりました。靖子奥様からもくれぐれもと御願いをされていました。石垣ガバナーは公式訪問の始まる初日から緑内障で手術をされ入院されてしまいましたので、最初から公式訪問の延期になりました。又、途中から今年度は肺結核に見舞われて隔離入院されてしまいました。従って地区大会前日迄入院されて居りましたので直前ガバナーの野口さんには大変な御迷惑をお掛けする事になりました。野口直前ガバナー（小樽R. C）は東京のお住まいでガバナー年度も単身で小樽に来て居られましたので、わざわざ何度も東京から来て頂いたのです。こんな事でこの年度のP. G. 各位には皆様全員に御迷惑をお掛けすると同時に地区内会員全員にも御迷惑をお掛けする事になってしまいました。

この年度は色んな事が御座いました。

竹山P. G. がR. I. 理事に就任された年でしたのでこの年のロータリー研究会は札幌で行われました。パークホテルを全館1週間貸切で全国からP. G.、G. G. E.、G. N. 全員が集まりました。

実行委員長は西條P. G. (札幌クラブ) でした。そして地区大会はキタラとパークホテルで行いました。この実行委員長は伏木忠了(札幌西クラブ) でした。

キタラは絶対に大会には使用出来ませんでした。無理矢理表彰だけを札幌を入れながらの条件付で僅かの時間だけ使用させて頂きました。やっと大会当日だけ石垣ガバナーは一時退院を許されて大会だけは間に合わせました。

この年サハリンにR. C. が出来ましたのでここから会長夫妻をお招きいたしました。

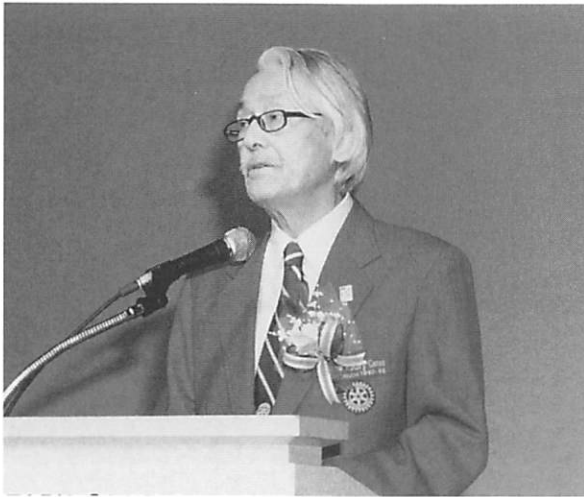
又、清田クラブが誕生しました。このスポンサークラブは札幌南ロータリークラブで特別代表は高島会員でした。

石垣ガバナーは経済学者らしく毎月の月信にはロータリーを経済学的に論ずる論文を書いて居られました。

石垣ガバナーは昨年91才を以って亡くなりました。

深く哀悼の意を表したいと思います。

矢橋 温郎



ガバナーあいさつ 石垣博美



国際ロータリー会長代理 イアン S. ナイト



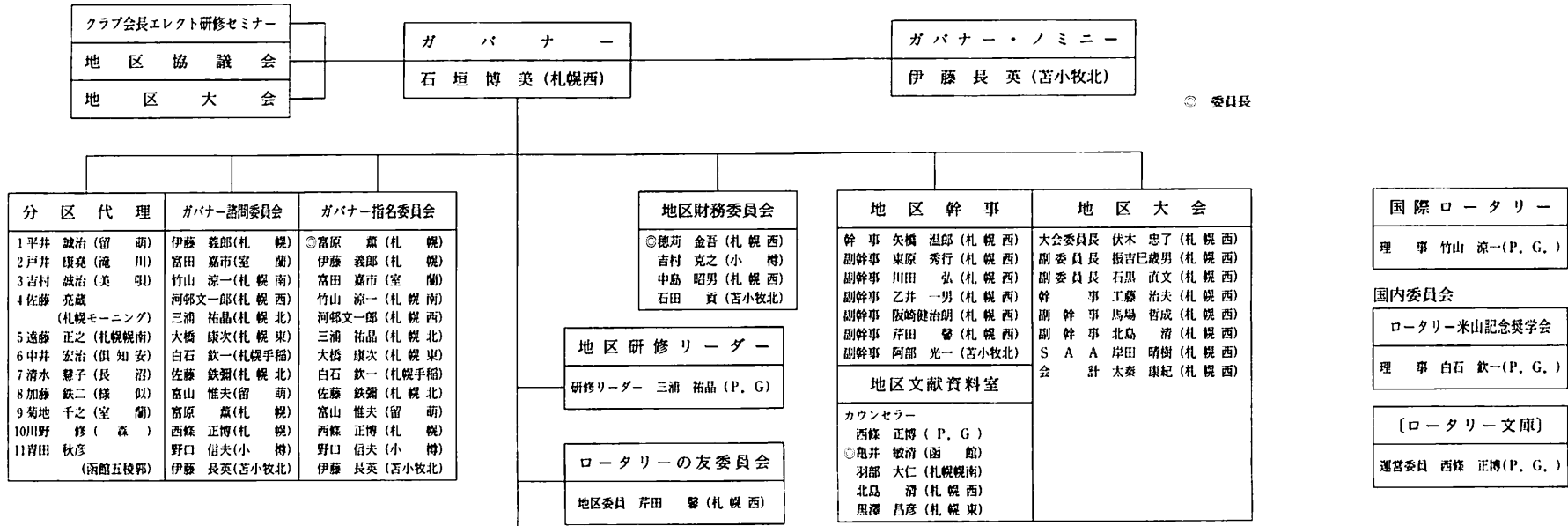
地区大会記念コンサート（札幌）

地区大会懇親会



RI会長代理ご夫妻から石垣ガバナーへのお土産贈呈

1997~1998年度国際ロータリー第2510地区組織図



地 区 カ ウ ン セ ラ ー 及 び 地 区 諮 問 委 員 会							
クラブ奉仕委員会	新世代委員会		国際奉仕委員会		ロータリー財団委員会	拡大委員会	米山記念奨学委員会
◎宮澤 正(札幌北) 芝木 秀臣(札幌モーニング) 渡辺 邦昭(札幌西)	◎三浦 祐品(P.G.) 井内 球雄(留 萌)	阪崎健治朗(札幌西) 山川 稔弘(札幌南)	◎河野文一郎(P.G.) 瀧川 哲夫(札幌手稲)	針谷 毅(札幌南) 対木 正文(札幌西)	カウンセラー 大橋 康次(P.G.) ◎佐藤 鉄弥(P.G.) 市川 唯行(札幌) 米山 道男(札幌北)	◎富山 惟夫(P.G.) 富原 薫(P.G.) 西條 正博(P.G.) 藤井 哲夫(恵 庭) 上林 登(札幌南) 村上 栄一(森)	◎堀居 信次 (札幌モーニング) 栗津健太郎(札幌手稲) 池田 春男(江 別) 勝木 純一(札幌南) 吉田 彰(札幌南)
情報委員会	新世代活動推進委員会	(ローターアクト委員会)	◎対本 正文(札幌西) 井口 光雄(札幌西北) 村木 靖雄(札幌手稲) 金子 均(札幌南) 西谷 武司(函 館) 澤田 豊(室 蘭) 菅野 具(札幌北)	◎瀧川 哲夫(札幌手稲) 赤泊 史昭(札幌東) 長谷川寿朗(札幌手稲) 衣澤 征美(札幌西北) 近藤 良一(札幌モーニング) 宮越 陽一(札幌西) 奥村 健夫(札幌南) 柴田 弘道(恵 庭) 城木 浩一(札幌北)	(財団国際親善奨学委員会) (財団増進委員会)	◎高下 泰三(札幌西) 藤居 周一(札幌南) 坂田 道昭(小 樽) 鈴木 隆(苫小牧北) 青藤 潤(北 島) 田宮 哲夫(札幌西) 渡邊 恭久(滝 川) 内山 洋一(札幌)	◎野口 信夫(小 樽) 平井 誠治(留 萌) 戸井 康義(滝 川) 吉村 誠治(美 唄) 佐藤 亮蔵(札幌モーニング) 遠藤 正之(札幌南) 中井 宏治(倶知安) 清水 慧子(長 沼) 加藤 鉄二(樺 似) 菊地 千之(室 蘭) 川野 修(森) 青田 秋彦 (函館五稜郭)
◎武田 圭策(札幌) 澤 泰宏(札幌)		(インターアクト委員会)	◎針谷 毅(札幌南) 畑中 俊介(札幌南) 片山 英男(札幌南) 牧野 利春(札幌モーニング) 西條 文雪(小 樽) 杉田 幹雄(札幌南) 杉澤 達史(札幌南) 高橋 浩志(札幌) 田中 良治(札幌手稲) 谷口 良一(札幌北) 徳中 征之(札幌南)	◎山川 稔弘(札幌南) 浅野 正俊(札幌) 五十嵐 閑(岩見沢) 細川 好弘(静 内) 堀川 孝明(札幌モーニング) 関堂 勝幸(札幌東) 土合 和英(登 別) 遠山 登士 (函館五稜郭)	(財団増進委員会) (財団学友委員会)	◎野口 信夫(小 樽) 飯田 芳也(札幌) 八木 昌興(札幌西)	◎西條 正博(P.G.) 飯田 芳也(札幌) 八木 昌興(札幌西)
職業奉仕委員会	社会奉仕委員会				(GSE委員会) (財団学友委員会)	◎野口 信夫(小 樽) 飯田 芳也(札幌) 八木 昌興(札幌西)	◎富原 薫(P.G.) 西條 正博(P.G.) 野口 信夫(P.G.) 矢橋 温郎(札幌西)
◎大山 猛隆(砂 川) 石田 利光(栗 山) 村山 富夫(札幌東) 柳 義文(滝 川)	◎須田 義雄(札幌南) 関寺 恭朗(苫小牧北) 武部 實(札幌南) 上田 芳明(江 別) 渡辺 敏夫(苫小牧)				◎青木 功喜(札幌東) 金井 重博(札幌南) 橋本 信夫(札幌西) 平柳俱仁夫(札幌手稲) 星野 恭亮(札幌東) 中島 勉(札幌南)	◎市川 唯行(札幌) 千葉 峻三(札幌東) 福田 武男(千 歳) 林 正道(札幌) 渡辺 雅敏(小樽南) 山藤 雅弘(札幌西北)	◎富原 薫(P.G.) 西條 正博(P.G.) 野口 信夫(P.G.) 矢橋 温郎(札幌西)

1998～1999 “FOLLOW YOUR ROTARY DREAM” 「ロータリーの夢を追い続けよう」

RI会長 ジェームス L. レイシー ガバナー 伊藤 長英



略 歴 医療法人王子総合病院 理事長

昭和27年 北海道大学医学部卒業

ロータリー歴 1984年 苫小牧北RC入会

1992年 苫小牧北RC会長

ポール・ハリス・フェロー

生年月日 昭和2年10月26日 札幌市

- 重点目標
- ①新世代に関するプログラムの積極的推進
 - ②会員増強、退会防止、クラブ拡大への積極的努力
 - ③ロータリー財団、米山記念奨学会への積極的支援
 - ④会長賞プログラムへの積極的参加

	世界	日本	地区	新結成クラブ
クラブ数	29,113	2,260	70	
会員数	1,201,595	127,149	3,940	

会合	場所	開催日	RI会長・RI会長代理	参加者	ホストクラブ
国際大会 (第90回)	シンガポール (シンガポール)	6月13日 ～16日	ジェームス L. レイシー	17,887	
地区大会	グランドホテルニュー王子 苫小牧市民会館	5月21日 22日	中島 治一郎	2,004	苫小牧北RC
	大会テーマ：苫小牧でロータリーの夢を語り合いましょう 特別講演：「グローバル化の時代に思う」 苫小牧駒澤大学国際文化学部教授 斎藤 七朗 氏				
地区協議会	ロイトン札幌 ロイトンホール	4月25日	G：伊藤 長英 GN：森本 正夫		札幌手稲RC

分 区	分区代理	開催月日	開催地・会場	ホストクラブ
第1・第2 分区合同	成澤 卓爾 依本 蕃	10月28日	芦別市・芦別スターライトホテル	芦 別 R C
第3分区	小寺 進	11月14日	栗山町・栗山ホテルパラダイスヒルズ	栗 山 R C
第4・第5 分区合同	高橋 裕典 横路 朋己	3月20日	札幌市・新札幌パレスホテル	新 札 幌 R C
第6分区	室野 眞	5月8日	蘭越町・蘭越ふれあいプラザ21	蘭 越 R C
第7分区	杉村 孝	6月20日	白老町・白老町中央公民館	白 老 R C
第8分区	中島 滋	11月1日	静内市・静内ウェリントンホテル	静 内 R C
第9分区	宮武 忠史	2月7日	登別市・登別グランドホテル	登 別 R C
第10・第11 分区合同	渡邊 靖夫 深見 秀治	2月20日	函館市・オークランドホテル	函 館 亀 田 R C

伊藤長英ガバナー新世代への思いと地区大会

1. FOLLOW YOUR ROTARY DREAM

ロータリーの夢を追い続けよう

これは、1998-1999年度RI会長 James L. Lacy 氏のテーマです。奉仕活動の道が遠くまで続き、その先に夢をあらわす虹が出ている様子をデザインしたものです。

James Lacy 会長が言われるのには、これは行動要請であり、すべてのロータリアンの心にまず訴え、ついで行動を要請するものです。

すべての奉仕活動を通してロータリーの夢を追い続けよう。

そして、今年度の強調事項である「地域社会への関心事と子供たち」を成功させるために、具体的には、健康・教育・住宅の建設・安定した家庭について各クラブで取り組むように要請されました。そのようなJames Lacy 会長の意向を尊重し、伊藤長英ガバナーは新世代に関するプログラムを積極的に推進され、地区の重点目標の第一に取り上げられました。

第二の目標は、会員増強・退会防止・拡大への努力でありましたが、残念ながら期首4,011名より71名の減少となり成果を上げることが出来ませんでした。次年度に期待は持てる内容でありました。

第三の目標、ロータリー財団・米山記念奨学会への寄付も、前年比財団約91.1%、米山もほぼ90%であり、ご寄付いただきましたクラブ及びロータリアンの方々に感謝申し上げます。

第四の目標、会長賞プログラムへの積極的参加では、70クラブ中9クラブが会長賞を受賞されました。各クラブの会長賞挑戦に敬意を表したいと思います。その他、世界社会奉仕(WCS)プロジェクトとして、数々の事業に多くの方々に参加していただきました。第2510地区の各クラブのロータリーに対する熱意とご協力に頭の下がる思いがいたします。

2. 地区大会

夢 ～ロータリーの夢を続けよう～

5月21日・22日に快晴に恵まれて地区大会を開催し、成功裏に終了しました。さらに、第2640地区パストガバナー中島治一郎RI会長代理から「トリプルA」の地区大会であったとお誉めの言葉をいただきました。

地区大会の目的は、交歓と感銘深い講演とロータリーのプログラムを推進することにあります。伊藤ガバナー年度の地区大会は、先ず本会議第1日目に行われた「新世代の未来を築くフォーラム」～今、ロータリーはどんな行動が出来るか～でありました。

国際色豊かに、各国からの奨学生、交換留学生、REXのみなさんがそれぞれの国旗を持って、総勢50名が登場、プレステージ(ガバナーより愛を込めて)、ファーストステージ(世界の新世代は今、そしてロータリーは今)、セカンドステージ(新世代活動のこれから、今ロータリーはどんな行動ができるのか)、ファイナルステージ(再びガバナーより愛をこめて)まで、奥貫地区幹事(札幌東RC)の軽妙な司会で進められ、世界の若さの熱気むんむんで、あっという間の3時間でした。フィナーレには、「知床旅情」を壇上もフロアも、全員立ち上がっての大合唱で幕となりました。

記念講演は、「グローバル化の時代に思う」という演題で、苫小牧駒沢大学国際文化部教授齊藤七朗先生の国際的視野にたった示唆に富むお話を伺いました。

ソングリーダーをお願いした坂本博士氏は、著明な声楽家、作曲家で、世田谷RC会員、苫小牧駒沢大学の非常勤講師。この方にリードされて歌うロータリーソングは力強く、勇気がわいてくる思いがしました。

堅い話しが続いた後、休憩時間の合間にアトラクションとして苫小牧市案内ビデオの上映の外、

駒大付属高校吹奏楽部、苫小牧ジュニアアンサンブルの演奏、小・中学生のよさこいソーラン“乱舞童”の群舞等、新世代の人たちの見事な舞台をアクセントとしてちりばめて雰囲気のをらげました。

ファイナルの記念懇親会では、“伊藤多喜雄バンドの圧倒的な迫力とノリ”で最後を締めただきロータリーの交流並びに懇親を深めていた

きました。

伊藤長英ガバナー年度は、地区大会を含め新世代への初の試みとしてWCSとしてタイ・ノンカイ地区の子供たちへの支援を含み新世代に多くの力を入れ大成功を取ってきたことが今でも鮮明に思い起こされます。

苫小牧北ロータリークラブ

山本 雅昭



ガバナー 伊藤長英



新世代の未来を築くフォーラム

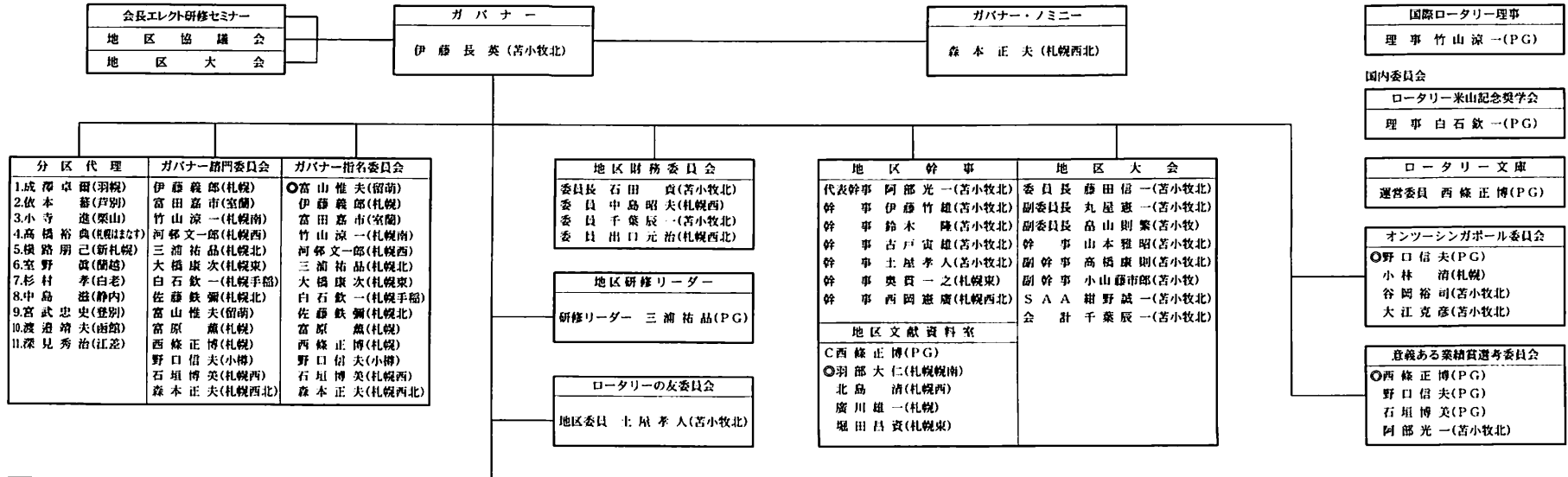


ガバナー御夫妻を囲み苫小牧北ロータリークラブの皆さんとの記念撮影



地区大会テーマ

1998~1999年度国際ロータリー第2510地区組織図



地区カウンセラー及び地区諮問委員会								
クラブ奉仕委員会	拡大委員会	社会奉仕委員会	新世代委員会	職業奉仕委員会	国際奉仕委員会	米山記念奨学会	ロータリー財団委員会	
C佐藤鉄彌 (PG) ◎芝木秀臣 (札幌ニノク) 宮田昭一 (苫小牧) 山崎正寿 (苫小牧北)	◎富原 薫 (PG) 西條正博 (PG) 野口信夫 (PG)	C野口信夫 (PG) ◎岡寺恭朗 (苫小牧北) 和田壬三 (札幌南) 柳田貞夫 (余市) 渡辺敏夫 (苫小牧)	◎三浦祐品 (PG) 阪崎健治朗 (札幌西) 井内球雄 (留萌) 堀川孝明 (札幌ニノク)	C富山惟夫 (PG) ◎塚原房樹 (札幌東) 平井誠治 (留萌) 武部 實 (札幌南) 柳 義文 (滝川)	◎河部文一郎 (PG) 対木正文 (札幌西) 熊沢隆樹 (小樽) 瀧川哲夫 (札幌手稲)	◎堀居信次 (札幌ニノク) 加賀屋義範 (札幌北) 栗津健太郎 (札幌手稲) 池田春男 (江別) 高木一男 (苫小牧北)	C大橋康次 (PG) ◎富山惟夫 (PG) 米山道男 (札幌北) 中島 勉 (札幌南) 岸木功喜 (札幌東) 市川唯行 (札幌) 藤本芳男 (苫小牧北)	
情報委員会 ◎石田 誠 (札幌手稲) 亀井敏清 (函館) 水元修治 (苫小牧東)	会員増強委員会 ◎石垣博英 (PG) 1.成澤卓爾 (羽幌) 2.依本 蕃 (伊別) 3.小寺 進 (栗山) 4.高橋裕典 (札幌北) 5.横路朋己 (新札幌) 6.室野 貴 (蘭越) 7.杉村 孝 (白老) 8.中島 滋 (静内)	(環境保全委員会) ◎和田壬三 (札幌南) 蝦名久志 (苫小牧東) 榊原武雄 (千歳)	(ローターアクト委員会) ◎井内球雄 (留萌) 金子 均 (札幌南) 菅野 昇 (札幌北) 附田 博 (室蘭北) 中塚 力 (岩見沢) 山田睦雄 (千歳) 坂口公平 (函館東)	(新世代活動推進委員会) ◎阪崎健治朗 (札幌西) 佐々木幹雄 (苫小牧北) 奥貫一之 (札幌東) 馬場哲成 (札幌西) 大竹秀文 (小樽南) 菅原耕治 (札幌北) 清水慧子 (長沼) 高橋紀幸 (札幌北)	(世界社会奉仕委員会) ◎対木正文 (札幌西) 井口光雄 (札幌西北) 名垣和雄 (札幌東) 土倉裕之 (札幌東) 高橋正俊 (札幌ニノク)	(青少年交換委員会) ◎瀧川哲夫 (札幌手稲) 目下健三 (恵庭) 奥村建夫 (札幌南) 衣澤征美 (札幌西北) 城本浩一 (札幌北) 長谷川寿朗 (札幌手稲) 宮越陽一 (札幌西) 千葉峻三 (札幌東) 藤井 明 (美瑛) 広瀬 進 (札幌ニノク) 増田幸久 (上磯) 今井由次 (函館) 宮越 昌子 (札幌清田)	(財団国際奨学金委員会) ◎米山道男 (札幌北) 太田耕平 (札幌西) 青森 湖北 (広島) 土橋信男 (札幌南) 南部春生 (札幌東) 安藤芳男 (苫小牧) 大野義雄 (札幌西北)	(財団増進委員会) ◎藤本芳男 (苫小牧北) 高下泰三 (札幌西) 渡邊恭久 (滝川) 白川真也 (苫小牧北) 渡辺 恒 (札幌西北)
広報委員会 ◎滝井精夫 (札幌) 川辺平治 (札幌) 三ツ井徳保 (千歳) 中山 彪 (札幌南)		(RCC委員会) ◎柳田貞夫 (余市) 丸屋憲一 (苫小牧北) 南部春生 (札幌東)	(インターアクト委員会) ◎堀川孝明 (札幌ニノク) 片岡哲雄 (登別) 浅野正俊 (札幌) 細川好弘 (静内) 遠山雅士 (函館五稜郭) 関堂勝幸 (札幌東)		趣味・職業別親睦活動委員会 ◎熊沢隆樹 (小樽) 阿部豊彦 (小樽) 高橋康則 (苫小牧北) 村上 登 (札幌西) 渡辺敏夫 (苫小牧)	(GSE委員会) ◎中島 勉 (札幌南) 畑中正義 (苫小牧東) 橋本信夫 (札幌西) 佐藤 宏 (札幌北) 足野恭亮 (札幌東) 山名善久 (札幌南) 早坂有弘 (札幌南)	(財団学友委員会) ◎市川唯行 (札幌) 福田武男 (千歳) 林 正道 (札幌) 渡辺雅敏 (小樽南) 山藤雅弘 (札幌西北) 山崎 駿 (札幌)	

PG : パストガバナー C : カウンセラー O : 委員長

1999~2000 “ACT WITH CONSISTENCY CREDIBILITY CONTINUITY” 「活動は－堅実・信望・持続」

RI会長 カルロ・ラビッツァ ガバナー 森本正夫



略歴 学校法人北海学園 理事長
1957年 北海道大学大学院 農業経済学専攻修士終了
ロータリー歴 1977年 札幌西RC入会(チャーターメンバー)
1983年 札幌西北RC会長
1996-97年 地区財団国際親善奨学金委員会 委員
ポール・ハリス・フェロー
米山功勞者
生年月日 昭和6年10月3日 札幌市

- 重点目標 ①ロータリーの原点に返り、信望を得ながら、会員増強・拡大と退会防止に努める。特に若手会員の増強に努める。
②ロータリー財団・米山奨学金プログラムを推進する。
③世界社会奉仕(WCS)、GSE(研究グループ交換)、新世代プログラムを発展させる。

	世界	日本	地区	新結成クラブ
クラブ数	29,728	2,278	70	
会員数	1,193,461	123,499	3,844	

会合	場所	開催日	RI会長・RI会長代理	参加者	ホストクラブ
国際大会 (第91回)	ブエノスアイレス (アルゼンチン)	6月4日 ～7日	カルロ・ラビッツァ		
地区大会	京王プラザホテル札幌 北海道札幌厚生年金会館大ホール ロイトン札幌	5月19日 20日	Iftekhharul Alam	2,228	札幌西北RC
地区協議会	札幌プリンスホテル	4月9日	G : 森本 正夫 GE : 遠藤 正之		札幌RC
大会テーマ：新世紀への架け橋 特別講演：「2000年の世界と期待される日本の役割」 NHK解説委員室専門委員 平野 次郎 氏					

分 区	分区代理	開催月日	開催地・会場	ホストクラブ
第1・第2 分区合同	伊藤 崇 藤永 貞治	11月14日	深川市・プラザホテル板倉	深川 RC 赤平 RC
第3分区	八島 壯之	10月23日	江別市・江別市民会館	江別 RC
第4・第5 分区合同	太田 博視 畑中 俊介	2月26日	札幌市・札幌ロイヤルホテル	札幌手稲 RC
第6分区	藤田 政昭	4月22日	小樽市・小樽グランドホテル	小樽銭函 RC
第7・第8 分区合同	鈴木 隆 大森 幸男	2月6日	苫小牧市・グランドホテルニュー王子	苫小牧北 RC 浦河 RC
第9分区	山本 尚夫	2月20日	室蘭市・中島神社蓬峯殿	室蘭東 RC
第10・第11 分区合同	松崎 和夫 森 秀樹	2月13日	函館市・函館国際ホテル	上磯 RC

ガバナーの思い出

私は、昭和52年（1977年）4月25日にRIから加盟承認を受けた「札幌西北ロータリークラブ」に入会しました。

私のガバナー年度は1999-2000年の世紀が変わるときでした。前年に、札幌クラブの富原さんと札幌北クラブの西城さんのお二人が来学し、選考委員会を代表して、伝えられました。北海学園の理事会の承認、札幌西北クラブの皆さんの同意と協力を頂ける了承を得て、ガバナーノミニーになりました。

ガバナー事務所は、私の勤める北海学園本部事務局の役員の会議室と大学の研究室（札幌地下鉄東豊線学園前駅のあるビル）に設置しました。

ガバナーノミニーの最初は、全国から選出された同期会の結成です。東京選出の小林さんが会長となりました。

また、パストガバナー中心に毎年開催する研究会に出席し、RI会長代理の報告とRI理事の報告をもとに研究会が行われました。その後は、USAの有名なディズニーランドに隣接するアナハイムのホテルで、夫婦で出席する研究会があり、RI会長カルロ・ラビッツァ（1999-2000年度国際ロータリー会長）のROTARY2000は、会員増強・意欲にあふれる会員育成を基本に、新しい千年紀のRC

の発展・繁栄のため、堅実・信望・持続をもって活動し、「目標の達成と、寛容と連帯の精神で努力の継続」のメッセージがありました。

アナハイムの研修会では、当時われわれの第2510地区から、RI理事として伊藤義郎（札幌クラブ）、故人となった竹山涼一（札幌南クラブ）の二人が出席していたので、研修会や夜の自由時間に二人の先輩から色々話を伺い、研修会の楽しい思い出となっています。

さて、ガバナー就任後の一年間は、6月から11月中旬まで、北海道西部地区内クラブの先輩のアドバイスを頂きながら、札幌を最終にする訪問計画を作成し、自分の車でまわりました。地区内には、数名の会員から数十名の大クラブまであり、それぞれのRCに特色があり、大変親切にして頂いたのが今でも忘れられません。本当にありがとうございました。

なお、大会懇親会出席に当たって、RI理事の竹山涼一さんから、日本側は、夫人の着物姿、とくに振袖がよいとのアドバイスがあり、当日は、各国の民族服の方との記念写真の申込がありました。写真はその一部です。

札幌西北ロータリークラブ

森本 正夫

1999年、米国カリフォルニア州アナハイム国際会議のパーティ会場にて



同期ガバナーの南部さん、作山さんご夫妻たち

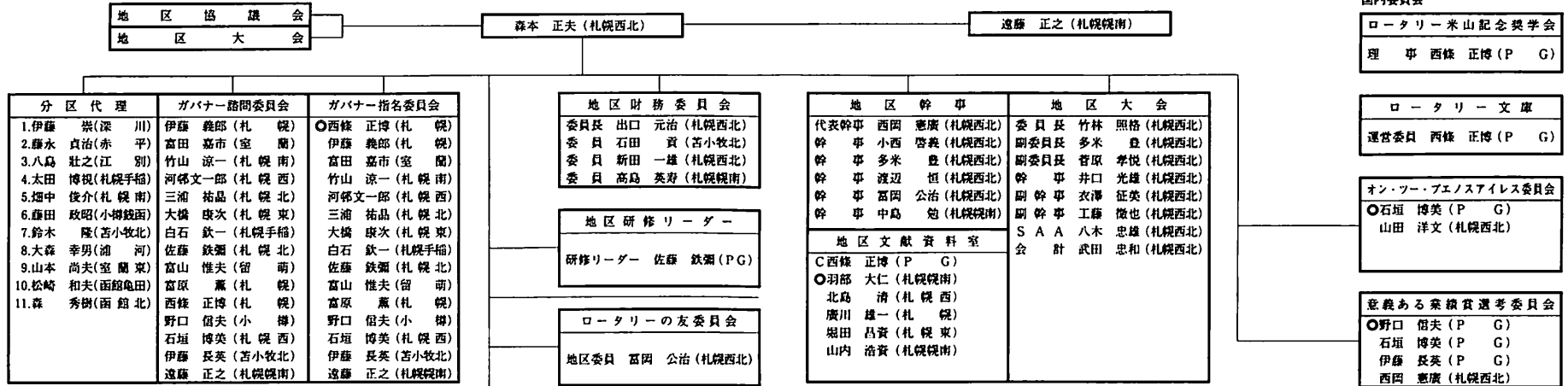


各国のガバナーから記念撮影を頼まれる妻の節子



竹山理事と紹介されたRI理事ご夫妻

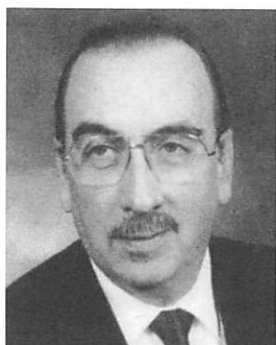
1999~2000年度国際ロータリー第2510地区組織図



地区カウンセラー及び地区諮問委員会						
クラブ奉仕委員会 C富原 薫(P G) ◎近藤 良一(札幌ニッパ) 神代 利臣(札幌南) 島西 克巳(札幌北)	職業奉仕委員会 C野口 信夫(P G) ◎塚原 房樹(札幌東) 平井 誠治(留 萌) 武部 實(札幌南) 柳 義文(滝 川)	国際奉仕委員会 ◎河部文一郎(P G) 対木 正文(札幌西) 高橋 康則(苫小牧北) 瀧川 哲夫(札幌手稲)	新世代委員会 ◎三浦 祐品(P G) 井内 球雄(留 萌) 細川 好弘(静 内) 奥貫 一之(札幌東)	ロータリー財団委員会 C大橋 康次(P G) ◎富山 惟夫(P G) 青木 功喜(札幌東) 橋本 信夫(札幌) 市川 唯行(札幌)	拡大委員会 ◎西條 正博(P G) 野口 信夫(P G) 石垣 博美(P G)	米山記念奨学委員会 C白石 欽一(P G) ◎加賀屋義範(札幌北) 粟津健太郎(札幌手稲) 佐久間正己(札幌南) 小川 貞治(札幌西北) 後藤 精二(札幌北)
情報委員会 ◎石田 誠(札幌手稲) 亀井 敏清(函 館)	社会奉仕委員会 C石垣 博美(P G) ◎和田 壬三(札幌南) 丹羽 祐而(札幌手稲) 宮崎 真(北広島) 福山恵太郎(札幌南)	(世界社会奉仕委員会) ◎対木 正文(札幌西) 越田 広司(七 飯) 名塩 和雄(札幌西) 土倉 裕之(札幌東) 高橋 正俊(札幌ニッパ) 田畑 悟(札幌南)	(青少年交換委員会) ◎瀧川 哲夫(札幌手稲) 奥村 建夫(札幌南) 衣澤 征美(札幌西北) 城本 浩一(札幌北) 長谷川寿朗(札幌手稲) 宮越 陽一(札幌西) 藤井 明(美 唄) 広瀬 進(札幌ニッパ) 長澤 昇司(札幌東) 日下 健三(恵 庭) 増田 幸久(上 磯) 宮越 昌子(札幌南)	(ローターアクト委員会) ◎井内 球雄(留 萌) 香野 昇(札幌北) 中塚 力(岩見沢) 山田 睦雄(千 歳) 柳 孝一(札幌南) 今井 義憲(函館東)	(財団国際奨学委員会) ◎米山 道男(札幌北) 斎藤 潤(北広島) 安藤 芳男(苫小牧) 土橋 信男(札幌南) 南部 春生(札幌東) 大野 義雄(札幌西北)	(財団増進委員会) ◎渡辺 恒(札幌西北) 藤本 芳男(苫小牧北) 高下 泰三(札幌西) 井上 勝法(札幌西北) 土谷 亨(札幌南)
広報委員会 ◎滝井 招夫(札幌) 川辺 平治(札幌) 菅原 孝悦(札幌西北)	(趣味・職業別競輪活動委員会) ◎高橋 康則(苫小牧北) 熊沢 隆樹(小 樽) 谷口 良一(札幌北) 渡辺 敏夫(苫小牧) 杉澤 達史(札幌南)	(インターアクト委員会) ◎細川 好弘(静 内) 片岡 智雄(登 別) 遠山 雅士(函館五稜郭) 関堂 勝幸(札幌東) 鎌須賀和彦(札幌)	(新世代活動推進委員会) ◎奥貫 一之(札幌東) 佐々木幹雄(苫小牧北) 清水 恵子(長 沼) 高橋 紀幸(札幌南) 高下 泰三(札幌西) 見延庄三郎(小 樽南) 大久保徹夫(札幌東)	(GSE委員会) ◎橋本 信夫(札幌西) 笠原 昇一(札幌東) 杉野目 浩(札幌) 山名 善久(札幌南) 早坂 有弘(札幌南) 武藤 順(札幌西) 杉下 清次(札幌北)	(財団学友委員会) ◎市川 唯行(札幌) 米山 道男(札幌北) 福田 武男(千 歳) 林 正道(札幌) 渡辺 雅敏(小樽南) 山藤 雅弘(札幌西北) 山崎 駿(札幌)	(補助金委員会) ◎青木 功喜(札幌東) 伏木 忠了(札幌西) 平柳俱仁夫(札幌手稲) 大久保徹夫(札幌東)

2000～2001 “CREATE AWARENESS TAKE ACTION” 「意識を喚起し、進んで行動を」

RI会長 フランク J. デブリン ガバナー 遠藤 正之



略 歴 医療法人社団 遠藤小児科医院 理事長
昭和33年 札幌医科大学卒業

ロータリー歴 1971年 札幌南RC入会
1994年 札幌南RC会長
1997年 第5分区代理
ポール・ハリス・フェロー
米山功勞者

生年月日 昭和6年9月21日 室蘭市

- 重点目標 ①クラブの活性化で会員増強と退会防止を図ろう
②R財団と米山奨学金へ積極的に協力しよう
③21世紀のロータリーに向けて自ら進んで行動しよう
④ロータリーの情報化を高めよう

	世界	日本	地区	新結成クラブ
クラブ数	29,626	2,292	71	札幌大通公園 2001年6月11日
会員数	1,180,550	120,545	3,698	

会合	場所	開催日	RI会長・RI会長代理	参加者	ホストクラブ
国際大会 (第92回)	サンアントニオ (アメリカ)	6月24日 ～27日	フランク J. デブリン	21,428	
地区大会	サッポロネックスホテル 北海道厚生年金会館 札幌プリンスホテル国際館[パミール]	5月19日 20日	ノラシー・パサマナン	2,193	札幌南RC
	大会テーマ：輝けロータリー新世紀 特別講演：「輝けロータリー新世紀」 RI第2770地区 パストガバナー 田中 作次氏				
地区協議会	札幌パークホテル	4月22日	G：遠藤 正之 GE：岩城 秀晴		札幌東RC

分区	ガバナー補佐	開催月日	開催地・会場	ホストクラブ
第1・第2 分区合同	佐藤 義明 渡邊 恭久	10月22日	滝川市・滝川ホテル三浦華園	滝川 RC
第3分区	本田 正一	10月29日	栗沢町・栗沢町立町民センター	栗沢 RC
第4・第5 分区合同	大金 武夫 名塩良一郎	2月10日	札幌市・札幌ロイヤルホテル	札幌東 RC
第6分区	本田 壮稜	3月17日	小樽市・小樽グランドホテル	小樽 RC
第7分区	佐藤 秀雄	3月3日	千歳市・千歳全日空ホテル	千歳 RC
第8分区	川端 武男	2月18日	三石町・三石福祉センター	三石 RC
第9分区	堅田 進	2月25日	伊達市・伊達信金コスモスホール	伊達 RC
第10・第11 分区合同	佐々木 弘 戸嶋 浩	3月3日	函館市・国際ホテル	七飯 RC
第12分区	田中 正臣	2月24日	苫小牧市・グランドホテルニュー王子	苫小牧 RC

遠藤正之パストガバナーを偲んで

「時の歩みは三重である。未来はためらいつつ近づき、現在は矢の様に早く飛び去り、過去は永遠に静かに立っている。」

この詩はドイツでゲーテと並んで有名なる詩人で、鴨長明の「方丈記」と共通するものがある。過去は永遠に静かに立っているという文章で、我々の幌南ロータリークラブの歴史を紐解いてみると、今年が創立50周年記念の年で、現在の羽部大仁ガバナーと故遠藤正之ガバナーの2人を拝出し、第2510地区に多大なる貢献をしてきた。遠藤ガバナーの時代は約100名の会員を擁していたが、現在は60余名となったが、活動内容は遜色のなく活発であり、正に幌南ロータリークラブの伝統なのであろう。遠藤先生がこの世を去って早くも8年の年月が経った。こよなくロータリーを愛し、楽しみ、華々しい活躍ぶりを一部であるが紹介したい。先生はガバナーに指名されたのが98年、ノミニーとして、99年はエレクトとして、忙しい診療にもかかわらず精力的に活動していた。特に99年度にはガバナーとしての研修を米国アナハイムに御夫人と参加した時の思い出は大変楽しく貴重なものであったといっていた。

98年ノミニー指名されると同時に地区幹事が選出され、現在は退会されているが中島勉筆頭幹事のもとに、現在のガバナー羽部大仁さん、山内浩資さん、山名善久さんと筆者、又会計担当には五十嵐政三さん、大会実行委員長に金山富晴さん、大会幹事に田澤泰明さん等多くの方々が活躍しましたが、残念ながら当時の種々の役職の方々は退会又は故人となっております。しかしながら羽部ガバナー

の筆頭幹事として田澤さんが活躍されている事は大変喜ばしい事であり、又最近入会した多くの会員が活発に参加協力している事は大いにたのもしいかぎりである。遠藤ガバナースタッフが中島筆頭幹事のもとに大きな励みとなったのは、21世紀初代のガバナーという自負心があったからである。

99年度には遠藤先生の平岸小児科医院の2階を改築してガバナー事務所を開設した。

以来エレクト時代、ガバナー時代、直前パストガバナーの3年間、週に何度も通った事は記憶に新しい。当時のRI会長は米国のフランク J・デブリン氏で「意識を喚起し、進んで行動を」というテーマで活動したが、地区大会ではRI会長代理としてタイのバンラックロータリーからノラシー・パサマナンさんが出席され、大変立派で上品な方であった事を今も鮮明に記憶している。地区大会ではご招待者の中に基調講演として八潮^{しお}ロータリークラブ（第2770地区）の田中作次さんが出席されましたが、12年後の2012年に国際ロータリー RI会長として活躍された。

遠藤先生は2008年7月24日に多くの方々にお生まれ、御逝去されたが、前立腺癌という疾患で当時筆者の義弟が千葉県稲毛市の国立放射線医学研究所の院長をしていたが、日本で唯一前立腺重粒子治療が出来る医療機関であった。残念ながら病巣は著しく進行し、放射線治療の適応外であったと伝えられ、私は報告を遠藤先生より受けた時は本当に残念であった。

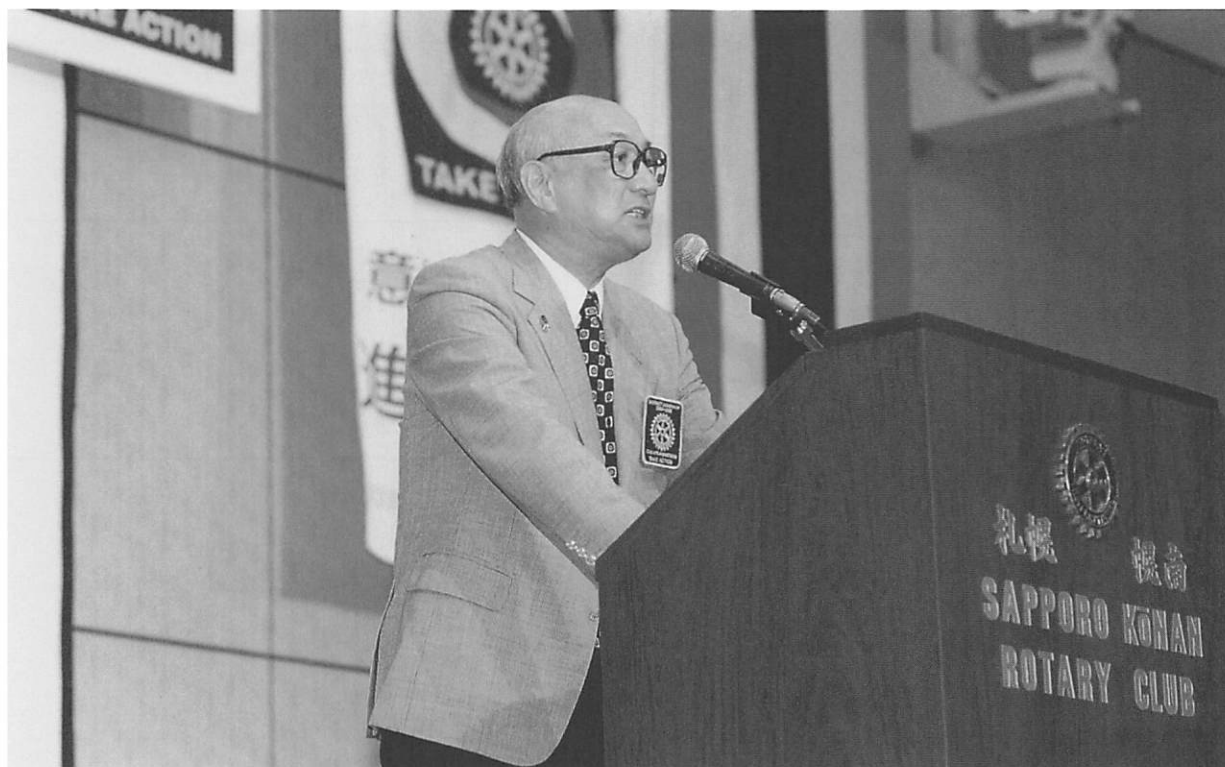
ロータリーをこよなく愛し、大変な活躍をした遠藤正之先生には大いなる尊敬と敬意と

感謝の念を贈りたいと思います。

合掌

平成26年10月30日

針谷 毅



地区大会挨拶遠藤ガバナー

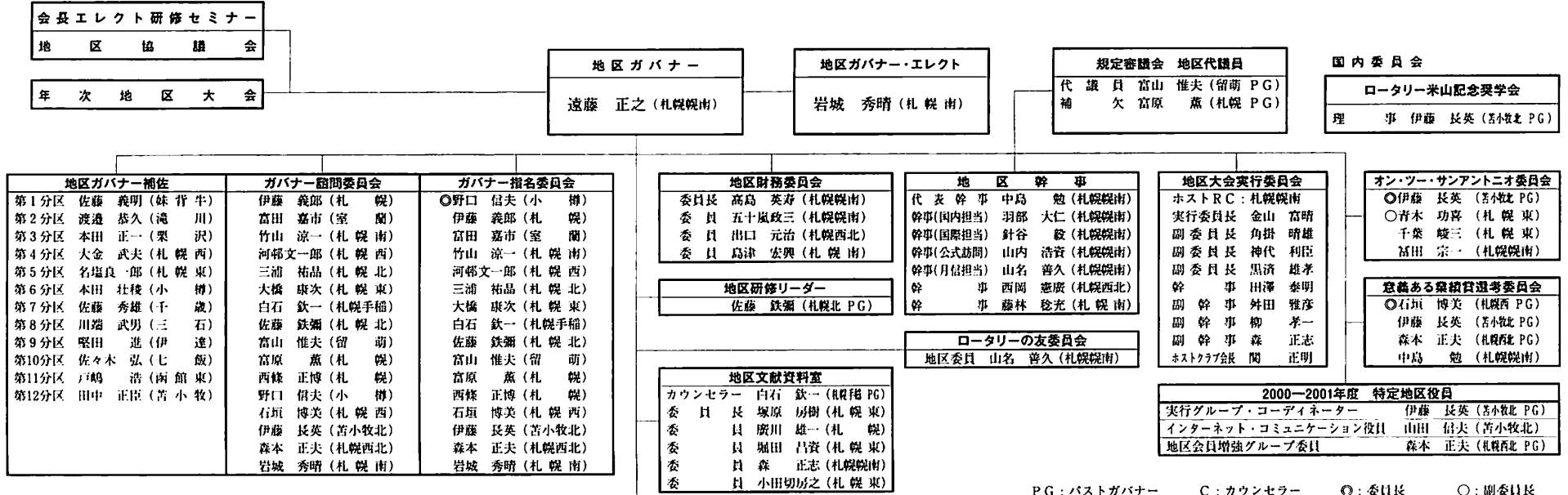


ノラシー・パサマナンRI会長代理ご夫婦



遠藤ガバナーご夫婦

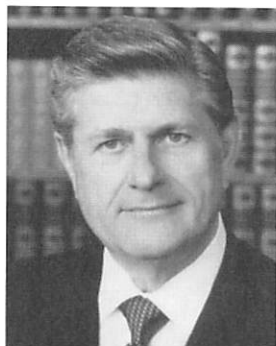
2000～2001年度国際ロータリー第2510地区組織図



地区委員会カウンセラー及び地区顧問委員会					
クラブ奉仕委員会 C 富原 薫 (札幌 PG) ◎近藤 良一 (札幌南) 神代 利臣 (札幌南) 八島 壯之 (江別)	会員増強委員会 ◎森本 正夫 (札幌西北 PG) 佐藤 義明 (妹背牛) 渡邊 恭久 (滝川) 本田 正一 (栗沢) 大金 武夫 (札幌西) 名塩良一郎 (札幌東) 本田 社棧 (小樽) 佐藤 秀雄 (千歳) 川端 武男 (三石) 堅田 進 (伊達) 佐々木 弘 (七飯) 戸嶋 浩 (函館東) 田中 正臣 (苫小牧)	職業奉仕委員会 C 野口 信夫 (小樽 PG) ◎平井 誠治 (留萌) 富岡 公治 (札幌西北) 金子 均 (札幌南) 夏井坂信幸 (札幌南)	国際奉仕委員会 C 石垣 博美 (札幌西 PG) ◎小林 博 (札幌北) 村木 正文 (札幌西) 清水 慧子 (長沼) 谷口 良一 (札幌北)	新世代委員会 ◎伊藤 長英 (苫小牧北 PG) ◎奥貫 一之 (札幌東) 中塚 力 (岩見沢) 細川 好弘 (静内)	ロータリー-財団委員会 C 大橋 康次 (札幌東 PG) ◎富山 惟夫 (留萌 PG) 土橋 信男 (札幌南) 橋本 信夫 (札幌西) 土谷 亨 (札幌南)
拡大委員会 ◎野口 信夫 (小樽 PG) 石垣 博美 (札幌西 PG) 伊藤 長英 (苫小牧北 PG)	情報委員会 C 河部文一郎 (札幌西 PG) ◎亀井 敏清 (函館) 阿部 光一 (苫小牧北) 西岡 憲廣 (札幌西北) (塚原 房樹) (札幌東)	社会奉仕委員会 C 三浦 祐品 (札幌北 PG) ◎和田 壬三 (札幌南) 宮崎 眞 (北広島) 杉江俊太郎 (小樽) 中野 亮 (函館北) 高下 泰三 (札幌西)	世界社会奉仕委員会 ◎村木 正文 (札幌西) ◎越田 広司 (七飯) 土倉 裕之 (札幌東) 高橋 正俊 (札幌南) 田畑 悟 (札幌南) 伊藤 崇 (深川) 土屋 孝人 (苫小牧北) 光鏡 健三 (上磯)	青少年交換委員会 ◎清水 慧子 (長沼) 広瀬 進 (札幌南) 宮越 昌子 (札幌清田) 長澤 昇司 (札幌東) 増田 幸久 (上磯) 日下 健三 (恵庭) 玉木 弘孝 (札幌北) 加藤 康夫 (札幌南) 渡山 敬二 (長沼) 渡邊 葉子 (札幌西北) 渡邊 哲則 (札幌手稲) 藤野 明信 (函館北)	ロータリー-アクト委員会 ◎中塚 力 (岩見沢) ◎出村 貢 (札幌北) 柳 孝一 (札幌南) 今井 義憲 (函館東) 金山 暁 (千歳)
米山記念奨学会委員会 C 白石 欽一 (札幌手稲 PG) ◎戸井 敏夫 (札幌南) 吉田 正治 (滝川) 黒田 秀雄 (室蘭東) 加賀屋義範 (札幌北) 中川 勝之 (札幌南)	広報委員会 C 富原 薫 (札幌 PG) ◎山口 潔 (札幌南) 菅原 孝悦 (札幌西北)	趣味職業別親睦活動委員会 ◎谷口 良一 (札幌北) 杉澤 達史 (札幌南) 高海 浩志 (札幌) 徳中 征之 (札幌南) 熊澤 隆樹 (小樽)	財団国際親善奨学会委員会 ◎土橋 信男 (札幌南) 安藤 芳男 (苫小牧) 南部 春生 (札幌東) 大野 義雄 (札幌西北) 丹羽 祐而 (札幌手稲) 戸部 万太郎 (札幌北)	財団増進委員会 ◎土谷 亨 (札幌南) 渡辺 恒 (札幌西北) 藤本 芳男 (苫小牧北) 吉田 淳一 (札幌南) 大星 孝幸 (札幌南)	GSE委員会 ◎橋本 信夫 (札幌西) 笠原 昇一 (札幌東) 杉野目 浩 (札幌) 武藤 順 (札幌西) 岡崎 芳明 (小樽南) 菊田 政徳 (江別) 中山 彪 (札幌南) 中山 相朗 (千歳) 城木 浩一 (札幌北) GSEチーム・リーダー 星野 恭亮 (札幌東)
				インターアクト委員会 ◎細川 好弘 (静内) 片岡 哲雄 (登別) 有田 均 (札幌南) 遠山 雅士 (函館五枝郭) 長井 伸樹 (札幌) 大久保徹夫 (札幌東)	財団学友委員会 ◎米山 道男 (札幌北) 徳物 葉子 (札幌北) 深貝 亨 (札幌南) 福田 武男 (千歳) 鍋谷 操子 (函館東) 補助委員会 ◎平柳 仁夫 (札幌手稲) 伏木 忠了 (札幌西)

2001～2002 “MANKIND IS OUR BUSINESS” 「人類が私たちの仕事」

RI会長 リチャード D. キング ガバナー 岩城 秀晴



略 歴 岩城秀晴税理士事務所 所長
昭和20年3月 旭川商業学校卒業
ロータリー歴 1976年 札幌南RC入会
1990年 札幌南RC会長
1992-95年 地区米山記念奨学委員長
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
米山功労者(銀)
生年月日 昭和2年7月27日 滝川市

- 重点目標 ①21世紀のロータリーに向けて、新鮮な動きをしよう
②会員増強と退会防止を図り、クラブに活力を得よう
③ロータリー情報化を図り、密度を高め迅速な対応をしよう
④R財団と米山奨学会への協力を積極的に推進しよう

	世界	日本	地区	新結成クラブ
クラブ数	30,149	2,304	71	札幌セントラルRC 2002年4月25日
会員数	1,188,492	116,305	3,554	

会合	場所	開催日	RI会長・RI会長代理	参加者	ホストクラブ
国際大会 (第93回)	バルセロナ (スペイン)	6月23日 ～26日	リチャード D. キング	16,842	
地区大会	札幌パークホテル	10月27日 28日	ゲイリー・C.K.ホアン(黄 其光)	2,082	札幌南RC
大会テーマ:「めざせコミュニティへのサービスを」に結集しよう!! 特別講演:「企業の社会貢献と頑張れ北海道」 東日本旅客鉄道(株) 取締役会長 松田 昌士 氏					
地区協議会	札幌パークホテル アートホテルズ札幌	4月14日	G : 岩城 秀晴 GE : 小林 博		札幌西北RC

グループ	ガバナー補佐	開催月日	開催地・会場	ホストクラブ
第1・第2 グループ合同	大石 洋一 木村 正勝	9月30日	羽幌町・羽幌町中央公民館 サンセットプラザはほろ	羽幌 RC コ・ホスト:砂川RC
第3グループ	向田 甚市	2月16日	岩見沢市・三井グリーンランド ホテルサンプラザ	岩見沢
第4・第5 グループ合同	西岡 憲廣 上田 正佳	2月23日	札幌市・京王プラザホテル札幌	札幌西北RC コ・ホスト:札幌真駒内RC
第6グループ	畑 龍英	3月30日	小樽市・小樽グランドホテル	小樽南RC
第7グループ	村上 利雄	3月2日	恵庭市・キャッスルENIWA	恵庭 RC
第8グループ	山科 幸一	2月2日	えりも町・えりも町福祉センター	えりも RC
第9グループ	熊谷 弘夫	2月24日	室蘭市・中嶋神社 蓬峯殿	室蘭北RC
第10・第11 グループ合同	三浦 祐伸 酒井 正人	2月24日	函館市・ホテル函館ロイヤル	函館五稜郭RC
第12グループ	渡部 好治	5月26日	苫小牧市・グランドホテルニュー王子	苫小牧東RC

(1) ロータリーに入会にあたって

ロータリーは市民の私にとっては高いレベルの人たちのクラブという認識でありました。その中で社会奉仕を目的とした団体であると認識していました。

或る日、札幌クラブの友人から、ロータリークラブへの入会を誘われましたが、当時は地区が大通りから南は札幌南RCと云うことが判り、札幌

南RCの知人が御世話を下さったのが現実でした。

また、一業種一名と云う原則もあり、漸く別な業種で入会出来たのが、昭和51年5月でありました。

当時は、札幌南RCは150名のメンバーで、あまり会員を増強しなくても良いクラブの状況でした。

(2) 入会後の動向

入会後はひまわり委員、会報、出席、職業奉仕、社会奉仕等々の委員会に属し、ロータリーのメンバーとしての勉強を致しました。そのうちにメンバーの先輩で、ロータリーについて熱心な方がおりまして、中央大教授の小堀先生のロータリーの講話を夜間に受講したことがありました。

地区の委員として、青少年交換委員会に委員として3年間をやって、1年間空白で再度委員を2年務めまして、ロータリーの奉仕の一片を理解致しました。

また、当時パスト・ガバナーの森松さんに指示されて、IMに出場して、「3分間スピーチ」に私とロータリーを述べさせられました。大人数の前でスピーチをすることが苦手でしたが、これも訓練だと思って、一生懸命に任を果たしました。

地区大会は毎回出席したと記憶しておりますし、小樽の地区大会は特に印象深いものがありました。

クラブ会長になる前は、地区委員を奉仕することができた反面、他のクラブの方々とも知人が大勢出来まして、このロータリーの良さをしみじみと理解し、友情を深めることが出来たことは、ガバナーになってからも十分にその広さが効果としてあらわれました。

札幌南RCの会長を1990年（平成2年）に終わった後、またもパスト・ガバナーの森松さんが今

度、地区の米山記念奨学委員長をやって欲しいと云われて、それまで奨学生との関わりは青少年委員会で行ったものの、それが大学生の留学生と関わる委員会の委員長を任命されたのですから、全く、勉強を一からやると云ったことでありました。

当時、私は4丁目プラザの社長をやっておりまして、2月の月上旬にパークホテルの一室で面接試験を行っておりましたところ、会社より強盗が入ったからすぐ帰社してほしい旨の電話がありました。

その翌日の新聞にデカデカと写真が掲載されておりましたが、私は留守の社員に善処方をまかせて、委員会の皆様には全然打明けず、面接試験を終了させました。

3年委員会でありましたので、委員会としてその任を果たすことができたが、ある事件が生じたときの対応にも十分に備えておくことも必要であったと今、反省する次第です。

1996年に竹山さんがRI理事に就任され、札幌パークホテルで全国研究会が行われた。そのとき、私は会計を担当しました。竹山理事とその実績と資金の照会を何回も何回も検討しながら、収支計算書を作ったことがありました。最後は会計担当者の印を貰って、漸く終了したのも思い出となっております。

(3) 札幌南RC会長るとき

1. 35周年記念事業の開催となりました。おもてなしの方法を研究致しました。その結果、周年事業には、ガバナー、パスト・ガバナーの皆さまの列席がありました。参加者から賛辞を戴いた記憶があります。
2. 地区協議会の担当会となって、地区協議会の「なごやぎの心」を基本においたクラブ方針に務めました。

(4) ガバナーについて

ガバナーに指名されましたが、財団関係が全くわからず、財団委員会ではずいぶん苦勞しました。

一方では、地区大会を春から秋に移行することを地区の諮問委員会で決定致しましたので、公式訪問には訪問するクラブさんに頭を下げ、春から秋に移行の理由をただされましたが、幹事、副幹事さん方にも協力を得て、各クラブさんに了解を得た次第です。

地区大会のRI会長代理に黄 其光さんがお見えになり、札幌パークホテルにおいて参加人数2,082名の方々の参加を得て開催されました。

当時はRI会長代理の方がその14年後に会長になれることは想像していませんでした。

会長代理の黄さんとは毎年の研究会で御会いいたしまして、旧来から知己のような雰囲気でお付き合いをさせて戴いておりました。

一方、RIが機構改革の一つとして、DLP運動が展開されました。ガバナーエレクトの国際協議会がアナハイムで開催されておりましたが、パスト・ガバナーの竹山さんにダメを押されましたが、今となって見ますと本当に勉強になったと深く感謝している次第です。

(5) パスト・ガバナーになって

1. 100周年記念事業 委員長 (2014年9月)
エバンストンに行き、ポール・ハリスの御墓に参詣しました。
2. 3700地区との姉妹を結んだこと。
3. 財団委員会の委員長を6年間無事にその任を終えたこと。

以上が、私のロータリーとしての経歴ですが、最後の財団につきましては、財団に未来の夢計画が4年目からやって参りまして、その対応策につきまして、財団委員会の委員の方々、及びWCSの委員の方々とは言葉で云い尽くせぬ思い出があります。

ロータリアンの私がロータリアンであることに感謝と喜びを感じるものであります。

RI2510地区ガバナー (2001年～2002年)
RI2510地区財団委員長 (2007年～2013年)

岩城 秀晴



2001~2002年度国際ロータリー第2510地区組織図



PG:バスターガバナー C:カウンセラー ◎:委員長 ○:副委員長

地区委員会 カウンセラー及び地区諮問委員会							
クラブ奉仕委員会	会員増強委員会	職業奉仕委員会	国際奉仕委員会	新世代委員会	ロータリー財団委員会	世界社会奉仕委員会	青少年交換委員会
C富原 薫(札幌 PG) ◎近藤 良一(札幌モニング) 神代 利臣(札幌南) 金子 陸(札幌手稲)	◎遠藤 正之(札幌南 PG) 大石 洋一(羽 札幌) 木村 正勝(砂 川) 向田 甚市(岩見沢) 西岡 恵廣(札幌西北) 上田 正佳(札幌真駒内) 畑 龍英(小樽南) 村上 利雄(恵 庭) 山科 幸一(えりも) 熊谷 弘夫(室蘭北) 三浦 祐伸(森)	C野口 信夫(小樽 PG) ◎平井 誠治(留 萌) 富岡 公治(札幌西北) 金子 均(札幌南) 夏井坂 信幸(札幌南)	C石垣 博美(札幌西 PG) ◎青木 功喜(札幌東) 土倉 裕之(札幌東) 清水 慧子(長 沼) 植田 英隆(札幌)	C伊藤 長英(苫小牧北 PG) ◎奥 塚 一之(札幌東) 中塚 力(岩見沢) 細川 好弘(静 内) 金井 重博(札幌南)	C富山 惟夫(留 萌 PG) ◎森本 正夫(札幌西北 PG) 土橋 信男(札幌南) 橋本 信夫(札幌西) 大星 孝幸(札幌南)	◎土 倉 裕 之(札幌東) 上 原 孝 人(苫小牧北) 光 銭 健 三(上 磯) 坂 垣 宏 志(小樽) 若 原 秀 明(札幌東) 神 部 絢 子(滝川) 後 藤 由 春(札幌南) 大 田 す み 子(札幌北)	◎清 水 慧 子(長 沼) 広 瀬 逸(札幌モニング) 玉 木 弘 孝(札幌北) 長 澤 昇 司(札幌東) 渡 辺 哲 則(札幌手稲) 日 下 健 三(恵 庭) 武 山 謙 二(長 沼) 加 藤 康 夫(札幌南) 森 野 明 信(函 館北) 渡 邊 葉 子(札幌西北) 目 黒 幸 隆(余 市) 山 内 哲 郎(上 磯)
C西條 正博(札幌 PG) ◎亀井 健清(函 館) 廣川 雄一(札幌) 長谷川 振一(札幌東) 大河 勝敏(小樽南) 中島 健(滝 川) 滝本 繁(札幌手稲) 竹原 巖(札幌北)	◎酒井 正人(函館五稜郭) 渡部 好治(苫小牧東) ◎米山記念奨学会 C白石 欽一(札幌手稲 PG) ◎戸井 敏夫(札幌南) ◎山科 幸一(えりも) 黒田 秀雄(室蘭東) 中山 裕 観(札幌真駒内) 武田 利兵衛(札幌南)	◎和田 王三(札幌南) 菅原 剛太郎(滝川) 対木 正文(札幌西) 杉江 茂太郎(小樽) 伊藤 竹雄(苫小牧北) 中野 亮(函館北)	◎植田 英隆(札幌) 谷口 良一(札幌北) 徳 高 浩 志(札幌南) 徳 中 征 之(札幌南) 西 條 文 雪(小樽) 畑 中 俊 介(札幌南) 灰 野 寛(札幌北)	◎細川 好弘(静 内) 長井 伸樹(札幌) 池田 光司(札幌東) 有田 均(札幌南) 義盛 俊宏(登 別) 能 戸 彰(函館五稜郭)	◎土橋 信男(札幌南) 大野 義雄(札幌西北) 丹羽 祐面(札幌手稲) 戸部 アナリア(札幌はまなす) 関 堂 勝 幸(札幌東) 松 下 文 芳(江 別西)	◎橋本 信夫(札幌西) 武 藤 順(札幌西) 岡 崎 芳 明(小樽南) 菊 田 政 徳(江 別) 中山 和 朗(千 歳) 城 本 浩 一(札幌北) 星 野 泰 亮(札幌東) 山 名 善 久(札幌南) 小 林 昌 志(札幌南) 千 葉 峻 三(札幌東)	◎大星 孝幸(札幌南) 土 谷 享(札幌南) 熊 本 努(札幌南) ◎米山道男(札幌北) 徳物 葉子(札幌はまなす) 福田 武男(千 歳) 鍋谷 操子(函 館東) 櫻井 政 隆(札幌) 金久保 兵士郎(小樽) ◎伏木 忠了(札幌西) 福山 恵太郎(札幌南)
C富原 薫(札幌 PG) ◎山口 潔(札幌南) ◎平 公 夫(札幌東) 富 隈 英 樹(札幌南)	◎C 白石 欽一(札幌手稲 PG) ◎戸井 敏夫(札幌南) ◎山科 幸一(えりも) 黒田 秀雄(室蘭東) 中山 裕 観(札幌真駒内) 武田 利兵衛(札幌南)	◎和田 王三(札幌南) 菅原 剛太郎(滝川) 対木 正文(札幌西) 杉江 茂太郎(小樽) 伊藤 竹雄(苫小牧北) 中野 亮(函館北)	◎植田 英隆(札幌) 谷口 良一(札幌北) 徳 高 浩 志(札幌南) 徳 中 征 之(札幌南) 西 條 文 雪(小樽) 畑 中 俊 介(札幌南) 灰 野 寛(札幌北)	◎細川 好弘(静 内) 長井 伸樹(札幌) 池田 光司(札幌東) 有田 均(札幌南) 義盛 俊宏(登 別) 能 戸 彰(函館五稜郭)	◎土橋 信男(札幌南) 大野 義雄(札幌西北) 丹羽 祐面(札幌手稲) 戸部 アナリア(札幌はまなす) 関 堂 勝 幸(札幌東) 松 下 文 芳(江 別西)	◎橋本 信夫(札幌西) 武 藤 順(札幌西) 岡 崎 芳 明(小樽南) 菊 田 政 徳(江 別) 中山 和 朗(千 歳) 城 本 浩 一(札幌北) 星 野 泰 亮(札幌東) 山 名 善 久(札幌南) 小 林 昌 志(札幌南) 千 葉 峻 三(札幌東)	◎大星 孝幸(札幌南) 土 谷 享(札幌南) 熊 本 努(札幌南) ◎米山道男(札幌北) 徳物 葉子(札幌はまなす) 福田 武男(千 歳) 鍋谷 操子(函 館東) 櫻井 政 隆(札幌) 金久保 兵士郎(小樽) ◎伏木 忠了(札幌西) 福山 恵太郎(札幌南)
◎米山道男(札幌北) ◎伏木 忠了(札幌西)							

2002～2003 “Sow the Seeds of Love” 「慈愛の種を播きましょう」

RI会長 ビチャイ・ラタクル ガバナー 小林 博



略 歴 財団法人 札幌がんセミナー理事長

昭和27年 北海道大学医学部卒業

ロータリー歴 1972年 札幌北RC入会

1994年 札幌北RC会長

99年-01年 米山奨学金選考委員

米山功労者

生年月日 昭和2年5月17日 札幌市

- 地区目標 ①家庭に慈愛の種を播きましょう
②クラブに慈愛の種を播きましょう
③職業を通じて慈愛の種を播きましょう
④地域社会にそして国際社会に慈愛の種を播きましょう

	世界	日本	地区	新結成クラブ
クラブ数	31,256	2,315	72	
会員数	1,243,431	111,633	3,336	

会合	場所	開催日	RI会長・RI会長代理	参加者	ホストクラブ
国際大会 (第94回)	ブリスベン (オーストラリア)	6月1日 ～4日	ビチャイ・ラタクル	14,147	
地区大会	北海道厚生年金会館 ロイトン札幌	11月16日 17日	佐野 康博	1,869	札幌北RC
	大会テーマ：咲かそう、慈愛の花 特別講演：「小さな命からの伝言-少子高齢化社会への提言-」 アグネス・チャン氏				
地区協議会	千歳市民文化センター・ 千歳全日空ホテル	4月19日	G：小林 博 GE：佐藤 秀雄		千歳セントラルRC

グループ	ガバナー補佐	開催月日	開催地・会場	ホストクラブ
第1・第2 グループ合同	吉本 勲 藤原 税	5月24日	赤平市・赤平市文化会館	コ・ホスト：深川RC 赤平RC
第3グループ	辻野 修	9月14日	当別町・道民の森研修センター及び野外	当別RC
第4・第5 グループ合同	村山 正 角掛 晴雄	2月22日	札幌市・札幌ルネッサンスホテル	コ・ホスト：札幌RC 札幌南RC
第6グループ	近藤 徹哉	2月15日	余市町・余市中央公民館	余市RC
第7グループ	和田 次彦	3月8日	千歳市・ホテル日航千歳	千歳セントラルRC
第8グループ	郷司 公雄	2月16日	様似町・様似公民館	様似RC
第9グループ	斎藤 修弥	2月23日	室蘭市・室蘭市民会館 他	室蘭RC
第10・第11 グループ合同	遠藤 哲二 松見 修二	3月29日	函館市・函館ロイヤルホテル	函館RC
第12グループ	川田 憲秀	*IMの開催は無し。2003年5月12日にグループ内4クラブ合同例会を開催		

1) ビチャイ・ラタクルRI会長来道

2003年4月25日、2510、2500両地区の700名の会員がラタクルRI会長を札幌にお迎えした。そのときの同会長は挨拶のなかで次のようなエピソードを紹介された。

『私は1958年に入会したが、その当時は例会出席と会費を払うだけのメンバーにすぎず、本当の意味のロータリアンではありませんでした。「キッカケ」はクラブ奉仕プログラムで、週末に母子家庭の子供との海水浴に参加した時です。私は休日は自宅で過ごすつもりで、はじめは断ったのですが、予定していた他のメンバーの都合が悪くなり、結局私が参加する事になったのです。3人の子供を車に乗せてパタヤビーチへ海水浴に行きました。隣に座った子供が汚くて私はあまり近づきたくなかったのですが、その子が私に近づいてきたのです。海岸に行ってもその汚い子

は誰とも遊ぼうとしないで1人で孤独に過ごしていました。その時、私は、この子は「私と遊びたいのだ」とわかり、一日一緒に遊びました。プログラムが終了し、夕方別れるとき、その子から「もし貴方が本当のお父さんだったら良かった」という言葉を聞いて私の目に涙が溢れたのです。それが、私のロータリアンとしてのターニングポイントでした。「慈愛の種を播く」スタートだったのです』。



全員の拍手に迎えられるラタクル会長＝中央右（札幌パークホテル）

2) 「ガバナー月信」388頁を1冊に

尤大な内容で盛り上げました。ガバナーからのメッセージだけでなく、「地区委員会活動」「各クラブの活動紹介」「会員からのご意

見」や「疑問」、さらに「ガバナーとの対話」など、フランクな情報提供や意見交換の場としました（委員長 札幌北RC竹原巖さん）。

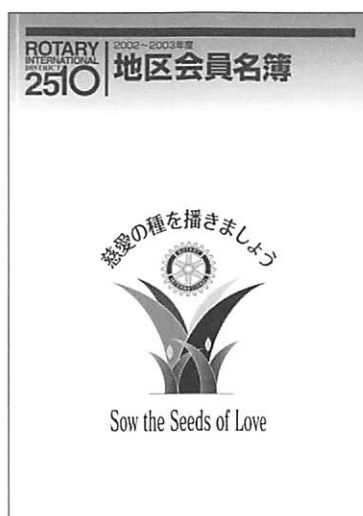


編集委員会+地区幹事

3) 「地区会員名簿」を刊行

ある会員からの生の声です。「顔写真付きの『会員名簿』は、会員同士の親睦に寄与するだけでなく、地区内の全会員の結束を固め、

それがきっかけとなってロータリーの活性化につながると思う。大いに活用すべきものと思います」。



4) その他

「ロータリーは家庭から」 Rotary begins at homeの考えで和田壬三委員長（札幌幌南

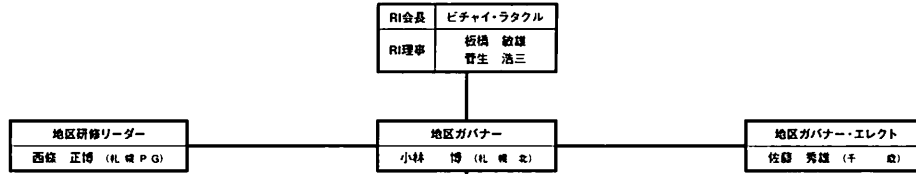
RC)のもと「家庭奉仕委員会」を設けました。当地区の個性化を狙った計画の1つでした。

RI2510地区2002-03ガバナー
札幌北ロータリークラブ

小林 博

2002~2003年度国際ロータリー第2510地区組織図

国内委員会		
米山記念奨学会	ロータリーの友委員会	DICO
理事 伊藤 長英 (注小社北PG) 評議員 小林 博 (札幌北) 評議員 戸井 敏夫 (札幌北)	地区委員長 佐藤 公 (札幌北)	委員長 山田 信夫 (注小社北)



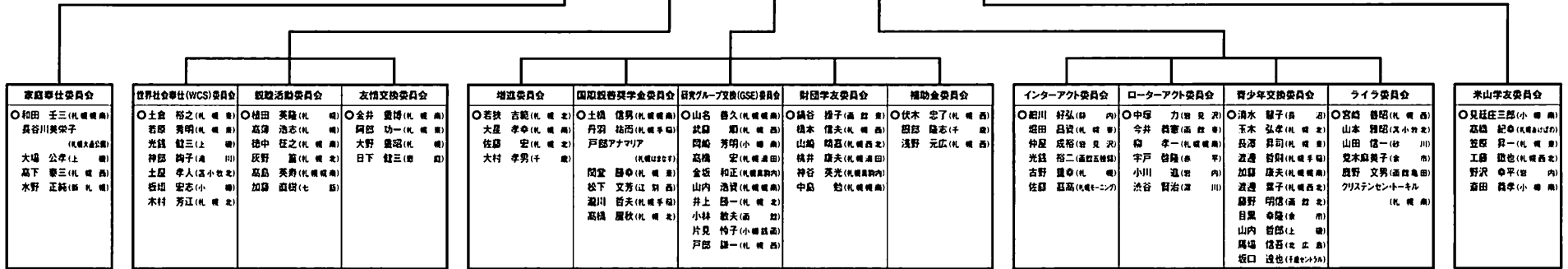
アドバイザー・補佐部門	
ガバナー顧問委員会・指名委員会	地区ガバナー補佐
伊藤 尚郎 (札幌) 富田 嘉市 (札幌) 竹山 深一 (札幌) 河野 立一郎 (札幌) 大橋 康次 (札幌) 白石 欽一 (札幌) 富山 惟夫 (札幌) 富原 薫 (札幌) 西條 正博 (札幌) 野口 信夫 (小樽) 石橋 博美 (注小社北) 伊藤 長英 (注小社北) 森本 正夫 (札幌北) 遠藤 正之 (札幌北) 岩城 秀助 (札幌北) 佐藤 秀雄 (千 歳)	第1グループ 吉本 毅 (注 川) 第2グループ 藤原 健 (注 平) 第3グループ 辻野 健 (注 野) 第4グループ 村山 正 (札幌) 第5グループ 角部 隆雄 (札幌) 第6グループ 近藤 隆雄 (注 市) 第7グループ 和田 次彦 (注 市) 第8グループ 藤岡 公雄 (注 市) 第9グループ 富島 修彦 (注 市) 第10グループ 遠藤 哲二 (注 市) 第11グループ 松尾 修二 (注 市) 第12グループ 川田 憲秀 (注 市)

地区役員部門	
地区幹事	地区財務委員会
代表幹事 菅原 精治 (札幌北) 幹事 大田すみ子 (札幌北) 幹事 河野 英夫 (札幌北) 幹事 野谷 満 (札幌北) 幹事 竹原 昌 (札幌北) 幹事 米山 道男 (札幌北) 幹事 島田 謙 (札幌北) 幹事 武石 忠俊 (千 歳)	委員長 杉下 清次 (札幌北) 委員長 大西 剛 (札幌北) 委員長 島津 宏興 (札幌北) 委員長 福田 武男 (千 歳)

地区行事部門			
地区チーム研修セミナー	会長エレクト研修セミナー	地区協議会	地区大会
担当 菅原 精治 (札幌北) 竹原 昌 (札幌北) 大田すみ子 (札幌北) 河野 英夫 (札幌北) 野谷 満 (札幌北) 島田 謙 (札幌北) 米山 道男 (札幌北)	担当 竹原 昌 (札幌北) 大田すみ子 (札幌北) 河野 英夫 (札幌北) 野谷 満 (札幌北) 島田 謙 (札幌北) 菅原 精治 (札幌北)	ホスト：札幌員内RC ホストRC会長 吉村 洋吉 実行委員長 佐々木 淳 実行委員 神谷 英光 実行委員 貴木 道晴 実行委員 金井 義司 実行委員 金坂 和正 実行委員 黒田 一夫 実行委員 本田 勇 実行委員 小森 吉夫 実行委員 沼川 健 実行委員 南部 昭孝 実行委員 林下 忠雄 実行委員 浜井 俊弘 (2001-02年度)	ホスト：札幌北RC ホストRC会長 片岡 豊亮 実行委員長 小野 孝夫 副委員長 小野 忠 副委員長 福田十太郎 副委員長 深溝 信吾 幹事 大西 忠男 幹事 高橋 麗秋 幹事 長太 義雄 幹事 能登谷美恵子 SAA 阿部 弘司 SAA 藤田 慎司 会計 大西 剛

特別委員会部門		
意義ある業績調査委員会	オン・フュー・ブリスベン委員会	100周年記念委員会
○日本 正夫 (札幌北PG) 遠藤 正之 (札幌北PG) 岩城 秀助 (札幌北PG) 米山 道男 (札幌北)	○遠藤 正之 (札幌北PG) 佐々木仁志 (札幌北) 大坂 忠 (札幌北)	○岩城 秀助 (札幌北PG) 塚原 房樹 (札幌北) 塚原 房樹 (札幌北)

地区委員会部門													
増強部門		専任部門						育成部門			情報部門		
拡大委員会	増強委員会	クラブ専任委員会	職業専任委員会	社会専任委員会	国際専任委員会	ロータリー財団委員会	新世代委員会	米山記念奨学会	広報委員会	情報委員会	IC委員会	雑誌委員会	文献資料室
○伊藤 長英 (注小社北PG) 森本 正夫 (札幌北) 遠藤 正之 (札幌北)	○岩城 秀助 (札幌北PG) 吉本 毅 (注 川) 藤原 健 (注 平) 辻野 健 (注 野) 村山 正 (札幌) 角部 隆雄 (札幌) 近藤 隆雄 (注 市) 和田 次彦 (注 市)	○富原 薫 (札幌PG) ○神代 利臣 (札幌北) 近藤 良一 (札幌北)	○宮岡 公治 (札幌北) 金子 均 (札幌北) 夏井坂信彦 (札幌北) 高田 深 (注 市) 藤原 清 (注 市)	○野口 信夫 (小樽PG) ○村木 正文 (札幌北) 杉江健太郎 (小樽) 中野 亮 (注 市) 菅原剛太郎 (注 市) 坂田 芳彦 (注小社北)	○石橋 博美 (札幌北PG) ○青木 功喜 (札幌北) 土倉 裕之 (札幌北) 植田 英隆 (札幌北) 山内 浩賢 (札幌北) 金井 豊博 (札幌北)	○森本 正夫 (札幌北PG) ○若狭 吉範 (札幌北) 土橋 信男 (札幌北) 山名 善久 (札幌北) 高橋 謙子 (注 市) 伏木 忠了 (札幌北)	○伊藤 長英 (注小社北PG) ○奥野 一之 (札幌北) ○細川 好弘 (注 市) 中塚 力 (注 市) 清水 隼子 (注 市) 宮崎 善昭 (札幌北) 藤田 慎司 (札幌北)	○戸井 敏夫 (札幌北) 黒田 勇 (注 市) 中山 裕徳 (札幌北) 武田利兵衛 (札幌北) 村上 信明 (札幌北) 内野 司 (注 市)	○西條 正博 (札幌PG) ○城本 浩一 (札幌北) 丸山 淳士 (札幌北) 木村 昭男 (千 歳) 小林 俊之 (札幌北)	○西條 正博 (札幌PG) ○島井 敏清 (注 市) 廣川 隆一 (札幌北) 具谷川隆一 (札幌北) 大河 昌雄 (注 市) 中島 健 (注 市) 滝本 聖 (札幌北)	○山田 信夫 (注小社北) ○佐藤 公 (札幌北) 野田 富夫 (注 市) 光雄 健三 (注 市) 廣瀬 保男 (小樽) 丸山 隆一 (注 市)	○佐藤 善昭 (札幌北) 藤原 元隆 (札幌北) 山名 善久 (札幌北) 坂井 治 (注 市)	○塚原 房樹 (札幌北) 小田切初之 (札幌北) 村田 雅彦 (札幌北) 佐々木 敦 (札幌北) 藤原 昭昭 (札幌北) 藤島 弘 (注 市)



C: カウンセラー ○委員長

2003～2004 “Lend a Hand” 「手を貸そう」

RI会長 ジョナサン B. マジアベ ガバナー 佐藤 秀雄



略 歴 佐藤秀雄司法書士事務所 所長
昭和39年 法政大学法学部卒業

ロータリー歴 1980年 千歳RC入会
1990年 千歳RC会長
2000年 第7グループガバナー補佐
ポール・ハリス・フェロー

生年月日 昭和14年1月11日 風連町

重点目標 情報ネットワーク作り

- 地区目標 ①地区とRIとの情報ネットワーク
②地区と72クラブの情報ネットワーク
③地区とガバナー補佐との情報ネットワーク
④地区と地区委員会委員長との情報ネットワーク

	世界	日本	地区	新結成クラブ
クラブ数	31,561	2,324	72	
会員数	1,227,545	106,607	3,172	

会合	場所	開催日	RI会長・RI会長代理	参加者	ホストクラブ
国際大会 (第95回)	大阪 (日本)	5月23日 ～26日	ジョナサン B. マジアベ	45,381	
地区大会	千歳市民文化センター 千歳全日空ホテル	10月24日 25日	川尻 政輝	1,836	千歳RC・ 千歳セントラルRC
大会テーマ：今こそ地球のために 特別講演：「ブッシュ政権の新しい世界戦略とアメリカ経済の見通し」 米・ハドソン研究所主席研究員 日高義樹氏					
地区協議会	室蘭市民会館及び 中嶋神社蓬峽殿	4月17日	G：佐藤 秀雄 GE：遠藤 秀雄		室蘭東RC

グループ	ガバナー補佐	開催月日	開催地・会場	ホストクラブ
第1グループ	渡部 英次		※今年度、地区内すべてのグループで IMは開催されませんでした。	
第2グループ	土山 久男			
第3グループ	西原 宗幸			
第4グループ	戸部アナマリア			
第5グループ	玉井 清			
第6グループ	梅庭 昭寛			
第7グループ	後藤 篤人			
第8グループ	細川 好弘			
第9グループ	宮武 忠史			
第10グループ	鹿野 文男			
第11グループ	今 均			
第12グループ	山本 雅昭			

ガバナーの思い出

2003～4年度のRI会長は、ジョナサン B・マジアベ氏で、彼は、今の私たちの世界では、幾百万人という人々が貧困のどん底生活をしているのです。彼らの胃袋は空っぽです…彼らの胸には絶望以外何ともありません。このような実態を踏まえて、「手を貸そう」をテーマとしました。2003年2月初めアナハイムで開催される国際協議会に出席すべく、日本のガバナーエレクト34名は配偶者を伴って成田空港に集い、大いなる不安を抱いて機内へと入った記憶は今も鮮明に残っています。ガバナーとしての最大の行事は地区大会であります。私の年度は2003年10月24日（金）、25日（土）の両日を使い、会場は「千歳市民文化センター」をメイン会場として、記念懇親会場をメイン会場裏の「千歳全日空ホテル」として開催し、登録者数は1,836名でありました。記念講演は米・ハドソン研究所主席研究員の日高義樹氏で「ブッシュ政権の新しい世界戦略とアメリカ経済の見通し」という演題でご講演をいただき、RI会長代理には東京の川尻政輝氏（弁護士）でありました。圧巻だったのはクロマグロの解体を懇親会場で行ったことでした。多くの参加者から賞賛のお言葉を頂いたことを記憶しています。当RCは勿論のこと、千歳セントラルRC、恵庭

RCから幹事の応援をして頂いたこと、一般会員からも資料の袋づめ等の作業をお手伝いいただいたことに対し誌上をお借りして心からの御礼申し上げます。

当地区の会員の動向であります。1996年がピークで4,300名が在籍し私の年度は期末132名減の3,172名でありました。常に会員増強に心掛けていたが残念な結果となりました。私の年度、私はポリオの撲滅運動を強力に推し進めること、そして大切なことは会員の意識改革でありました。新しい会員には「ロータリーとは」を徹底的に伝授していただきたい。古い会員には新しい発想のもと熱き思いをもって意識の改革を行っていただきたい旨を呼びかけました。

又、情報ネットワークの構築にも心掛けました。地区とRIとの情報ネットワーク、地区とクラブの情報ネットワーク、地区とガバナー補佐との情報ネットワーク、そして地区と地区各委員会委員長との情報ネットワークでありました。ほぼこの1年間で情報のネットワーク化は地区IT委員会の尽力により達成されたように思っています。

2003～2004年度 ガバナー

佐藤 秀雄

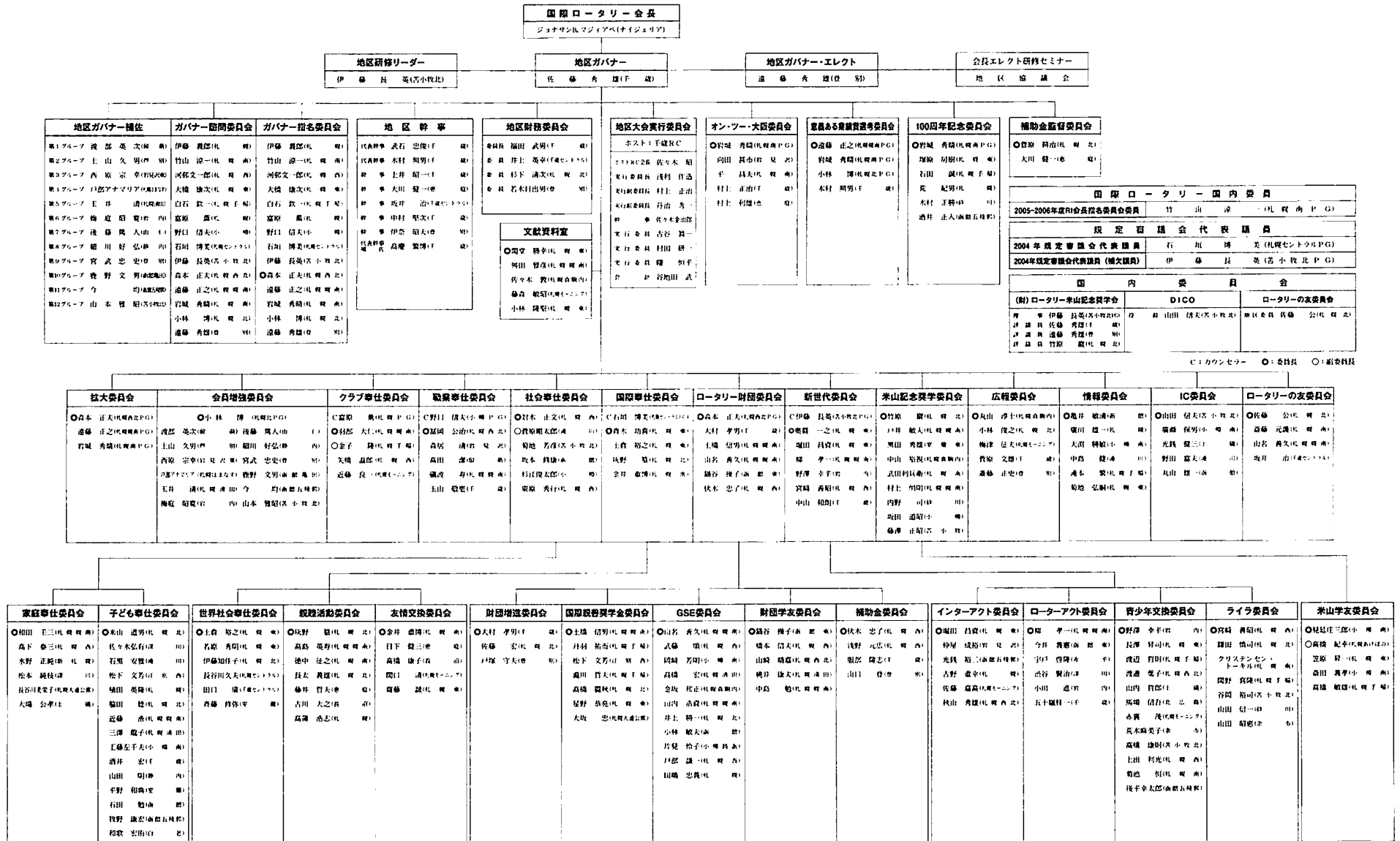


研修セミナー全景



地区研修セミナー

2003～2004年度国際ロータリー第2510地区組織図



2004~2005 “Celebrate Rotary” 「ロータリーを祝おう」

RI会長 グレン E. エステス・シニア ガバナー 遠藤 秀雄



略 歴 医療法人友愛会恵愛病院理事長

昭和36年 北海道大学医学部医学科卒業

ロータリー歴 1969年 登別RC入会(チャーターメンバー)

1980年 登別RC会長

1993年 第9分区代理

ポール・ハリス・フェロー

生年月日 昭和8年7月24日

地区目標 ①ロータリアンとして資質を高める努力をしましょう

②クラブ運営に協力しましょう

③クラブの活性化に努めましょう

④地区活動へ協力しましょう

	世界	日本	地区	新結成クラブ
クラブ数	31,603	2,328	72	
会員数	1,211,723	103,318	3,016	

会合	場所	開催日	RI会長・RI会長代理	参加者	ホストクラブ
国際大会 (第96回)	シカゴ (アメリカ)	6月18日 ~22日	グレン E. エステス・シニア	39,460	
地区大会	日本工学院北海道専門学校 第一滝本館 祝いの宿登別グランドホテル	10月16日 17日	石井 治	1,680	登別RC(コ・ホスト室蘭 RC・伊達RC・室蘭東RC・ 洞爺湖RC・室蘭北RC)
大会テーマ：奉仕の第二世紀へ 特別講演：「多くの人たちとの出会いの中で」 女優 松島トモ子氏					
地区協議会	札幌パークホテル	4月10日	G：遠藤 秀雄 GE：塚原 房樹		札幌南RC

グループ	ガバナー補佐	開催月日	開催地・会場	ホストクラブ
第1グループ	山本三次郎			
第2グループ	鈴木 忠男			
第3グループ	土谷 茂樹			
第4グループ	小山 秀昭			
第5グループ	丸山 淳士			
第6グループ	関 幸吉			
第7グループ	大谷 恵一			
第8グループ	蘇田 又栄			
第9グループ	鈴木 久雄			
第10グループ	加藤 直樹			
第11グループ	吉川 達也			
第12グループ	藤澤 正昭			

※今年度、地区内すべてのグループでIMは開催されませんでした。

ガバナーの思い出

私は1969年12月登別ロータリークラブ創設時に入会いたしました。当時は第350地区で、北海道は1地区の最後で、翌1970年7月から北海道は2地区に分れ、私達は第351地区の所属となりました。幹事、会長、分区代理は経験したものの、札幌から適当に離れていること、職業柄なかなか地元を離れられないことを理由にのんびりしたロータリー生活を送っておりました。ところが2004～05年度のガバナー・ノミニーに指名されました。まさに青天の霹靂といった心境でありました。幸なことに、第9グループの会員の皆さんからお力添え頂けるという力強い後押しを得ることができ、心強い思いをいたしました。

私のガバナー年度はロータリー100周年という輝かしい記念すべき年に当たり、グレン・E・エステス会長は、「ロータリーを祝おう」をテーマに選びました。その意図は私達の100年の経験の重みを十分に生かして超我の奉仕を実践することでロータリーを祝おうと述べています。当時の記録を見ると、この趣旨が浸透し、2月23日前後に各クラブが単独で、また数クラブ合同で、また各グループ合同で多彩な催しが開かれており、これらがテレビや新聞に掲載され、ロータリー活動が広報されたことに対し喜びと誇りを感じました。また100周年記念事業として、これまで何度もお誘いのあった第3700地区との姉妹締結があります。100周年記念実行委員会(岩城秀晴委員長)の提案を受け、2004年10月16日第2510地区大会の初日に都載旭総裁との間で調印式が行われました。両国間には厳しい問題もありますが、ロータリアン同志の友好

は現在も引き継がれています。

地区大会の前後約4週間タイ国第3350地区からGSEチームを受け入れました。その時のチームリーダーがソンプーン・バイヤシリさんでした。その時の御縁でWCS事業のタイ国側のコーディネーターをつとめて頂いています。タイ北東部の支援活動に今日まで御世話になっており感謝しています。

ガバナー・エレクトの後半は次年度に向かつての地区内での研修の期間で、2月の地区チーム研修セミナー、3月の会長エレクト研修セミナー、4月の地区協議会とガバナーとしての地区大会のすべてを登別と室蘭地区で第9グループ内6クラブの総力で行うことができましたこと、ご来席の皆様には大変ご不便をおかけしましたが、ローカル色豊かな研修と親睦がはかれたのではないかと振り返っております。

2005年4月大邱市で行われた第3700地区大会に岩城PG、塚原PG、矢橋PGと私の4名で参加しました。2004年10月の第2510地区大会に姉妹地区締結をかねて20名来道して頂いた答礼の旅でもありました。お互いの地区大会参加だけの交流ではありますが、現在まで友好が続いていることに意義があるのかもしれませんが。

私の年度でWCS事業(斎藤修弥委員長)としてタイ国ノンカイ地区に救急車(滝川RCより寄贈)を贈りクリーンウォーター事業(4小学校)を行ったが、その検証をかねてノンカイRCとの友好と親善をはかるツアーが2005年11月2日から5日間実施され、そのツアーに参加しました。想像していた以上

に感謝され感激しました。昨年も同地区に水事業と小学校に図書館設置事業の検証ツアーに参加しましたが、10年前の救急車が現役と

して立派に活躍をしていることを知り、これもまた感動をいたしました。ロータリーに感謝です。

登別RC 遠藤 秀雄



RI会長グレン E・エステス会長ご夫婦と（国際協議会）



第2510地区大会 石井浩RI会長代理と（登別グランドホテル）



姉妹地区第3700地区大会に参加して（大邱市）

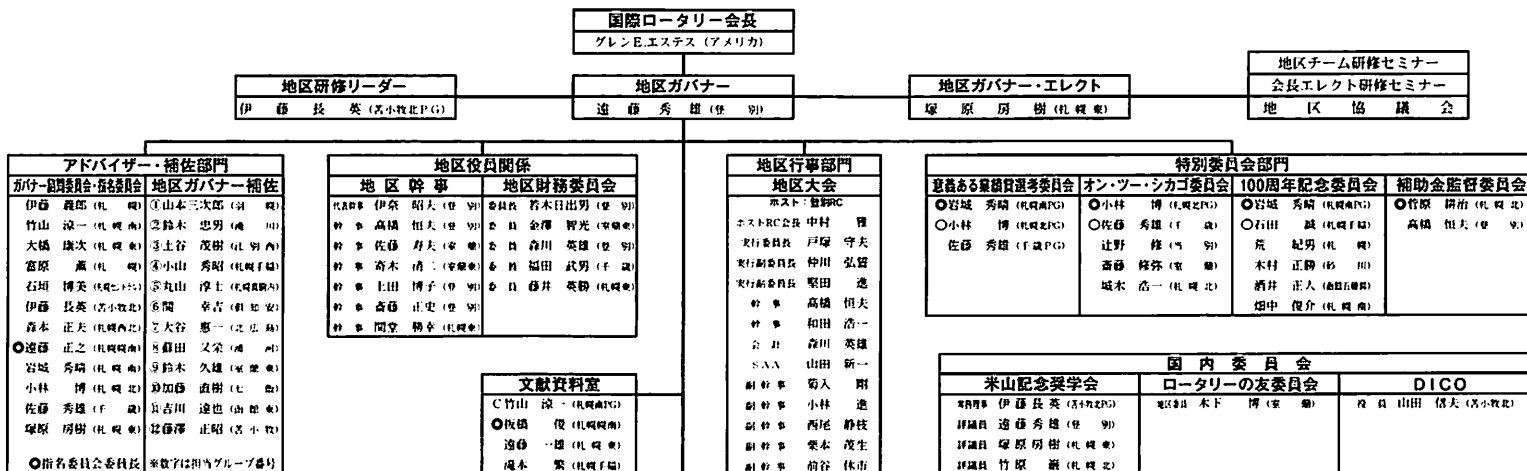


2005年にタイ国ノンカイに贈られた救急車が2014年1月に訪れた時にも立派に活躍していました。



100周年記念事業（第3グループ）

2004~2005年度国際ロータリー第2510地区組織図

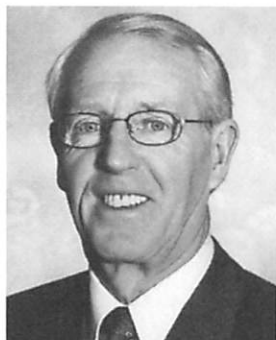


地区顧問委員会													
拡大委員会	会員増強委員会	クラブ専任委員会	職掌専任委員会	社会専任委員会	国際専任委員会	ロータリー財団委員会	新世代委員会	米山記念奨学会委員会	広報委員会	情報・IC委員会	ロータリーの友委員会		
○遠藤 正之 (札幌北) 岩城 秀晴 (札幌東) 小林 博 (札幌北)	○佐藤 秀雄 (伊 別) 山本三太郎 (札幌東) 鈴木 忠男 (札幌東) 土谷 茂樹 (札幌西) 小山 秀昭 (札幌東) 丸山 淳士 (札幌東) 関 幸吉 (札幌東) 藤田 又栄 (札幌東) 鈴木 久雄 (室蘭東) 加藤 直樹 (札幌東) 吉川 達也 (函館東) 藤澤 正昭 (苫小牧)	○富原 高 (札幌東) ○羽田 大仁 (札幌東) ○矢橋 満郎 (札幌西) 戸部アツタツ (札幌北) 山本 博章 (札幌東) 近藤 良一 (札幌北)	○石垣 博美 (札幌北) ○宮原 公治 (札幌東) ○森居 清 (伊 別) 藤澤 寿夫 (札幌東) 坂本 健雄 (函館東) 東原 秀行 (札幌西) 山 藤弘 (札幌北)	○小林 博 (札幌北) ○村本 正文 (札幌北) 菅原剛太郎 (札幌北) 菊地 芳彦 (札幌東) 坂本 健雄 (函館東) 東原 秀行 (札幌西) 山 藤弘 (札幌北) 中川 淳司 (札幌東)	○森本 正夫 (札幌西) ○山本 信夫 (札幌東) ○金井 竜博 (札幌北) 高橋 修弥 (室蘭東) 豊津 忠宣 (伊 別) 中島 勉 (札幌東) 中川 新一 (札幌東) 川内 淳司 (札幌東)	○遠藤 正之 (札幌北) ○大村 孝男 (伊 別) 池田 哲夫 (札幌東) 山名 善久 (札幌東) 山崎 晴彦 (札幌西) 伏木 忠了 (札幌西)	○伊藤 長英 (苫小牧北) ○細川 好弘 (伊 別) 池田 昌資 (札幌東) 藤 孝一 (札幌東) 野澤 幸平 (伊 別) 高崎 満昭 (札幌東) 西村 恒夫 (札幌東)	○岩城 秀晴 (札幌東) ○竹原 眞 (札幌北) 武田利兵衛 (札幌東) 内野 司 (伊 別) 坂田 道昭 (小樽) 園谷 敏彦 (苫小牧) 山下 信行 (札幌東) 大石 春雄 (札幌北)	○塚原 房樹 (札幌東) ○小林 俊之 (札幌北) 梅津 延夫 (札幌北) 貴原 文雄 (伊 別) 高橋 正史 (伊 別)	○藤原 房樹 (札幌東) ○山田 信夫 (苫小牧北) 高橋 保男 (小樽東) 光鉄 健二 (札幌東) 野田 富夫 (札幌東) 丸山 雄一 (札幌東) 坂井 治 (札幌北) 五十嵐桂一 (伊 別) 新 登郎 (札幌東) 中村 高章 (札幌東)	○山下 博 (室蘭東) 佐藤 公 (札幌北) 高橋 元晴 (札幌東) 坂井 治 (札幌北)		
家庭専任委員会 ○和田 王三 (札幌東) ○高下 孝三 (札幌西) 大場 公孝 (札幌東) 松本 誠枝 (伊 別) 水野 正純 (札幌東) 大田幸み子 (札幌北)		世界社会専任委員会 ○伊藤 知佳子 (札幌北) 若原 秀明 (札幌東) 田口 謙 (札幌北) 川原 洋一 (伊 別)		国際親善奨学会委員会 ○森田 修弥 (室蘭東) ○伊藤知佳子 (札幌北) 若原 秀明 (札幌東) 田口 謙 (札幌北) 川原 洋一 (伊 別)		財団学友委員会 ○山崎 晴彦 (札幌西) 岡 宏孝 (札幌東) 高橋 保史 (室蘭東) 梅井 康夫 (札幌東) 鍋谷 博子 (函館東) 中島 勉 (札幌東)		インターアクト委員会 ○堀田 昌資 (札幌東) ○秋山 秀雄 (札幌東) 仲塚 成裕 (札幌北) 吉野 重幸 (札幌東) 佐藤 高夫 (札幌北) 市毛 満 (伊 別) 松見 修二 (函館北)		青少年交換委員会 ○野澤 幸平 (伊 別) 馬場 信吾 (札幌東) 高木 裕美子 (余 市) 上出 利光 (札幌西) 菊池 恒 (札幌東) 高橋 康明 (苫小牧) 高崎 英仁 (札幌東) 田守 繁行 (伊 別) 上谷 俊彦 (札幌東) 北川 敏夫 (札幌北) 菊地 喜久 (札幌東)		米山学友委員会 ○見越庄三郎 (小樽東) 笠原 昇一 (札幌東) 森田 義孝 (小樽東) 高橋 敏雄 (札幌東) 高坂 輝雄 (札幌北) 千歳 悦子 (小樽東)	
子ども専任委員会 ○米山 道男 (札幌北) 佐々木弘有 (伊 別) 石原 安博 (伊 別) 松下 文芳 (札幌西) 植田 英伸 (札幌東) 石原 直文 (札幌東) 近藤 浩 (札幌東) 藤澤 隆子 (札幌東) 土藤千夫 (小樽東) 酒井 忠 (伊 別) 山田 明 (札幌西) 平野 和典 (室蘭東) 石田 勉 (函館東) 牧野 康吉 (札幌東)		親睦活動委員会 ○岩津 忠宣 (伊 別) 米谷 隆一 (札幌東) 岡原 文博 (伊 別) 手塚 義志 (白 石) 藤澤 隆子 (札幌東) 土藤千夫 (小樽東) 酒井 忠 (伊 別) 山田 明 (札幌西) 平野 和典 (室蘭東) 石田 勉 (函館東) 牧野 康吉 (札幌東)		GSE委員会 ○山名 善久 (札幌東) 米谷 隆一 (札幌東) 岡原 文博 (伊 別) 手塚 義志 (白 石) 藤澤 隆子 (札幌東) 土藤千夫 (小樽東)		補助金委員会 ○伏木 忠了 (札幌西) 山口 豊 (伊 別) 船橋 隆志 (伊 別) 金坂 和正 (札幌東) 朝倉 正人 (札幌東)		ローターアクト委員会 ○藤 孝一 (札幌東) 今井 義雄 (函館東) 宇野 隆雄 (伊 別) 五十嵐桂一 (伊 別) 鎌田 謙司 (札幌北) 武井 俊 (伊 別)		ライラ委員会 ○宮崎 勇昭 (札幌西) 高橋 修弥 (室蘭東) 山田 昭彦 (余 市) 藤原三三夫 (伊 別) 阿部 光行 (札幌東)			

○ : カウンセラー
 ● : 委員長
 ○ : 副委員長

2005～2006 “SERVICE Above Self” 「超我の奉仕」

RI会長 カール・ヴァイルヘルム・ステンハマー ガバナー 塚原 房樹



略 歴 (有)青樹社 代表取締役
昭和34年 早稲田大学第一法学部卒業
ロータリー歴 1977年 札幌東RC入会
1997年 札幌東RC会長
1988年 地区幹事
2002年 地区文献資料室室長
ロータリー100周年記念委員
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
ベネファクター
米山功労者
生年月日 昭和10年10月7日 東京

- 地区目標 ①毎年あなたも100ドルを
②充実したクラブを作ろう
③RIテーマ “超我の奉仕”の実践
④職業奉仕の再構築
⑤奉仕の新2世紀を迎えて

	世界	日本	地区	新結成クラブ
クラブ数	32,507	2,326	73	函館セントラル 2005年7月2日
会員数	1,224,297	100,397	2,987	

会合	場所	開催日	RI会長・RI会長代理	参加者	ホストクラブ
国際大会 (第97回)	マルモ、コペンハーゲン (スウェーデン、デンマーク)	6月11日 ～14日	カール・ヴァイルヘルム・ステンハマー	14,807	
地区大会	札幌コンベンションセンター	10月15日 16日	中島 治一郎	1,842	札幌東RC
大会テーマ：～出会い・友情・奉仕～ 特別講演：「バカの壁」 養老 孟司氏					
地区協議会	ロイトン札幌	4月9日	G：塚原 房樹 GE：丸山 淳士		札幌南RC

グループ	ガバナー補佐	開催月日	開催地・会場	ホストクラブ
第1グループ	吉本 勲	5月14日	深川市・プラザホテル板倉	深川RC
第2グループ	千葉 清	2月25日	滝川市・滝川ホテル三浦華園	滝川RC
第3グループ	円子 保	5月11日	美唄市・美唄ホテルスエヒロ	美唄RC
第4・第5 グループ合同	坂本 勝彦 五十嵐 勤	2月18日	札幌市・道新ホール	札幌モーニングRC コ・ホスト：新札幌RC
第6グループ	北川 暁一	未開催		
第7グループ	望月 良典	11月13日	長沼町・長沼町総合保健福祉センターりふれ	長沼RC
第8グループ	出口 弘史	*IMの開催は無し。2月22日に第8グループおじゃまします例会開催		
第9グループ	川岸 洋一	11月23日	伊達市・伊達歴史の杜カルチャーセンター ホテルロイヤル	伊達RC
第10・第11 グループ合同	田村 貞雄 藪下 義晴	4月22日	函館市・ホテルオーランド	森RC 函館北RC
第12グループ	蝦名 久志	9月11日	苫小牧市・苫小牧アルテン	苫小牧東RC

奉仕の新2世紀を迎えて

われわれロータリアンにとってロータリー101年目の第一歩を刻む特別の年度が参りました。いよいよ「奉仕の新2世紀」の幕開けです。ロータリー100年の歴史とは平和な社会を目指す無数の先輩ロータリアンの祈りと願望の累積でありました。

100年という歳月は組織にとっては序の口ですが、100歳の寿命を全うする人はまれです。私はそれを学びつつ、やがて、自分も束の間にしてその歴史の中に埋没してしまうことを知ります。しかし自分は確かに生きていると感じさせるものがあります。人生を人生として私たちに確認させるものは、一言で言うなら邂逅…出会いであると言っていいでしょう。

ロータリーの綱領の第一には「奉仕の機会として知り合いを深める」とあります。私はロータリーによって結ばれた友情に人生の人生たる証を見ようと思います。若しロータリーの会員に選ばれていなかったら、若しロータリーで巡り会えた友人たちがいなければ私の人生はどうなっていたであろう、「ロータリー奉仕の新世紀」のこの時、そこに生ずるのは身の引きしめるような感謝の念と歓喜であります。どうか会長・幹事の皆様と共に、温故知新、100年間ロータリーを支えてきた邂逅と友情を大事にして、未来のロータリー

に向けて先人の知恵を活かしてまいりたいと思います。

今年のRIのテーマはロータリーが過去に作り出した最高の標語、サービスアバブセルフ「超我の奉仕」です。これはロータリーの原点回帰であり、ルネッサンスであります。ロータリーは時代の変化と共に組織、機構、奉仕プロジェクトは変わります。しかし時代を超えて変わらないもの、いや変えてはならないものがあります。それがサービスアバブセルフ「超我の奉仕」の標語です。

これこそロータリーの普遍の真理であります。カール・ヴィルヘルム・ステンハマー RI会長の101年目にかかる熱き思いをおくみとりください。「超我の奉仕」はロータリアンの心の光明であります。ロータリアンの心の光明は人により、程度に応じて社会を潤します。このようにロータリーの奉仕は与えた金額の多寡によるものではないのです。ロータリアンがおかれた千差万別な状況に応じて、自己の能力を省みて、超我の奉仕の自然的発露として、地域社会のため実践するものなのです。クラブを充実させる方法は、基本に立ち返り、ロータリーの礎石となった基本原則を守ることであると、私は堅く信じております。ロータリーの101年目の記念すべき年度を実り多いものにしましょう。

塚原 房樹



カール・ヴィルヘルム・ステンハマー RI会長ご夫妻と私たち夫妻
*アナハイム国際協議会にて



ロータリーの第1回会合が開かれたユニティビル711号室のガスターバス・ロアの部屋
*現在はエバンストンのワン・ロータリー・センター内に移築されている

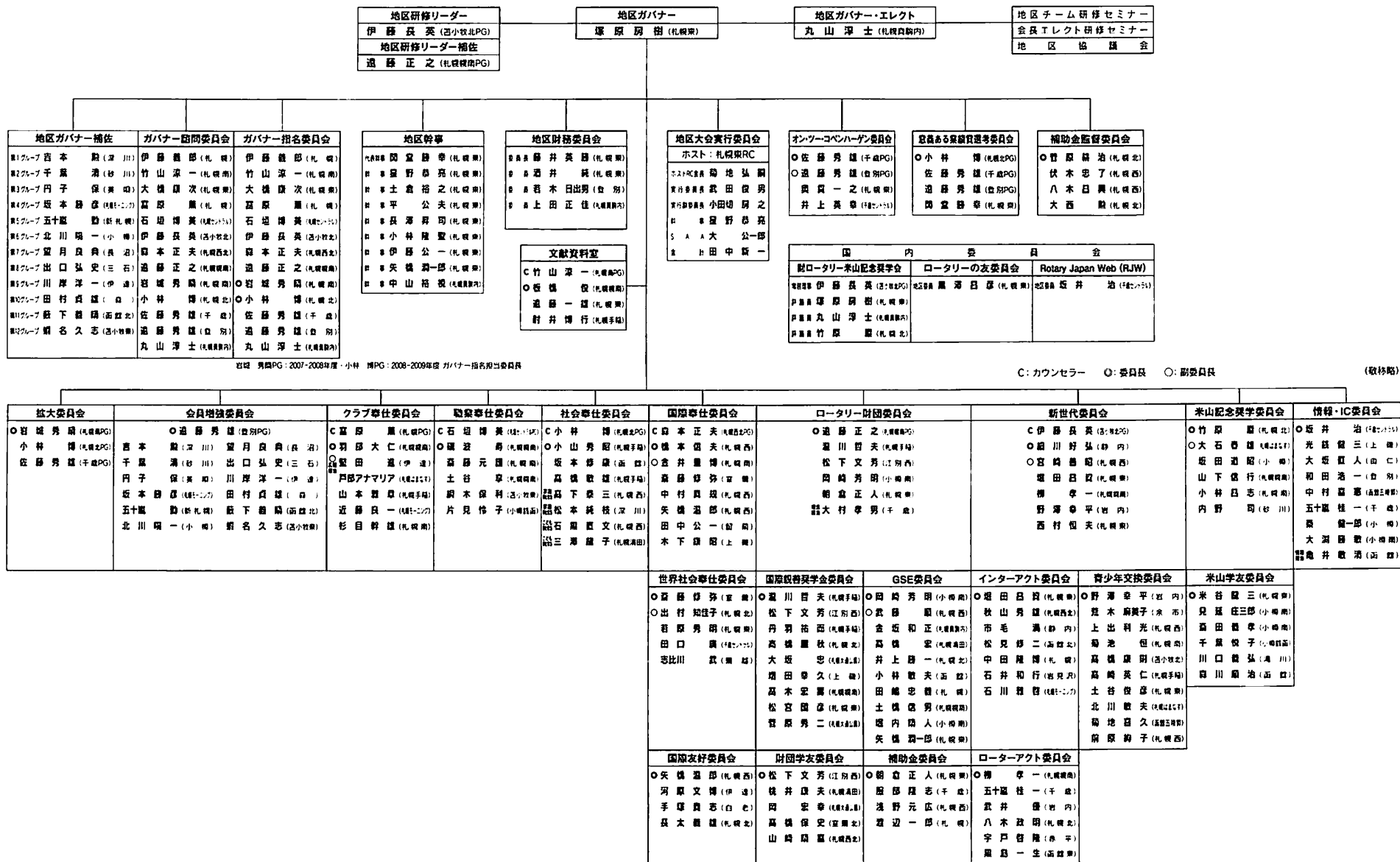


シカゴのマウントホープ墓地にあるロータリーの始祖ポール・ハリスのお墓



アナハイム国際協議会の玄関に建てられた歓迎のゲート
*有名な「入りて学び、出でて奉仕せよ」と書かれている

2005～2006年度国際ロータリー第2510地区組織図

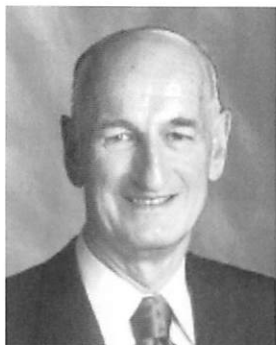


右欄 男爵PG：2007-2008年度、小林 博PG：2006-2009年度 ガバナー指名担当委員長

C：カウンセラー ○：委員長 ○：副委員長 (敬称略)

2006～2007 “LEAD THE WAY” 「率先しよう」

RI会長 ウィリアム B.ボイド ガバナー 丸山 淳士



略 歴 医療法人 五輪橋産婦人科小児科病院 理事長
昭和39年 札幌医科大学医学部医学科卒業

ロータリー歴 1995年 札幌真駒内RC入会
1999年 札幌真駒内RC会長
2004年 第5グループガバナー補佐
ポール・ハリス・フェロー
米山功労者

生年月日 昭和13年 3月26日

- 地区目標 ①1クラブ1名の純増を目指そう
②毎年あなたも100ドルを
③「RIテーマ“率先しよう”」の実践
④ロータリアン自身が広報マン
⑤ロータリー家族

	世界	日本	地区	新結成クラブ
クラブ数	32,596	2,324	73	
会員数	1,221,812	98,846	2,898	

会合	場所	開催日	RI会長・RI会長代理	参加者	ホストクラブ
国際大会 (第98回)	ソルトレークシティ (アメリカ)	6月17日 ～20日	ウィリアム B.ボイド	15,439	
地区大会	札幌市民会館 ホテルライフオート札幌	10月14日 15日	亀岡 弘	1,705	札幌真駒内RC
大会テーマ：率先しよう 特別講演：「夢をもたらず氷の世界」 北海道大学 教授 本堂 武夫 氏					
地区協議会	函館国際ホテル	4月15日	G：丸山 淳士 GE：酒井 正人		函館五稜郭RC

グループ	ガバナー補佐	開催月日	開催地・会場	ホストクラブ
第1グループ	澤田 茂	5月13日	留萌市・留萌産業会館	留 萌 R C
第2グループ	田中 良一	3月10日	赤平市・赤平市交流センター「みらい」	赤 平 R C
第3グループ	廣岡 秀博	11月18日	栗山町・くりやまカルチャープラザEki	栗 山 R C
第4グループ	矢橋 温郎	5月20日	札幌市・北海道厚生年金会館	札幌西 R C
第5グループ	川崎 秀雄	2月23日	札幌市・札幌パークホテル	札幌南 R C
第6グループ	林 正秀	2月24日	余市町・ホテル水明閣	余 市 R C
第7グループ	木村 照男	10月5日	千歳市・千歳全日空ホテル	千 歳 R C
第8グループ	中山弘三郎	2月10日	新ひだか町・静内ウエリントンホテル	静 内 R C
第9グループ	及川 力	2月3日	室蘭市・ホテルサンルート室蘭	室 蘭 北 R C
第10・第11 グループ合同	加藤健太郎 大場 公孝	2月17日	函館市・函館国際ホテル	函 館 R C 北 斗 R C
第12グループ	鈴木 琢磨	9月30日	白老町・白老パークゴルフクラブ	白 老 R C

入会8年目でガバナーになるという無謀きわまりない物語

*入会からガバナー就任まで：

1995年（平成7年）の7月、新年度の最初の例会時に入会しました。

入会するまでに、真駒内ロータリークラブに2回ほど卓話に行ったことがありましたが、入会を考えたことは全然ありませんでした。

卓話に呼ばれた後日、病院の私の部屋に当時の会長であった高橋健二氏と岩内の同郷である、いろんな意味で有名であった本間哲衛氏が「ロータリーの友」を持って是非会員になるように勧誘に参りました。

当時、診療やら講演やらラジオやらでやたら多忙の日々であり、これ以上仕事を増やす環境で無く、お断り申し上げました。

その後毎月、それも必ずお二人そろって私の部屋に「ロータリーの友」を持参していらっしゃることになり、1年続いたところで根負けして、来年の7月までに何とか1週間に1時間の時間をとるように計画するので1年待つてほしいとお願いした訳でした。

その後も相変わらず1か月に1度、お二人そろって「ロータリーの友」持参して来訪、ついに新年度最初の例会に入会する羽目になったというわけでした。

入会時のガバナーは、前年度が当時HBCの社長であった富原薫氏で、次のガバナー西條正博氏の年度でありました。

*入会して4年目の時に、夕刻自宅に電話あり、当時の会長から次期の会長をあなたにやって欲しいと言われ、「えっ！」って言うまもなく「ロータリーにノーはないからね」の一言。むちゃくちゃな何でもありのロータリー、それも、幹事にベテランをつけるならと

もかく、私の一年後に入会した中山裕視氏が幹事に指名されたのでした。

当時真駒内ロータリークラブは会員数60名くらいで私と中山氏は新兵卒に位置していましたので、他の委員会の長もやったことが無い新兵にこんな事態が起こることなど二人ともみじんも頭の中にもありませんでした。

*そんなことで、無茶振りもあるんだと思ったとたんに、2005-2006年度のガバナー補佐！「犬も歩けば棒に当たる」！

*医大生の時、インターン仲間から「鬼の医局長」と恐れられていた、遠藤正之先生がガバナー指名委員会の委員長、そのときの現職ガバナーは遠藤秀雄先生。

2004年の12月29日、明日から正月休みの日に午前11時30分頃、そろそろ店じまいの準備中に白衣姿のままで遠藤正之先生が飛び込んできて、「君、次期のガバナーに指名するから」といきなり切り出し「・・・」と言うまもなく「いいね。今ガバナーに電話するから」と私の部屋の電話から登別の遠藤秀雄ガバナーに電話「決まったから」・・・。鬼の医局長と、ガバナー補佐で遠藤ガバナーに仕えている身、断る言葉も思いつきませんでした。

年明け早々ガバナー指名委員会が終わって、私の家で一族そろってガチャガチャ飯の最中に両遠藤先生お二人そろってスーツ姿で乱入！「決まったから」と言って嵐のように去って行ったのでした。

*縁があって、私のガバナー当時の代表幹事は中山裕視氏なのであります。

札幌真駒内ロータリークラブ（2006-2007年度ガバナー）

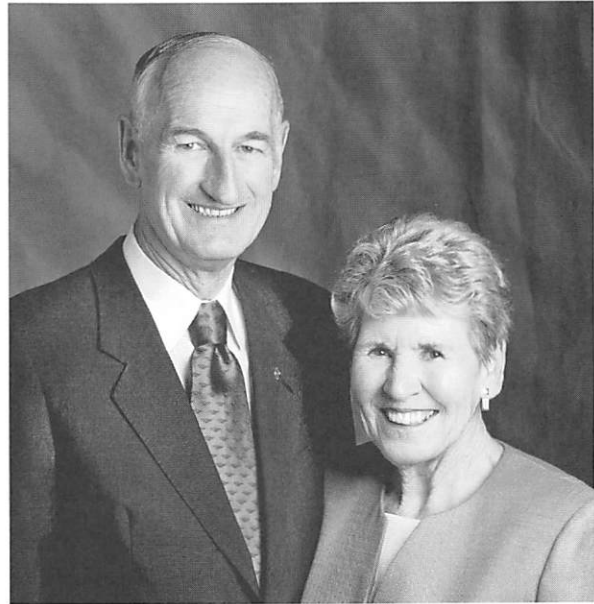
丸山 淳士



国際協議会記念写真

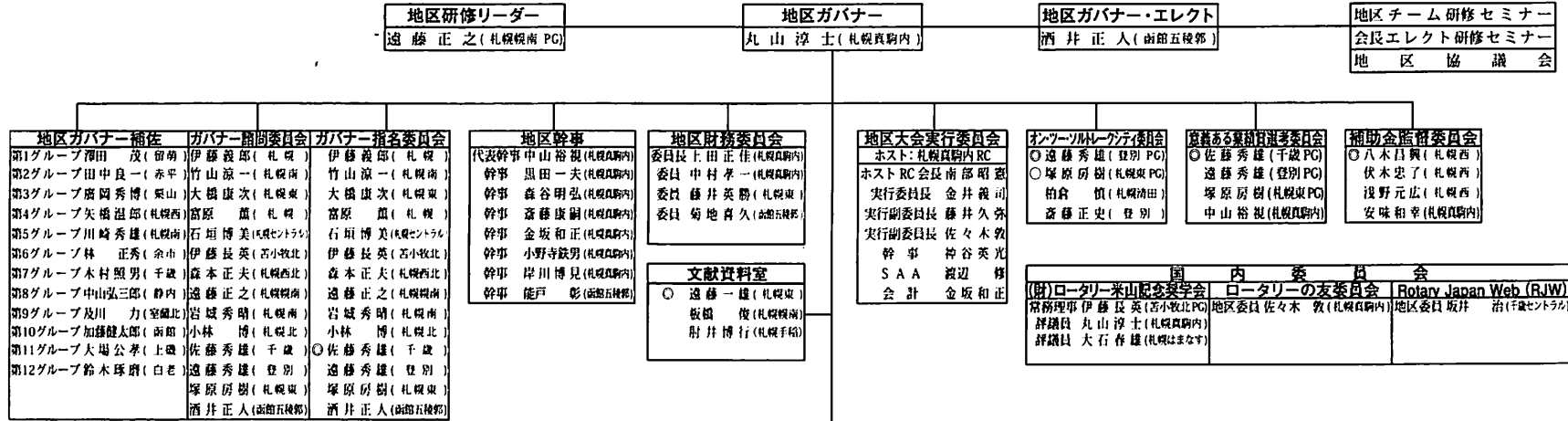


2006年国際協議会



Bill and Lorna Boyd

2006~2007年度国際ロータリー第2510地区組織図

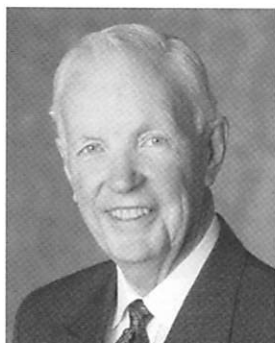


◎:委員長 ○:副委員長

拡大委員会 ◎ 小林 博 (札幌北 PG) 佐藤 秀雄 (千歳 PG) 遠藤 秀雄 (登別 PG)	会員増強委員会 ◎ 塚原 房樹 (札幌東 PG) 瀧田 茂 (留萌) 木村 照男 (千歳) 田中 良一 (赤平) 中山 弘三郎 (静内) 廣岡 秀博 (栗山) 及川 力 (室蘭北) 矢橋 温郎 (札幌西) 加藤 健太郎 (函館) 川崎 秀雄 (札幌南) 大場 公孝 (上磯) 林 正秀 (余市) 鈴木 琢磨 (白老)	クラブ奉仕委員会 ◎ 聖田 進 (伊達) ◎ 山本 雅章 (札幌手稲) 杉 目幹雄 (札幌南) 小田 切房之 (札幌東) 山名 善久 (札幌南) 栗本 茂生 (伊達) 亀井 敏清 (函館)	職業奉仕委員会 ◎ 岡波 寿 (札幌南) 島津 宏興 (札幌南) 土谷 享 (札幌南) 網本 保利 (苫小牧東) 片見 裕子 (小樽西)	社会奉仕委員会 ◎ 小山 秀昭 (札幌手稲) 高橋 敏雄 (札幌手稲) 鈴木 保昭 (倶知安) 高下 泰三 (札幌西) 松本 純枝 (深川) 宮村 拓郎 (七飯) 阿部 弘 (札幌北) 渡利 美恵子 (千歳) 沢田 広志 (砂川)	国際奉仕委員会 ◎ 藤本 信夫 (札幌西) 斎藤 修弥 (室蘭) 丹羽 祐而 (札幌手稲) 岡崎 芳明 (小樽南) 朝倉 正人 (札幌東) 桃井 康夫 (札幌清田)	ロータリー財団委員会 ◎ 遠藤 正之 (札幌南 PG) 瀧川 哲夫 (札幌手稲) 岡崎 芳明 (小樽南) 朝倉 正人 (札幌東) 桃井 康夫 (札幌清田)	新世代委員会 ◎ 細川 好弘 (静内) ◎ 松見 修二 (函館北) 戸部 マリア (札幌はまなす) 五十嵐 桂一 (千歳) 宮崎 善昭 (札幌西)	米山記念学会委員会 ◎ 大石 春雄 (札幌はまなす) ◎ 坂田 道昭 (小樽) 山下 信行 (札幌南) 小林 昌志 (札幌南) 竹田 俊一 (砂川) 斎藤 義孝 (小樽南) 丹羽 肇 (札幌はまなす)	IC委員会 ◎ 坂井 治 (札幌セントラル) 大坂 直人 (由仁) 大淵 勝敏 (小樽南) 武田 伸也 (札幌セントラル) 中村 真憲 (函館五稜郭) 秦 健一郎 (小樽) 和田 浩一 (登別) 安住 浩 (千歳) 堀江 和美 (砂川)
		世界社会奉仕委員会 ◎ 斎藤 修弥 (室蘭) ◎ 出村 知佳子 (札幌北) 若原 秀明 (札幌東) 田口 廣 (札幌セントラル) 志比川 武 (蘭越)	国際親善奨励委員会 ◎ 丹羽 祐而 (札幌手稲) 高橋 麗秋 (札幌北) 大坂 忠 (札幌大通公園) 増田 幸久 (上磯) 高木 宏壽 (札幌南) 松宮 國彦 (札幌東) 香原 秀二 (札幌大通公園)	GSE委員会 ◎ 岡崎 芳明 (小樽南) ◎ 武藤 順 (札幌西) ◎ 金坂 和正 (札幌真駒内) 高橋 宏 (札幌大通公園) 井上 勝一 (札幌北) 當摩 浩平 (函館五稜郭) 沼館 晃 (札幌清田) 堀内 晴人 (小樽南) 矢橋 温郎 (札幌東) 若山 直 (函館)	インターアクト委員会 ◎ 戸部 マリア (札幌はまなす) ◎ 中田 隆博 (札幌) 市毛 満 (静内) 秋山 秀雄 (札幌西北) 石井 和行 (岩見沢) 齋藤 雅之 (札幌東) 石川 雅啓 (札幌エニツク)	青少年交換委員会 ◎ 宮崎 善昭 (札幌西) ◎ 北川 敏夫 (札幌はまなす) 高崎 英仁 (札幌手稲) 土谷 俊彦 (札幌東) 前原 胸子 (札幌手稲) 有田 京史 (新札幌) 西田 雅之 (余市)	米山学友委員会 ◎ 米谷 龍三 (札幌東) 川井 一男 (札幌南) 川口 義弘 (滝川) 谷川 淑郎 (余市) 針谷 龍宜 (札幌手稲) 森川 順治 (函館)		
		国際友好委員会 ◎ 矢橋 温郎 (札幌西) 河原文博 (伊達) 手塚 貴志 (白老) 長太 義雄 (札幌北)	財団学友委員会 ◎ 桃井 康夫 (札幌清田) 高橋 保史 (室蘭北) 高橋 寛充 (札幌清田) 山道 裕子 (札幌セントラル)	補助金委員会 ◎ 朝倉 正人 (札幌東) ◎ 服部 隆志 (千歳) 浅野 元広 (札幌西) 渡辺 一郎 (札幌)	ロータリーアクト委員会 ◎ 五十嵐 桂一 (千歳) 八木 政明 (札幌北) 黒島 一生 (函館東) 秋庭 富男 (札幌南)				

2007～2008 “ROTARY SHARES” 「ロータリーは分かちあいの心」

RI会長 ウィルフリッド J. ウィルキンソン ガバナー 酒井 正 人



略 歴 酒井歯科医院 院長

昭和45年 日大歯学部卒業

ロータリー歴 1988年 函館五稜郭RC入会

1996年 函館五稜郭RC会長

2001年 第11グループガバナー補佐

ポール・ハリス・フェロー

米山功労者

生年月日 昭和21年1月7日

重点目標 会 員 増 強

地区目標 ①ロータリーの楽しさを分かちあおう

②財源を分かちあおう

③奉仕を分かちあいましょう

	世 界	日 本	地 区	新 結 成 ク ラ ブ
ク ラ ブ 数	32,943	2,319	73	
会 員 数	1,224,168	97,020	2,823	

会 合	場 所	開 催 日	RI会長・RI会長代理	参加者	ホストクラブ
国 際 大 会 (第99回)	ロサンゼルス (アメリカ)	6月15日 ～18日	ウィルフリッド J. ウィルキンソン	18,702	
地 区 大 会	函館市民会館 ホテル函館ロイヤル	10月20日 21日	鄭 湧	1,539	函館五稜郭RC
大会テーマ：ロータリー家族と共に 特別講演：「未知への挑戦～箱根駅伝・アテネオリンピックなどを振り返り～」 順天堂大学スポーツ健康科学部学部長 教授 澤木 啓祐 氏					
地 区 協 議 会	札幌コンベンションセンター	4月6日	G：酒井 正人 GE：矢橋 温郎		札幌西北RC

グループ	ガバナー補佐	開催月日	開催地・会場	ホストクラブ
第1グループ	舟橋 隆宏	5月11日	羽幌町・はぼろ温泉・サンセットプラザホテル	羽 幌 R C
第2グループ	齋木 達雄	5月31日	芦別市・北の京芦別	芦 別 R C
第3グループ	安孫子建雄	5月10日	江別市・江別市民会館	江 別 R C
第4・第5 グループ合同	若狭 吉範 関堂 勝幸	2月23日	札幌市・札幌ロイヤルホテル	コ・ホスト：札幌北RC 札幌東RC
第6グループ	藤田 政昭	4月12日	小樽市・小樽グランドホテル	小樽銭函RC
第7グループ	久野 等	5月14日	恵庭市・キャッスル恵庭	恵 庭 R C
第8グループ	小野 哲弘	2月17日	様似町・様似町図書館視聴覚ホール	様 似 R C
第9グループ	岩田 弘志	2月16日	室蘭市・室蘭プリンスホテル	室 蘭 R C
第10・第11 グループ合同	西川 忠弘 小野 孝良	3月22日	函館市・ホテルオークランド	函館亀田RC 函館東RC
第12グループ	高橋 寛	2月9日	苫小牧市・グランドホテルニュー王子	苫小牧北RC

ガバナーの思い出

1997年私の所属している函館五稜郭ロータリークラブに突如として地区ガバナー擁立の話が持ち上がりました。チャーターメンバーで第4代会長を務めた故滝野敏弥会員でありました。それはかなり有力な情報であり、クラブあげて擁立に奔走することになるわけがあります。丁度、私がクラブ会長を務めていた年度でしたのでご本人の説得役を仰せつかることに成ったわけです。しかしながら、ご本人の健康上の不安から固辞され函館五稜郭ロータリークラブにとって残念ながら「幻のガバナー」となってしまいました。数年後、クラブの記念誌を作成するため、歴代会長の座談会が開かれました。その席で「幻のガバナー」の話題になり、固辞された滝野敏弥会員の口から「将来は幻のガバナーでなくなるように思います。酒井正人会員がガバナーの時期、皆さんで応援していただきたいと思います」と発言され、冗談カリップサービスと笑ってその場はすましました。「幻のガバナー」から丁度10年目、計らずも2007-08年度の地区ガバナーを仰せつかることとなりました。真に不思議な巡り合わせと言えるでしょう。

2007-08年度はカナダ出身のウィルフリッド J. ウィルキンソン氏が国際ロータリーの会長を勤められました。テーマは「ロータリーは分かちあいの心」と決めました。氏は、その理由としてロータリーには魔力に匹敵するものがあり、普通の人でもすばらしい仕事をやり遂げられることでありました。ロータリーは人類愛を表現し、分かちあう術を授けてくれるからであります。ロータリークラブが無ければロータリーは存在しません。私た

ちはクラブ奉仕を通じて、職業奉仕を通じて、社会奉仕、国際奉仕、青少年活動そして会員増強を通じて愛を分かちあうのです。これがウィルキンソン氏が掲げた「Rotary Shares」でありました。

私は決して好ましいロータリアンではありませんでした。1982年に函館五稜郭ロータリークラブに入会しましたが、昼食を摂るために例会に出席する程度でした。だからと言ってロータリーが嫌いではありませんでした。しかし、入会后4年でクラブを退会することになってしまいました。2年程してお誘いを受け再入会をするのですが、もしあの時、クラブから私に愛をくれなかったならば今の私は有りませんでした。ガバナー就任中のクラブ会員の献身的な支えには筆舌し難く、代表幹事を引き受けてくれた能戸章会員は体調を崩しながらの激務をこなしてくれました。またガバナー補佐や地区委員の支えがなければ職務を全う出来なかったことでした。

地区大会には大勢のロータリアンとロータリー家族が地区の内外から参加してくれました。取り分け各地から駆けつけてくれた国際親睦団体のロータリーハムクラブのメンバ



酒井ガバナーご夫婦

一の半被姿は印象深いものがありました。WCSで委員長の出村知佳子さん率いる地区委員の方々タイ国を訪問したおりに、チェンマイ日本国総領事の横田順子さんと一緒に検証ツアーをすることができました。第2510地区がタイ国各地で行った事業の進捗状況や経過を確認するのが目的ですが、総領事の公用車で移動中お話をできて極めて印象深いものがありました。総領事はチェンマイのロータリークラブの行事にしばしば参加されており、日本の特に我が地区の事業にも精通していました。そして、こう付け加えました。「あなた方が来ないとき、私が皆さんの代わ

りにチェックダム作りにも参加した」と。ロータリアン以外にも、しかも公的な人物にロータリーの応援をして頂いていることに特別な喜びを感じました。

函館五稜郭ロータリークラブから、第2510地区の方々から、日本各地のロータリアンから、国を超え多くのロータリアンから、ロータリー家族から、そして我が家族から愛と思いやりを分かちあうことを「ロータリーは分かちあいの心」として学びました。この経験をしたことが少しはマシなロータリアンになれたように思えます。

酒井 正人



ロータリーハムクラブ



チェンマイ日本国総領事の横田順子さんと

2007~2008年度国際ロータリー第2510地区組織図

地区研修リーダー 遠藤 正之 (札幌南PG)	地区ガバナー 酒井 正人 (南館五楼部)	地区ガバナー・エレクト 矢橋 温郎 (札幌西)	地区チーム研修セミナー 会長エレクト研修セミナー 地区協議会
---------------------------	-------------------------	----------------------------	--------------------------------------

地区ガバナー補佐 第1グループ 舟橋 隆宏 (札幌) 第2グループ 齋木 達雄 (江 野) 第3グループ 安孫子建雄 (江 野) 第4グループ 若狭 吉範 (札幌北) 第5グループ 関堂 勝幸 (札幌東) 第6グループ 藤田 政昭 (小樽南) 第7グループ 久野 等 (札幌) 第8グループ 小野 哲弘 (札幌) 第9グループ 岩田 弘志 (道 庁) 第10グループ 西川 忠弘 (南館東田) 第11グループ 小野 孝良 (南 館 東) 第12グループ 高橋 寛 (苫小牧北)	ガバナー顧問委員会 伊藤 義郎 (札幌) 竹山 涼一 (札幌南) 富原 薫 (札幌) 石垣 博美 (札幌北) 伊藤 長英 (苫小牧北) 森本 正夫 (札幌西) 遠藤 正之 (札幌南) 岩城 秀晴 (札幌南) 小林 博 (札幌北) 佐藤 秀雄 (千 歳) 遠藤 秀雄 (札幌) 塚原 房樹 (札幌東) 丸山 淳士 (札幌東内) 矢橋 温郎 (札幌西)	ガバナー指名委員会 伊藤 義郎 (札幌) 竹山 涼一 (札幌南) 富原 薫 (札幌) 石垣 博美 (札幌北) 伊藤 長英 (苫小牧北) 森本 正夫 (札幌西) 遠藤 正之 (札幌南) 岩城 秀晴 (札幌南) 小林 博 (札幌北) 佐藤 秀雄 (千 歳) 遠藤 秀雄 (札幌) 塚原 房樹 (札幌東) 丸山 淳士 (札幌東内) 矢橋 温郎 (札幌西)	地区幹事 代表幹事 能子 彰 (南館五楼部) 幹事 上出 真也 (南館五楼部) 幹事 中原 哲信 (南館五楼部) 幹事 黒田 博史 (南館五楼部) 幹事 菅谷 剛 (南館五楼部) 幹事 川上 誠 (南館五楼部) 幹事 牧野 康宏 (南 館 東) 幹事 小林 敏夫 (南 館 東) 幹事 森下 義晴 (南館北) 幹事 光銭 健三 (北 斗) 幹事 大金 武夫 (札幌西)	地区財務委員会 委員長 菊地 喜久 (南館五楼部) 委員 濱中 公也 (南館五楼部) 委員 北島 清 (札幌西) 委員 中村 孝一 (札幌東内)	文献資料室 ◎村井 博行 (札幌千歳) 松根源史男 (札幌東) 八木 徹 (札幌東)	地区大会実行委員会 ホスト:南館五楼部RC ホストRC会長 本間 哲 実行委員長 今 均 実行副委員長 河村 隆平 幹 事 森下 明 幹 事 A. A 貞森 晃 会 社 牧野 康宏	オン・ツウ・ロサンゼルス委員会 ◎塚原 房樹 (札幌東PG) ◎丸山 淳士 (札幌東内PG) 梅沢 英行 (札幌東)	憲法ある組織費選考委員会 ◎遠藤 秀雄 (札幌PG) 塚原 房樹 (札幌東PG) 丸山 淳士 (札幌東内PG) 能子 彰 (南館五楼部)	補助金監督委員会 ◎八木 昌興 (札幌西) 佐藤 裕一 (札幌西) 安味 和幸 (札幌東内)	危機管理委員会 ◎松見 修二 (南 館 北) ◎宮崎 善昭 (札幌北) 戸部アナリア (札幌北) 五十嵐桂一 (千 歳) 菅原 秀二 (札幌大通内) 桃井 康夫 (札幌清田) 前原 絢子 (札幌西) 和田 壬三 (札幌東) 郷久 鏡二 (千 歳) 斉藤美智子 (千 歳) 土田 義也 (15年5月任期満了) ◎細川 好弘 (15年5月任期満了) ◎野澤 幸平 (15年5月任期満了)
--	--	--	---	--	---	---	---	--	---	--

◎:委員長 ○:副委員長 □:オブザーバー

拡大委員会 ◎佐藤 秀雄 (千 歳PG) 遠藤 秀雄 (札幌PG) 塚原 房樹 (札幌東PG)	会員増強委員会 ◎丸山 淳士 (札幌東内PG) 舟橋 隆宏 (札幌) 齋木 達雄 (江 野) 安孫子建雄 (江 野) 若狭 吉範 (札幌北) 関堂 勝幸 (札幌東) 藤田 政昭 (小樽南) 高橋 寛 (苫小牧北)	クラブ奉仕委員会 ◎塚田 逸 (伊 達) ◎山本 雅章 (札幌千歳) 杉目 幹雄 (札幌南) 小田切房之 (札幌東) 山名 善久 (札幌東田) 坂田 秀昭 (道 川) 栗本 茂生 (伊 達)	職業奉仕委員会 ◎土谷 享 (札幌東) 綱木 保利 (苫小牧東) 島津 宏典 (札幌東) 成田 雅敏 (道 川)	社会奉仕委員会 ◎小山 秀昭 (札幌千歳) 高橋 敏雄 (札幌千歳) 鈴木 保昭 (伊 達) 石黒 直文 (札幌西) 玉造 啓子 (札幌北) 高下 泰三 (札幌北) 阪崎健治朗 (札幌西)	国際奉仕委員会 ◎阿部 公一 (札幌北) 田中 弘一 (道 庁) 沢田 広志 (道 川) 坂田 知樹 (道 川) 戸部 謙一 (札幌西) 浅利美恵子 (千 歳) 宮村 拓郎 (札幌) 橋本 洋一 (苫小牧)	ロータリー財団委員会 ◎岩城 秀晴 (札幌南PG) 菅原 秀二 (札幌大通内) 岡崎 芳明 (小 樽 南) 朝倉 正人 (札幌東) 桃井 康夫 (札幌東田)	新世代委員会 ◎松見 修二 (南 館 北) ◎戸部アナリア (札幌北) 五十嵐桂一 (千 歳) 宮崎 善昭 (札幌西) 五十嵐 稔 (道 庁)	米山記念奨学委員会 ◎大石 春男 (札幌北) ◎山下 信行 (札幌東) ◎小林 昌志 (札幌東) 竹田 俊一 (道 川) 斎田 義孝 (小樽南) 丹羽 肇 (札幌北) 半田 善行 (小 樽)	IC委員会 ◎坂井 治 (札幌北) ◎光銭 健三 (北 斗) 安住 浩 (千 歳) 石坂 仁 (南館五楼部) 石丸修太郎 (札幌西) 今泉 栄治 (小樽西) 大坂 直人 (千 歳) 大淵 勝敏 (小樽南) 武田 伸也 (札幌北) 秦 健一郎 (小 樽) 堀江 和美 (道 川) 和田 浩一 (道 川)
世界社会奉仕委員会 ◎出村知佳子 (札幌東) ◎志比田 武 (道 庁) 田川 廣 (札幌北) 若原 秀明 (札幌東) 東 晃平 (伊 達)	国際親善奨学委員会 ◎菅原 秀二 (札幌北) ◎志比田 武 (道 庁) 田川 廣 (札幌北) 若原 秀明 (札幌東) 東 晃平 (伊 達)	GSE委員会 ◎武藤 芳明 (小 樽 南) ◎武藤 順 (札幌東) 金坂 和正 (札幌東内) 高橋 宏 (札幌東) 井上 忠 (札幌北) 沼館 稔 (札幌東田) 矢橋温一郎 (札幌西) 石丸修太郎 (札幌西)	インターアクト委員会 ◎戸部アナリア (札幌北) ◎中田 隆博 (札幌) 市毛 潤 (道 川) 秋山 秀雄 (札幌北) 石井 和行 (札幌北) 齋藤 雅之 (札幌東) 石川 雅博 (札幌北) 谷口恵美子 (札幌西)	青少年交換委員会 ◎宮崎 善昭 (札幌西) 川井 一男 (札幌北) 大泉 清 (札幌北) 有田 京史 (札幌東) 森本 裕紀 (千 歳) 渡辺 哲明 (札幌東) 浅井 言 (札幌北) 東 慶広 (小樽南) 矢橋 温郎 (札幌東) 渡邊 恭久 (道 川)	米山学友委員会 ◎米谷 隆三 (札幌東) 川井 一男 (札幌北) 川口 義弘 (道 川) 谷川 淑郎 (道 川) 針谷 龍宜 (札幌千歳) 森川 順治 (道 川) 八木 徹 (札幌東)				
国際友好委員会 ◎矢橋 温郎 (札幌西) 河原 文博 (伊 達) 手塚 賢志 (道 川) 坂田 知樹 (道 川)	財団学友委員会 ◎桃井 康夫 (札幌東田) ◎高橋 寛 (札幌東) 高橋 保史 (札幌北) 山道 祐子 (札幌北)	補助金委員会 ◎朝倉 正人 (札幌東) 服部 隆志 (千 歳) 浅野 元広 (札幌西) 渡邊 一郎 (札幌)	ロータリーアクト委員会 ◎五十嵐桂一 (千 歳) 黒島 一生 (道 川) 八木 政明 (札幌北) 宮谷 悟 (道 川) 赤山 登 (道 川)						

2008～2009 “Make Dreams Real” 「夢をかたちに」

RI会長 李 東 建 ガバナー 矢橋 温郎



略 歴 北海航測株式会社 代表取締役会長

昭和30年 岐阜大学農学部卒業

ロータリー歴 1979年 札幌西RC入会

1987年 札幌西RC幹事

2004年 札幌西RC会長

2005年 地区国際友好委員長

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

米山功労者

生年月日 昭和9年3月21日 兵庫県

地区目標 ①4つのテストを唱和しよう。職業倫理をもう一度高めるよう見直そう。

②ロータリー財団に1人100ドル、ポリオ・プラスに1クラブ1,000ドルを協力しよう。財団はロータリー活動の推進力。皆で応援しよう。

③1クラブ1名純増を達成しよう。現在の会員数の水準を維持し年度末までに年間1名純増を。

	世界	日本	地区	新結成クラブ
クラブ数	33,114	2,311	73	
会員数	1,206,089	94,902	2,723	

会合	場所	開催日	RI会長・RI会長代理	参加者	ホストクラブ
国際大会 (第100回)	バーミンガム (イギリス)	6月21日 ～24日	李 東建	16,062	
地区大会	ウェルシティ札幌 ロイトン札幌	10月25日 26日	ヴィセンテ J. カルロス	1,697	札幌西RC
	大会テーマ：北海道 その夢 特別講演：「これからの北海道が生き抜く道」 日本総合研究所 会長 寺島 実郎氏 「私の夢-世界最高齢でチョコランマに挑む」 プロスキーヤー・クラーク記念国際高等学校校長 三浦 雄一郎氏				
地区協議会	ホテル三浦華園 ホテルスエヒロ	4月12日	G：矢橋 温郎 GE：渡邊 恭久		滝川RC

グループ	ガバナー補佐	開催月日	開催地・会場	ホストクラブ
第1グループ	大西 道祥	5月17日	深川市・プラザホテル板倉	深川RC
第2グループ	神部 洋史	9月7日	滝川市・ホテルスエヒロ	滝川RC
第3グループ	吉野 顕隆	11月29日	岩見沢市・岩見沢市立栗沢市民センター	栗沢RC
第4・第5 グループ合同	大島 利一 土谷 享	2月21日	札幌市・ルネッサンスサッポロホテル	札幌西北RC 札幌南RC
第6グループ	佐藤 泰視	9月13日	岩内町・とまりん館・岩内高原ホテル	岩内RC
第7・第12 グループ合同	羽芝 涼一 板谷 剛	3月7日	千歳市・ホテル日航千歳	千歳セントラルRC 苫小牧RC
第8グループ	園 修	11月16日	浦河町・浦河ウエリントンホテル	浦河RC
第9グループ	若木日出男	2月21日	登別市・ホテル平安	登別RC
第10・第11 グループ合同	上野 一義 光銭 裕二	4月4日	函館市・ホテル函館ロイヤル	七飯RC 函館五稜郭RC

ガバナーの思い出

当該年度の始まりには、洞爺湖サミットが開催されました。公式訪問にその影響を受けたかどうかさえ忘れるほどに、時間が経ってしまいました。年度の最後は、ちょうど100回目の世界大会（英国バーミンガム）です。

地区大会では、国際ロータリー会長代理にフィリピンからヴィセンテ J・カルロス氏をお迎えしました。その際には、戸部謙一（札幌西RC）アナマリア（札幌はまなすRC）ご夫妻にエイドをお願いしました。記念講演の講師には日本総合研究所の寺島実郎会長と、プロスキーヤー三浦雄一郎氏をお招きしました。ひとりでも充分高名なのに、お二人も来ていただけて、大変盛り上がったと思います。

ガバナー月信では毎月、塚原房樹パストガバナーに寄稿いただきました。私の拙いロータリー知識を補っていただき、私自身が1年を通して勉強になりました。

四つのテストを例会で唱和いただくよう、地区目標として各クラブにお願いしました。再認識していただく機会になったかと思いません。公式訪問でもなければ行くことはなかったであろう街を訪れたのも、楽しい思い出です。

年度中には白石欽一、遠藤正之両パストガ

バナーが逝去されました。お世話になった先輩を喪うのは、辛いものです。遠藤パストガバナーは、現職の研修リーダーとして新年度を迎えた7月に亡くなりました。ガバナーエレクト時のガバナー補佐会議で絵本「ハチドリのひとしずく」をスクリーンに映し出しながら講演をしていただきました。あれが最後となったのは残念です。

「夢をかたちに」のテーマも懐かしい。今も同期ガバナーの集まりは続いています。当時の李東建RI会長が来日してくれることもあります。

石垣博美ガバナー年度の地区幹事（現代表幹事）を務めた経験も、少なからず生かされたと思います。ガバナー事務所スタッフにも恵まれました。とりわけ大金武夫代表幹事の心強い支えが無ければ、私のガバナー任務は務まりませんでした。それでも自分がやりたいと考えていたことすべてに手をつけられたかといえば、そういう実感はありません。ガバナーノミニーに選ばれてからガバナーエレクトと、準備期間は充分あったのに。

思い出そうとしても、強烈に印象に残っていることは無く、こうしてみると平穩無事な1年であったような気がします。

矢橋 温郎



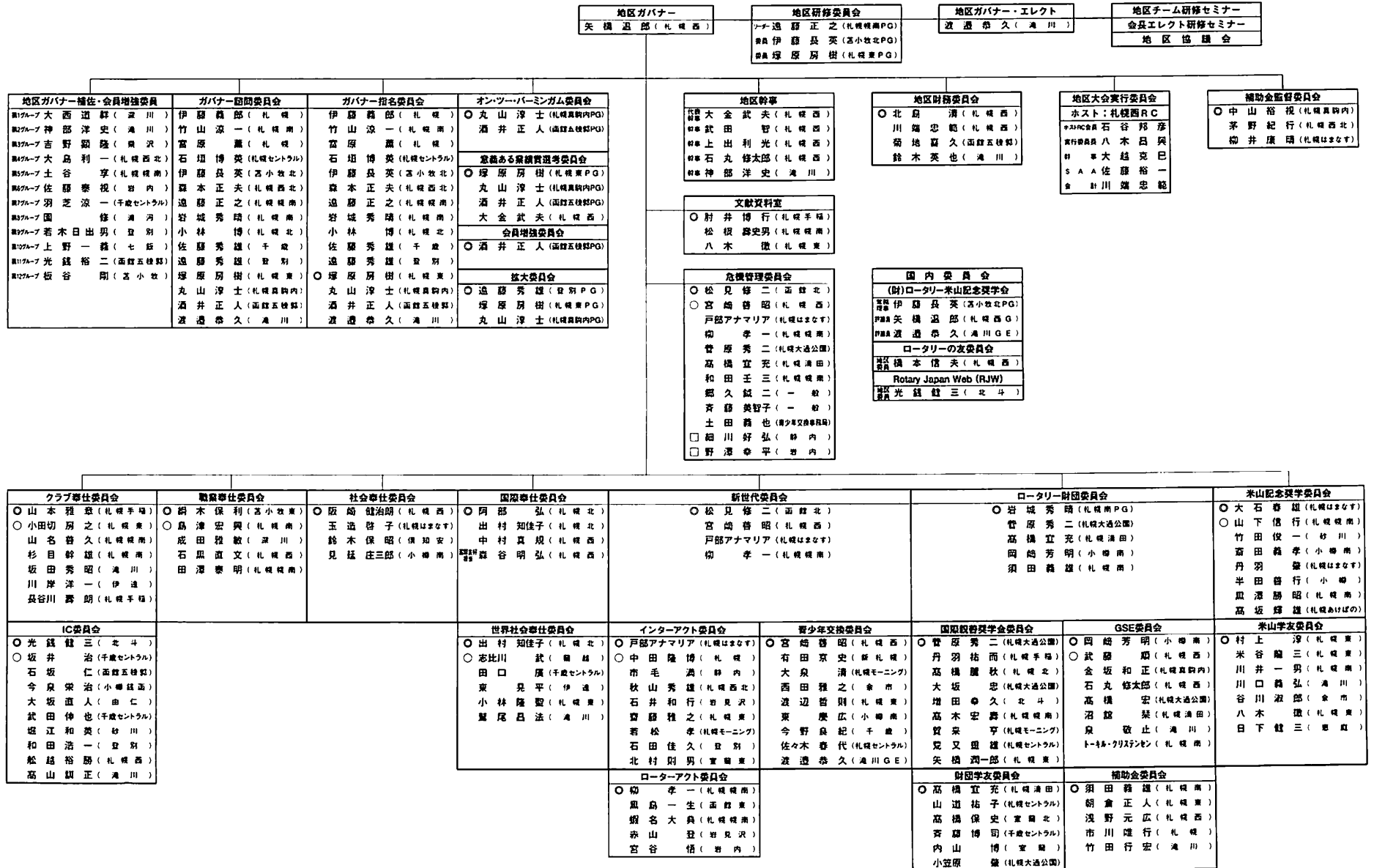
地区協議会



地区大会（講師の三浦雄一郎さんに謝辞）

2008~2009年度国際ロータリー第2510地区組織図

○委員長 ○副委員長 □オブザーバー



2009～2010 “The Future of Rotary is in Your Hands” 「ロータリーの未来はあなたの手の中に」

RI会長 ジョン・ケニー ガバナー 渡邊 恭久



略 歴 (株)ミクニ舎 代表取締役会長
昭和34年 北海道学芸大学札幌分校一類中学課程卒業
ロータリー歴 1976年 滝川RC入会
1992年 滝川RC会長
2000年 第2グループガバナー補佐
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
米山功労者マルチプル
生年月日 昭和10年4月15日

基本方針 環境・人・子どもに目を向けよう

- 重点目標 ①小児ガンの子どもの夢や希望を与える「そらぶちキッズキャンプ」を支援しよう
②水の衛生確保と飢餓追放のため活動する「WCS」を支援するクラブを応援しよう
③会員増強のため純増を年度初めの会員数の「1名以上の会員増」を実行しよう
④会員は常なる活動の意識の中で「職業倫理を醸成」し職業奉仕に心がけよう

	世界	日本	地区	新結成クラブ
クラブ数	33,790	2,301	73	
会員数	1,234,527	91,578	2,637	

会合	場所	開催日	RI会長・RI会長代理	参加者	ホストクラブ
国際大会 (第101回)	モントリオール (カナダ)	6月20日 ～23日	ジョン・ケニー	17,909	
地区大会	ホテルスエヒロ ホテル三浦華園 たきかわ文化センター	10月3日 4日	田口 良一	1,480	滝川RC
大会テーマ：環境・人・子どもに目を向けよう 特別講演：「あたり前の暮らしを求めて」 脚本家 倉本 聰氏					
地区協議会	ホテルさっぽろ芸文館	4月18日	G：渡邊 恭久 GE：佐々木正丞	485	札幌西RC

グループ	ガバナー補佐	開催月日	開催地・会場	ホストクラブ
第1グループ	田中 公一	4月11日	留萌市・留萌産業会館	留 萌 R C
第2グループ	北谷 好文	5月22日	砂川市・砂川市地域交流センター「ゆう」	砂 川 R C
第3グループ	嵯峨 義輝	11月28日	岩見沢市・北海道グリーンランドホテルサンプラザ	岩 見 沢 R C
第4・第5 グループ合同	荒 紀男 江口 洗	4月24日	札幌市・札幌プリンスホテル	札 幌 R C 札 幌 清 田 R C
第6グループ	見延庄三郎	2月12日	小樽市・グランドパーク小樽	小 樽 南 R C
第7グループ	加藤 寛治	5月29日	北広島市・札幌北広島クラッセホテル	北 広 島 R C
第8グループ	山田 博継	2月14日	新ひだか町・新ひだか町三石福祉センター	三 石 R C
第9グループ	黒田 秀雄	2月13日	室蘭市・中島神社蓬峽殿	室 蘭 東 R C
第10・第11 グループ合同	近藤 宣明 石橋 輝夫	4月3日	森町・プラザ武蔵	森 R C 函 館 北 R C
第12グループ	菅野 嘉一	10月17日	苫小牧市・苫小牧グランドホテルニュー王子	苫 小 牧 東 R C

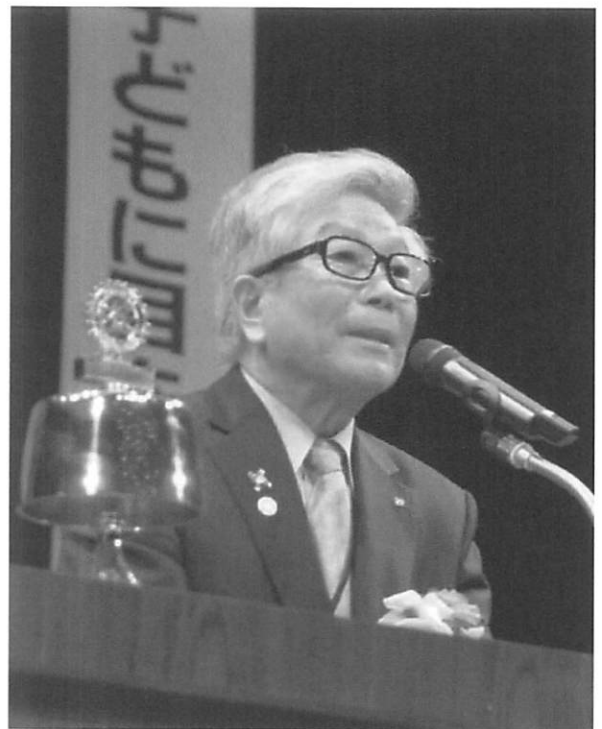
2006年ガバナーノミニーを受けて

2006年11月2日 滝川ロータリークラブ例会は、故遠藤正之地区財団委員長のご講話をいただいた印象に残る例会でありました。それはお話の中で「滝川クラブは、50年の歴史と、100名を擁するクラブであるから地区運営に対し、積極的に参加してほしい、できればガバナーノミニーを推薦していただくことなどは大変結構なことだ」と申されました。遠藤DPGは、その時から更に16年前、滝川クラブのメンバーの一人が、ガバナーノミニー候補として話題になり、クラブでは一本釣りのイメージからの反感を避け会員の同意を得るため、クラブ理事会を招集し理事に支援を諮ったところ、クラブ理事会が彼とは別に他の候補を指名、それによりクラブは2分して混乱、ようやくクラブで纏まった意志が地区には理解されず、別なクラブの候補者に決定が行きました。以来クラブは見放されたと思いきみ、地区への誤解が不信のイメージとして伝統的に漂って来たと思っています。従ってこの例会における遠藤DPGのご発言は、その事をご認識されて仰られたのか、あるいは地区の使命はクラブを活性化させていくことだと正論を申されたのか判りません。遠藤DPGのご発言で、クラブのこのネガティブなイメージは払拭し「遠藤DPGが仰るのだから、この機に候補を選び、地区の指名委員会に推薦しよう」となった訳であります。それからが大変でした。直近の会長経験者でガバナーノミニークラブ推薦委員会が立ち上がり、おおよそ1ヶ月半のご苦労の後、候補が決定。地区のガバナーノミニー指名委員会の議を経て翌年1月20日に地区の候補者と

して指名を頂戴いたしました。以来ノミニー、エレクトと助走を経て、2009～2010のガバナーとしての任についたのです。クラブにはガバナー支援に全会員の総力を求め、知恵、工夫を生かした地区大会、4ヵ月に亘る73クラブの公式訪問。PETSや地区協議会などの会議行事の開催、事務局の分担業務など地方都市においてはとてつもない手作りのエネルギーが求められました。その結果、クラブの団結、活性、ロータリーからの知識情報、友との出会い、汗と感動はそのクラブでしか味わえない体験になりました。地方都市のクラブは、地域との関わりが強く、広いロータリーの舞台には馴染みが薄いと言われています。地区委員はもちろん、ガバナーを輩出すれば、また新しい活性が生まれるかも知れません。

2009-2010 DPG 滝川RC

渡邊 恭久





2009. 7/23 函館 公式訪問



2009. 9/6 静内 ローターリー甲子園野球道予選



2010. 4/23～24 第3700地区(テグ市)崔氏と現ガバナー、次期ガバナー



バーミンガム国際大会



ガバナー同期 華やかな国際交流



RI会長代理とエイトと



第2510地区大会 10/3～4 滝川文化センター



2009. 1/18～25 サンディエゴにて国際協議会 韓国3700地区 朱総裁と

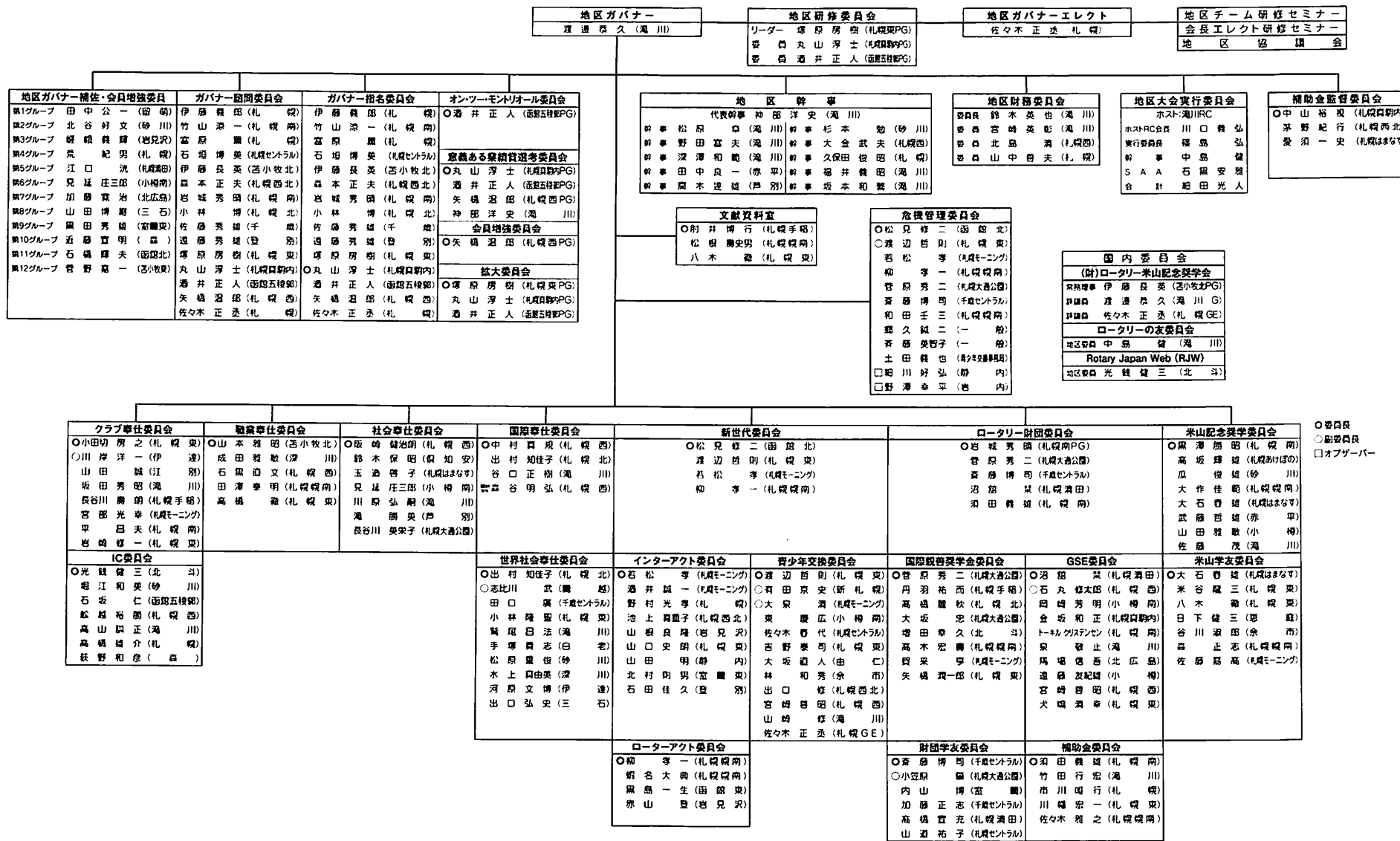


RI会長代理と手に手つないで



閉会式感動 2009.10 地区大会

2009～2010年度国際ロータリー第2510地区組織図



2010~2011 “BUILDING COMMUNITIES BRIDGING CONTINENTS” 「地域を育み、大陸をつなぐ」

RI会長 レイ・クリンギンスミス ガバナー 佐々木正丞



略 歴 北海道ガス(株) 取締役相談役
昭和32年 横浜国立大学経済学部卒業
ロータリー歴 1982年 札幌RC入会
1991年 札幌RC副会長
1998年 札幌RC会長
ポール・ハリス・フェロー
生年月日 1934年4月21日

- 地区目標 ①クラブの活性化、会員増強に向けて、CLPの導入検討をしよう
②地域ニーズを踏まえて、地域密着の奉仕活動を実践しよう
③ロータリー財団の理解を深めて協力支援をしよう
「毎年1人100ドル」を協力しよう

	世界	日本	地区	新結成クラブ
クラブ数	34,103	2,301	73	
会員数	1,227,563	89,381	2,606	

会合	場所	開催日	RI会長・RI会長代理	参加者	ホストクラブ
国際大会 (第102回)	ニューオーリンズ (アメリカ)	5月21日 ~25日	レイ・クリンギンスミス	17,487	
地区大会	札幌市民ホール 札幌グランドホテル	10月16日 17日	北 清治	1,677	札幌RC
大会テーマ：地域を育み、大陸をつなぐ 特別講演：「経済報道の現場から」 キャスター 小谷 真生子 氏					
地区協議会	グランドパーク小樽	4月10日	G : 佐々木正丞 GE : 熊澤 隆樹	464	小樽南RC

グループ	ガバナー補佐	開催月日	開催地・会場	ホストクラブ
第1グループ	實藤 吉信	11月14日	羽幌町・はぼろ温泉サンセットプラザ	羽幌 RC
第2グループ	渡部 芳己	5月29日	赤平市・赤平市交流センター「みらい」	赤平 RC
第3グループ	下段 寿之	10月1日	当別町・北海道医療大学	当別 RC
第4・第5 グループ合同	福井 敬悟 嘉屋 輝夫	3月19日	札幌市・札幌後楽園ホテル	札幌手稲RC 新札幌RC
第6グループ	皆川 岩保	4月16日	倶知安町・ホテル第一会館	倶知安RC
第7グループ	古川 大之	3月6日	長沼町・長沼町総合保健福祉センター・りふれ	長沼 RC
第8グループ	蚊野 好美	2月12日	新ひだか町・静内ウエリントンホテル	静内 RC
第9グループ	菅 俊治	2月13日	伊達市・ホテルロイヤル	伊達 RC
第10・第11 グループ合同	鍋谷 操子 森元 浩	6月18日	函館市・ホテル函館ロイヤル	函館セントラルRC 函館東RC
第12グループ	和歌 宏侑	5月15日	白老町・白老町中央公民館	白老 RC

ガバナーの思い出

サンディエゴでのガバナー研修は、日本国内でのそれとは一味違っておりました。若い女性の出番が多く、はたせるかな、この年(2010-11年度)、4月の規定審議会において、第5番目の奉仕部門に青少年奉仕として加えられました。もう一点違うな、と思ったのはロータリー活動を非常にアクティブに考えている、ということであります。レイ・クリンギンスミスRI会長は、「地域を育み、大陸をつなぐ」と、おっしゃっていましたが、驚くことに、この意味は世界中が一緒になって手をつなぎ「ロータリーが地域をつくる」ということなのです。

私は「ロータリーは地域に貢献しよう」と位にしか考えられませんでしたので、かなりのギャップを感じました。具体的には、奉仕活動と広報ということになるのでしょうか。とにかく、RIの言うことと我が2510地区の現状を見ます時、周回遅れの感じがしましたが、とにかく次の三つを目標に掲げました。

1. CLPを導入する
2. ポリオ撲滅に力を入れる
3. 社会奉仕に力を入れる

私の意図するところと、この地区の大勢にギャップがあって各クラブへの公式訪問などは往生しました。「CLPは従来の良きロータリーを壊す」。また、東京での財団セミナーにおいては、「2510地区は何故こんなにポリオ寄付額が少ないのですか？説明して下さい」。

まったく逆に楽しくも嬉しかったのは地域の奉仕活動です。阪崎地区社会奉仕委員長に頼んで、社会奉仕活動レポートという本にしました。ご覧になったことと思います。良い

ことはためらわずに真似すればいいのです。そして、どんどん内容を増やして増刷して欲しいものです。「RIは変わるべきだ」といったのは、創始者のポール・ハリスですが、今もどんどん変わっています。人間が移り変わり世界も変わりますから当然でしょう。勿論、規定審議会において決まるのですが、RIは変えるよりどこかを調査、統計に求めています。チャーチルは言いました。「物事を決めるのに民主主義は欠点がないわけではないが、今のところ、これに勝る決定方法を知らない」。私共は「出された結論はどうしてこうなったのか」、「これからどういう風にもっていけばいいのか」を考えなければなりません。

年度内に小平クラブのRI脱会がありました。当地区始まって以来の出来事で申し訳なく思っております。

また、3月11日、PETSの前日に東日本大震災が発生しました。PETSは予定通りやり遂げましたが、この時の皆さんの熱気のもったやりとりは「これぞロータリー」と思わせるものがありました。いち早く支援のチームを立ち上げて対策を練りましたが、これは日本では一番早かったと思います。マッチンググラントによって東南アジア、特にタイから多大な支援があり、ロータリーの絆を感じました。

ガバナーとしての年度を思い通りにできたのは支えてくれた久保田代表幹事をはじめとする地区スタッフの協力によるものと深く感謝しております。

2014-15年度の地区大会に参加して我が2510地区は急ピッチで成長をとげLIGHT UP

された感じがいたしました。地区のさらなる
発展を祈念いたします。

2010-11年度ガバナー

佐々木正丞



第3700地区大会（テグ）



4月15日 第3700地区大会（テグ）歓迎晩餐会にて
酒井夫人、熊澤夫人と共に



1月23日（サンディエゴ）閉会夕食会にて

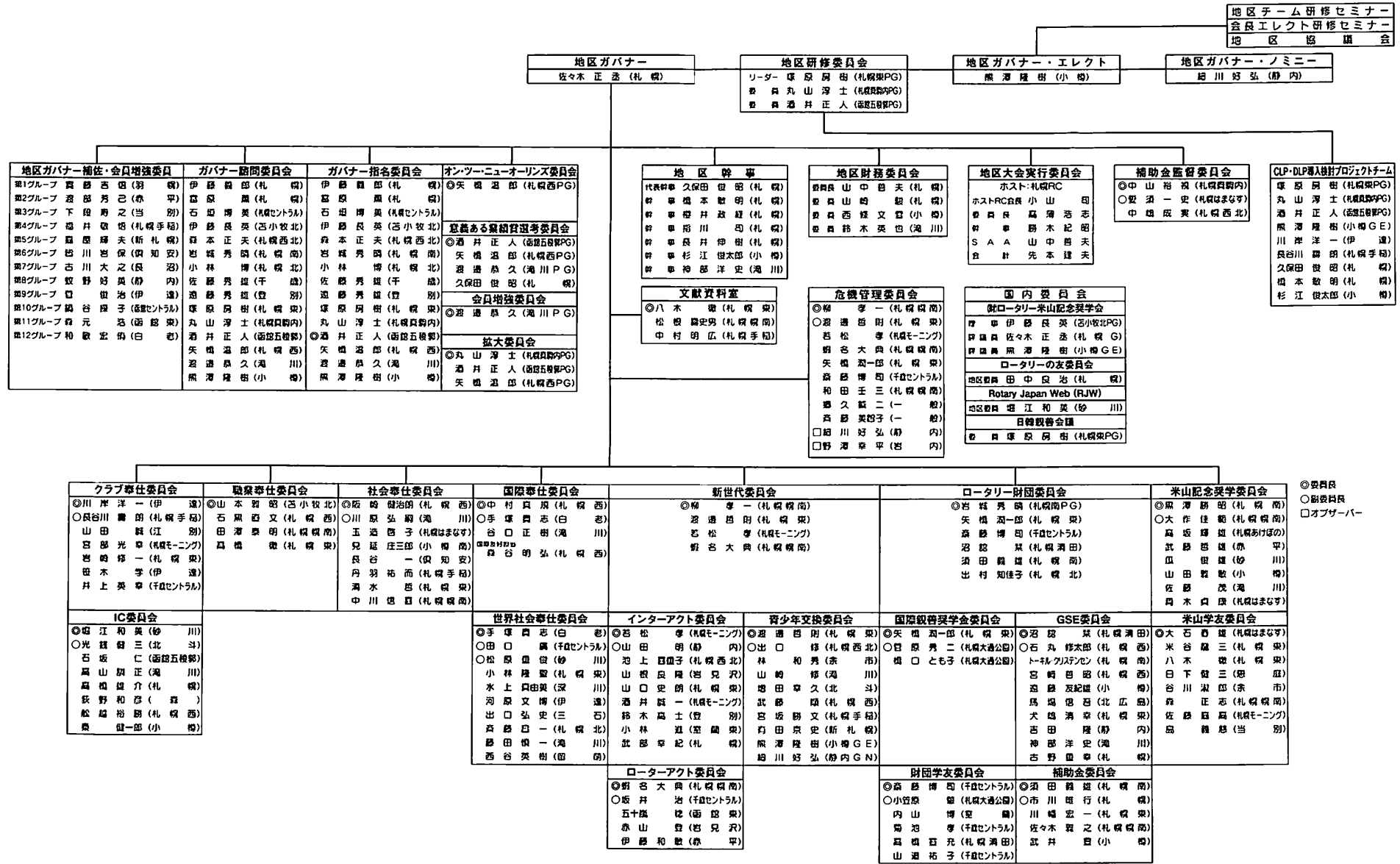


1月22日（サンディエゴ）「国際祭りの夕べ」にて
東京音頭を踊る



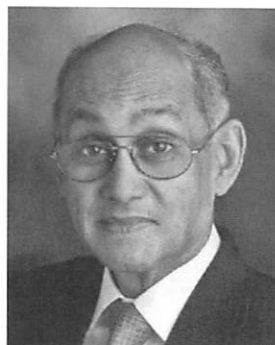
第2510地区大会（2010-2011）
記念講演会
キャスター 小谷真生子氏

2010～2011年度国際ロータリー第2510地区組織図



2011～2012 “Reach Within to Embrace Humanity” 「こころの中をみつめよう 博愛を広げるために」

RI会長 カルヤン・バネルジー ガバナー 熊澤隆樹



略 歴 医療法人社団 熊澤歯科 理事長
1968年 東京医科歯科大学大学院修了
ロータリー歴 1980年 小樽RC入会
1989年 地区副幹事
1996年 “
2004年 小樽RC会長
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
米山功労者マルチプル
生年月日 昭和15年1月6日

強調事項 家族・継続・変化

- 地区目標 ①ロータリーの活動を担う新しい会員を増やすこと
②クラブは(全会員参加型の)新しい奉仕活動を年度内に一つ行うこと
③まわりの人にロータリーを巧みに語り伝えること

	世界	日本	地区	新結成・終結クラブ
クラブ数	34,301	2,294	72	小平RC(終結)
会員数	1,223,413	87,896	2,573	

会合	場所	開催日	RI会長・RI会長代理	参加者	ホストクラブ
国際大会 (第103回)	バンコク (タイ)	5月6日 ～9日	カルヤン・バネルジー		
地区大会	小樽市民会館 グランドパーク小樽	10月15日 16日	坂本 俊雄	1,635	小樽RC
大会テーマ：こころの中をみつめよう 博愛を広げるために 特別講演：「日本のこれから」 数学者・作家・お茶の水女子大学名誉教授 藤原 正彦氏					
地区協議会	新ひだか町公民館	4月8日	G：熊澤 隆樹 GE：細川 好弘	512	静内RC

グループ	ガバナー補佐	開催月日	開催地・会場	ホストクラブ
第1グループ	山田 圭二	5月20日	深川市・プラザホテル板倉	深川 RC
第2グループ	滝 勝美	2月10日	芦別市・芦別スターライトホテル	芦別 RC
第3グループ	長田 正文	11月5日	岩見沢市・岩見沢平安閣	岩見沢東RC
第4・第5 グループ合同	石谷 邦彦 齋藤 康嗣	3月31日	札幌市・ホテルライフオーソ札幌	札幌西RC 札幌真駒内RC
第6グループ	谷内 馨一	2月26日	赤井川村・キロロホテルピアノ	小樽 RC
第7グループ	大坂 直人	3月18日	由仁町・由仁町文化交流館「ふれーる」	由仁 RC
第8グループ	山科 幸一	3月3日	えりも町・えりも岬風の館	えりも RC
第9グループ	内池 真人	2月4日	室蘭市・ホテルサンルート室蘭	室蘭北RC
第10・第11 グループ合同	柴田 繁男 能戸 彰	2月18日	函館市・函館国際ホテル	函館 RC 函館五稜郭RC
第12グループ	岡田 秀樹	2月5日	苫小牧市・苫小牧ホテルグランドニュー王子	苫小牧北RC

東日本大震災が、奉仕活動に大きなインパクトを！

国際協議会

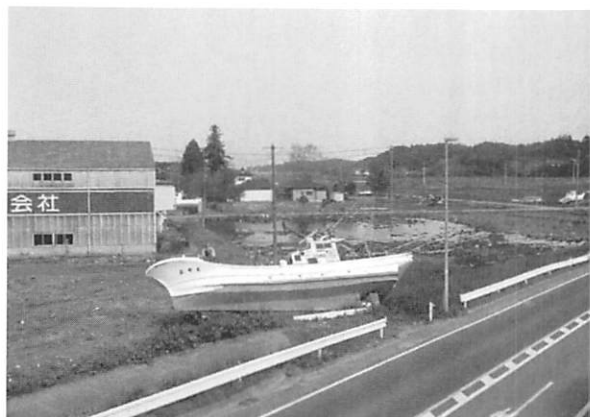
今年度のロータリーのテーマは、「非常に哲学的なもので、私達一人一人の思いが奉仕活動を支え、それを成功させるのは手段方法ではないということ強く訴えていた」と私は感じておりました。クラブ訪問での協議会で、このことを実感することができました。また、サンディエゴでの国際協議会の研修では、「すべての会員に奉仕する心構えを持って地区運営にあたりなさい」という言葉が心に残り、大震災後の地区運営の大きな支えとなりました。

会長エレクト研修セミナー

前日の3月11日に起った大震災は、研修会の運営にあたるものにとって大事件でした。が、蓋を開けてみると、9割以上のクラブ会長・幹事が参加してくれ、ロータリアンの熱い思いに感動いたしました。

地区委員会構成

佐々木年度に続き、CLPの主旨を伝えるためにも、地区リーダーシッププラン（DLP）を見直すことが必要と感じ、全国の地区運営組織を調べて、プロジェクト奉仕委員会を新設しました。これがベースとなり、大震災救



写真①



写真①

援プロジェクト委員会を早々に立ち上げることができました。結果として、札幌北RCの申し出にすぐ対応して、6月早々の福島への現地視察（写真①）となり、その上、RID2530の同期の根本ガバナーエレクトの強力な支援で、両地区合同の視察となりました。このことが、当地区の震災支援活動の要となってくれました。

公式訪問

小さなクラブ、大きなクラブ、様々な運営をされておりましたが、構成されている会員の持つロータリーにかける熱意に、感動させられました。また、訪問時には、本当にいろいろとお心遣いをいただいた事にお礼を申し上げます。

地区大会

ガバナー諮問委員会で、小樽の地区大会は参加者に楽しんでもらうことを主眼におき、研修の場はIMとして、少しではあるが、予算づけも行うことを提案して承認をもらいました。これはRI理事会で決まったガバナーの権限を行使したのですが、他のパストガバナーにはどう映っていたのか、今となって



写真②

興味がわくところです。大会では、「国家の品格」で著名となった藤原正彦氏の特別講演が実現でき、食事では、小樽RCのメンバーのアイデアが反映されて、参加者に喜んでもらえたものと自負しております。

大震災救援プロジェクト

佐々木年度の地区支援金1,494万円、地区支援金DDF1,039.8万円、加えて、RI財団の支援金合計5,315万円で、5つの支援事業、①放射線測定機器、②飯館村支援車両、③海星水産高校復旧支援、④福島キッズキャンプIN北海道(写真②)、⑤福島アンダー18マイクロバス検査登録支援、を実施、その上に気仙沼津波被害児童・生徒楽器支援事業と支援ストラップ販売を行いました。本当に素晴らしい委員の方々の活動でしたし、杉江代表幹事、出村財団委員、堀江副委員長、柳副委員長のお力添えに感謝しております。



写真④



写真③

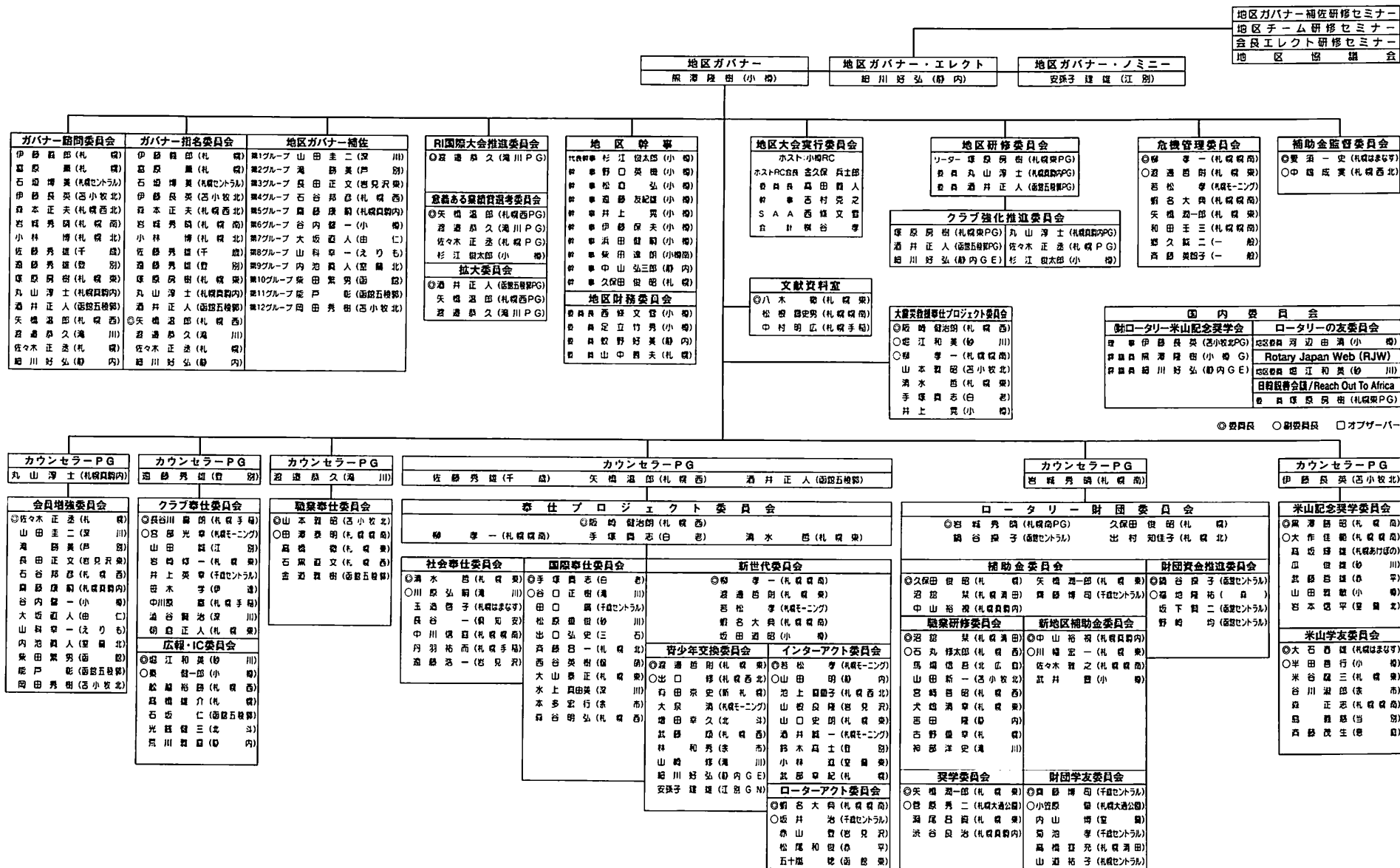
GSE (写真③)

今限りという事業を少ない予算の中、しかも1年間の中で実施することは、非常に難しいことでした。そこを、沼館委員長と委員の方々、そして矢橋チームリーダーと4名の派遣団員には、ドイツ・ミュンヘンRID1840との職業研修・国際交流を無事成功に導いてくれました。

その他、タイの世界社会奉仕(WCS)への視察参加(写真④)、RIJYEC(第17回日本青少年交換研究会)の大会では、丸山PGライジェック理事と柳大会実行委員長には、急な地区の要請にもかかわらず、大会を成功裡に導いてくれたことに深く感謝しております。最後に、振り返ってみると、素晴らしい出会いを作ってくれた小樽RC6人目のガバナーになれたことに深く感謝し、また、終始変わらずサポートしてくれた地区幹事の皆様に感謝申し上げます。

熊澤 隆樹

2011~2012年度国際ロータリー第2510地区組織図



2012～2013 “Peace Through Service” 「奉仕を通じて平和を」

RI会長 田中 作次 ガバナー 細川 好弘



略 歴 (株)細川好弘広告 代表取締役
昭和29年 北海道静内高等学校卒業
ロータリー歴 1973年 静内RC入会
1987年 静内RC会長
2003年 第8グループガバナー補佐
スターフェロー
米山功労者
ポール・ハリス・フェロー
メモリアル・コントリビューター
生年月日 昭和11年3月9日

- 強調事項 心・家族・地域・世界に平和の恩恵を
地区目標 ①ロータリーを新世代と共に未来に繋げよう。
②地域や世界に役立つ奉仕をしよう。
③今一度、親睦と友情を拡大しよう。

	世界	日本	地区	新結成・終結クラブ
クラブ数	34,533	2,286	71	札幌あけぼのRC(終結)
会員数	1,227,189	86,799	2,539	

会合	場所	開催日	RI会長・RI会長代理	参加者	ホストクラブ
国際大会 (第104回)	リスボン (ポルトガル)	6月23日 ～26日	田中 作次		
地区大会	新ひだか町公民館 静内ウエリントンホテル HBA北海道市場多目的ホール	10月13日 14日	洪 學樑	1,515	静内RC
大会テーマ：奉仕を通じて平和を 特別講演：「凛とした日本人」 評論家 金美齡氏					
地区協議会	岩見沢平安閣 北海道グリーンランドホテルプラザ	4月14日	G：細川 好弘 GE：安孫子建雄	542	岩見沢RC

グループ	ガバナー補佐	開催月日	開催地・会場	ホストクラブ
第1グループ	清水 陸	5月26日	留萌市・留萌市産業会館	留 萌 R C
第2グループ	篠島 弘	5月11日	滝川市・滝川ホテル三浦華園	滝 川 R C
第3グループ	増山 柳	11月17日	江別市・江別市あおい	江 別 西 R C
第4・第5 グループ合同	藤森 敏昭 武部 實	3月23日	札幌市・札幌パークホテル	札幌モーニングRC 札幌南RC
第6グループ	谷川 淑郎	2月9日	余市町・ホテル水明閣	余 市 R C
第7グループ	佐々木 昭	3月17日	千歳市・ANAクラウンプラザホテル千歳	千 歳 R C
第8グループ	中村 茂	2月16日	様似町・アポイ山荘	様 似 R C
第9グループ	飯尾 哲也	3月16日	室蘭市・室蘭プリンスホテル	室 蘭 R C
第10・第11 グループ合同	秋田 正悦 前川 敏雄	4月20日	函館市・ロワジール函館ホテル	函館亀田RC 江 差 R C
第12グループ	市町 峰行	4月7日	苫小牧市・グランドホテルニュー王子	苫 小 牧RC

平和はここから。

2012-2013年度国際ロータリー会長 田中作次さんは日本人として3人目のRI会長です。

「奉仕を通じて平和を」をテーマに世界中に平和の恩恵を届けることが出来る崇高なテーマであります。

2012年1月アメリカ サンディエゴ市での国際協議会「ロータリーに入るまで私の人生観はとても狭いものでした」とお話しされた田中作次RI会長エレクトの決意を伺って、国際交流の緊張感が和らいだのは私だけではなかったと思います。

ロータリアンとして記憶に残る国際協議会は楽しい交流も含めて厳格な研修を受け、地区運営のヒントを学ばせていただきました。

地区研修セミナーでは、丸山淳二研修リーダー（PG）よりユニークな講演が参加ロータリアンを楽しませてくれました。

地区協議会では500人が出席して、田中作次RI会長年度のテーマを掲げ、2012-2013年度の地区目標を中心に真剣な討議がなされ、特に奉仕の第5部門になりました新世代奉仕にライラ委員会を組織させていただき、ライラプログラムを7年振りに再開した年度でありました。

多くの仲間に盛り上げていただきました「地区大会」。のどかな日高路を賑々しく演出していただいたロータリアンの皆様に心から感謝申し上げます。

第3490地区（台湾板橋RC）洪學樑PGご夫妻をRI会長代理としてお迎えし、高橋はるみ北海道知事、伊藤義郎元RI理事、第3700地区（韓国大邱）呂成源総裁ご夫妻をはじめ

1,515名の登録をいただき、金 美齡さんの講演で楽しんでいただきました。

只、ガバナーとして体調管理の不幸でアクシデントがありご迷惑をお掛けしましたが、ガバナー諮問委員会の緊急なご配慮により成功に向けて駆け抜けたことは、参加ロータリアンの寛容と静内RC、第8グループがローカルらしく一丸となって取り組んでいただいた結果でありまして、私のロータリー年度を企画・推進をして下さいました、中山弘三郎代表幹事はじめガバナースタッフの皆様は頭の下がる思いでいっぱいあります。

地区内72クラブへの公式訪問、各クラブ各々の歴史と伝統があり、個性があり、品格があり、奉仕の実践があり、楽しさに溢れておりました。

ポルトガル、リスボンでの国際大会、第3700地区地区大会、平和フォーラム広島会議、地区大震災救援奉仕プロジェクト委員会による支援事業等々、ガバナー補佐をはじめ地区役員、各クラブ会長・幹事、そしてロータリアン各位の温かい心配りと熱意に酔いながら日々楽しい友情を賜ったことに感謝しております。

「平和は心からですね」と言葉を交わした田中作次RI会長の祈るような思いに接した年度でありました。

ガバナーとしての反省点も心しながら……ありがとうございました。

(2014年9月 記)

バストガバナー (2012-2013)

ロータリーの友事務所理事 (2013-2014)

細川 好弘



札幌東RC創立55周年記念講演会にて、田中作次RI会長と



呂成源総裁夫妻、洪學樑RI会長代理夫妻と地区大会歓迎晩さん会にて

2012～2013年度国際ロータリー第2510地区組織図

地区ガバナー補佐研修セミナー
地区チーム研修セミナー
会長エレクト研修セミナー
地区協議会

地区ガバナー 細川好弘(幹 内)
地区ガバナー・エレクト 安孫子建雄(江 別)
地区ガバナー・ノミネー 羽部大仁(札幌横南)

ガバナー諮問委員会 伊藤 鶴郎(札幌) 高原 薫(札幌) 石垣 博英(西小坂北) 伊藤 良英(西小坂北) 森本 正夫(札幌西) 岩城 秀晴(札幌南) 小林 博(札幌北) 佐藤 秀雄(千 雄) 遠藤 秀雄(白 岩) 塚原 房樹(札幌東) 丸山 淳士(札幌東) 酒井 正人(札幌東) 矢橋 温郎(札幌西) 渡邊 恭久(札幌) 佐々木正彦(札幌) 熊澤 隆樹(小 郡) 安孫子建雄(江 別)	ガバナー指名委員会 伊藤 鶴郎(札幌) 高原 薫(札幌) 石垣 博英(西小坂北) 伊藤 良英(西小坂北) 森本 正夫(札幌西) 岩城 秀晴(札幌南) 小林 博(札幌北) 佐藤 秀雄(千 雄) 遠藤 秀雄(白 岩) 塚原 房樹(札幌東) 丸山 淳士(札幌東) 酒井 正人(札幌東) 矢橋 温郎(札幌西) 渡邊 恭久(札幌) 佐々木正彦(札幌) 熊澤 隆樹(小 郡) 安孫子建雄(江 別)	地区ガバナー補佐 第1グループ 清水 隆(幹 南) 第2グループ 藤島 弘(札幌 川) 第3グループ 増山 柳(江 別西) 第4グループ 藤森 敬昭(札幌ニノカ) 第5グループ 武部 賢(札幌南) 第6グループ 谷川 淑郎(赤 南) 第7グループ 佐々木 昭(千 雄) 第8グループ 中村 茂(千 雄) 第9グループ 飯尾 哲也(空 島) 第10グループ 秋田 正悦(空島中田) 第11グループ 前川 敏雄(江 別) 第12グループ 市町 輝行(西小坂)	R/国際大会推進委員会 ◎佐々木正彦(札幌PG) 意義ある奉仕プロジェクト委員会 ◎渡邊 恭久(札幌PG) 佐々木正彦(札幌PG) 熊澤 隆樹(小郡PG) 中山弘三郎(幹 内) 拡大委員会 ◎矢橋 温郎(札幌PG) 渡邊 恭久(札幌PG) 佐々木正彦(札幌PG)	地区幹事 代表幹事 中山弘三郎(幹 内) 幹事 不動 信之(幹 内) 幹事 山田 一孝(幹 内) 幹事 市毛 満(幹 内) 幹事 山田 明(幹 内) 幹事 山田 博雄(三 石) 幹事 出口 弘史(三 石) 幹事 山田 博雄(三 石) 幹事 八島 壯之(江 別) 幹事 杉江俊太郎(小 郡)	地区大会実行委員会 ホスト・静内RC ホストRC会長 山口 俊秀 幹事 佐藤 雅裕 幹事 不動 信之 S A A 西村 和夫 会計 石垣 勝英	地区研修委員会 リーダー 丸山 淳士(札幌東) 幹事 酒井 正人(札幌東) カウンセラー PG 熊澤 隆樹(小 郡)	危機管理委員会 ◎柳 孝一(札幌南) ◎有田 京史(札幌南) 山口 史朗(札幌南) 野名 大典(札幌南) 矢橋温一郎(札幌東) 和田 玉三(札幌南) 郷久 誠二(一 郡) 高藤美智子(一 郡)	補助金監督委員会 ◎愛須 一史(札幌東) ◎中嶋 成実(札幌西)	ロータリー財団監査委員会 <small>*ロータリー財団監査委員は 各区分ごとに委員長、副委員長が 選出されます。</small>
--	--	--	--	---	--	--	---	---	---

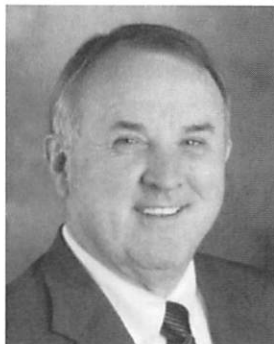
文献資料室 ◎八木 徹(札幌東) 松根壽史男(札幌東) 中村 明広(札幌手稲) 岩崎 修一(札幌東)	CLP 特別委員会 ◎長谷川陽明(札幌手稲) 明白 正人(札幌東) 宮部 光幸(札幌ニノカ) 遠藤 正史(札幌ニノカ) 井上 英幸(札幌ニノカ) 加我 穂(札幌ニノカ) 中川原 昌(札幌手稲) 杉江俊太郎(小 郡) 渋谷 賢治(江 川)	大震災救援奉仕プロジェクト委員会 ◎阪崎健治朗(札幌西) 出村知佳子(札幌北) ◎堀江 和美(妙 川) 山本 雅昭(西小坂北) ◎柳 孝一(札幌南) 杉江俊太郎(小 郡) 松原 重俊(妙 川) 中山弘三郎(幹 内) 清水 哲(札幌東)	国内委員会 ロータリー米山記念奨学会 理事 伊藤 良英(西小坂北) 幹事 塚原 房樹(札幌東) Rotary Japan Web (RJW) 地区代表 堀江 和美(妙 川) 日祝観音会/Reach Out To Africa 幹事 塚原 房樹(札幌東)	2013年規定審議会 地区代表議員 遠藤 秀雄(白岩PG)
---	--	---	---	--

◎：委員長 ○：副委員長

カウンセラー PG 酒井 正人(札幌東)	カウンセラー PG 塚原 房樹(札幌東)	カウンセラー PG 佐々木 正彦(札幌)	カウンセラー PG 渡邊 恭久(千 雄) 矢橋 温郎(札幌西) 丸山 淳士(札幌東)	カウンセラー PG 岩城 秀晴(札幌南)	カウンセラー PG 伊藤 良英(西小坂北)
会員増強委員会 ◎熊澤 隆樹(小 郡) 清水 隆(幹 南) 藤島 弘(札幌 川) 増山 柳(江 別西) 藤森 敬昭(札幌ニノカ) 武部 賢(札幌南) 谷川 淑郎(赤 南) 佐々木 昭(千 雄) 中村 茂(千 雄) 飯尾 哲也(空 島) 秋田 正悦(空島中田) 前川 敏雄(江 別) 市町 輝行(西小坂)	クラブ奉仕委員会 ◎長谷川陽明(札幌手稲) ◎宮部 光幸(札幌ニノカ) 井上 英幸(札幌ニノカ) 中川原 昌(札幌手稲) 渋谷 賢治(江 川) 遠藤 正史(札幌ニノカ) 加我 穂(札幌ニノカ)	職業奉仕委員会 ◎田澤 泰明(札幌南) ◎高橋 徹(札幌東) 岡田 秀樹(西小坂北) 福田 武男(千 雄)	奉仕プロジェクト委員会 ◎阪崎健治朗(札幌西) 清水 哲(札幌東) 松原 重俊(妙 川) 柳 孝一(札幌南)	ロータリー財団委員会 ◎岩城 秀晴(札幌南PG) 久保田俊昭(札幌) 鍋谷 操子(空島セントラル) 出村知佳子(札幌北)	米山記念奨学会 ◎大伴 佳範(札幌南) 杉本 悠(妙 川) 小川 修正(小 郡) 三浦 信一(札幌南) 原口 順洋(札幌南) 渡邊 葉子(札幌西)
広報・IC委員会 ◎堀江 和美(妙 川) ◎奥 健一郎(小 郡) 石坂 仁(札幌東) 高橋 雄介(札幌) 大坂 直人(妙 川) 荒川 雅吾(幹 内) 武田 泰一(江 別) 竹原 力也(北 支)	社会奉仕委員会 ◎清水 哲(札幌東) ◎中川 信昌(札幌南) 月羽 祐而(札幌手稲) 長谷 一(札幌東) 遠藤 浩一(西見沢) 戎谷 有男(妙 川) 雨貝 尚子(札幌西)	国際奉仕委員会 ◎松原 重俊(妙 川) ◎田口 廣(札幌ニノカ) ◎森谷 明弘(札幌西) 谷口 正樹(妙 川) 出口 弘史(三 石) 高藤 昌一(札幌北) 西谷 英樹(幹 内) 大山 泰正(札幌東) 水上真由美(妙 川) 本多 宏行(赤 南)	新世代奉仕委員会 ◎柳 孝一(札幌南) ◎有田 京史(新 札幌) 山口 史朗(札幌東) 野名 大典(札幌南) 列田 雅彦(札幌南) 坂田 道昭(小 郡)	補助金委員会 ◎久保田俊昭(札幌) 矢橋温一郎(札幌東) 中山 裕視(札幌南) 豊原 秀二(札幌東) 神部 洋史(妙 川) 平 昌夫(札幌南) 神部 洋史(妙 川) 坂下 賢二(札幌ニノカ) 野崎 均(札幌ニノカ)	財団資金推進委員会 ◎鍋谷 操子(札幌ニノカ) ◎堀地 隆祐(妙 川) 坂下 賢二(札幌ニノカ) 野崎 均(札幌ニノカ)
	青少年交換委員会 ◎有田 京史(新 札幌) ◎出口 修(札幌西) ◎大泉 清(札幌ニノカ) 武藤 順(札幌西) 高藤 茂生(妙 川) 田中 由彦(新 札幌) 上浦 典司(妙 川) 渡邊 哲則(札幌東) 安孫子建雄(江 別PG) 羽部 大仁(札幌東)	インターアクト委員会 ◎山口 史朗(札幌東) ◎山田 明(幹 内) ◎武部 幸紀(札幌) 藤田 享敦(西見沢) 小林 進(空島東) 出島 忠隆(札幌東) 岡崎 昌之(札幌ニノカ) 海野 均(札幌西)	奨学委員会 ◎矢橋温一郎(札幌東) ◎高藤 博司(札幌ニノカ) ◎高橋 直亮(札幌東) ◎湖尾 昌隆(札幌東) ◎渋谷 良治(札幌南) 堀川 裕史(札幌東)	財団学友委員会 ◎豊原 秀二(札幌東) ◎高橋 直亮(札幌東) ◎山道 祐子(札幌ニノカ) ◎小笠原 留(札幌東) ◎前田 浩人(西小坂)	米山学友委員会 ◎半田 善行(小 郡) ◎谷川 淑郎(赤 南) 森 正志(札幌南) 島 義徳(妙 川) 高藤 茂生(妙 川) 高藤 隆夫(妙 川) 大石 香雄(札幌東)
	RYLA委員会 ◎列田 雅彦(札幌南) ◎後 雅則(札幌) ◎高野 園子(札幌南)	ロータリーアクト委員会 ◎野名 大典(札幌南) ◎坂井 治(札幌ニノカ) ◎赤山 登(西見沢) ◎五十嵐 穂(札幌東) ◎板垣 英三(赤 南) ◎川下 和光(札幌南)			

2013～2014 “ENGAGE ROTARY CHANGE LIVES” 「ロータリーを实践し みんなに豊かな人生を」

RI会長 ロン D.バートン ガバナー 安孫子建雄



略 歴 江別製粉(株) 代表取締役社長

1966年3月 千葉工業大学工業経営学科卒業

ロータリー歴 1986年 江別RC入会

2000年 江別RC会長

2007年 第3グループガバナー補佐

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

米山功労者マルチプル

生年月日 昭和18年9月28日

- 行動指針
- ①大震災復興への支援事業継続
 - ②RI戦略計画・財団未来の夢計画の理解と奉仕事業実践
 - ③クラブの運営を点検し会員の参加意欲向上を図り会員の維持増強につなげよう
 - ④グループ・クラブ間の交流を盛んにし会員の世界を広めよう
対面での交流を基本とし、情報交換にITを活用しよう

	世界	日本	地区	新結成・終結クラブ
クラブ数	34,558	2,280	70	札幌セントラルRC(終結)
会員数	1,220,115	86,441	2,521	

会合	場所	開催日	RI会長・RI会長代理	参加者	ホストクラブ
国際大会 (第105回)	シドニー (オーストラリア)	6月1日 ～4日	ロン D.バートン	18,063	
地区大会	江別市民会館 シェラトンホテル札幌 江別市民体育館	10月19日 20日	高 成大	1,621	江別RC
大会テーマ：クラブの再生 ロータリーの再生 地域の再生 そして人々の絆 特別講演：「公共イメージと認知度の向上」 ロータリーの友 編集長 二神 典子 氏					
地区研修・協議会	札幌パークホテル	4月13日	G：安孫子建雄 GE：羽部 大仁	523	札幌東RC

グループ	ガバナー補佐	開催月日	開催地・会場	ホストクラブ
第1グループ	茶谷 恵一	5月25日	羽幌町・羽幌温泉サンセットプラザ	羽幌 RC
第2グループ	竹田 俊一	4月19日	砂川市・砂川パークホテル	砂川 RC
第3グループ	大竹 繁夫	11月23日	美唄市・美唄ホテルスエヒロ	美唄 RC
第4グループ	玉造 啓子	開催なし		
第5グループ	小田切房之	〃		
第6グループ	舛井 齊	3月29日	小樽市・グランドパーク小樽	小樽銭函RC
第7グループ	大川 健一	5月24日	恵庭市・恵庭市民会館	恵庭 RC
第8グループ	武田 豊	2月16日	浦河町・浦河ウエリントンホテル	浦河 RC
第9グループ	石井 憲一	2月23日	登別市・登別グランドホテル	登別 RC
第10グループ	石山 嘉治	開催なし		
第11グループ	今井 義憲	〃		
第12グループ	児玉 和雄	5月11日	苫小牧市・グランドホテルニュー王子	苫小牧東RC

ガバナーの思い出

江別クラブ入会は1986年12月（43歳）のことです。

スポンサーは私の菩提寺の住職であり、また当社の社長はチャーターメンバーとして会員でありましたので、入会に際しての惑いはありませんでした。

当時の江別クラブは84名で、その数年後91年に94名の最大数を達成しておりました。

我がクラブは1962年2月創立ですから52年を経過しております。創立時の会長岩田政勝様には公私ともに大変お世話になり多くの事を学びました。入会后委員会では委員長を幾つか経験し、特に会報を担当した時には毎週テープを聞きながら原稿整理に追われました。その時たくさんの方のお話を聴いて気付いたのが、文章に変換することの難しさでした。結果として自分の話し方に気をつけるようになったことを覚えています。

クラブ幹事は94年、会長は2000年の年でした。世紀が変わる思い出深い年度でした。この年遠藤正之（札幌幌南）ガバナーにお会いできたことは忘れられない思い出であります。月信で遠藤ガバナーは「会員は我が職業について例会にてみんなに伝えることが大事です」と言われておられました。

2007年にガバナー補佐を引受ましたが、将来のガバナー候補をAGから発掘するという酒井ガバナーの言葉をうわの空で聞いていたのに思いもかけず、その数年後には2013-14年度のガバナーの候補になってしまいました。

当時我がクラブは30名を割るメンバーでしたのでみんな驚きと戸惑いがありましたが、こんな機会は当分の間無かろうということで

引受けていただきました。ほとんどホームクラブ中心でしたから地区のこと、先輩ガバナーの皆さんのことを知らずに深い海へ飛び込んだのも同然でした。

ロータリーの研修には多くのプログラムがありますが思い出深いのが国際協議会でしょうか。サンディエゴでの経験は生涯忘れることが出来ません。

なんといっても同期34名のGEと同伴のご婦人たちとの交流を通じて、強い仲間意識が生まれました。と同時に広く世界を見たように感じました。

クラブ公式訪問は物理的な限界に挑戦しながら多くの会員との接点を持つと努力し自分なりに素晴らしい経験を果たせたと思っています。

地区大会は超我の奉仕「利他の心」「ロータリーの心」をもとに大会テーマを「クラブの再生ロータリーの再生地域の再生そして絆」としました。71クラブ2,500の会員の一体感を得ることの出来た大会であったと思います。

福島県飯舘村菅野村長「お金の世界から命の世界へ」の講演で心を打たれ、東日本災害復興支援ソング「花は咲く」を全員で歌った感動は忘れません。

ロン D・バートンRI会長は「エンゲージロータリー チェンジライブズ」を掲げました。それぞれのエンゲージから様々な人生が生まれると思います。私自身そのように思っています。

ロータリーの様々な考えに触れるにつけ、人間の命は一人では成り立たず 人生は多く

の人に迷惑をかけ、お世話になってでき上がるという感想にたどり着きました。

有難うロータリーそしてロータリアンの皆さん

2013-14年度ガバナー
江別ロータリークラブ

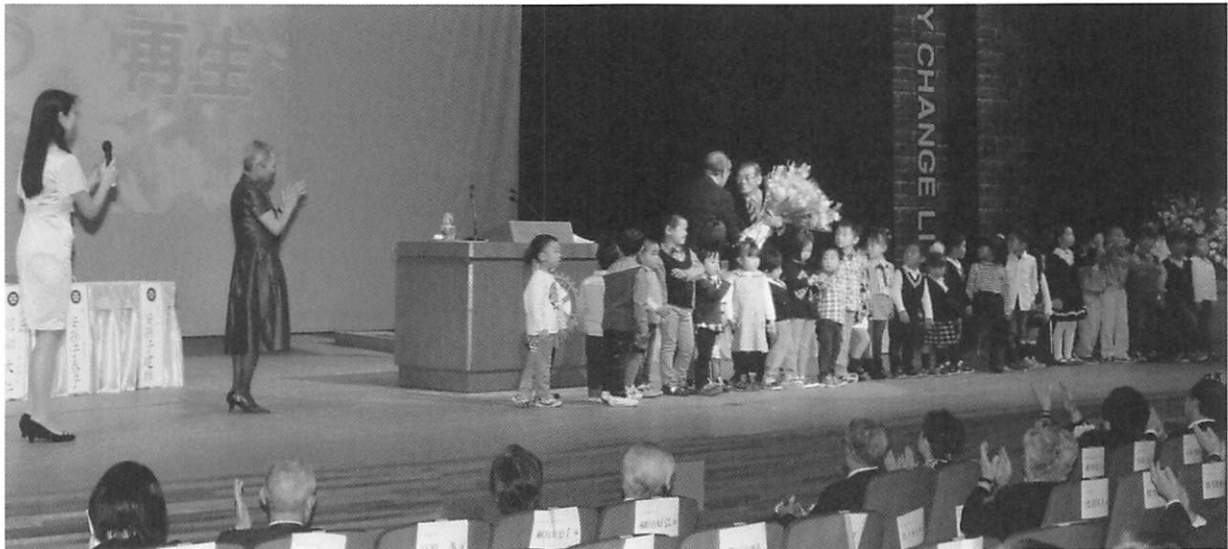
安孫子建雄



2013年10月19日 地区大会 会長幹事会
RI会長代理 高成大氏



2014年1月14日 タイ 国際奉仕検証ツアー



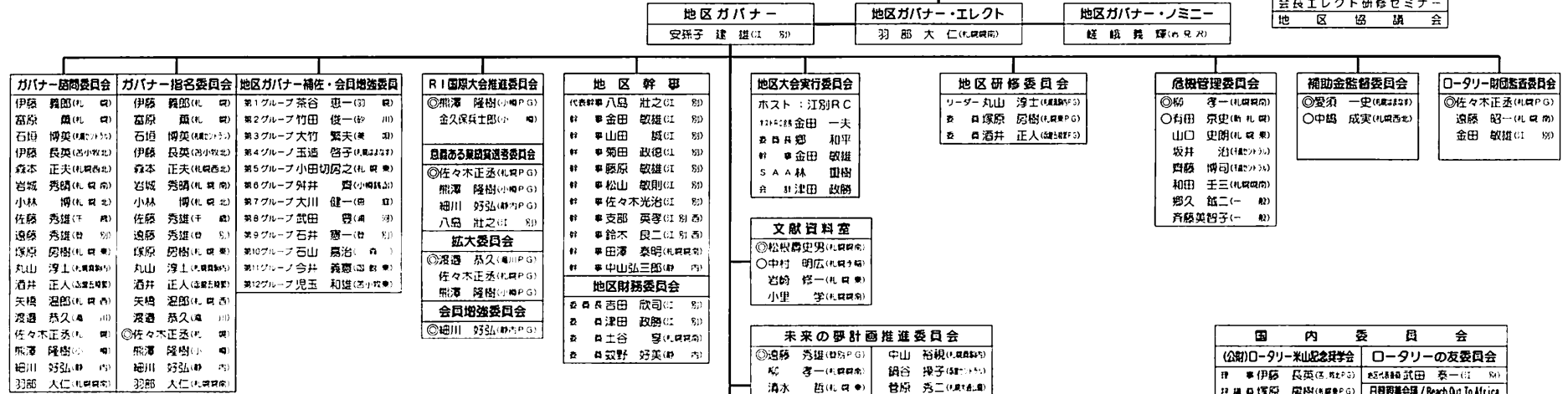
2013年10月20日 地区大会 記念講演



2013年1月20日 国際協議会 サンディエゴ 34名のガバナー

2013～2014年度国際ロータリー第2510地区組織図

地区ガバナー補佐研修セミナー
地区チーム研修セミナー
会長エレクト研修セミナー
地区協議会



◎委員長 ○副委員長

クラブ奉仕委員会
◎宮部 光幸 (会長)
○宇野 真昭 (副会長)
野口 裕二 (副会長)
林 博己 (副会長)
加茂 隆 (副会長)
堀元 雅司 (副会長)

広報・IC委員会
◎志江 和美 (会長)
石坂 仁 (副会長)
荒川 雅昌 (副会長)
高橋 雅介 (副会長)
武田 泰一 (副会長)
竹原 力也 (副会長)
橋本 晋 (副会長)

職業奉仕委員会
◎福田 武男 (会長)
◎高橋 徹 (副会長)
岡田 秀樹 (副会長)
後藤 一昭 (副会長)
矢野 謙 (副会長)
堀田 昌寛 (副会長)
松原 昌 (副会長)

奉仕プロジェクト委員会
◎柳 孝一 (会長)
清水 哲 (副会長)
松原 重俊 (副会長)

社会奉仕委員会
◎清水 哲 (会長)
◎中川 悟 (副会長)
◎遠藤 浩一 (副会長)
丹羽 祐而 (副会長)
成谷 南男 (副会長)
雨宮 尚子 (副会長)
大西 勲 (副会長)
柴田 憲彦 (副会長)

国際奉仕委員会
◎松原 重俊 (会長)
◎田口 廣 (副会長)
◎谷口 正樹 (副会長)
水上 貞由美 (副会長)
斉藤 昌一 (副会長)
西谷 英樹 (副会長)
大山 泰正 (副会長)
本多 宏行 (副会長)
寺岡 秀一 (副会長)
西方 洋昭 (副会長)

新世代奉仕委員会
◎柳 孝一 (会長)
有田 京史 (副会長)
山口 史朗 (副会長)
坂井 浩 (副会長)
外田 雅彦 (副会長)
出村知佳子 (副会長)
坂田 道昭 (副会長)

青少年交換委員会
◎有田 京史 (会長)
◎出口 修 (副会長)
◎大泉 清 (副会長)
武藤 順 (副会長)
斎藤 茂生 (副会長)
上浦 剛司 (副会長)
土方 敏久 (副会長)
羽部 大仁 (副会長)
経儀 義輝 (副会長)

インターネット委員会
◎山口 史朗 (会長)
◎山田 明 (副会長)
◎高岡 俊介 (副会長)
◎藤田 守野 (副会長)
◎松永 英樹 (副会長)
◎出真 忠雄 (副会長)
◎齋藤 昌之 (副会長)
◎海野 均 (副会長)

ロータリー財団委員会
◎遠藤 秀雄 (会長)
久保田俊昭 (副会長)
鍋谷 操子 (副会長)
菅原 秀二 (副会長)
齊藤 博司 (副会長)
出村知佳子 (副会長)
中山 裕規 (副会長)

財団補助金委員会
◎中山 裕規 (会長)
◎川崎 宏一 (副会長)
佐々木雅之 (副会長)
武井 豊 (副会長)
齊藤 康嗣 (副会長)
宮崎 英彰 (副会長)

財団資金管理委員会
◎久保田俊昭 (会長)
◎平 吾夫 (副会長)

財団資金推進委員会
◎鍋谷 操子 (会長)
◎坂下 賢二 (副会長)
柴田 繁男 (副会長)
小泉道太郎 (副会長)

奨学金委員会
◎齊藤 博司 (会長)
◎堀川 裕史 (副会長)
◎堀尾 昌彦 (副会長)
渋谷 良治 (副会長)
矢橋菊一郎 (副会長)

職業研修チーム委員会
◎神部 洋史 (会長)
◎古野 重幸 (副会長)
◎宮崎 善昭 (副会長)
◎犬崎 清幸 (副会長)
◎馬場 信吾 (副会長)
◎鈴木 良二 (副会長)
◎高岡 豊 (副会長)
◎有田 均 (副会長)

米山記念奨学委員会
◎渡邊 真子 (会長)
◎原口 康洋 (副会長)
大作 佳範 (副会長)
小川 修正 (副会長)
三浦 悠一 (副会長)
杉本 勉 (副会長)
森谷 明弘 (副会長)
増田 幸久 (副会長)

米山学友委員会
◎半田 晋行 (会長)
◎谷川 淑郎 (副会長)
◎米谷 隆三 (副会長)
◎森 正志 (副会長)
◎斎藤 茂生 (副会長)
◎廣部 隆夫 (副会長)

RYLA委員会
◎外田 雅彦 (会長)
高野 園子 (副会長)
矢橋菊一郎 (副会長)
増山 柳 (副会長)

ローターアクト委員会
◎坂井 浩 (会長)
坂原 英三 (副会長)
斎藤 誠一 (副会長)
岩名 大興 (副会長)
川下 和光 (副会長)
桑 健一郎 (副会長)
金沢 明法 (副会長)
堀 英二 (副会長)

2014~2015 “LIGHT UP ROTARY” 「ロータリーに輝きを」

RI会長 ゲイリー C.K.ホアン ガバナー 羽部 大仁



略 歴 浄土真宗東本願寺派 慧林寺 住職
昭和48年 大谷大学文学部卒
ロータリー歴 1980年 札幌幌南RC入会
2000年 地区幹事
2009年 札幌幌南RC会長
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
米山功労者マルチプル
生年月日 昭和26年4月1日

- 地区目標 ①RIテーマ「ロータリーに輝きを」を推進しよう
②地区の戦略計画とクラブの戦略計画を推進しよう
③引き続き復興支援に参加しよう
④全クラブで地区史編纂に協力しよう

	世界	日本	地区	新結成クラブ
クラブ数	34,773	2,285	70	
会員数	1,188,539	86,703	2,521	

会合	場所	開催日	RI会長・RI会長代理	参加者	ホストクラブ
国際大会 (第106回)	サンパウロ (ブラジル)	6月6日 ~9日(予定)	ゲイリー C.K.ホアン		
地区大会	ニトリ文化ホール ルネッサンスサッポロホテル	10月4日 5日	松本 茂太郎	1,804	札幌幌南RC
大会テーマ:「ロータリーに輝きを」 「END POLIO NOW」 特別講演:「今、私たちにできること~自分を見つめて、世界を見つめる」 UNDP親善大使・女優・エッセイスト 紺野美沙子氏					
地区研修・協議会	北海道グリーンランドホテルサンプラザ 岩見沢平安閣	4月12日 (予定)	G : 羽部 大仁 GE : 嵯峨 義輝		

グループ	ガバナー補佐	開催月日	開催地・会場	ホストクラブ
第1グループ	村中 俊二	5月17日	深川市	深川RC(予定)
第2グループ	武藤 哲雄	4月4日	赤平市	赤平RC(予定)
第3グループ	磯野 武司	2月28日	栗山町・くりやまカルチャープラザEki	栗山RC
第4・第5 グループ合同	出口 元治 和田 壬三	4月25日	札幌市・札幌市民ホール	札幌西北RC(予定)
第6グループ	志比川 武	3月29日	蘭越町・ふれあいプラザ21	蘭越RC(予定)
第7グループ	菊池 重敏	6月6日	北広島市	北広島RC(予定)
第8グループ	富永 信	2月15日	新ひだか町・みついし昆布温泉「蔵三」	三石RC
第9グループ	富田 孝夫	2月7日	室蘭市・中島神社蓬峯殿	室蘭東RC
第10・第11 グループ合同	小泉護太郎 大日向豊吉	11月22日	函館市・函館国際ホテル	函館五稜郭RC
第12グループ	手塚 貴志	5月16日	白老町	白老RC(予定)

ガバナーの思い出

私に与えられたガバナーとしての任期を5ヶ月終えた今、地区国際奉仕委員会が毎年実施しているタイ国、チェンマイ地区、ノンカイ地区、アムナットチャロエン地区への検証ツアーに参加している。今回は遠藤秀雄地区財団委員長（PDG）を団長に27名の参加を得て実施された。関係各位の「世界で良いことをしよう」と言う奉仕の理念のもとにノンカイ地区との交流は15年に及ぶと記憶している。これまでこの地区（バンコクのソンブンさん、ノンカイのマリーさん、通訳のプーさんの同行を得て）にロータリーの心を繋げてくれたロータリアンに深甚なる敬意と感謝を申し上げたい。改めて感動を憶えた検証であった。

これまでに終了した主なものは以下の通りである。

1) ガバナー公式訪問について、始まりは7月8日に、深川・妹背牛ロータリークラブを訪問させて戴き、11月21日私のホームクラブの札幌幌南ロータリー訪問をもって、70クラブの公式訪問を終了した。公式訪問では、クラブ会長・幹事さんがリーダーシップを発揮され、素晴らしいクラブ運営をされていることを目の当たりにし、その感動を忘れられない。多くの会員を有するクラブは無論だが、少数の会員のクラブでは知恵を出し合って工夫して運営している事に心からの感謝と、地区組織を活用されることを願い、地区がクラブを支援することを約束した。

2) 地区大会の開催について、10月4日～

5日の両日ルネッサンスホテル札幌、ニトリ文化ホール、ロイトン札幌において、松本茂太郎（PDG）洵子ご夫妻が会長代理として参加され素晴らしいご指導を戴き成功裏に終了した。開催に際して各クラブから多くの登録と参加を願ったことは、地区ガバナーとして最大の歓びであった。10月4日のハイライトは、関場慶博PDG（弘前アップルRC）の「未来の子供達にポリオのない世界を願って」と題した基調講演であった。この講演は素晴らしい感動とロータリアンのあるべき姿を示唆したものとなった。心から深甚なる感謝を申し上げたい。その後、「地域と世界で良いことをしているロータリー」と題して行われたフォーラムは、我が地区が実施している奉仕プロジェクトを周知する良い機会となったと思う。今年度地区として新設された、地区ポリオプラス委員会と地区広報委員会の活動も目覚ましいもので関係各位の努力に感謝したい。5日の本会議では、紺野美沙子氏の記念講演は会場中を魅了した。氏が永い期間勤めて来た国連親善大使として世界中を歩いて活動している支援を通じて、我々がポリオ撲滅運動にも共通する「相手を思いやる心」の大切さを改めて感ずる講演であった。大懇親会では、多くの感動を締めくくるに相応しい「北海道歌旅座」の演奏と歌に青春時代を思い出した多くのロータリアンが踊り歌い楽しい一時を過ごした。

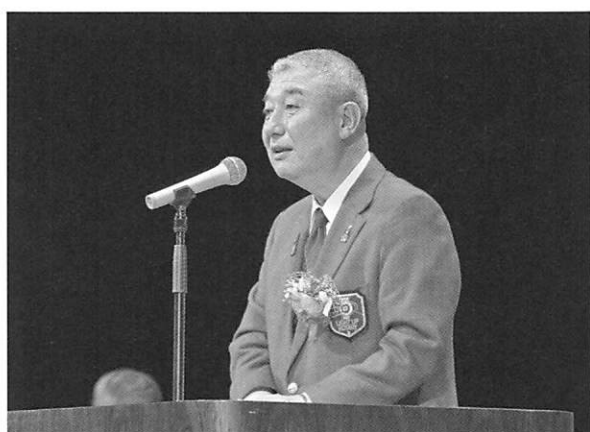
3) 「ロータリーデー」の実施にあたり、9月14日（日）午後1時30分から市内11箇所（3クラブは別の日時で実施した）に於いて、ポ

リオ撲滅街頭募金を実施した。準備期間が短くグループ全体で活動する事業は初めての事であった。そんな中クラブ会長の特段のリーダーシップと調整を戴き実施できたことはガバナーとして感激の極みであった。その他のグループに於いても、夫々素晴らしいポリオ撲滅に向けてのプログラムが実施された。ロータリーの活動を地域社会の皆さに周知する機会ともなった事も、今年度第2510地区の重点課題であるポリオと公共イメージの向上の取り組みであった。両委員会の委員長と各委員の健闘に心からの感謝を申し上げたい。

4) 「地区史」発刊にあたり、地区目標に掲げた「地区史」が塚原房樹 (PDG) 地区史編纂委員長と委員会各位の努力によって2015年正月以降には発刊出来る予定と聞き及んでいる。地区としては18年振りに編纂となる。18年前を思い出しながら発刊を心待ちにしている。関係各位の絶大なる貢献に深甚なる敬意と感謝を申し上げたい。

2014-15年度ガバナー

羽部 大仁



地区大会本会議にて挨拶

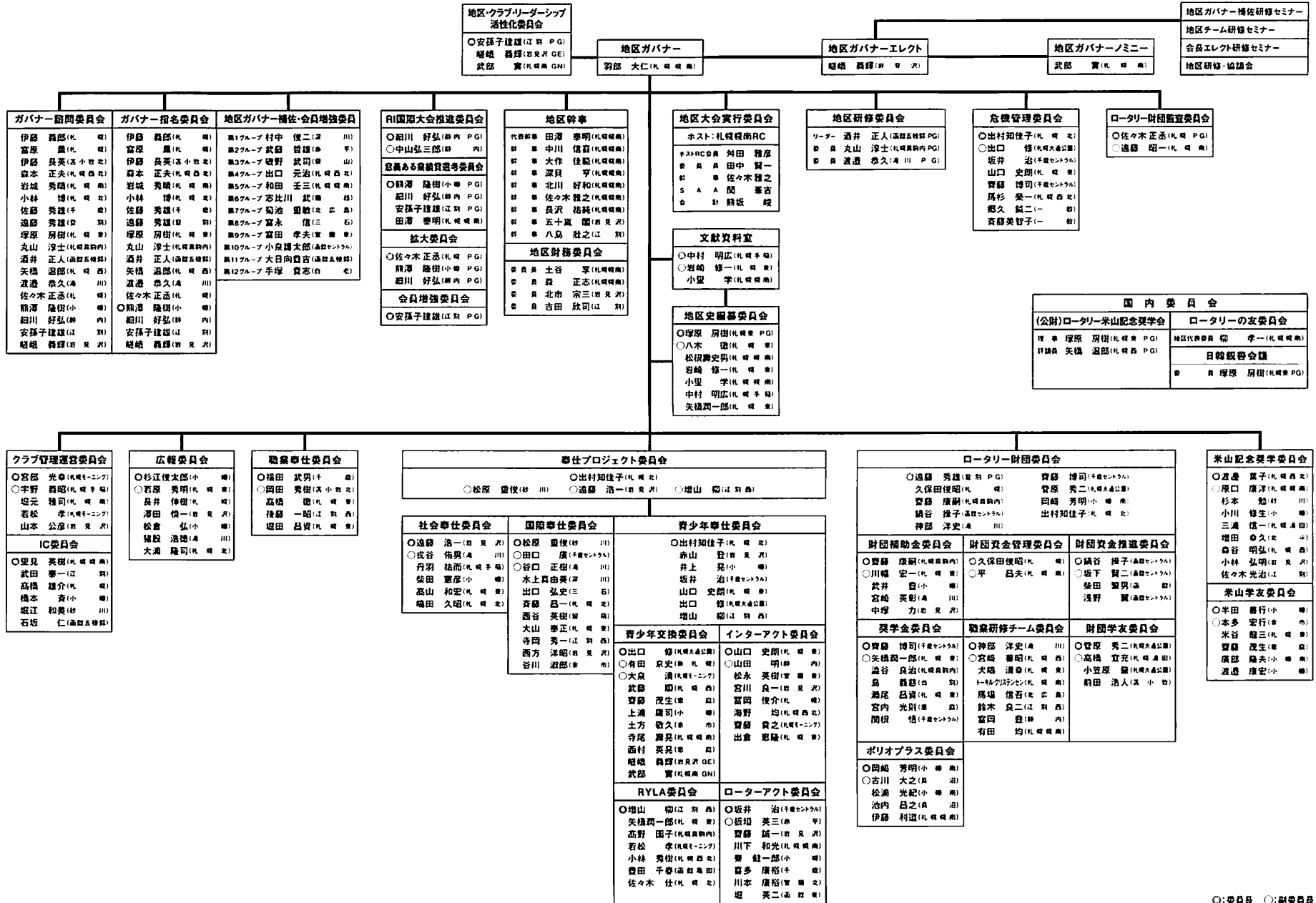


関場先生に感謝です。素晴らしいセミナーになりました。



韓国の皆さんと楽しそう。

2014~2015年度国際ロータリー第2510地区組織図



○:委員長 ○:副委員長

2014~2015 “LIGHT UP ROTARY” 「ロータリーに輝きを」

RI会長 ゲイリー C.K.ホアン ガバナー 羽部 大仁



略 歴 浄土真宗東本願寺派 慧林寺 住職
昭和48年 大谷大学文学部卒
ロータリー歴 1980年 札幌幌南RC入会
2000年 地区幹事
2009年 札幌幌南RC会長
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
米山功労者マルチプル
生年月日 昭和26年4月1日

- 地区目標
- ①RIテーマ「ロータリーに輝きを」を推進しよう
 - ②地区の戦略計画とクラブの戦略計画を推進しよう
 - ③引き続き復興支援に参加しよう
 - ④全クラブで地区史編纂に協力しよう

	世界	日本	地区	新結成クラブ
クラブ数	34,773	2,285	70	
会員数	1,188,539	86,703	2,521	

会合	場所	開催日	RI会長・RI会長代理	参加者	ホストクラブ
国際大会 (第106回)	サンパウロ (ブラジル)	6月6日 ~9日(予定)	ゲイリー C.K.ホアン		
地区大会	ニトリ文化ホール ルネッサンスサッポロホテル	10月4日 5日	松本 茂太郎	1,804	札幌幌南RC
大会テーマ:「ロータリーに輝きを」 「END POLIO NOW」 特別講演:「今、私たちにできること~自分を見つめて、世界を見つめる」 UNDP親善大使・女優・エッセイスト 紺野美沙子氏					
地区研修・協議会	北海道グリーンランドホテルキャナザ 岩見沢平安閣	4月12日 (予定)	G : 羽部 大仁 GE : 嵯峨 義輝		

グループ	ガバナー補佐	開催月日	開催地・会場	ホストクラブ
第1グループ	村中 俊二	5月17日	深川市	深川RC(予定)
第2グループ	武藤 哲雄	4月4日	赤平市	赤平RC(予定)
第3グループ	磯野 武司	2月28日	栗山町・くりやまカルチャープラザEki	栗山RC
第4・第5 グループ合同	出口 元治 和田 壬三	4月25日	札幌市・札幌市民ホール	札幌西北RC(予定)
第6グループ	志比川 武	3月29日	蘭越町・ふれあいプラザ21	蘭越RC(予定)
第7グループ	菊池 重敏	6月6日	北広島市	北広島RC(予定)
第8グループ	富永 信	2月15日	新ひだか町・みついし昆布温泉「蔵三」	三石RC
第9グループ	富田 孝夫	2月7日	室蘭市・中島神社蓬峯殿	室蘭東RC
第10・第11 グループ合同	小泉護太郎 大日向豊吉	11月22日	函館市・函館国際ホテル	函館五稜郭RC
第12グループ	手塚 貴志	5月16日	白老町	白老RC(予定)

ガバナーの思い出

私に与えられたガバナーとしての任期を5ヶ月終えた今、地区国際奉仕委員会が毎年実施しているタイ国、チェンマイ地区、ノンカイ地区、アムナットチャロエン地区への検証ツアーに参加している。今回は遠藤秀雄地区財団委員長（PDG）を団長に27名の参加を得て実施された。関係各位の「世界で良いことをしよう」という奉仕の理念のもとにノンカイ地区との交流は15年に及ぶと記憶している。これまでこの地区（バンコクのソンプンさん、ノンカイのマリーさん、通訳のプーさんの同行を得て）にロータリーの心を繋げてくれたロータリアンに深甚なる敬意と感謝を申し上げたい。改めて感動を憶えた検証であった。

これまでに終了した主なものは以下の通りである。

1) ガバナー公式訪問について、始まりは7月8日に、深川・妹背牛ロータリークラブを訪問させて戴き、11月21日私のホームクラブの札幌幌南ロータリー訪問をもって、70クラブの公式訪問を終了した。公式訪問では、クラブ会長・幹事さんがリーダーシップを発揮され、素晴らしいクラブ運営をされていることを目の当たりにし、その感動を忘れられない。多くの会員を有するクラブは無論だが、少数の会員のクラブでは知恵を出し合って工夫して運営している事に心からの感謝と、地区組織を活用されることを願い、地区がクラブを支援することを約束した。

2) 地区大会の開催について、10月4日～

5日の両日ルネッサンスホテル札幌、ニトリ文化ホール、ロイトン札幌において、松本茂太郎（PDG）洵子ご夫妻が会長代理として参加され素晴らしいご指導を戴き成功裏に終了した。開催に際して各クラブから多くの登録と参加を願ったことは、地区ガバナーとして最大の喜びであった。10月4日のハイライトは、関場慶博PDG（弘前アップルRC）の「未来の子供達にポリオのない世界を願って」と題した基調講演であった。この講演は素晴らしい感動とロータリアンのあるべき姿を示唆したものとなった。心から深甚なる感謝を申し上げたい。その後、「地域と世界で良いことをしているロータリー」と題して行われたフォーラムは、我が地区が実施している奉仕プロジェクトを周知する良い機会となったと思う。今年度地区として新設された、地区ポリオプラス委員会と地区広報委員会の活動も目覚ましいもので関係各位の努力に感謝したい。5日の本会議では、紺野美沙子氏の記念講演は会場中を魅了した。氏が永い期間勤めて来た国連親善大使として世界中を歩いて活動している支援を通じて、我々がポリオ撲滅運動にも共通する「相手を思いやる心」の大切さを改めて感ずる講演であった。大懇親会では、多くの感動を締めくくるに相応しい「北海道歌旅座」の演奏と歌に青春時代を思い出した多くのロータリアンが踊り歌い楽しい一時を過ごした。

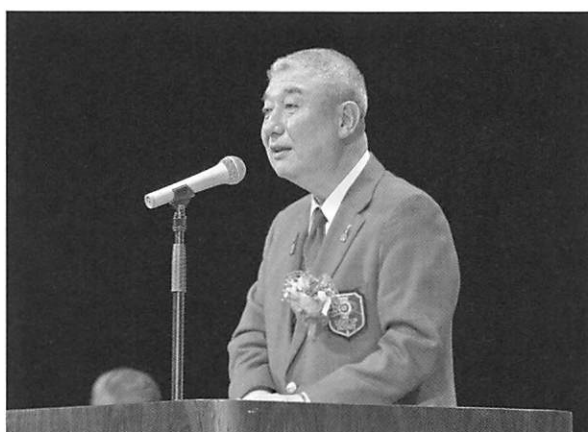
3) 「ロータリーデー」の実施にあたり、9月14日（日）午後1時30分から市内11箇所（3クラブは別の日時で実施した）に於いて、ポ

リオ撲滅街頭募金を実施した。準備期間が短くグループ全体で活動する事業は初めての事であった。そんな中クラブ会長の特段のリーダーシップと調整を戴き実施できたことはガバナーとして感激の極みであった。その他のグループに於いても、夫々素晴らしいポリオ撲滅に向けてのプログラムが実施された。ロータリーの活動を地域社会の皆さに周知する機会ともなった事も、今年度第2510地区の重点課題であるポリオと公共イメージの向上の取り組みであった。両委員会の委員長と各委員の健闘に心からの感謝を申し上げたい。

4) 「地区史」発刊にあたり、地区目標に掲げた「地区史」が塚原房樹 (PDG) 地区史編纂委員長と委員会各位の努力によって2015年正月以降には発刊出来る予定と聞き及んでいる。地区としては18年振りに編纂となる。18年前を思い出しながら発刊を心待ちにしている。関係各位の絶大なる貢献に深甚なる敬意と感謝を申し上げたい。

2014-15年度ガバナー

羽部 大仁



地区大会本会議にて挨拶

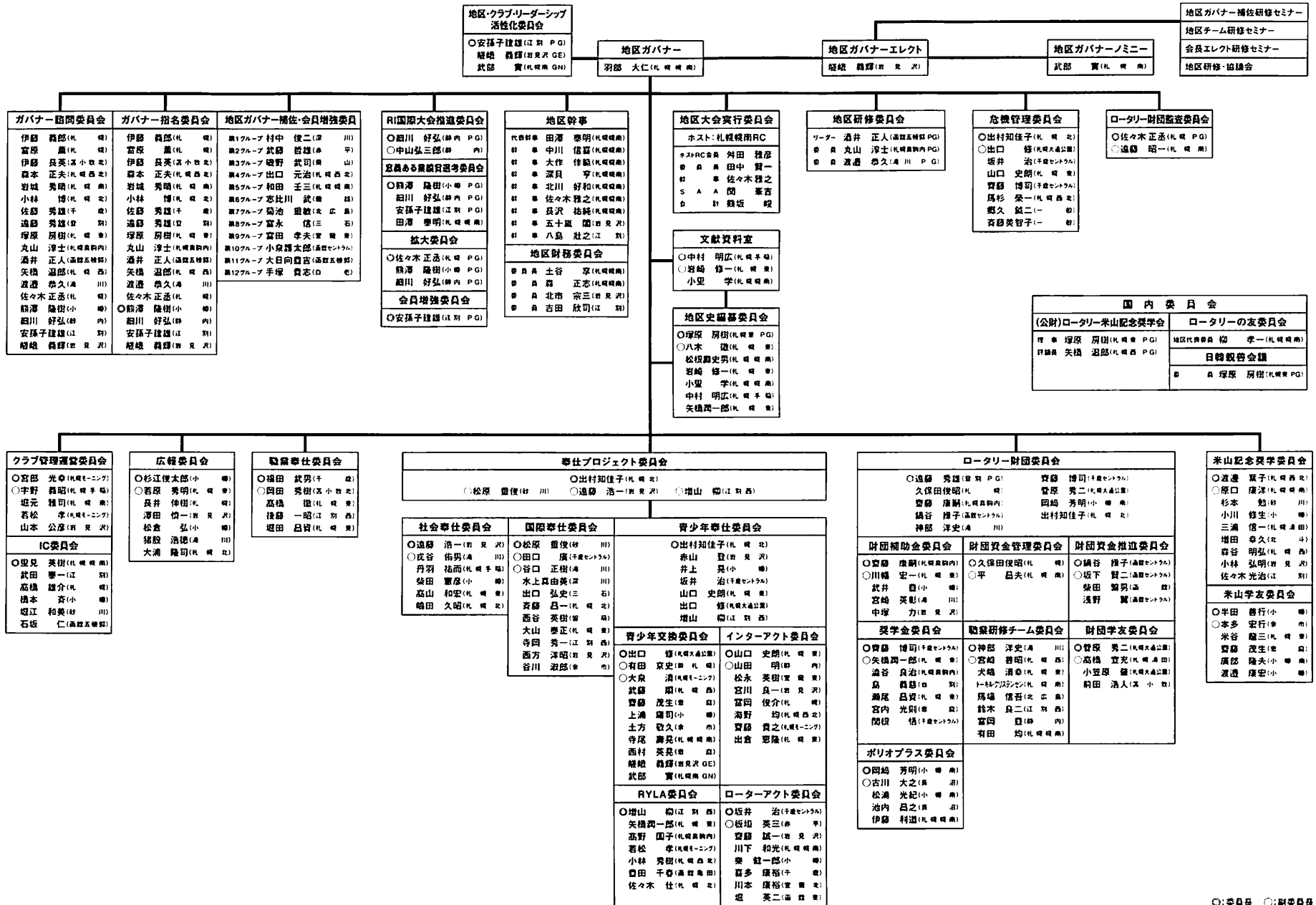


関場先生に感謝です。素晴らしいセミナーになりました。



韓国の皆さんと楽しそう。

2014~2015年度国際ロータリー第2510地区組織図



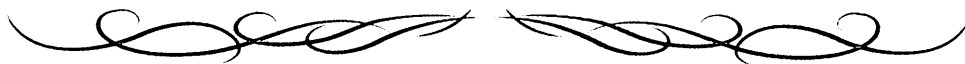
○:委員長 ○:副委員長



クラブ編



第 1 グループ	152	第 2 グループ	156
第 3 グループ	160	第 4 グループ	168
第 5 グループ	175	第 6 グループ	182
第 7 グループ	189	第 8 グループ	195
第 9 グループ	200	第 10 グループ	206
第 11 グループ	212	第 12 グループ	218



※ 創立から1996年度までの歴代会長名は、1996年に発刊されました
国際ロータリー第2510地区「地区史」に掲載されておりますのでそちらをご参照願います。

地区内クラブ創立・認証

順位	クラブ名	創立年月日	認証年月日	スポンサークラブ
1	札幌	1932.12.3	1933.1.18	東京
2	小樽	1933.12.12	1934.2.26	札幌
3	函館	1934.10.25	1935.1.29	小樽
4	室蘭	1936.10.26	1936.12.5	札幌
5	岩見沢	1954.5.5	1954.6.1	札幌
6	札幌南	1956.6.22	1956.6.29	札幌
7	苫小牧	1957.1.25	1957.4.15	室蘭
8	函館東	1957.8.29	1958.1.2	函館
9	芦別	1957.12.4	1958.3.18	岩見沢
10	滝川	1958.8.16	1958.11.13	旭川
11	札幌東	1959.2.19	1959.3.14	札幌南
12	深川	1959.2.3	1959.4.16	旭川
13	伊達	1959.11.17	1960.1.8	室蘭
14	小樽南	1960.2.5	1960.2.12	小樽
15	札幌西	1960.9.27	1960.11.3	札幌・札幌南
16	赤平	1960.12.13	1961.2.9	岩見沢
17	留萌	1961.2.1	1961.4.20	旭川西
18	室蘭東	1961.1.25	1961.4.26	室蘭
19	余市	1961.4.29	1961.5.18	小樽
20	浦河	1961.9.10	1961.10.12	苫小牧
21	江別	1962.2.3	1962.2.19	札幌南
22	岩内	1962.4.10	1962.4.24	小樽
23	江差	1962.6.13	1962.6.29	函館
24	森	1964.3.22	1964.4.6	函館
25	栗沢	1964.6.3	1964.6.10	岩見沢
26	函館北	1964.6.16	1964.10.19	函館東
27	倶知安	1964.12.3	1965.1.9	岩内
28	札幌南	1964.11.13	1965.1.20	札幌東
29	妹背牛	1967.1.18	1967.2.6	深川
30	長万部	1968.2.13	1968.3.14	森
31	蘭越	1968.4.22	1968.6.3	倶知安
32	千歳	1968.4.26	1968.6.20	札幌
33	様似	1968.7.26	1968.9.10	浦河
34	洞爺湖	1969.2.3	1969.2.24	伊達
35	松前	1969.2.26	1969.3.17	函館
36	登別	1969.12.14	1970.1.2	室蘭東
37	砂川	1970.1.13	1970.1.30	滝川
38	栗山	1970.1.16	1970.2.4	岩見沢

順位	クラブ名	創立年月日	認証年月日	スポンサークラブ
39	苫小牧北	1970.1.20	1970.2.4	苫小牧
40	函館五稜郭	1970.1.24	1970.2.6	函館東
41	恵庭	1970.3.24	1970.4.6	札幌南
42	七飯	1970.4.18	1970.5.20	函館北
43	札幌手稲	1970.6.29	1970.7.20	札幌西
44	三石	1970.11.18	1970.12.3	浦河
45	札幌北	1971.5.24	1971.6.1	札幌・札幌東
46	静内	1971.6.28	1971.7.23	三石
47	室蘭北	1971.12.19	1972.1.1	室蘭東
48	函館亀田	1972.5.29	1972.6.20	函館東
49	えりも	1972.9.8	1972.10.7	様似
50	美唄	1973.5.31	1973.6.7	岩見沢
51	札幌真駒内	1974.1.3	1974.2.8	札幌南
52	小平	1974.7.15	1974.8.22	留萌
53	小樽銭函	1975.9.18	1975.10.21	小樽南
54	当別	1976.4.6	1976.4.19	札幌北
55	札幌西北	1977.4.21	1977.4.25	札幌西
56	羽幌	1979.5.16	1979.6.6	留萌
57	白老	1979.6.17	1979.9.7	登別
58	北広島	1980.4.10	1980.5.12	札幌南
59	岩見沢東	1983.6.28	1983.6.30	岩見沢
60	新札幌	1984.6.21	1984.6.27	札幌東
61	札幌モーニング	1988.6.23	1988.6.30	札幌北
62	千歳セントラル	1990.11.19	1990.12.12	千歳
63	札幌あけぼの	1991.3.15	1991.4.8	札幌手稲
64	長沼	1991.12.1	1992.1.6	恵庭
65	江別西	1992.4.28	1992.6.2	江別
66	札幌はまなす	1992.6.7	1992.6.25	札幌北
67	苫小牧東	1992.6.11	1992.6.26	苫小牧北
68	由仁	1992.9.10	1992.10.6	恵庭
69	北斗	1996.9.26	1996.10.16	函館五稜郭
70	札幌清田	1997.10.14	1997.10.22	札幌南
71	札幌大通公園	2001.6.11	2001.6.20	札幌南
72	札幌セントラル	2002.4.25	2002.8.7	札幌南
73	函館セントラル	2005.7.2	2005.7.20	函館

※小平RCは2011年6月30日で国際ロータリー脱会
 札幌あけぼのRCは2013年6月30日で国際ロータリー脱会
 札幌セントラルRCは2014年6月30日で国際ロータリー脱会
 ※北斗RC(旧上磯RC)

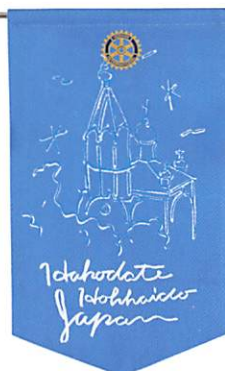
第2510地区クラブバナー



札幌



小樽



函館



室蘭



岩見沢



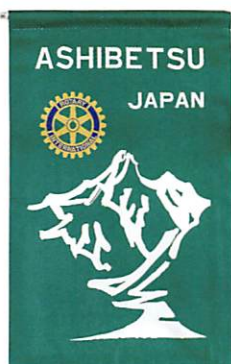
札幌南



苫小牧



函館東



芦別



滝川



札幌東



深川



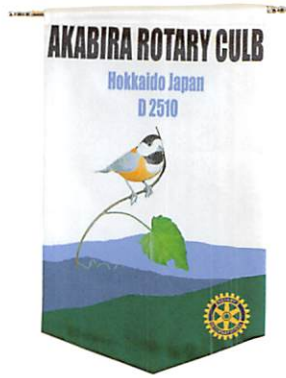
伊達



小樽南



札幌西



赤平



留萌



室蘭東



余市



浦河



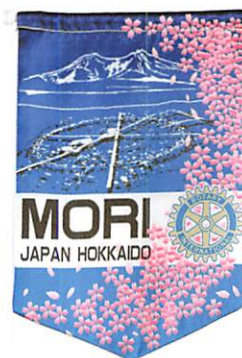
江別



岩内



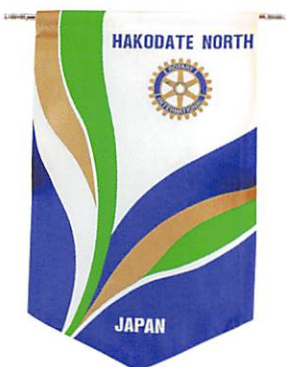
江差



森



栗沢



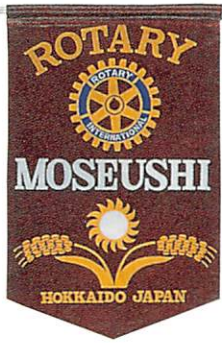
函館北



倶知安



札幌幌南



妹背牛



長万部



蘭越



千歳



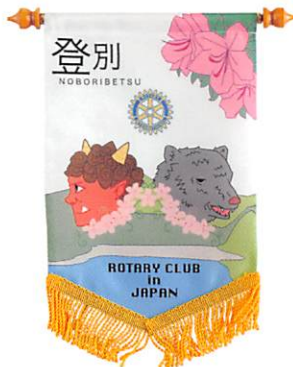
様似



洞爺湖



松前



登別



砂川



栗山



苫小牧北



函館五稜郭



恵庭



七飯



札幌手稲



三石



札幌北



静内



室蘭北



函館亀田



えりも



美唄



札幌真駒内



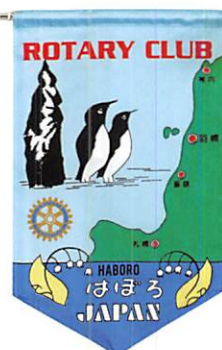
小樽銭函



当別



札幌西北



羽幌



白老



北広島



岩見沢東



新札幌



札幌モーニング



千歳セントラル



長沼



江別西



札幌はまなす



苫小牧東



由仁



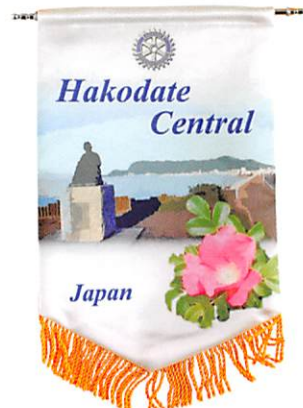
北斗



札幌清田



札幌大通公園



函館セントラル

RI第2510地区 第1グループ	深川ロータリークラブ		設立年月日 RI承認月日	1959年(昭和34)2月3日 1959年(昭和34)4月16日		
例 会 場			例 会 日 時			
プラザホテル板倉 深川市3条6番7号 ☎0164-23-2121			火曜日 12時30分			
創立時ガバナー	スポンサークラブ		特 別 代 表			
伊部政次郎	旭川ロータリークラブ		板井 一治			
会員数 創立時：25名、2014年7月1日現在：35名(女性会員2名)						
歴 代 会 長	1997 太田 昌利	1998 中澤 清	1999 大西 道祥	2000 永井 久之	2001 小田 幸晴	2002 村中 俊二
	2003 小野 昭郎	2004 山田 圭二	2005 北村 幸雄	2006 寺岡 義人	2007 児島 俊一	2008 渋谷 賢治
	2009 成田 昭彦	2010 中 公一郎	2011 成田 雅敏	2012 大西 祥太	2013 長谷川幸央	2014 板倉 克宏
結 成 し た 新 ク ラ ブ						
妹背牛RC (S42.1.18)						
ローターアクトクラブ		インターアクトクラブ		姉妹クラブ/友好クラブ		
拓殖大学北海道短期大学ローターアクトクラブ (現在休眠中)				姉妹クラブ：韓国南海ロータリークラブ		
クラブ事務所	深川市3条6番7号 TEL：0164-23-2121	HP：http://mypage.fukanavi.com/rotary/ FAX：0164-23-2125 Email：fukagawa-rc@club502.jp				

クラブの沿革と特徴

“戦後は終わった”と言われ、日本中がそして我が深川も又、ハードソフトさまざまな整備が進み始めた昭和34年(1959年)深川RCは誕生しました。旭川ロータリークラブのスポンサーのもと全国284番目、チャーターメンバー25人での発足でした。1967年には、妹背牛ロータリークラブのスポンサーとなる事が出来、同クラブとは親密な交流を続けている。

1964年拓殖大学北海道短期大学RACを創立しました(2002年より休眠中)。1973年韓国南海ロータリークラブと姉妹締結。毎年交互に訪問、41年の歴史を重ねている。深川クラブでは、年齢層の中が広く、老若が程良いバランスになっているので、考え方や活動に柔軟性があり、又一時75人の会員数が現在35人と、少人数とはいえ、メンバー全員が仲良く、組織に一体感があり、奉仕活動がスムーズにできる特徴がある。

奉仕の実績

クラブ奉仕

- ①妹背牛クラブとの合同例会(年2回・公式訪問時と親睦夜間例会)
- ②CLP導入の勉強会
- ③全員がざっくばらんに話し合う、五大奉仕のクラブフォーラム

職業奉仕

- ①会員の職業の専門分野を生かし、市民に奉仕する「よろず相談会」
- ②地域のさまざまな職業人の表彰と職業訪問社会奉仕・青少年奉仕
- ①全市的な事業、「石狩川クリーンナップ作戦」への参加
- ②当クラブパスト会長が提唱して運営委員会を構成する「ふかがわプレーパーク(子供の冒険広場)」への参加と支援
- ③日本ハム少年野球教室への支援
- ④少年の主張大会への協力
- ⑤市内6団体による「愛食祭」への参加、協力とポリオへの理解と募金(2014年度)

国際奉仕

韓国南海RCとの親善交互訪問、ロータリー財団、米山奨学委員会、地区より数度に亘る受賞。

上記活動の礎となる、ゲストと会員卓話。

RI第2510地区 第1グループ	羽幌ロータリークラブ		設立年月日 RI承認月日	1979年(昭和54)5月16日 1979年(昭和54)6月6日		
例 会 場			例 会 日 時			
羽幌温泉サンセットプラザ 羽幌町北3条1丁目29番地 ☎0164-62-3800			木曜日 12時15分 第2・第4 (PM6:30)			
創立時ガバナー	スポンサークラブ		特 別 代 表			
富田 嘉市	留萌ロータリークラブ		東 典俊			
会員数 創立時：30名、2014年7月1日現在：47名(女性会員2名)						
歴 代 会 長	1997 樋口 達郎	1998 茶屋 恵一	1999 武田 秀夫	2000 加藤 隆一	2001 故 佐々木 武	2002 榊原 照夫
	2003 福井 俊一	2004 松橋 守	2005 東出 覚	2006 故 伊原 重幸	2007 有澤 護	2008 忠津 章
	2009 工藤 喜一	2010 出口 治康	2011 堀川理智子	2012 大橋 鉄夫	2013 木田 勝彦	2014 佐野 俊一
結 成 し た 新 ク ラ ブ						
ローターアクトクラブ			インターアクトクラブ		姉妹クラブ/友好クラブ	
クラブ事務所	苫前郡羽幌町南6条2丁目8 HP: TEL:0164-62-1652 FAX:0164-62-1652 Email:					

クラブの沿革と特徴

羽幌ロータリークラブは、昭和54年5月16日、留萌ロータリークラブがスポンサーとなり、小平ロータリークラブがコ・スポンサーとして創立され、更に、同年6月6日国際ロータリー加盟認証を受けました。

ロータリーには、自らの職業の実績を通じて地域社会で、人々の役に立とうとする“職業奉仕”という理念の中核があります。当クラブのオープン当時は、人口が1万3千人強に対し会員数は30人でしたが、その20年後(1999年)には9千人弱まで減少しましたが、逆に会員数56人と増員しております。現在は、7千人強まで減少の中会員数は48人で会員一同鋭意活動しております。私達は年度毎の充実した奉仕活動を積み重ね、35年の年月を経てまいりましたが、会員一同心を新たに、ロータリーの基本理念を継承して、次なる世代へのかけ橋となるべく、住み良い町、豊かな社会づくりに取り組んでいきます。

どうぞ今後とも、関係各位のご支援とご鞭撻をお願い申し上げます。

奉仕の実績

羽幌ロータリークラブは企業活動の根本に奉仕の理念を置き、これを推奨し育成すること、この精神を職業に実践し、社会に実践し国際活動に実践し、青少年育成に実施し多くの人達のお役にたてるよう通年献血運動推進と「ひまわり号」の巡回に協力しております。

また、交通安全運動、地域安全運動の各行事に参加協力、羽幌町と初山別村へ交通安全旗の寄贈、歳末助け合い運動にそれぞれ協力いたしております。羽幌ロータリークラブ20周年記念事業には高齢化社会保険福祉の充実を願って在宅ヘルパー車2台を寄贈しました。また25周年記念事業には、天売小中学校落成記念に電気時計一式贈呈しております。加えて同記念事業羽幌RC杯少年野球大会を開催し、10チームが参加しました。30周年記念事業には、自動体外式除細動器(AED)を羽幌町に2台、初山別村に1台を贈呈いたしております。また、羽幌町に災害避難場所案内標識を15ヵ所設置いたしております。

今後ともクラブの充実発表に鋭意努力してまいります。

RI第2510地区 第1グループ	妹背牛ロータリークラブ			設立年月日 RI承認月日	1967年(昭和42)1月18日 1967年(昭和42)2月6日	
例 会 場				例 会 日 時		
妹背牛商工会館 雨竜郡妹背牛町字妹背牛364番21 ☎0164-32-2025				水曜日 12時30分		
創立時ガバナー		スポンサークラブ		特別代表		
岡田 正雄		深川ロータリークラブ				
会員数 創立時：23名、2014年7月1日現在：10名(女性会員0名)						
歴 代 会 長	1997 戸沢 喜市	1998 江幡 進	1999 長田 宗正	2000 長田 宗正	2001 梅澤 見堂	2002 梅澤 見堂
	2003 江幡 進	2004 長田 宗正	2005 梅澤 見堂	2006 渡辺 俊和	2007 真鍋 剛	2008 大崎 公介
	2009 長田 宗正	2010 梅澤 見堂	2011 渡辺 俊和	2012 真鍋 剛	2013 大崎 公介	2014 田中 一典
結 成 し た 新 ク ラ ブ						
ローターアクトクラブ		インターアクトクラブ		姉妹クラブ/友好クラブ		
クラブ事務所	雨竜郡妹背牛町妹背牛364-21 妹背牛商工会館内 HP： TEL：0164-32-2025 FAX：0164-32-2003 Email：moshoko@rose.ocn.ne.jp					

クラブの沿革と特徴

1967年(昭和42年)深川RCがスポンサーになり、1月18日に創立、同年2月6日にRI承認を得て、初代会長山田昇一郎氏以下23名にて発足、半世紀を迎えようとしております。

当初24名の会員を有しておりましたが、人口の減少により会員も現在12名に減少し、何とか現会員数を維持したく会員一人ひとりが会員増強委員であることを自覚し、新会員の加入促進に努めています。

少人数のクラブではありますが、ロータリー精神に則り、お互いの調和のもと和気あいあいに会を運営していきます。特に少子高齢化が進行するなかで青少年の育成や町内活動の支援など地域に根差した事業を基本に活動しており、これからも少人数クラブの特徴を生かし素早く行動し全員参加を信条にロータリー活動を実践してまいります。

奉仕の実績

社会奉仕の一環として、町民憲章文記念碑の建立、町民会館・学校に図書等の寄贈、サクラノボ苗木の植樹、妹背牛温泉「ペベル」の落成に姿見の鏡、老人保健施設「りぶれ」のオープンを記念し「からくり時計」寄贈、40周年記念事業として実施した妹背牛RC杯ジュニアカーリング大会は、南富良野、名寄、平取、北見の各地から児童の参加を得ながら地元児童との交流と青少年育成に努め本年度で10回を数えます。又、新入学児童の交通安全啓蒙を目的とした入学時の黄傘贈呈も13回を重ねています。

少子高齢化が進行する本町において、町内会が自主的に地域コミュニティーの推進と健康増進に実施するラジオ体操活動やクラブ活動資金を目的に取り組んでいる中学校廃品回収への支援を行い地域にロータリー活動への理解と普及に努めています。

RI第2510地区 第1グループ	留萌ロータリークラブ		設立年月日 RI承認月日	1961年(昭和36)2月1日 1961年(昭和36)4月20日		
例 会 場			例 会 日 時			
留萌産業会館 留萌市錦町1丁目 ☎0164-42-2058			水曜日 12時15分			
創立時ガバナー	スポンサークラブ		特 別 代 表			
坂牛直太郎	旭川西ロータリークラブ		岸田 国光			
会員数 創立時：26名、2014年7月1日現在：41名(女性会員3名)						
歴 代 会 長	1997 立山 一三	1998 澤田 茂	1999 田中 公一	2000 佐藤 潔	2001 高田 潔	2002 大沼 哲郎
	2003 川上 明広	2004 清水 陸	2005 河部 勲	2006 中川 勝美	2007 関野 政人	2008 齋藤 清藏
	2009 対馬 健一	2010 ニノ宮清信	2011 鈴木 康伸	2012 山本 譲二	2013 中出 敏彦	2014 森 俊二
結 成 し た 新 ク ラ ブ						
小平RC(S49.7.15) 羽幌RC(S54.5.16)						
ローターアクトクラブ		インターアクトクラブ		姉妹クラブ/友好クラブ		
留萌ローターアクトクラブ				姉妹クラブ：韓国論山ロータリークラブ		
クラブ事務所	留萌市錦町1丁目1-15 留萌商工会議所内			HP： http://rumoi-rc.org/		
	TEL：0164-42-2058	FAX：0164-42-9000	Email：			

クラブの沿革と特徴

1961年会員26名で創立後、拡大を続け1981年に107名に達し、1995年迄100名台を維持した。その後、経済情勢、過疎化で現在40人台まで減少し、現在、小康状態である。昭和49年小平RC、昭和54年羽幌RCをスポンサーとして設立。その後、過疎化により、小平RCは活動を停止した。昭和48年会長以下18名が訪韓し第368地区論山RCと姉妹血縁を結び、毎年相互訪問を繰り返す。留萌RC創立30周年姉妹血縁18年には論山RCの金東泰会長他36名が放留、式典に参加。平成20年留萌RC創立40周年姉妹血縁35周年に会長以下7名が訪韓、式典に参加。国際理解、国際親善に大きく貢献する。以後、経済情勢、国際情勢の変化、会員の高齢化により相互訪問は中断している。

昭和48年RACを設立、福島北RACとの相互訪問、地区の国際活動に参加などを継続。少子化、過疎化により、活動を停止している。1993～94年地区ガバナー富士会員を輩出し、地域とクラブの活性化に貢献した。平成21年以後3名の女性会員が入会、クラブの活性化に貢献した。現在、クラブ定款改正、合理化により環境を整え、活動を継続している。

奉仕の実績

親睦活動委員会：SAA、例会運営委員会と連携、例会などの環境づくりに努め、IM、地区大会への参加を促す。ニコニコボックスの理解と協力を推進。例会運営委員会：出席率の向上、地域の職業を知るプログラムの企画。慶祝夜会例会には家族参加を促す。広報・クラブ会報委員会：卓話者に会報の郵送。情報のIT化。HPへの提言。会員研修委員会：昭和46年より継続し3分間情報を提供。新入会員の研修会の履行。他の委員会と情報集会を開催。職業奉仕委員会：四つのテストの唱和。職業奉仕月間の開催。情報集会の開催。職業奉仕賞の設置。社会奉仕委員会・青少年奉仕委員会：高齢者のゲートボール大会。新世代事業は青少年の卓球、剣道大会。“るもい呑涛まつり”の行燈参加。海水浴場のクリーン作戦。交通安全運動の参加。国際奉仕委員会(兼)ロータリー財団委員会：ロータリーデーの実施。世界社会奉仕(WCS)への協力。世界理解月間の実施。GSEの受け入れ。ロータリー財団・米山奨学会・ポリオ撲滅運動への協力を行う。親睦会としてゴルフ、IT、麻雀、カラオケ、囲碁、湯豆腐など愛好会あり。

RI第2510地区 第2グループ	赤平ロータリークラブ		設立年月日 RI承認月日	1960年(昭和35)12月13日 1961年(昭和36)2月9日		
例 会 場			例 会 日 時			
交流センターみらい 赤平市泉町1-1 ☎0164-32-2025			火曜日 12時30分			
創立時ガバナー	スポンサークラブ		特 別 代 表			
坂牛直太郎	岩見沢ロータリークラブ		鎌田 巖			
会員数 創立時：49名、2014年7月1日現在：29名(女性会員0名)						
歴 代 会 長	1997 金子 建悦	1998 田中 良一	1999 太田 勝利	2000 宮川 徹	2001 横岡 潤一	2002 赤川 清介
	2003 布施 洋一	2004 早坂 弘幸	2005 伊藤 和敏	2006 渡部 芳己	2007 武藤 哲雄	2008 若林 弘基
	2009 石野 茂	2010 大坂 晃	2011 尾崎 清富	2012 仙田 哲夫	2013 竹俣 紀孝	2014 菊島 好孝
結 成 し た 新 ク ラ ブ						
ローターアクトクラブ		インターアクトクラブ		姉妹クラブ/友好クラブ		
赤平ローターアクトクラブ						
クラブ事務所	赤平市本町2丁目1番地 (有)エルムパートナーズ会計事務所内 HP: TEL:0125-32-2200 FAX:0125-32-3988 Email:					

クラブの沿革と特徴

赤平ロータリークラブが創立された1960年は国のエネルギー政策が石炭から石油へと変わる時代の始まりでもありました。炭鉱を基盤とする広範な産業群が赤平市の繁栄を促進してきましたが、時代の変化がそれを一変させました。町は時代の変化に適応する柔軟性が求められ、同時に炭鉱のまちから工業のまちへ変貌をとげるために、一丸となったパワーも必要でした。町全体が変わっていくうねりの中で、赤平ロータリークラブもその影響を受け、それがクラブの特徴にも結び付いています。赤平ロータリークラブの進取に満ちた雰囲気とチームワークの良さは、例会や野球・ゴルフ同好会などの活動に顕著に見られます。会員相互の親睦を深める積極的な活動が、ひいては奉仕の理念を実践するためのバックボーンとなっています。

奉仕の実績

赤平ロータリークラブでは1981年から幼稚園児を対象にした奉仕活動を継続事業として実践。その事業は、園児と施設入居のお年寄りとの心の交流を図ることを目的に企画されました。

4～6歳の幼稚園児がお年寄りと接し、お

年寄りを大切にする「情操教育」教え方如何では、驚くほどに吸収力を発揮する園児達は、楽しみ喜びを爆発させ行事に参加します。一方、施設入居のお年寄りは、孫、ひ孫とも思われる園児が、手作りのお土産を持ち慰問に来ることを指折り数えて待っております。

園児と一緒に手を取り、頬に触れ、まさに童心に戻りタイムスリップ、一心同体となって涙を流される車イスのおじいちゃん、ベッドに横たわり園児の手を握り離さないおばあちゃん。この心の交流は、園児たちに奉仕の芽を与え育てる素晴らしいプログラムとして続けられています。これはまさに、RIが推奨する幼少期からの奉仕の取り組みに沿う活動と思います。また一つは、地域の身体障害児との「お楽しみクリスマス会」があります。児童の御父兄や学校の先生にも多数参加して戴き、赤平ローターアクトのメンバーの協力を得、好評を博し年末の恒例行事となっています。これら地域への奉仕活動のほか、薬物乱用防止活動協力機関として長期に亘り活動を、他にもポリオの撲滅の募金や、大災害発生時の義援金など、奉仕活動は多岐にわたっています。

RI第2510地区 第2グループ	芦別ロータリークラブ		設立年月日 RI承認月日	1957年(昭和32)12月4日 1958年(昭和33)3月18日		
例 会 場			例 会 日 時			
芦別商工会議所 芦別市南1条東1丁目10番地 ☎0124-22-3444			木曜日 12時15分			
創立時ガバナー	スポンサークラブ		特 別 代 表			
佐藤 幸三	岩見沢ロータリークラブ		鎌田 巖			
会員数 創立時：25名、2014年7月1日現在：37名(女性会員2名)						
歴 代 会 長	1997 齋木 達雄	1998 根井 弘	1999 遠藤直雄	2000 渡辺 寿一	2001 渡辺 哲雄	2002 北 正信
	2003 坂田 憲正	2004 坪坂 周二 土山 久男	2005 田中 一廣	2006 道島 尚光	2007 滝 勝美	2008 沼前 治孝
	2009 桜井 祝	2010 早坂 勝	2011 宗方 裕之	2012 稲津 寿一	2013 荒川 忠義	2014 沼前 治孝
結 成 し た 新 ク ラ ブ						
ローターアクトクラブ		インターアクトクラブ		姉妹クラブ/友好クラブ		
ローターアクトクラブ		インターアクトクラブ		姉妹クラブ/友好クラブ		
クラブ事務所	芦別市南1条東1丁目11番地 芦別商工会議所内 HP: http://rid2510.org/asibetu/ TEL: 0124-22-3444 FAX: 0124-22-2345 Email:					

クラブの沿革と特徴

芦別開基(1893年)64年後の1957年12月4日、ポール・ハリスの掲げた理想「超我の奉仕」に呼応すべく、異業種の25名が相集い、岩見沢RCをスポンサーとして、当時の人口74,200人の芦別市に、日本で238番目、北海道で18番目の芦別ロータリークラブが誕生しました。以来、主産業の石炭産業の衰退とともに、人口減が進み、15,600人を割るという極めて厳しい地域環境下にあります。会長以下37名の会員(内、女性会員2名)が「奉仕と友愛」の理想に燃え、地域に根ざした活動に努めております。

とりわけ、昭和43年に、10周年記念事業として、市内の空知川を見下ろす市立旭が丘公園の高台に造成した「ロータリーの森」は平成9年、建設省の「手作り郷里賞」を受賞。この公園を維持する市に、毎年支援を続け、年間の例会のメインプログラムとして、この森に集合し、先達ロータリアンの「奉仕の理想」に想いを馳せ、さらに次の世代に受け継がれるよう、努めています。

奉仕の実績

クラブ設立56年の年月を重ねた現在、ロータリー財団の実績として、2013年6月現在、マルチプル・ポール・ハリスフェロー現会員17名故人退会会員を含め計32名で86,684.48ドル、ポール・ハリスフェロー現会員13名故人退会会員を含め計32名で40,369.14ドル、準ポール・ハリスフェロー現会員6名故人、退会会員を含め計41名、計9,623.04ドル、米山功労者現会員4名、故人2名計6名で1,400,000円、準米山功労者故人2名計80,000円です。定例プログラムでは、・姉妹都市カナダへの市内中学生親善派遣事業(市国際交流協会主催)支援、・市内高校生の就職面接試験に際し、事前指導として、高校側からの依頼を受けて、会員が模擬面接官となり、対応のマナーや望まれる人間像を中心とした、地元高校の進路指導の支援・子供達との小鳥の巣箱づくり等、地元での行事やイベント等について、クラブ理事会の承認のもと、それぞれの態様に応じた支援をして、地域に根ざした奉仕活動を重ねてきました。

RI第2510地区 第2グループ	砂川ロータリークラブ		設立年月日 RI承認月日	1970年(昭和45)1月13日 1970年(昭和45)1月30日														
例 会 場			例 会 日 時															
砂川パークホテル 砂川市東2条北3丁目 ☎0125-52-3989			水曜日 12時30分															
創立時ガバナー	スポンサークラブ		特 別 代 表															
秋山康之進	滝川ロータリークラブ		久保 茂雄															
会員数 創立時：27名、2014年7月1日現在：38名(女性会員0名)																		
歴 代 会 長	1997 小林 公民	1998 千葉 清	1999 水島 孝嗣	2000 高橋 俊美	2001 沢田 幸三	2002 北谷 好文	2003 竹田 俊一	2004 杉本 勉	2005 藤田 淳	2006 内野 司	2007 内野 司	2008 山田 信一	2009 佐藤正一郎	2010 高橋 秀明	2011 山崎 義彦	2012 山田 賢司	2013 石家 裕二	2014 堀江 和美
結 成 し た 新 ク ラ ブ																		
ローターアクトクラブ			インターアクトクラブ		姉妹クラブ/友好クラブ													
					友好クラブ：石垣ロータリークラブ													
クラブ事務所	砂川市東2条北3丁目1-1 砂川パークホテル内 HP：http://sunagawa-rc.jp/wp/ TEL：0125-52-3989 FAX：0125-52-4572 Email：office@sunagawa-rc.jp																	

クラブの沿革と特徴

滝川ロータリークラブをスポンサークラブとして、1970年（昭和45年）に、27名で発足しました。砂川ライオンズクラブが、10年前の発足であったため、ロータリーメンバーを募ることなど、チャーターメンバーの御苦労は、大変なものであったと記されております。

その後、順調に増強活動が行われ、1999～2000年度に会員数71名となりましたが、徐々に会員数が減少し、2014年7月には38名と1973年7月以来初めて、40名を下回る会員数となりました。

しかしながら、発足当時からの伝統である96%以上の高出席率は維持し、世代間の交流もスムーズであり、会長経験者であっても、会を支えるために、縁の下の力持ちの働きをしていただける「団結力があり、和気あいあいと素敵なクラブ」と自負しているところがあります。

奉仕の実績

- ・砂川市福祉複合施設へ医療自動車贈呈、上砂川・奈井江両町へ図書購入費贈呈。
- ・知的障害者との林檎狩りと益金を贈呈。
- ・インターンシップ事業として奈井江商業高校の生徒をクラブ企業に受け入れ。
- ・フリーマーケットに参加し、益金を活用し、第2510地区WC S事業に参加し、タイのノンカイRCと協力し、地区の小学校に浄水装置を設置。
- ・新世代委員会で子供たちに日本昔からある七夕の行事を伝えるため、「ジャリンコ七夕」へ参加、協力。
- ・職業奉仕委員会では、砂川高校において「職業人としての心構え」についての出前講座を開催。
- ・「熱気球に砂川の夢を乗せて」という目的で子供達を対象の熱気球体験搭乗実施。
- ・そらぷちキッズキャンプ支援。
- ・東日本大震災に災害義援金。
- ・福島県飯館村の子供達が砂川少年自然の家に「福島キッズキャンプ」として4日間、その交流と協力。
- ・社会福祉法人「くるみ会」にイベント用ワンタッチテントを贈呈。

RI第2510地区 第2グループ	滝川ロータリークラブ			設立年月日 RI承認月日	1958年(昭和33)8月16日 1958年(昭和33)11月13日	
例 会 場				例 会 日 時		
ホテルスエヒロ 滝川市明神町2丁目2番16号 ホテルスエヒロ7F ☎0125-22-3344				木曜日 12時30分		
創立時ガバナー		スポンサークラブ		特 別 代 表		
伊部政次郎		旭川ロータリークラブ				
会員数 創立時：27名、2014年7月1日現在：81名(女性会員2名)						
歴 代 会 長	1997 鈴木 忠男	1998 佐藤 圭二	1999 菅原剛太郎	2000 田中 幹雄	2001 笹木 和幸	2002 神部 洋史
	2003 林 博幸	2004 篠島 弘	2005 中島 健	2006 石黒 安雅	2007 松原 章	2008 細田 光人
	2009 川口 義弘	2010 佐藤 佳朗	2011 高山 訓正	2012 柳 清二	2013 中垣 陽一	2014 三品 優次
結 成 し た 新 ク ラ ブ						
砂川RC (S45.1.13)						
ローターアクトクラブ		インターアクトクラブ		姉妹クラブ/友好クラブ		
クラブ事務所	滝川市明神町2丁目2-16 ホテルスエヒロ7階 HP: http://www.rotary.gr.jp TEL: 0125-22-3344 FAX: 0125-24-2755 Email: info@rotary.gr.jp					

クラブの沿革と特徴

1958年8月16日に27名で創立された滝川RCは、それから40年後の1998年には、会員数が123名まで増えました。その頃の平均年齢は55歳前後、19の委員会が例会の事業を企画し移動例会も多く、活発な時期だったのかもしれませんが。その10年後、渡邊恭久ガバナーが誕生し、砂川RC、赤平RC、芦別RC、を始め地区のご支援、ご協力を頂きながら、地区大会を開催することができました。会場が分散しご不便をおかけしましたが、滝川RC総力を結集し、正に一丸のひと時であったような気がします。

1982年に第1回全国RC野球大会(甲子園大会)が開催されましたが、滝川RCはこの動きに呼応して野球同好会を創設し、第5回大会(1986年)においては準優勝を収めています。滝川RCの特徴として、盛んな同好会の活動が挙げられます。野球同好会の他にも現在は、ゴルフ、麻雀、釣り、軽音楽の各同好会が、親睦に華を添えています。

奉仕の実績

滝川RCは、永年にわたって、支援を必要とする方々の声に耳を傾け、そして私達にできる方策を考え実施して参りました。WCS事業への協力としてタイ・ノンカイ地方への救急車の寄贈引渡しを行い、最近では滝川駅ホームに待合室を建設し寄贈しております。

2004年に「そらぶちキッズキャンプを創る会」が発足し、その後施設等の建設地の確保、会の法人化等歩みを進める中、始めの段階から当クラブの会員が関わってきており、また渡邊恭久パストガバナーが重点目標に掲げられたこともあり、滝川RCとしても当初から支援を進めてきました。「木道・ウッドデッキの制作作業」「ウッドチップの道づくり作業」「入口にメモリアルストーンを設置」「スノーモービル、ツリーハウス内の薪ストーブ・シップベルの寄贈」「果樹の植樹作業」などが上げられます。これからも、手を差し伸べることの意義を大切にして、取組みを続けます。

RI第2510地区 第3グループ	美唄ロータリークラブ		設立年月日 RI承認月日	1973年(昭和48)5月31日 1973年(昭和48)6月7日		
例 会 場			例 会 日 時			
美唄ホテルスエヒロ 美唄市西2条南2丁目2番3号 ☎0126-62-2501			木曜日 12時15分			
創立時ガバナー	スポンサークラブ		特 別 代 表			
塩谷 猛	岩見沢ロータリークラブ		福岡 永泰			
会員数 創立時：24名、2014年7月1日現在：30名(女性会員0名)						
歴 代 会 長	1997 故 高橋 泰賢 城野 裕好	1998 郷田 敏治	1999 円子 保	2000 山本 靖雄	2001 武市 雄弘	2002 大竹 繁夫
	2003 二川 秀樹	2004 米森 正夫	2005 奥山 裕章	2006 北野 保孝	2007 吉村 誠治	2008 本田 俊朗
	2009 高橋 誠	2010 山田 進	2011 大竹 繁夫	2012 故 坂東 浩 円子 保	2013 宝崎 錠二	2014 岸山 一郎
結 成 し た 新 ク ラ ブ						
ローターアクトクラブ		インターアクトクラブ		姉妹クラブ/友好クラブ		
クラブ事務所	美唄市西2条南2丁目2-3 美唄ホテルスエヒロ内 HP: TEL:0126-62-2501 FAX:0126-63-4942 Email:					

クラブの沿革と特徴

1996～2014年

創立後25年頃より、日本経済の変動に合わせるかのように一次期55名の会員増を見ましたが、バブル崩壊後のデフレ、リーマンショック、少子高齢化の波を受けながら、ポリオ根絶活動への参加、地域社会への奉仕活動、国際的には交換学生の受入、送り出しも実施して参りました。

寄付については、ポール・ハリス・フェロー、スター・フェローを含め創立30年目にし60名以上となり、財団寄付達成率もそれなりの高い数値を示し、米山奨学金については、地区内23番目の1千万円達成クラブとして実績を上げたところです。

当クラブも創立40周年を前にして、一次期会員の減少を受け、組織の沈滞化、四大奉仕活動の低調化を危惧し、今や変革の道を求め、40周年を転機としてクラブの活性化推進を実践し、会員増強に力を注ぎ少数精鋭クラブとして再度飛躍する事を願い、現在は30名を以って日夜超私の奉仕に励んで居るところです。

奉仕の実績

1996～2014年

平成10年 創立25周年記念事業として、美唄養護老人ホーム恵風園に、サロンチェアー10脚を贈呈。

平成11年1月 オーストラリア交換学生ロレン・ハーン嬢受入。

3月 美唄東高等学校生徒 竹内美和嬢、オーストラリア送り出し。

平成15年5月 創立30周年記念事業として、石川啄木の歌碑贈呈。御影石によるもの、美唄駅西口周辺に設置。

平成20年5月 創立35周年記念事業として、宮島の唄記念碑を贈呈。美唄駅東口周辺に設置。

平成25年5月 創立40周年記念事業として、東日本大震災復興支援事業(福島県葛尾村小学校に教材教具の支援)市内小中学校新生に良書を贈る。市内ボランティア活動グループへ支援金を贈る。

平成26年

奉仕プロジェクト活動として、東日本大震災復興支援は継続されている。

RI第2510地区 第3グループ	江別ロータリークラブ		設立年月日 RI承認月日	1962年(昭和37)2月3日 1962年(昭和37)2月19日		
例 会 場			例 会 日 時			
江別市民会館 江別市高砂町6番地 ☎011-383-6446			木曜日 12時30分			
創立時ガバナー	スポンサークラブ		特 別 代 表			
両角 克己	札幌南ロータリークラブ		富樫 長吉			
会員数 創立時：24名、2014年7月1日現在：32名(女性会員1名)						
歴 代 会 長	1997 山崎 一夫	1998 星 享克	1999 松下 勝芳	2000 安孫子建雄	2001 林 敏昭	2002 西村 孚
	2003 吉田 欣司	2004 加藤 正勝	2005 津田 政勝	2006 郷 和平	2007 山田 誠	2008 金田 敏雄
	2009 松山 敏則	2010 林 重樹	2011 菊田 政徳	2012 奥野 一嘉	2013 金田 一夫	2014 武田 泰一
結 成 し た 新 ク ラ ブ						
江別西RC (H4.4.28)						
ローターアクトクラブ		インターアクトクラブ		姉妹クラブ/友好クラブ		
クラブ事務所 江別市高砂町10番地15 HP : TEL : 011-382-0939 FAX : 011-382-0936 Email : ebetsu-rc@gol.com						

クラブの沿革と特徴

創立＝昭和37年2月3日、承認＝昭和37年2月19日、認証状伝達式＝昭和37年10月7日
創立会員24名、スポンサークラブ＝札幌南ロータリークラブ、特別代表＝富樫長吉

創立時ガバナー＝両角克己（釧路北）

2014年現在32名で活動しております。2012年に創立50周年事業、2013～14年度地区ガバナーに安孫子建雄会員を輩出する等、大きく躍進しつつあります。

50年の歴史中、古参会員を亡くす一方、ガバナー輩出を背景に若年会員が多数入会、100年に向けた新たな船出に会員一丸となって邁進中です。

江別は札幌近隣・人口12万人の都会性を持つ一方、石狩川、原始林、過半を越す農地など自然も豊かです。そんな与件を十分に生かしたロータリー活動をしつつ、クラブ活性化を図っていききたいと思います。

奉仕の実績

1997年 「米山功労クラブ賞」「貢献賞」受賞
1999年 6回目「米山功労クラブ賞」受賞
2000年 第2510地区WCS事業に参加、「会員増強優秀賞」受賞

2001年 湯川公園・江陽中学校に桜の苗木を植樹

2002年 記念事業「まちかどコンサート」共同開催、「ネパール日本友情学校」校舎建築着工

2004年 7回目「米山功労クラブ賞」「貢献賞」受賞

2005年 「ネパール日本友情学校」整備支援
2006年 江別小学校創立120周年記念式典で感謝状授与

2007年 マレーシアからGSE受け入れ

2008年 8回目「米山功労クラブ賞」受賞
2012年 創立50周年事業・東日本大震災復興基金への寄付、江別市貢献賞特別褒章授与

2013年 共同で福島医科大学へ甲状腺検査用超音波装置を寄贈、9回目「米山功労クラブ賞」受賞、江別社会福祉協議会へ車椅子贈呈

RI第2510地区 第3グループ	江別西ロータリークラブ		設立年月日 RI承認月日	1992年(平成4)4月28日 1992年(平成4)6月2日		
例 会 場			例 会 日 時			
勤労者研修センター 江別市緑町西1-103 ☎011-385-1959			火曜日 12時30分			
創立時ガバナー	スポンサークラブ		特 別 代 表			
佐藤 鉄彌	江別ロータリークラブ		松丸 篤蔵			
会員数 創立時：51名、2014年7月1日現在：25名(女性会員3名)						
歴 代 会 長	1997 安田 勝次	1998 木下 三雄	1999 上村 利勝	2000 島崎 修	2001 古石 允雄	2002 品川 昌典
	2003 坂本 与市	2004 石黒 良平	2005 高橋 周三	2006 増山 柳	2007 野村 義次	2008 滝沢 仁
	2009 後藤 一昭	2010 長谷川直紀	2011 白旗 隆夫	2012 高田 寛司	2013 服部 渉	2014 支部 英孝
結 成 し た 新 ク ラ ブ						
ローターアクトクラブ		インターアクトクラブ		姉妹クラブ/友好クラブ		
クラブ事務所	江別市向ヶ丘24番3 アスティオン243 103号		HP : http://ri2510.jimdo.com			
	TEL : 011-382-0081 FAX : 011-382-0081		Email : ewrotary1@gmail.com			

クラブの沿革と特徴

1992年4月28日江別ロータリークラブ様をスポンサークラブとして誕生しました。土谷茂樹初代会長の方針でもあった皆が平等で気軽な雰囲気の中での活動や例会、との考え方を色濃く反映した当クラブは、今に至るもその精神を受け継ぎながら会員数の増減を繰り返し、現在26名で23年目を迎えました。

平均年齢60代半ばと決して若くはありませんが、奉仕活動に対する意識は高く、行動も大変スピーディーです。我がクラブは会員相互間の意思の疎通を十分に図ることを心掛け、和気藹々とした笑いの絶えない楽しい例会を実践しています。またごみ処理施設の視察、ソーラーパネル設置場所見学等環境への理解を深めるための移動例会も行っております。

土谷初代会長の作詞、増山俊一郎4代会長の作曲による「江別西ロータリーの歌」があるのが誇りであり、江別の特徴を十分に表現したこの曲を歌うときクラブへの帰属意識も高まるのであります。

今後も少数意見を大事にオープンな対話及び活動を通して、職業・社会・国際・クラブの各奉仕に取り組んでまいります。

奉仕の実績

青少年に対する奉仕として幼稚園行事への参加、福祉施設への奉仕として社会福祉法人夏祭りへの参加、地域への奉仕活動としてひまわり鑑賞会・河川湖周辺の清掃事業等を行い、それぞれの行事に華を添え又売上募金等で集めた浄財を、法人・団体に寄贈し好評を得ております。加えてそれら行事には揃いのジャンパー、ポロシャツ・キャップ・看板等でロータリーのアピールも行っています。

今年は国際奉仕活動の目玉として交換留学生の受け入れを初めて試みることにしました。当クラブの様な少人数では大変な負担となり他の奉仕部門にも影響が出てきそうですが、会員の皆様・地区役員の皆様のご理解ご協力を得て何とか成功に導きたいと思っております。

RI第2510地区 第3グループ	岩見沢ロータリークラブ		設立年月日 RI承認月日	1954年(昭和29)5月5日 1954年(昭和29)6月1日		
例 会 場			例 会 日 時			
北海道グリーンランド ホテル・サンプラザ 岩見沢市4条東1丁目 ☎0126-24-0700			木曜日 12時30分			
創立時ガバナー	スポンサークラブ		特別代表			
宮脇 富	札幌ロータリークラブ		伊藤 豊次			
会員数 創立時：20名、2014年7月1日現在：74名(女性会員0名)						
歴 代 会 長	1997 岡本 等	1998 森居 清	1999 五十嵐 閣	2000 橋本 新治	2001 得地 一久	2002 小林 弘明
	2003 倉増 昭一	2004 千田 一彦	2005 嵯峨 義輝	2006 田辺子敬夫	2007 大屋 均	2008 北市 宗三
	2009 中塚 力	2010 竹内 守	2011 三嶋 顕	2012 山本 公彦	2013 武蔵 輝彦	2014 鎌田 誠
結 成 し た 新 ク ラ ブ						
芦別RC (S32.12.4) 赤平RC (S35.12.13) 栗沢RC (S39.6.3) 栗山RC (S45.1.16) 美唄RC (S48.5.31) 岩見沢東RC (S58.6.28)						
ローターアクトクラブ		インターアクトクラブ		姉妹クラブ/友好クラブ		
		岩見沢緑陵高校インターアクトクラブ				
クラブ事務所	岩見沢市4条東1丁目6-1 北海道グリーンランドホテル・サンプラザ4階 HP: http://www12.plala.or.jp/imz-rc/ TEL: 0126-24-0700 FAX: 0126-24-0020 Email: imz-rc@lapis.plala.or.jp					

クラブの沿革と特徴

岩見沢RCは、朝鮮動乱が終結し国内の産業と経済発展が上昇している昭和29年6月1日にRI承認を受け、道内9番目のクラブとして戦後初めて誕生し、既に故柿本・望月ガバナーを輩出しました。設立時には、札幌RC会長であった札幌医科大学長故大野精七先生の熱心なお力添えを頂き、伊藤豊次特別代表を派遣されご助言、ご指導を戴きながら創立にチャーターメンバーの会員がご苦勞されたと考える時感謝の念で一杯であります。以来活発な奉仕活動を続けながら会員増強にも努めて参りました。

駒沢高校インターアクトクラブは駒沢高校の閉校で岩見沢市立緑陵高校インターアクトクラブに引継ぎが出来、活発に活動しております。

国際奉仕委員会は三クラブ(岩見沢東RC/栗沢RC/岩見沢RC)で合同でのポリオ撲滅キャンペーンの実施、社会奉仕委員会は福祉児童施設へのキャンプ用具一式の贈呈等実施いたしております。

これからの、時代に対応する事業を地域社会、他団体、行政当局と協議しながら、ロータリーとしての奉仕を実行いたします。

奉仕の実績

昭和30年 国際ロータリー50周年を記念して利根別川沿いに植樹
昭和37年 創立8周年の記念事業として岩見沢駅前に「愛の母子像」を建立
昭和41年 岩見沢市民会館新築を記念して「ロータリーの杜」を造成寄贈
昭和44年 創立15周年を記念して「岩見沢市民憲章碑」を建立寄贈
昭和54年 創立25周年を記念して「小さな親切」運動岩見沢支部を結成
昭和58年 創立30周年を記念しかつ、岩見沢市開基100年

を記念して岩見沢東ロータリークラブと共同で萩園公園ロータリーの杜に日高銘石による築石庭園を造成、岩見沢市に寄贈

昭和61年 ポリオ撲滅と環境保全のチャリティービールパーティーを開催
平成元年 創立35周年を記念して「ロータリーの杜」に記念植樹
平成4年 南空知中学校選抜野球大会を主催し、現在も継続中
平成6年 創立40周年を記念して岩見沢消防事務組合に「消防用自車」を寄贈
平成11年 創立45周年記念事業として岩見沢市の環境保全事業へ寄付金贈呈及び萩園緑地「ロータリーの杜」へ記念植樹
平成16年 創立50周年を記念して玉泉館跡地公園に幸太郎石三尊石組一式を寄贈
平成17年 国際ロータリー100周年記念事業として「まち・元気ファンド」の実施
平成18年 環境保全チャリティーパークゴルフ大会(3カ年計画)の開催
平成22年 環境保全ひょうたん沼公園防風林植樹事業(3カ年計画)の開催
平成23年 東日本大震災支援物資として中古自転車110台を岩手県大船渡ロータリークラブなどへ持参、寄贈する
平成26年 創立60周年記念事業として、社会福祉法人光が丘学園に進学奨学金として寄付
萩園緑地ロータリーの杜記念碑、老朽化により建替え新しい記念碑を建立
DDFの地区補助金を活用した地域奉仕活動として、社会福祉法人光が丘学園にキャンプ用テント3張贈呈

RI第2510地区 第3グループ	岩見沢東ロータリークラブ		設立年月日 RI承認月日	1983年(昭和58)6月28日 1983年(昭和58)6月30日		
例 会 場			例 会 日 時			
岩見沢平安閣 岩見沢市5条東2丁目 ☎0126-23-4581			火曜日 12時30分 (第3例会18時)			
創立時ガバナー		スポンサークラブ		特別代表		
山賀 勇		岩見沢ロータリークラブ		山田 功		
会員数 創立時：22名、2014年7月1日現在：23名(女性会員3名)						
歴 代 会 長	1997 小倉 和敏	1998 碓井 侑弥	1999 松重 彰伸	2000 細谷 義弘	2001 竹村 正義	2002 坂田 知樹
	2003 関 二三子	2004 渡辺 博人	2005 金田 省三	2006 渡辺 劭	2007 長田 正文	2008 坂口 堅一
	2009 勝田 秀樹	2010 田口 剛志	2011 津元美智代	2012 藤田 文雄	2013 稲垣 政敏	2014 只野 公幸
結 成 し た 新 ク ラ ブ						
ローターアクトクラブ		インターアクトクラブ		姉妹クラブ/友好クラブ		
クラブ事務所	岩見沢市6条東1丁目1 平安ビル2階 HP: TEL:0126-23-0945 FAX:0126-23-0945 Email:e-iwamizawa-rc@m2.dion.ne.jp					

クラブの沿革と特徴

岩見沢ロータリークラブにスポンサー頂き、移籍会員17名、新会員5名の計22名で、1983年6月28日設立総会を行い、6月30日には異例の速さで国際ロータリー加盟認証を頂き、第2510地区で59番目のクラブとして誕生いたしました。一時は約50名いた会員も時代の変遷とともに減少し、現在会員数24名で活動しております。しかし会員数は少ないですが、その分結束力は強いのがクラブの自慢であり、奉仕活動の実践に意欲を燃やしております。また女性会員も3名いて、和やかな雰囲気の中例会も行われています。特に毎月第三例会は夜間例会とし、例会終了後はセルフサービスのアルコールも用意され、会員間の親睦も楽しく深めています。

奉仕の実績

- 東ロータリークラブ杯争奪少年サッカー大会開催
スポーツを通じて、青少年健全育成の目的で開催し、今年で17回目となるサッカー大会ですがその間、東日本大震災で被災した福島県相馬市、南相馬市のサッカー少年、少女を大会に招待し交流しました。年々参加する子供たちが増え、それに倍して保護者が応援に訪れ、地域に根づいたものになっています。
- 交通安全キャンペーンの参加
毎年2回開催されます地域ぐるみ交通安全キャンペーンに全会員がクラブジャンパーを着用し、交通安全の啓蒙に努めております。
- 市のクリーングリーン作戦に参加
市が河川環境整備の一環として実施している事業で、社会奉仕委員会が中心となり、毎回積極的に会員が参加しています。
- 盲導犬育成の為の募金箱設置
札幌市の北海道盲導犬協会を訪問し寄付金を贈呈し、会員企業に募金箱を設置し盲導犬育成の為の募金を継続的に行う。

RI第2510地区 第3グループ	栗沢ロータリークラブ			設立年月日 RI承認月日	1964年(昭和39)6月3日 1964年(昭和39)6月10日	
例 会 場				例 会 日 時		
いわみざわ商工会館 岩見沢市栗沢町本町11 ☎0126-45-2002				水曜日 12時10分		
創立時ガバナー		スポンサークラブ		特別代表		
滝本 庄蔵		岩見沢ロータリークラブ		橋本安太郎		
会員数 創立時：25名、2014年7月1日現在：24名(女性会員1名)						
歴 代 会 長	1997 中田 信広	1998 佐野 邦夫	1999 土井 清	2000 枝広 榮美	2001 林 義明	2002 本田 義晏
	2003 吉野 顕隆	2004 宮森 俊一	2005 伊藤 アキ	2006 岩田 隆	2007 氏家 則之	2008 金山 英昭
	2009 川幡 直	2010 若浦 俊夫	2011 本田 正一	2012 吉永 忠邦	2013 鈴木 正夫	2014 中田 信広
結 成 し た 新 ク ラ ブ						
ローターアクトクラブ		インターアクトクラブ		姉妹クラブ/友好クラブ		
				友好クラブ:砺波ロータリークラブ(富山県)		
クラブ事務所	岩見沢市栗沢町本町11番地 いわみざわ商工会館内 HP: TEL:0126-45-2002 FAX:0126-45-4655 Email:kurisawa2510@miracle.ocn.ne.jp					

クラブの沿革と特徴

栗沢ロータリークラブは50年前の昭和39年、当時岩見沢ロータリークラブの会員でありました武蔵清一氏、本田正之氏、川西重氏の三氏の奔走する中、道内53番目のクラブとして誕生いたしました。

創立総会を昭和39年6月30日、橋本特別代表の点鐘によって発足しました。

創立会員25名、その年の10月7日にはチャーターナイトを栗小体育館で挙行されました。時あたかも東京オリンピックが開催され、日本経済は戦後の不況から脱し、まさに高度経済成長期に向かっておりました。爾来栗沢クラブは、農村地区のクラブとして、農業関係のロータリアンを多数入会し、特色あるクラブとして時折紹介され、やがて第2510地区に知られることとなり、会員拡大にも役立ったのであります。そしてこうした誇りを伝統にロータリー精神の高揚と実践に努め、本年栄えある50年の大きな節目を迎えることができました。これからも栗沢クラブは会員増強に努め、楽しい例会のクラブであることに会員一同精進して参ります。

奉仕の実績

1965年6月 栗沢RC創立1周年記念に町総合グラウンドに国旗掲揚塔を贈る

1967年8月 栗沢小学校鼓笛隊に楽器を寄贈する

1970年6月 本年度社会奉仕活動が優秀なりとして、ガバナー優秀活動賞を受賞

1974年5月 栗沢RC創立10周年記念事業として、ロータリー文庫1セット寄贈

1979年3月 交通安全旗を交通安全協会に寄贈する

1984年4月 創立20周年記念事業として栗沢町民センターに国旗掲揚塔を寄贈する

1986年10月 クラブ活動活性化貢献賞として会員増強賞を受賞する

1994年4月 創立30周年記念事業としてバス停2棟を寄贈する

1996年5月 地区会員増強賞を受賞する

2004年5月 創立40周年記念事業として栗沢小学校、栗沢中学校に楽器を寄贈する

2014年5月 創立50周年記念事業として「ウインズ・バンドレルシア」に運営資金として金50万円を贈呈する

RI第2510地区 第3グループ	栗山ロータリークラブ		設立年月日 RI承認月日	1970年(昭和45)1月16日 1970年(昭和45)2月4日
例 会 場			例 会 日 時	
ホテルパラダイスヒルズ 栗山町湯地91番地 ☎0123-72-1123			火曜日 12時15分	
創立時ガバナー	スポンサークラブ		特別代表	
秋山康之進	岩見沢ロータリークラブ		立川 一雄	
会員数 創立時：35名、2014年7月1日現在：24名(女性会員4名)				
歴代会長	1997 樺沢 勝美 1998 石田 利光 1999 広岡 秀博 2000 佐藤 清夫 2001 松下 留雄 2002 北川 清則 2003 塩見 雅英 2004 太田ヒロ子 2005 梶澤 忠彦 2006 小寺 進 2007 久住 八郎 2008 関 吉一郎 2009 松原 正和 2010 磯野 武司 2011 山崎 信治 2012 橋崎 忠彦 2013 鳥山 幸雄 2014 小室 雅裕			
結 成 し た 新 ク ラ ブ				
ロータリーアクトクラブ		インターアクトクラブ		姉妹クラブ/友好クラブ
				姉妹クラブ:角田ロータリークラブ(宮城県)
クラブ事務所	夕張郡栗山町中央2丁目1番地 栗山商工会議所内 HP: TEL:0123-72-1278 FAX:0123-72-4001 Email:			

クラブの沿革と特徴

当クラブは、昭和45年1月16日に創立し、同年2月4日にRI加盟認証を受け、今年度(H26年)8月4日に45周年事業記念植樹を挙行了したところです。

創立以来、歴代会長はロータリーの歯車を回し続け、45年の節目も無事に迎えることができました。

当クラブは、ロータリーの精神を守り、「職業を通しての奉仕」「例会時の自己研鑽」「出席率の向上」を柱として今日に至っております。

奉仕の実績

A. 奉仕活動

1. 栗山小学校校門前にて防犯パトロール(毎週火曜日)
2. 会員車両に青色回転灯を設置し、パトロールの実施、登録台数10台(毎日)
3. 交通事故撲滅を願い旗による街頭啓発活動の実施「イエロー作戦」(毎年実施)
4. 「赤い羽根募金」の街頭啓発、歳末警戒、防犯啓発活動の実施
5. 障害者団体及び福祉団体が主催する事業への支援及び参加

B. 周年事業を機に社会貢献事業(5周年～25周年は割愛させていただきます)

1. 30周年記念事業～全自動椅子パワーリフト車の贈呈(贈呈先 栗山町社会福祉法人特別養護老人ホーム くりのさと)
2. 35周年記念事業～人工透析医療機器(車椅子対応体重計・救急用蘇生器)の贈呈(贈呈先 栗山赤十字病院)
桜苗木135本贈呈(栗山工業団地)
3. 40周年記念事業～栗山小学校校門柱の贈呈(贈呈先 栗山小学校)
啓発事業用「プロジェクター」及び「スクリーン」

の贈呈(贈呈先 栗山警察署)

4. 45周年記念事業～「バットの森づくり 栗の木ファーム植樹」への協賛
(アオダモの木100本植樹手伝い、昼食等の用意)

C. 青少年奉仕活動

1. 栗山ロータリークラブ旗争奪中学校野球大会(15年連続実施、毎回10～12校参加)
2. アオダモ資源育成の会主催の植樹事業の協力(H18～現在まで 由仁町川端道有林に1000本以上の植樹)
3. 今年度ポリオ撲滅支援活動(匠祭り、第三グループIM時等含め3回程の募金活動を行う計画です)

D. 例会における自己研鑽

例年の例会は、年間47回程度であるが、その内、定例会場39回、移動例会8回(職場訪問等)、夜間例会(親睦)は8回となっております。

月間テーマに基づき会員はもとより、外部講師の卓話も積極的に拝聴しています。

移動例会では、主に町内製造事業所などを訪問し、地場産業への理解を深めています。

E. 会員の活動状況(平成26年7月1日現在)

当クラブの年齢層は、24名の内40代が3名、50代が4名、60代が13名、70代が4名となっており、年齢分布は以下の通りです。40代(12.5%) 50代(16.6%) 60代(54.1%) 70代(16.1%)。

また、会員歴は、10年以下19名(79.1%)、15年以下2名(0.83%)、20年以下2名(0.83%)、30年以下1名(0.041%)の構成となっており、これからの課題は、ロータリーの奉仕の活動を活かし魅力のあるクラブにし、会員の定着、増強に努めなければならない状況であります。

RI第2510地区 第3グループ	当別ロータリークラブ		設立年月日 RI承認月日	1976年(昭和51)4月6日 1976年(昭和51)4月19日		
例 会 場			例 会 日 時			
田西会館 石狩郡当別町弥生1091 ☎0133-23-4050			火曜日 12時30分			
創立時ガバナー	スポンサークラブ		特 別 代 表			
青木 一雄	札幌北ロータリークラブ		前田 治			
会員数 創立時：22名、2014年7月1日現在：27名(女性会員0名)						
歴 代 会 長	1997 野口 和之	1998 河村 佳男	1999 近藤 勝宏	2000 土岐 楸	2001 前田 啓詞	2002 泉亭 祐司
	2003 小山田雄一	2004 島 義慈	2005 高谷 茂	2006 見上喜久雄	2007 辻 伸行	2008 小野 廣實
	2009 六角 英一	2010 大澤 勉	2011 島田 裕司	2012 永上 巖	2013 安藤 正	2014 米口 稔
結 成 し た 新 ク ラ ブ						
ローターアクトクラブ		インターアクトクラブ		姉妹クラブ/友好クラブ		
				姉妹クラブ：岩出山ロータリークラブ(宮城県) 友好クラブ：札幌北RC、札幌はまなすRC、札幌モーニングRC		
クラブ事務所	石狩郡当別町弥生1091 (株)田西会館内 HP： TEL：0133-22-0575 FAX：0133-22-0575 Email：tobetsu.rc@gmail.com					

クラブの沿革と特徴

当別ロータリークラブは、1976年4月6日、青木一雄ガバナー、前田治特別代表の指導のもと、札幌北ロータリークラブをスポンサークラブとして22名のチャーターメンバーで仮クラブを創立し、同年4月19日国際ロータリーに加盟承認されました。1981年、1988年第3分区 I G F 開催、1994年第3分区 I M 開催、2002年、2010年第3グループ I M 開催。1980年岩出山RCと姉妹クラブ締結。来年の2015年に創立40周年を迎えます。

石狩川をはさんで札幌市、江別市と隣接し、140年以上の開拓の歴史を持つ当別町をエリアとする当クラブは地域にしっかりと根をおろし、伝統を大切にしているメンバー1人1人の顔が見える、団結力の強いクラブです。

奉仕の実績

創立10周年の記念事業として当別町に寄付をしたロータリークラブ育英基金は毎年2、3名の高校生に学資援助を続けており、2010年の35周年には記念事業として基金の増資も行っています。2009年からは当別大通り開通に併せて道路沿いの花壇2区画を担当し、植栽、草取り、撤収作業を夏中の行事として取り組んでいます。また、青少年奉仕活動とし

て、マナーキッズテニスに協賛・協力し、スポーツを通じて日本独自の礼法を学びバランスの良い人間形成のお手伝いをしています。地元の当別高校とは就職面接の模擬練習に当クラブメンバーが面接官となり、企業側からのアドバイスをするなど、高校から毎年協力要請を受けています。また、当クラブ会員にとっても地元高校生と触れ合う良い機会となっています。春秋の交通安全週間には交通安全を呼びかけるイエローフラッグを振りながら街頭に立ってドライバーに呼びかけています。毎年9月に行われる町内福祉まつりではテント設営の手伝いとロータリーブースを設け、活動のPRも行っています。また、町内の冬のイベントである「あそ雪のひろば」に協賛をしています。

このように当クラブは地域の要望に応える奉仕活動とともに積極的に「地域に何ができるか」を考えながら行動し日々活動の内容を高め幅を広げています。

RI第2510地区 第4グループ	札幌ロータリークラブ		設立年月日 RI承認月日 RI再承認年月日	1932年(昭和7)12月3日 1933年(昭和8)1月18日 1949年(昭和24)5月2日		
例 会 場			例 会 日 時			
札幌グランドホテル 札幌市中央区北1条西4丁目 ☎011-261-3311			水曜日 12時30分			
創立時ガバナー	スポンサークラブ		特別代表			
井坂 孝	東京ロータリークラブ		小林 雅一			
会員数 創立時：30名、2014年7月1日現在：112名(女性会員0名)						
歴 代 会 長	1997 相沢 幹	1998 佐々木正丞	1999 大森 義弘	2000 潮田 隆	2001 村山 正	2002 荒 紀男
	2003 内山 洋一	2004 松本 脩三	2005 山中 善夫	2006 杉野目 浩	2007 高薄 浩志	2008 久保田俊昭
	2009 中田 輝夫	2010 小山 司	2011 廣川 雄一	2012 庭山 早苗	2013 柿本 純	2014 勝木 紀昭
結 成 し た 新 ク ラ ブ						
小樽RC (S8.12.12) 帯広RC (S10.3.15) 室蘭RC (S11.10.26) 釧路RC (S11.11.23) 網走RC (S28.11.10) 岩見沢RC (S29.5.5) 札幌南RC (S31.6.22) 札幌西RC (S35.9.27) 千歳RC (S43.4.26) 札幌北RC (S46.5.24)						
ローターアクトクラブ		インターアクトクラブ		姉妹クラブ/友好クラブ		
		札幌第一高等学校インターアクトクラブ				
クラブ事務所	札幌市中央区北2条西4丁目 北海道ビル902 HP: http://www.sapporo-rc.jp/ TEL: 011-231-1297 FAX: 011-222-2744 Email: info@sapporo.ri2510.gr.jp					

クラブの沿革と特徴

1932年12月3日 創立総会を豊平館で挙行し日本で8番目のクラブとして誕生。スポンサークラブは東京RC、特別代表は小林雅一氏、初代会長に元北海道帝国大学総長の佐藤昌介男爵が就任。

1933年1月18日にRIの加盟を認証される。
RI加盟認証番号 1621B。

1940年9月28日、戦雲急となりRIを脱会、「札幌職能倶楽部」「札幌水曜会」と名称を変え毎週例会を継続した。

1949年9月28日創立総会をニューグランドで挙行、同5月2日に再承認を受け戦後の復帰を果たす。

2014年5月21日第4000回例会を迎えた。

クラブの特徴：

北海道のオリジナルクラブとして歴史と伝統をもっている。創立以来12名のガバナーを輩出し地区活動に貢献してきた。伊藤義郎元RI理事を始めとして9人の会員が国際ロータリーから在籍50年の表彰を受けている。

奉仕の実績

1、「若い人と語ろう会」：会員企業の30歳以下の社員を推薦してもらい会員と若い人が様々な問題について語り合う会合を年4～5回開催し、若い人たちの啓発を心がけると同時に相互理解を深める努力をしている。今年で42年目を迎えた。

2、「五色百人一首札幌大会」の共催。小中学生に日本の伝統文化である百人一首の楽しさを伝え、普及することを目的としており、年1回、北海道神宮で開催している。

3、創立75周年の記念事業の一つとしてご両親が文科省の補助金または奨学金で留学しているお子さんが北海道インターナショナルスクールで学べるよう奨学金を授与している。

これまで、スリランカ、コンゴ、ブラジル、バングラデシュの子供たちが北海道インターナショナルスクールで学んでいる。

4、ロータリー財団、米山記念奨学生の受け入れに関しても、その発足の頃からお世話をしてきた。

RI第2510地区 第4グループ	札幌はまなすロータリークラブ		設立年月日 RI承認月日	1992年(平成4)6月7日 1992年(平成4)6月25日		
例 会 場			例 会 日 時			
札幌サンプラザ 札幌市北区北24条西5丁目 ☎011-758-3111			火曜日 12時30分 (毎月最終例会18時)			
創立時ガバナー	スポンサークラブ		特 別 代 表			
佐藤 鉄彌	札幌北ロータリークラブ		村川 舜一			
会員数 創立時：34名、2014年7月1日現在：14名(女性会員2名)						
歴 代 会 長	1997 水谷 高治	1998 高井 悌吉	1999 佐藤 一	2000 戸部アナマリア	2001 寺本 正司	2002 北川 敏夫
	2003 大石 春雄	2004 坂田 文正	2005 岡西 功	2006 玉造 啓子	2007 野村 勝隆	2008 菊地 為次
	2009 丹羽 肇	2010 光川 眞量	2011 愛須 一史	2012 青木 貞康	2013 佐藤 一	2014 小山内繁樹
結 成 し た 新 ク ラ ブ						
ローターアクトクラブ		インターアクトクラブ		姉妹クラブ/友好クラブ		
				友好クラブ：高知県香長RC、タイ・ノンカイRC、フィリピン・イロイロRC		
クラブ事務所	札幌市北区新琴似8条1丁目1-45 坂田ビル3階 HP： TEL：011-736-6616 FAX：011-736-8322 Email：s-hamanasu.ri2510@joy.ocn.ne.jp					

クラブの沿革と特徴

札幌北RCを親クラブとして1992年6月7日設立、現在女性会員2名を含み会員は14名。札幌市と石狩市の会員で構成され、地域に根ざした奉仕活動を行っております。友好クラブの高知県香長RCとは、年に2回物産品や会報を送り交流を図っております。タイ・ノンカイRCとは、地区国際奉仕委員会のクリーンウォーター事業等の力を借りて交流をしております。クラブの特徴と致しましては、少人数で和やかな雰囲気、協力体制も整っており、ビジターの方々からお褒めの言葉をいただきます。

クラブ創立以来現在までに女性会員2名がガバナー補佐として活躍しております。今年度は若い新入会員2名を迎え元気よくスタート致しました。新規事業を始め、クラブの新たな方向性を模索しながら全会員一丸となって頑張っているところでございます。

今後一層の会員増強を目標に掲げ、30周年・40周年記念式典は盛大に祝うことが出来る様ロータリー活動を展開しております。

奉仕の実績

今年度早々に石狩市で開催した第1回はまなすカップ少年野球大会ナイターゲームの主催を引き受け新たな取り組みと致しました。「ナイターゲームなら仕事と重ならず観戦しやすい」と保護者の評判も良かったとのこと。青少年活動からスタートした今年度、若い新入会員2名を迎えて移動夜間例会などで親睦を深め活気ある例会を展開。

「毎年、あなたも100ドルを」を目標に、全会員が100ドルを年次寄付に協力しており、100%財団クラブとしてバナーをいただいています。併せて、米山特別寄付金には毎年全会員が12,000円を送金しており少人数ながら、創立22年目で米山功労クラブ6回を受賞しております。今年度は東北震災支援事業も新たな内容で検討中であり、少人数ながらも全員が一丸となり協力する姿勢は、はまなすRCの特徴となっております。

RI第2510地区 第4グループ	札幌北ロータリークラブ		設立年月日 RI承認月日	1971年(昭和46)5月24日 1971年(昭和46)6月1日		
例 会 場			例 会 日 時			
センチュリーロイヤルホテル 札幌市中央区北5条西5丁目 ☎011-221-2121			月曜日 12時30分			
創立時ガバナー		スポンサークラブ		特別代表		
河野 通正		札幌ロータリークラブ、札幌東ロータリークラブ		秋山康之進		
会員数 創立時：23名、2014年7月1日現在：33名(女性会員3名)						
歴 代 会 長	1997 佐々木利昭	1998 平田 勝美	1999 小野 忠	2000 佐藤 章	2001 若狭 吉範	2002 片岡 是充
	2003 城木 浩一	2004 深浦 信吾	2005 佐藤 公	2006 大田すみ子	2007 大西 勲	2008 福田十太郎
	2009 菅原 耕治	2010 竹原 巖	2011 高橋 麗秋	2012 阿部 弘	2013 前田 一人	2014 佐藤 宏
結 成 し た 新 ク ラ ブ						
当別RC (S51.4.6) 札幌モーニングRC (S63.6.23) 札幌はまなすRC (H4.6.7)						
ローターアクトクラブ		インターアクトクラブ		姉妹クラブ/友好クラブ		
				友好クラブ：オーストラリア 第9800地区 ウェルビーロータリークラブ		
クラブ事務所	札幌市北区北7条西5丁目6 ストックマンション札幌906 HP： TEL：011-700-4511 FAX：011-700-4512 Email：kita-rc@palette.plala.or.jp					

クラブの沿革と特徴

昭和46年(1971)2月、札幌市内既存6クラブの協議により、札幌クラブと札幌東クラブの一部区域を割譲し仮称札幌北クラブとして結成することが決定された。この区域内にある北海道大学は特別区域として札幌クラブの区域として入れられることが申し合わされた。爾来、昭和51年(1976)から本年度に至るまで、5年毎に創立記念式典・記念事業を執り行ってきた。

会員の推移を見ると創立時24名から、10年後には114名と増員したものの、社会情勢も絡み増減を繰り返しつつ、現在は33名にて本年度を迎えた。

当クラブには、ゴルフ同好会がありプレーヤーが挙って可能な限り、月1回以上の例会を開催し楽しみつつ親睦を深めている。また、『ポールハリスフェロー8人会』として、8名の会員有志が寄付奉仕に特化した活動も展開している。

奉仕の実績

1. ロータリー財団寄付実績累計(2013年度末)
\$356,179.47
2. 米山記念奨学金寄付実績累計(2013年度末)
¥35,066,022
3. 近年事業実績

2006～2007年 地球温暖化問題への取組みとしてアイドリングストップキャンペーン実施・クラブ支援のインドネシア県民共同施設完成ほか

2007～2008年 青少年交換事業の実施・タイ3340地

区ノンカイのクリーンウォーター支援の継続と現地検証他

2008～2009年 市内4小中学校への図書贈呈・新川地区桜並木の保全事業・北区の児童施設に積み木寄贈他

2009～2010年 札幌駅前花壇植栽活動の継続・青少年交換事業の継続ほか

2010～2011年 地区補助金を活用し、養護学校へ教育図書、地図帳、学習用PCを寄贈、この実施により札幌市長より感謝状を頂く

2011～2012年 クラブ創立40周年記念事業として東日本大震災への復興支援、福島県郡山市内の保育園、幼稚園、養護学校、同県須賀川市内の特別養護老人施設に放射線測定器寄贈・須賀川市立第一小学校へ保管庫の寄贈

2012～2013年 北区篠路児童養護施設グラウンドにソーラー電波時計設置贈呈・『福島キッズ in さっぽろ雪まつり』実施支援・友好クラブ オーストラリア・ウェルビーロータリークラブに現地使用の日本庭園灯籠、竹細工の破損部品を寄贈

2013～2014年 地区補助金を活用し東区養護施設に学習支援教材を寄贈・『福島キッズ キャンプ in 北海道』実施支援

2006～2007年度より、地区国際奉仕事業のクリーンウォーター事業に参加、資金協力を継続している。

RI第2510地区 第4グループ	札幌モーニングロータリークラブ	設立年月日 RI承認月日	1988年(昭和63)6月23日 1988年(昭和63)6月30日
例 会 場		例 会 日 時	
センチュリーロイヤルホテル20F 札幌市中央区北5条西5丁目 ☎011-221-2121		水曜日 7時30分	
創立時ガバナー	スポンサークラブ	特 別 代 表	
坂本 忠	札幌北ロータリークラブ	三浦 祐晶	
会員数 創立時：31名、2014年7月1日現在：40名(女性会員0名)			
歴 代 会 長	1997 赤倉 昌巳 1998 亀川 昌一 1999 近正 俊幸 2000 篠原 達雄 2001 関口 清 2002 井野 智		
	2003 池上 公介 2004 大熊 慧教 2005 梅津 征夫 2006 藤森 敏昭 2007 平田 博史 2008 嶋野 貞隆		
	2009 児玉 芳明 2010 田上 建夫 2011 広瀬 進 2012 田中 燈一 2013 吉田 義一 2014 中田 繁一		
結 成 し た 新 ク ラ ブ			
ローターアクトクラブ		インターアクトクラブ	姉妹クラブ/友好クラブ
		札幌龍谷学園高等学校インターアクトクラブ	姉妹クラブ：川口モーニングRC、青森モーニングRC 旭川モーニングRC、京都モーニングRC
クラブ事務所	札幌市中央区北5条西6丁目 第一道通ビル1階 HP：http://sapporo-morning-rc.org TEL：011-242-3360 FAX：011-219-1308 Email：sapporo-morning-rc@purple.plala.or.jp		

クラブの沿革と特徴

創設時の会務方針に「心の通い合ったロータリーづくりを目指し、過去のしきたりや習慣に過度に拘束されることなく自由な発想による新しい時代の奉仕活動に挑戦していきたい」と記されており、この方針は今日まで脈々と受け継がれている。インターアクトクラブ支援活動、交換留学生の受入・派遣、米山奨学生の受入活動は現在も継承されている他、11年間継続された「無料・生活なんでも相談」に代わり、現在は「カミネッコン植樹支援活動」を継続事業とし、「豊かな木々を後世に残す」活動を子供達とPTA父兄、そして市民ボランティアと一体化した活動を行っている。また、川口、青森、旭川、京都のモーニングRCと共に5モーニングRC姉妹提携を結び、クラブ間交流も行われ活動の輪を広げている。クラブ内においては各種同好会活動が行われ、中でもアウトドア同好会の活動は活発で夏の登山、冬のスキーなど受入留学生も誘い入れ、親睦を楽しんでいる。

奉仕の実績

1991～2002 「無料・生活なんでも相談」を計11回開催。(職業奉仕)
・本事業は1992年 R I 会長賞「意義ある業績賞」を受賞。

1991～1997 献血活動。(社会奉仕)

2002～ 「カミネッコン植樹」支援活動を継続中。
・本事業は保育園、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、PTA父兄、市民ボランティアと一体の活動。(社会奉仕)

1989～ 交換留学生の受入(18名)、派遣(16名)。

1990～ 米山奨学生の受入(17名)

1993～ インターアクト提唱クラブとして札幌女子高等学校(現：札幌龍谷学園高等学校)インターアクトクラブを支援。

この他、クラブ奨学生の受入(4名)、国際親善奨学生の受入(1名)、同派遣(3名)、また、GSEの受入等の活動を行っている。

RI第2510地区 第4グループ	札幌西ロータリークラブ		設立年月日 RI承認月日	1960年(昭和35)9月27日 1960年(昭和35)11月3日		
例 会 場			例 会 日 時			
三越札幌店4階 札幌市中央区南1条西3丁目 ☎011-271-3311			火曜日 12時30分			
創立時ガバナー	スポンサークラブ		特 別 代 表			
坂牛直太郎	札幌ロータリークラブ、札幌南ロータリークラブ		大野 精七			
会員数 創立時：24名、2014年7月1日現在：50名(女性会員7名)						
歴 代 会 長	1997 中村 嘉人	1998 八木 昌興	1999 戸部 謙一	2000 池田 牧夫	2001 湯沼 憲三	2002 高下 泰三
	2003 村上 登	2004 矢橋 温郎	2005 石黒 直文	2006 佐藤 裕一	2007 石黒 直文	2008 石谷 邦彦
	2009 石丸修太郎	2010 上出 利光	2011 武田 智	2012 大越 克巳	2013 北島 清	2014 浜松 義弘
結 成 し た 新 ク ラ ブ						
札幌手稲RC (S45.6.29) 札幌西北RC (S52.4.21)						
ローターアクトクラブ		インターアクトクラブ		姉妹クラブ/友好クラブ		
				姉妹クラブ：マカティウエストRC、ウエストダバオRC 友好クラブ：ユチカRC		
クラブ事務所	札幌市中央区北2条西4丁目 北海道ビル902 TEL：011-231-1297 FAX：011-222-2744		HP：http://www.sapporo-west-rc.jp Email：info@sapporo-west.ri2510.gr.jp			

クラブの沿革と特徴

札幌西RCは札幌RC大野精七会員により発想企画された。1960年、発展する札幌西部地区を地盤に札幌では4番目のRCとして誕生。札幌、札幌南両RCのスポンサーで特別代表は大野精七氏である。会長以下24名で発足した。1960年9月27日に創立総会を開催し、次いで11月3日坂牛直太郎（小樽RC）地区ガバナー出席の下、盛大なチャーターナイトを挙行した。日本では398番目のRCである。爾来50数年を経過、2010年9月23日には創立50周年記念式典を行った。その間次第に会員が増えて、1990年前半には会員数140名ほどを数えたがその後諸般の事情により会員数が減少、現在50名ほどで推移している。50年の間に5名のガバナーを擁し、毎年10名に及ぶ地区委員を輩出し、地区内きってのリーディングクラブとの自負を持っている。しかし、近年会員減少、高齢化の波に勝てずにいる事が悩みである。

奉仕の実績

クラブ創立以来50年余の間に様々な大小のプログラムを実践して来た。特に国際奉仕は当クラブの得意分野であり、世界社会奉仕も当クラブが先鞭をつけた。青少年奉仕に於いても交換学生の受け入れ、米山奨学生の世話、GSEの中心的役割、ローターアクトクラブの養成(現在は無い)等枚挙にいとまがない。特に創立30周年記念事業に於ける海外からのゲストも含めた高校生によるユースフォーラム【環太平洋の21世紀を如何に生きるか】は白眉であった。亦、RI財団、米山奨学会寄付についても常に地区の上位にランクされ度々表彰を受けている。近年の活動は会員減少の影響で小型化はしているが、当クラブでは有数の合唱団を有している特色を生かし、入院を余儀なくされている終末医療患者を癒すコンサートを定期的に行っている。又、小中学校への実社会の仕組みを教える会員による「出前授業」等、規模は小さいが多様な活動を行っている。

RI第2510地区 第4グループ	札幌西北ロータリークラブ		設立年月日 RI承認月日	1977年(昭和52)4月21日 1977年(昭和52)4月25日		
例 会 場			例 会 日 時			
三越札幌店4階 札幌市中央区南1条西3丁目 ☎011-271-3311			木曜日 12時30分			
創立時ガバナー	スポンサークラブ		特 別 代 表			
大野 和男	札幌西ロータリークラブ		武田 勇			
会員数 創立時：31名、2014年7月1日現在：31名(女性会員3名)						
歴 代 会 長	1997 西岡 憲廣	1998 武田 忠和	1999 大橋 陸男	2000 馬杉 榮一	2001 井口 光雄	2002 三上 直彦
	2003 大野 義雄	2004 新谷 喜信	2005 大島 利一	2006 中嶋 成実	2007 谷口 二郎	2008 小川 眞治
	2009 穴倉 勉彌	2010 久保 隆	2011 渡邊 葉子	2012 安藤 壽建	2013 山本 耕司	2014 桶谷 治
結 成 し た 新 ク ラ ブ						
ローターアクトクラブ		インターアクトクラブ		姉妹クラブ/友好クラブ		
		札幌山の手高等学校インターアクトクラブ		友好クラブ：ヘルシンキ北西ロータリークラブ (フィンランド)		
クラブ事務所	札幌市中央区南4条東4丁目2-1 さくら総合会計ビル2階			HP：http://sapporo-seihoku-rc.com		
	TEL：011-200-2066	FAX：011-200-2067	Email：sap-seihoku.ri2510@dao.or.jp			

クラブの沿革と特徴

当クラブは、1977年4月に札幌西RCをスポンサークラブとして31名のメンバーで創立された。創立当初、中央区北西部、西区南西部をテリトリーとしていた。清水省吾初代会長の方針である「明るく、楽しい、出席しやすい」クラブの伝統は、37年の間連続と引き継がれてきた。ビジターで当クラブに参加された方にはその雰囲気は伝わるようである。

現在、チャーターメンバー4名を含め、40代から80代までの会員31名で構成されており、女性会員3名もクラブに於いて重責を担っている。複数の同好会活動や家族を交えた植栽活動、新年家族会も継続的に行われており、会員相互間のより一層の親睦が図られている。

1999年には、当クラブとして初の森本ガバナーを送りだしている。

今後、この良き伝統を守りながら、会員数の増強に向け努力したい。

奉仕の実績

1996～1997年度に迎えた20周年以降も地域密着型活動を中心に実施。2000年は、モエレ沼公園へ介護用車椅子を5台寄贈すると共に、三角山四阿の屋根の修繕と四阿日記を設置、視力障害者のボランティア団体へPCを寄贈した。2007年には点訳奉仕団体「むつの会」への点訳用PCとプリンターの一式寄贈を行う。また、2001～02年度には、札幌山の手高等学校インターアクトクラブを設立し、活動支援を行っている。30周年を迎える頃には、海外への支援活動も増え、タイ・チェンマイ地区ウォータープロジェクトとしてチェックダムの設置、カンボジア・シエムリアップ地区小中学校へ教科書寄贈、2012～13年度はベトナム枯葉剤対策救援活動を行う。並行して、地域密着型の活動も継続的に行い、「琴似栄町商店街への花壇寄贈」、「三角山散策路・四阿点検清掃」、「大通公園花壇植栽」、「西区・手稲区中学校スポーツ大会」(共催)がある。特に植栽や清掃については、会員だけでなくインターアクトクラブの生徒や家族にも協力を得て、毎年継続して行っているのが特徴である。

RI第2510地区 第4グループ	札幌手稲ロータリークラブ		設立年月日 RI承認月日	1970年(昭和45)6月29日 1970年(昭和45)7月20日		
例 会 場			例 会 日 時			
三越札幌店4階ライラックの間 札幌市中央区南1条西3丁目 ☎011-271-3311			土曜日 12時30分			
創立時ガバナー	スポンサークラブ		特別代表			
秋山康之進	札幌西ロータリークラブ		小熊 米雄			
会員数 創立時：25名、2014年7月1日現在：37名(女性会員3名)						
歴 代 会 長	1997 杉浦重次郎	1998 針谷 龍宜	1999 小山 秀昭	2000 金子 隆	2001 安尻 丈夫	2002 中川 喬雄
	2003 山本 雅章	2004 (岡田幸四郎) 山地 府夫	2005 平田 勝美	2006 福井 敬悟	2007 高橋 敏雄	2008 粟津健太郎
	2009 福尾俊太郎	2010 肘井 博行	2011 三戸 義美	2012 中村 和雄	2013 長谷川壽朗	2014 中川原 窓
結 成 し た 新 ク ラ ブ						
札幌あけぼのRC (H3.3.15)						
ローターアクトクラブ		インターアクトクラブ		姉妹クラブ/友好クラブ		
				友好クラブ：名古屋瑞穂ロータリークラブ 台湾高雄壽山ロータリークラブ		
クラブ事務所	札幌市中央区北2条西4丁目 北海道ビル902 TEL：011-231-1297 FAX：011-222-2744		HP：http://sapporo-teine-rc.org Email：info@sapporo-teine.ri2510.gr.jp			

クラブの沿革と特徴

札幌手稲ロータリークラブは、1970年6月29日札幌西ロータリークラブをスポンサークラブに、札幌市内では6番目のクラブとして誕生致しました。創立2年目より札幌三越を例会場と定め、近頃では数少なくなった「土曜日例会」のクラブとして市内でも屈指のビジターの多いクラブであります。当クラブは今年度創立45周年を迎えます。

この間、白石パストガバナーを始め、多くの会員が地区委員会で活躍してまいりました。

また、1991年「札幌あけぼのロータリークラブ」誕生のスポンサークラブとして尽力いたしました。しかし、昨年札幌あけぼのロータリークラブが脱会したことは誠に残念なことでした。

クラブ会員数は男性会員34名、女性会員3名合計37名です。最年長会員93歳、最年少会員32歳と幅広い年齢構成になっております。前年度5名の会員増を果たし、創立45周年を迎えた今年度は、会員45名を合言葉に会員増強に邁進しております。自由闊達な雰囲気と親睦の和は我がクラブの大きな魅力です。これを力に変えて地域に根ざした奉仕活動、親睦活動を引き続き展開してまいります。

奉仕の実績

1. 1983年より33回を数える「ロータリー杯争奪西区・手稲区中学校スポーツ大会」を当初は当クラブ単独で開催しておりましたが、規模が拡大するに伴い、札幌西北、札幌あけぼのロータリークラブと共に開催し、現在では多くの方々のご協力を頂き、西区並びに手稲区の全中学校、参加人数1600名余りと大きな大会に成長しております。
2. 1988年より区域内の高校生に奨学金を支給させて頂いております。この26年にわたる奉仕活動が高く評価され価値あるガバナー賞を受賞しました。
3. 1973年最初の交換留学生の派遣・受入れをさせて頂いてから、既に、派遣・受入れ各々40名の交換留学生のお世話をさせて頂きました。現在は一時中止にしておりますが、時期を見て再開したいと考えております。
4. 米山記念奨学会の功労クラブとして地区大会で表彰を受けると共に、米山奨学生のお世話をさせて頂いております。

RI第2510地区 第5グループ	札幌東ロータリークラブ		設立年月日 RI承認月日	1959年(昭和34)2月19日 1959年(昭和34)3月14日		
例 会 場			例 会 日 時			
札幌パークホテル 札幌市中央区南10条西3丁目 ☎011-511-3131			木曜日 12時30分			
創立時ガバナー	スポンサークラブ		特 別 代 表			
伊部政次郎	札幌南ロータリークラブ		富樫 長吉			
会員数 創立時：25名、2014年7月1日現在：114名(女性会員0名)						
歴 代 会 長	1997 塚原 房樹	1998 青木 功喜	1999 長澤 祐紀	2000 関堂 勝幸	2001 川原宏一郎	2002 南原 康二
	2003 坂東 宗一	2004 小田切房之	2005 菊地 弘嗣	2006 奥貫 一之	2007 大 公一郎	2008 星野 恭亮
	2009 荒岡幹史郎	2010 鈴木 俊幸	2011 藤井 英勝	2012 田中 新一	2013 菊地 章	2014 平 公夫
結 成 し た 新 ク ラ ブ						
札幌幌南RC (S39.11.13) 札幌北RC (S46.5.24) 新札幌RC (S59.6.21)						
ローターアクトクラブ		インターアクトクラブ		姉妹クラブ/友好クラブ		
		北海高等学校インターアクトクラブ				
クラブ事務所	札幌市中央区北2条西4丁目 北海道ビル902 TEL：011-231-1297 FAX：011-222-2744		HP：http://ri.sapporo-east.net Email：info@sapporo-east.ri2510.gr.jp			

クラブの沿革と特徴

当クラブは2014年2月に創立55周年を迎えました。1959年2月に札幌南RC富樫長吉特別代表のご指導により仮クラブを結成し、同年3月に国際ロータリーに加盟が承認されました。

1964年に札幌幌南RC、71年に札幌北RC、84年に新札幌RCのスポンサークラブとして、広範囲に亘るエリアをその発展の基礎として提供してまいりました。

この間、1980～81年度に小川忠一、1988～89年度に大橋康次、2005～06年度に塚原房樹ガバナーを輩出すると共に、地区委員会には毎年10名前後のメンバーを参加させ、積極的な地区活動をしております。

当クラブの特徴は、諸先輩が築かれた歴史と伝統をさらに輝かせるため、各委員会が活発に行動できる仕組みづくりと、会員相互の親睦が図れる楽しい例会の開催、そして東北以北で最大規模の会員数を維持拡大することに注力することにあります。

奉仕の実績

クラブ奉仕の諸活動に関し、楽しい例会に向けたプログラムの創意工夫と参加してよかったと言って頂ける雰囲気づくり、そして会員相互の親睦が図れる取り組みによりクラブの充実拡大を図っております。

職業奉仕に関しては、企業の訪問等を通じて会員の意識向上と奉仕の取り組みに努めております。

社会奉仕部門では、福祉施設の慰問や地域の子供たちの健全な発展育成に向けた月寒川にぎわい川まつりへの参画、そして地区の活動と連動した諸活動に努めております。

国際奉仕部門では、交換留学生の派遣と受入れ(過去派遣53名、受入れ56名)並びに米山奨学生の受入れを積極的に実施しております。

青少年奉仕部門では、北海高校インターアクトクラブの支援と当クラブ諸行事への参加を通じ、高校生達に社会奉仕の意識が高まるよう努めております。

RI第2510地区 第5グループ	札幌清田ロータリークラブ			設立年月日 RI承認月日	1997年(平成9)10月14日 1997年(平成9)10月22日
例 会 場				例 会 日 時	
ルネッサンスサッポロホテル 札幌市豊平区豊平4条1丁目1-1 ☎011-821-1111				火曜日 12時30分	
創立時ガバナー		スポンサークラブ		特 別 代 表	
石垣 博美		札幌南ロータリークラブ		高島 英寿	
会員数 創立時：46名、2014年7月1日現在：17名(女性会員4名)					
歴 代 会 長	創立 須藤 栄二 1998 大竹不二男 1999 玉井 清 2000 三戸 和昭 2001 西澤 寛俊 2002 阿部 哲夫				
	2003 真鍋 昌市 2004 高橋 宣充 2005 柏倉 慎 2006 江口 洸 2007 沼館 稔 2008 中島 永昭				
	2009 三澤 龍子 2010 中村 隆 2011 小仲美智子 2012 宮村 素子 2013 玉井 清 2014 真鍋 昌市				
結 成 し た 新 ク ラ ブ					
ローターアクトクラブ		インターアクトクラブ		姉妹クラブ/友好クラブ	
				友好クラブ：松原中ロータリークラブ(大阪)	
クラブ事務所	札幌市中央区北4条西15丁目1-14 コアレックスビル5階 HP： TEL：011-632-5303 FAX：011-632-5308 Email：kiyota-rc@mvj.biglobe.ne.jp				

クラブの沿革と特徴

1997年(平成9年)10月14日、創立総会をサッポロルネッサンスホテルで挙行。地区で70番目、札幌市内で14番目のクラブとして誕生。

- (1) スポンサークラブ 札幌南RC
- (2) チャーターメンバー 46名(内女性11名)
- (3) 認証状伝達式 11月25日

2002年(平成14年)10月19日、創立5周年記念式典・祝賀会をサッポロルネッサンスホテルで挙行。バリ島へ貯水タンクを寄贈。障害者インターナショナル(DPI)世界会議札幌大会準備ボランティア及びチャリティーダンスパーティー収益金寄付。

2007年(平成19年)9月14日、創立10周年記念式典・祝賀会をルネッサンスサッポロホテルで挙行。札幌市立清田小学校「ことばの教室」(言語障害児通級教室)への支援。清田区不法投棄対策への協力。ノルディックスキー世界選手権札幌大会へチャリティーダンスパーティー収益金寄付。清田区役所前へ花時計寄贈。

2012年(平成24年)創立15周年記念式典を見送る。清田つどい公園へ記念植樹看板を寄贈。

奉仕の実績

地元密着の奉仕活動

1. 清田図書館へ図書寄贈(5年間)
 2. 町内会同好会とのパークゴルフ大会を開催(14年間)
 3. 清田小学校へ「ことばの教室」新設協力及び支援
 4. 「ことばの教室」や児童養護施設の子ども達をスポーツ観戦へ招待(7年間)
 5. 清田つどい公園(新設)へ120本の樹木を植栽し、緑化推進のため寄贈
 6. 豊平リング並木へリングの木を寄贈
- その他
7. 新世代フォーラム「グローバルizm国際社会で生きていくために」を開催
 8. ロータリー財団、米山の奨学生などの派遣・受入れ

RI第2510地区 第5グループ	札幌幌南ロータリークラブ			設立年月日 RI承認月日	1964年(昭和39)11月13日 1965年(昭和40)1月20日	
例 会 場				例 会 日 時		
ルネッサンスサッポロホテル 札幌市豊平区豊平4条1丁目 ☎011-821-1111				金曜日 12時30分 ※月の最終は定例夜間18時30分		
創立時ガバナー		スポンサークラブ		特 別 代 表		
寿原 九郎		札幌東ロータリークラブ		古谷 信治		
会員数 創立時：34名、2014年7月1日現在：57名(女性会員4名)						
歴 代 会 長	1997 山際 廣昭	1998 金山 富晴	1999 角掛 晴雄	2000 関 正明	2001 田中 賢一	2002 砺波 寿
	2003 近藤 浩	2004 土谷 享	2005 海野 英爾	2006 和田 壬三	2007 針谷 毅	2008 森 正志
	2009 羽部 大仁	2010 前田 恒雄	2011 田澤 泰明	2012 中川 勝之	2013 深貝 亨	2014 舛田 雅彦
結 成 し た 新 ク ラ ブ						
恵庭RC (S45.3.24) 札幌真駒内RC (S49.1.3) 北広島RC (S55.4.10) 札幌清田RC (H9.10.14) 札幌大通公園RC(HI3.6.11)						
ローターアクトクラブ		インターアクトクラブ		姉妹クラブ/友好クラブ		
札幌幌南ローターアクトクラブ				友好クラブ：那覇北ロータリークラブ		
クラブ事務所	札幌市中央区北2条西4丁目 北海道ビル902			HP：http://www.ktw.co.jp/2510-KONAN-RC/ Email：info@sapporo-konan.ri2510.gr.jp		
	TEL：011-231-1297 FAX：011-222-2744					

クラブの沿革と特徴

当札幌幌南ロータリークラブは豊平区域をテリトリーとするクラブで昭和39年11月に設立、翌40年1月に国際ロータリーへの加盟が承認され、地区28番目のクラブとして誕生し、今年度で創立50周年を迎えます。創立50周年の節目に当クラブ2人目のガバナー、羽部大仁ガバナーを輩出し会員一丸となって種々のロータリー活動に邁進しております。また提唱する札幌幌南RACとの交流も活発に行い、共同での奉仕事業も多数行っております。そうした交流により卒業したOBで当クラブに入会している会員も現在4名おります。当クラブでは地区委員長・委員等を積極的に務める会員も多い一方、クラブでの会員同士の親睦活動も盛んで、親睦会、ゴルフ同好会など、例会場以外でも多くの交流がもたれています。当クラブは“硬軟(こうなん)”硬い、軟らかい二つの良さを合わせもったクラブと自負しております。

奉仕の実績

テリトリーである豊平区域を中心とし、地域に根ざした奉仕活動に努めてまいりました。主な事業は次の通りです。

- ・暮らしや医療の無料なんでも相談会：多業種による会員がいることの特性を生かし、市民の皆さんの悩み事を気軽に専門家へ直接相談できることを目的とした相談会の実施。
- ・豊平川河川敷清掃奉仕：会員他、ご家族や札幌幌南RAC、例会場であるルネッサンスサッポロホテルの方と合同で年に1度行う清掃活動の実施。
- ・菜園づくり：菜園づくりを行い、養護園の児童等を招いて収穫祭等の実施。
- ・石狩地区高等学校定時制・通信制生徒生活体験発表大会への支援
- ・親子暗唱大会：子どもの国語力向上と親子の絆を深めることを目的とした、園児・児童とその保護者を対象とした暗唱大会の実施。
- ・青少年交換学生の積極的受入と派遣
- ・ローターアクトクラブへの支援
- ・国際親善交流会：留学生との交流を通して国際理解を深め、我々ロータリアンとして国際支援の方法をも探ることを目的とした、地区内外外国人留学生を招いての交流会の実施。

RI第2510地区 第5グループ	札幌真駒内ロータリークラブ		設立年月日 RI承認月日	1974年(昭和49)1月3日 1974年(昭和49)2月8日		
例 会 場			例 会 日 時			
ホテルライフオート札幌 札幌市中央区南10条西1丁目 ☎011-521-5211			水曜日 12時30分			
創立時ガバナー	スポンサークラブ		特 別 代 表			
柿本 恒一	札幌幌南ロータリークラブ		吉岡平八郎			
会員数 創立時：25名、2014年7月1日現在：22名(女性会員3名)						
歴 代 会 長	1997 上田 正佳	1998 小森 吉夫	1999 丸山 淳士	2000 佐々木 敦	2001 吉村 洋吉	2002 森谷 明弘
	2003 山田 一也	2004 藤井 久弥	2005 佐藤 泰彦	2006 南部 昭憲	2007 中山 裕視	2008 齋藤 康嗣
	2009 柴田 薫心	2010 神谷 英光	2011 金坂 和正	2012 金坂 和正	2013 中川 雄一	2014 川越 仁
結 成 し た 新 ク ラ ブ						
ロータリーアクトクラブ		インターアクトクラブ		姉妹クラブ/友好クラブ		
				姉妹クラブ：台北大同ロータリークラブ 友好クラブ：京都桂川ロータリークラブ		
クラブ事務所	札幌市中央区北2条西4丁目 北海道ビル902		HP :			
	TEL : 011-231-1297 FAX : 011-222-2744		Email : info@sapporo-makomanai.ri2510.gr.jp			

クラブの沿革と特徴

1974年2月に札幌幌南RCをスポンサーとして25名の会員で設立された。

1990年代半ばは60名を超える会員数であったが、バブル崩壊、リーマンショックなど社会的要因により減少し40周年を迎えた今年の会員数は23名である。設立地域の南区に法人数が少ないこともあり、毎年会員増強には重点をおいているが思うように会員数が増えない現状に苦慮している。

諸先輩会員から受け継がれたクラブの伝統は、RCや地区の活動方針を遵守し会員一人一人の個性を尊重した友愛の精神でクラブ運営がなされ例会の雰囲気やすこぶる和やかなことであろう。

クラブの大きな特徴としては、他地域のRCとの交流に重きを置いた活動である。

台湾台北大同RCと姉妹クラブを締結しファーストネームで呼び合うほどの絆を深めている。また、京都桂川RCとは友好クラブを結び親密な交流を行っている。それぞれのクラブとは相互に訪問を繰り返しロータリーの友情を深めている。40周年記念行事にも深い交流の証として多くの遠来のロータリアンをお迎えすることができた。

また現在沖繩県の石垣RCとの友好クラブ締結に向け調整中でもある。今後も他地域のRCと交流を深めて真駒内RCの誇れる特徴として引き継いでいく所存である。

奉仕の実績

1986年(昭和61)に外務省の強い要請で北海道ア

フリカ協会が設立になり、設立メンバーに札幌真駒内RC会員が参加していた。この会員が1989～1992年まで連続3期、2510地区世界社会奉仕委員長を務め、未整備の発展途上国に水槽付消防自動車を送ることを立案し、札幌真駒内RCと協同で南米パラグアイに消防自動車2台を寄贈した。車体に「2510 Hokkaido Japan Rotary club Sapporo Makomanai」と書かれておりパラグアイの首都アスンシオン市の消防署長から我々が最初の寄贈者であることを大変誇りに思う、と感謝の辞を受けた。また記念行事として創立10周年、20周年、30周年、40周年、ロータリー100年記念等において真駒内公園に八重桜、白樺、つつじの木を植樹している。これは地域の環境保全と公園の美化を目的に、地域との交流とロータリークラブの活動を理解していただく為に実施している。

2012年11月にマッチング・グラントによる台湾金門松柏園(障害者老人施設)に車イス用自動車を寄贈した。この奉仕活動は姉妹クラブ台湾台北大同RCからの提案で日本は当クラブ、熊本、海外は香港、オークランドが参加している。寝たきり老人を通院させる車が無く、金門クラブに要請がありRID3480大同クラブが中心に奉仕活動を行った。また2015年度、タイ・チェンマイのHIV母子感染子供施設への支援を計画しており、2013年に会員数名で視察に行きチェンマイのRCと打ち合わせを行った。この計画は姉妹クラブである台北大同RC、友好クラブの京都桂川RCと協同提案する予定である。

RI第2510地区 第5グループ	札幌南ロータリークラブ			設立年月日 RI承認月日	1956年(昭和31)6月22日 1956年(昭和31)6月29日
例 会 場				例 会 日 時	
札幌パークホテル 札幌市中央区南10条西3丁目 ☎011-511-3131				月曜日 12時30分	
創立時ガバナー		スポンサークラブ		特別代表	
小松 隆		札幌ロータリークラブ		伊藤 豊次	
会員数 創立時：34名、2014年7月1日現在：78名(女性会員0名)					
歴 代 会 長	1997 吉尾 弘	1998 島津 宏興	1999 金井 英明	2000 中井 孝光	2001 川崎 秀雄
	2002 中島 一郎	2003 西脇 順二	2004 須田 義雄	2005 武部 實	2006 朝妻 邦雄
	2007 吉田 壽昭	2008 夏井坂信幸	2009 師尾 純一	2010 坪田 幸栄	2011 西川 哲也
	2012 今井 國雄	2013 徳中 征之	2014 橋本 耕二		
結 成 し た 新 ク ラ ブ					
札幌東RC (S34.2.19) 札幌西RC (S35.9.27) 江別RC (S37.2.3) 札幌セントラルRC (H14.4.25)					
ローターアクトクラブ		インターアクトクラブ		姉妹クラブ/友好クラブ	
				姉妹クラブ：東京東ロータリークラブ	
クラブ事務所	札幌市中央区北2条西4丁目 北海道ビル902			HP：http://www.ri2510.gr.jp/sapporo-south	
	TEL：011-231-1297		FAX：011-222-2744	Email：info@sapporo-south.ri2510.gr.jp	

クラブの沿革と特徴

札幌南RCは1956年6月に札幌RCにスポンサークラブとなっていたいただき設立され、2016年に創立60周年を迎えます。設立当初からのクラブの特徴は「なごやぎの精神」という言葉に包まれております。

「寛容で自由な空気」「和やかながらも節度を外さない気風」が綿々と受け継がれているのが特徴であります。一時140名を数えるほどに会員数があったが年々減少を続け、現在の会員数は81名です。

当クラブより国際ロータリー第351地区において1975年度森松定男ガバナー、第2510地区において1983年度竹山涼一ガバナー、2001年度岩城秀晴ガバナーの3名を輩出、2016年は武部實会員がガバナーノミニーとなっております。80名強の会員がいまなお「なごやぎの精神」のもと、クラブ奉仕と社会奉仕に努めながら、楽しいRC活動を続けております。

奉仕の実績

国内では米山奨学生の受け入れ、交換留学生の推進、各市内ボランティア団体への寄付等々。海外では2510地区が行っているタイのノンカイ地区を中心とする小学校に飲料水や学校機材の支援を毎年行っている。

近年では4年前から、札幌市母子寡婦福祉連合会が主催して、毎年12月23日に開催される「寡婦・ひとり親家族親睦クリスマス会」に参加し、集まった子供さんたちに会員が扮するサンタクロースから「クリスマスプレゼント」を贈呈し、メンバーともども楽しいひと時を過ごしている。

「継続は力なり」を实践すべく、今後もこの運動を通して、青少年の健全育成に協力をしていくつもりであります。

RI第2510地区 第5グループ	札幌大通公園ロータリークラブ		設立年月日 RI承認月日	2001年(平成13)6月11日 2001年(平成13)6月20日									
例 会 場			例 会 日 時										
大通藤井ビル7階 札幌市中央区大通西11丁目4番地			火曜日 18時30分										
創立時ガバナー	スポンサークラブ		特 別 代 表										
遠藤 正之	札幌幌南ロータリークラブ		山際 廣昭										
会員数 創立時：20名、2014年7月1日現在：13名(女性会員1名)													
歴 代 会 長	創立	大坂 忠	2002	木津 敏彦	2003	小笠原 肇	2004	長谷川美栄子	2005	田中 利男	2006	藤田 征二	
		2007	菅原 秀二	2008	大坂 忠	2009	高橋 宏	2010	遠藤 雅文	2011	霜山 龍志	2012	佐藤 文彦
		2013	葛西 功有	2014	イイトバトバヤル								
	結 成 し た 新 ク ラ ブ												
ローターアクトクラブ			インターアクトクラブ			姉妹クラブ/友好クラブ							
						友好クラブ：大阪天王寺ロータリークラブ モンゴル ニーセレルロータリークラブ							
クラブ事務所	札幌市東区北46条東14丁目3-24 (南アトリエモノリス内)			HP：http://www.rotary21.com									
	TEL：011-721-7168 FAX：011-721-7036			Email：odoriro Rotary@yahoo.co.jp									

クラブの沿革と特徴

札幌大通公園RCは札幌幌南RCを親クラブに2001年6月11日誕生いたしました。国際ロータリー加盟認証は2001年6月20日でございます。当時の例会場は札幌三越百貨店4階で毎週月曜日午後6時から7時まで行っておりました。創立時の会員数は20名、年会費96,000円、月8,000円の会費で、入会金は30,000円、ビジターフィーは1,000円でスタートいたしました。

札幌大通公園ロータリークラブの特徴

- ・少人数であること：会員数が13人前後と少人数であるので、ほとんどの会員が理事であり、何らかの委員長や委員を務めることになる。そのために、ロータリーについての理解を深める機会に恵まれ、積極的にその活動に関わる機会も多くなる。例会がそのまま理事会になる。「クラブフォーラム」や「クラブ協議会」の開催は容易である。
- ・会費が安いこと：年会費を72,000円に抑えている。月額6,000円を4期に分けて3ヶ月毎に18,000円を納入することは、若い会員にも無理なく納入できる額であり、会員増強を期待したものである。
- ・若さとバイタリティーがあること：クラブ創設時は、40代、50代の会員が中心だったが、次第に平均年齢も上がってきた。しかし、他のクラブと比べると、まだ平均年齢は若いことに変わりはない。そのため体を使った奉仕活動や親睦活動を取り入れたプログラムを実施している。
- ・インターネットを積極的に利用していること：クラブ設立当初から、インターネットを積極的に利用し、活用している。会員の連絡は全てメールを使用して

いる。例会の欠席は必ず当日の午前10時までに前もってメールで連絡することになっており、これによって事前に出席者を把握できる。

- ・例会を手作りで行っていること：ホテル等を利用する多くのクラブでは、準備の整った例会場に出かけることになる。当クラブは会議室を借りて例会を行うので、手作りの例会を目指している。食事も取りやめお茶を自分たちで用意する。他のクラブに比べると実に質素で和やかな雰囲気醸し出している。
- ・親睦を深めるために「ほっとパーティー」を実施していること：今年度から1ヶ月に1度、例会場で各自が持ち寄った飲み物、食べ物で「ほっと」心が和むパーティーを開いている。ロータリーが生まれた原点は親睦の機会である。当クラブは費用を節約しての親睦の機会を実施している。

奉仕の実績

1つ目の奉仕活動は毎年8月上旬の土曜日にポリオ街頭募金を行っています。場所はいつもの大通公園4丁目、駅前通に面したところ。多くの会員が参加し、大きな声でポリオ撲滅へのご協力をお願いしています。

2つ目の奉仕活動は毎年9月に大通西9丁目当クラブが創立2年目から続けている街頭献血活動です。当日は朝10時から夕方まで、ほぼ全員の会員が交代でティッシュを配りながら活動を行い、ソニー生命保険株式会社から元当クラブ会員で、この活動の提案者の一人である木津敏彦氏他数名からの応援もあって、毎年、献血の成績は好成績で我々には欠かせない奉仕活動の一つです。

RI第2510地区 第5グループ	新札幌ロータリークラブ	設立年月日 RI承認月日	1984年(昭和59)6月21日 1984年(昭和59)6月27日
例 会 場		例 会 日 時	
シェラトンホテル札幌(2014年10月1日よりホテルエミシア札幌) 札幌市厚別区厚別中央2条5丁目5番25号 ☎011-895-8811		水曜日 12時30分	
創立時ガバナー	スポンサークラブ	特 別 代 表	
竹山 涼一	札幌東ロータリークラブ	鷺山 寿丸	
会員数 創立時：28名、2014年7月1日現在：22名(女性会員2名)			
歴 代 会 長	1997 木須 哲夫 1998 豊福 仁 1999 村田 晃啓 2000 坂本 彰 2001 高橋 俊一 2002 五十嵐 勤 2003 原口 伸一 2004 有田 京史 2005 嘉屋 輝夫 2006 福士 恭次 2007 石黒 光男 2008 伊藤 豊 2009 清水 昭子 2010 梅田 鉄夫 2011 高橋 雅行 2012 瀬川 俊男 2013 村上 寛 2014 田中 由彦		
結 成 し た 新 ク ラ ブ			
ローターアクトクラブ		インターアクトクラブ	
		姉妹クラブ/友好クラブ	
		姉妹クラブ：相模原東ロータリークラブ	
クラブ事務所	札幌市厚別区厚別中央2条5丁目4-35 新札幌駅前ハイイツ202号 HP： TEL：011-801-1311 FAX：011-801-1312 Email：shin-s-rc@ec5.technowave.ne.jp		

クラブの沿革と特徴

新札幌ロータリークラブは、1984年6月21日に札幌東ロータリークラブをスポンサークラブとして、白石区のホテル新札幌を例会場として創立しました。例会場はその後、シェラトンホテル札幌に移り、ホテルのリブランドにより、現在のホテルエミシア札幌になっています。

創立時のチャーターメンバーは28名で、宇佐美定男初代会長、飯塚弘志初代幹事でのスタートです。

会員数は、1995-1996年度のピーク時には、66名居りましたが、現在では23名となっています。

2014年6月には創立30周年の記念式典も無事終了して、少人数ながらも、会員相互が和気藹々と仲良くロータリーのさまざまな活動に取り組んでいます。

奉仕の実績

創立15周年記念事業で、上磯、七飯両クラブと合同でタイのノンカイ県に消防自動車を寄贈、25周年記念事業では、厚別区青少年科学館公園内に栃ノ木を植樹しました。30周年記念事業では、厚別区内のサイクリングロードに自転車と歩行者の接触事故を防ぐために安全を呼びかける看板の設置をしました。

毎年、厚別川清掃事業に参加しています。白石区土木センター駐車場と横を流れる望月寒川で実施される白石区にぎわい川まつりでは、飲料の販売協力を実施しています。

新札幌ロータリークラブは、新世代奉仕に古くから取り組み、多くの青少年交換留学生や米山奨学生、財団学友のホストをしています。

RI第2510地区 第6グループ	岩内ロータリークラブ	設立年月日 RI承認月日	1962年(昭和37)4月10日 1962年(昭和37)4月24日
例 会 場		例 会 日 時	
日本海 岩内郡岩内町字万代17番地の5 ☎0135-62-1232		木曜日 12時30分	
創立時ガバナー	スポンサークラブ	特別代表	
両角 克治	小樽ロータリークラブ	杉山 猛	
会員数 創立時：24名、2014年7月1日現在：18名(女性会員1名)			
歴 代 会 長	1997 伊藤 正敏 1998 武田 浩史 1999 小杉高一郎 2000 池田 清美 2001 木下 正義 2002 大橋 由政		
	2003 佐藤 泰視 2004 小川 進 2005 斎藤 徹 2006 野澤 幸平 2007 井戸 幸夫 2008 永井 明		
	2009 井戸 幸夫 2010 吉田 栄治 2011 前田 稔 2012 木下 正義 2013 東山 洋徹 2014 池田 清美		
結 成 し た 新 ク ラ ブ			
倶知安RC(S39.12.3)			
ローターアクトクラブ		インターアクトクラブ	
		姉妹クラブ/友好クラブ	
		姉妹クラブ：直江津ロータリークラブ 友好クラブ：RI3840地区 台北北新ロータリークラブ	
クラブ事務所	岩内郡岩内町字高台121-3 吉田会計情報センター内 HP： TEL：0135-62-3355 FAX：0135-62-2544 Email：		

クラブの沿革と特徴

岩内ロータリークラブ設立については色々の経過があり、それぞれの人脈と日時を要した。洞爺丸台風により延焼を重ね市街地の8割が烏有に帰した岩内大火によって、熱しつつあった気運が沈静化し数年を経て、各界有志の協力と、小樽RC杉江特別代表の御指導やキーメンバーの努力によって、道内では40番目クラブとして発足をした。チャーター伝達式は、そのロータリークラブにとっては何といても創立当初の盛儀である。参加ロータリークラブは22クラブと多数を数え、ロータリアンも160名、遠く稚内や根室、網走などから参加された。

ハワイアンムードの盛大な懇親会が、岩内クラブにとっては印象的なチャーター伝達式として、いつまでも記憶に残ってゆくであろう。「共に集いて、半世紀」、2012年5月19日、創立50周年記念式典を姉妹クラブ、直江津ロータリークラブ、友好クラブ、国際ロータリー3840地区台北北新ロータリークラブを迎え、大勢のロータリアン、さらに創成期から岩内クラブの発展に尽力された元会員で健在の方共々祝福のうちに、更なる経過点としての記念すべき式典を終えることができました。

奉仕の実績

1、1991～1992年度

木田金次郎記念美術館へ木田画伯の胸像と年譜レリーの寄贈。

2、1996～1997年度

岩内地方文化センター図書室へ書架一基、図書一式を寄贈。

3、2001～2002年度

社会福祉法人北海道社会事業協会、岩内協会病院新築移転に伴う、屋外自立ポール型太陽ソーラー時計の寄贈。

4、2012～2013年度

国際ロータリー第2510地区の震災復興支援事業に対して「創立50周年記念特別支援金」の贈呈。岩内所在の小学校（8校）に対して児童文学文庫本を贈呈。

5、○「スリランカの橋」建設の助成金、贈呈。

スリランカ・ミドシティRCに対し、ポリオ障害者用の車椅子5台およびバドミントンセット、サッカーボールの寄贈。

○国際ロータリー第2510地区パストガバナー丸山淳士氏を招き、文化講演会の開催。

○小樽商科大学留学生へ図書カード贈呈。1999年度～15年間継続

○岩内町障害児の卒業式に記念品を贈る。1990年度～25年間継続

○岩内町特殊教育振興会の活動に協力。1995年度～19年間継続

○岩内寿都地方消防組合消防署救助隊へ救急服の贈呈。

RI第2510地区 第6グループ	倶知安ロータリークラブ		設立年月日 RI承認月日	1964年(昭和39)12月3日 1965年(昭和40)1月9日		
例 会 場			例 会 日 時			
ホテル第一会館 虻田郡倶知安町南3条西2丁目 ☎0136-22-1158			水曜日 12時15分			
創立時ガバナー	スポンサークラブ		特 別 代 表			
寿原 九郎	岩内ロータリークラブ		本間 哲衛			
会員数 創立時：25名、2014年7月1日現在：41名(女性会員5名)						
歴 代 会 長	1997 中井 直樹	1998 旭 克久	1999 井内 武利	2000 柴田 洋一	2001 名畑 秀樹	2002 西勝 照平
	2003 鈴木 保昭	2004 尾形 智磨	2005 滝口 直久	2006 高橋 秀樹	2007 榊引 英雄	2008 斎藤 知之
	2009 長谷 一	2010 吉田 聡	2011 岡本 晃治	2012 古谷 眞司	2013 門田美智恵	2014 石本 要
結 成 し た 新 ク ラ ブ						
蘭越RC(S43.4.22)						
ローターアクトクラブ		インターアクトクラブ		姉妹クラブ/友好クラブ		
クラブ事務所 虻田郡倶知安町南3条西2丁目 ホテル第一会館内 HP: http://www.kutchan-rc.com TEL: 0136-22-1158 FAX: 0136-23-2258 Email: http://kutchan-rc.com/mail1.htm						

クラブの沿革と特徴

○沿革

今や世界各国の富裕層が訪れる国際マウンテンリゾートとなった羊蹄山とニセコの手々に代表される倶知安町にロータリーづくりが芽生えたのは1964年3月のことである。

当時岩内RCの本間哲衛氏が寿原九郎ガバナーの特別代表として倶知安町に入り、氏家忠良(創立会長)氏等有志数名に働きかけクラブづくりに取り組み、同年12月3日会員25名をもって設立総会を開催。翌年1965年1月9日RI加盟認証、同年6月18日に認証伝達式が挙行された。

以来、多くのロータリアンの地道な活動と熱い想いに支えられ、今年度(2014-2015年度)会員41名を擁して、創立50周年を迎えるに至った。

○特徴

近年の倶知安RCは地域の青少年育成に力を入れている。

町内に有する二つの高等学校において、大学生との交流を通じて生徒の意欲を引き出す「カタリバ」事業や、RC会員のキャリアを活かした出前授業等を提供し、地域の明日を創る一助たらんと活動している。

奉仕の実績

創立以来、会員相互の親睦と友情を基調として高い奉仕の理想を掲げ、地域に根ざした奉仕活動の推進に努めてきた。その概要は以下の通り。

- 社会奉仕～地域の特老養護施設への介護用資器材の寄贈、清掃奉仕・慰問活動。各種募金活動への参加、チャリティーバザーの実施。ニセコ山系の清掃活動への参加。町内公園への植樹事業の実施等。
- 職業奉仕～会員間の企業訪問活動。高校への出前授業の実施等。
- 国際奉仕～タイ国RCとの協力による発展途上地域支援事業への参加等。
- 青少年奉仕～高校への「カタリバ」事業の提供。各種スポーツ大会、書画展等に表彰ならびに記念品贈呈を通じた青少年健全育成事業の振興。地域のジュニアジャズバンドに対する助成等。

RI第2510地区 第6グループ	小樽ロータリークラブ		設立年月日 RI承認月日 RI再承認年月日	1933年(昭和8)12月12日 1934年(昭和9)2月26日 1949年(昭和24)9月16日		
例 会 場			例 会 日 時			
グランドパーク小樽 小樽市築港11番3号 ☎0134-21-3111			火曜日 12時30分			
創立時ガバナー	スポンサークラブ		特別代表			
井坂 孝	札幌ロータリークラブ		村田 省蔵			
会員数 創立時：30名、2014年7月1日現在：74名(女性会員0名)						
歴 代 会 長	1997 宮本 成雄	1998 北川 暁一	1999 本田 壮稜	2000 野口 英機	2001 高田 義人	2002 丹呉 幹彦
	2003 河辺 由清	2004 熊澤 隆樹	2005 吉村 克之	2006 三山 雄弘	2007 西條 文雪	2008 谷内 馨一
	2009 清水 雅章	2010 鮎谷 佳一	2011 金久保兵士郎	2012 笠間 茂	2013 杉江俊太郎	2014 坂田 道昭
結 成 し た 新 ク ラ ブ						
旭川RC(S9.10.26) 函館RC(S9.10.25) 小樽南RC(S35.2.5) 余市RC(S36.4.29) 岩内RC(S37.4.10)						
ローターアクトクラブ		インターアクトクラブ		姉妹クラブ/友好クラブ		
クラブ事務所	小樽市築港11番3号	グランドパーク小樽内	HP: http://www.otaru-rotary.net			
	TEL: 0134-21-3111	FAX: 0134-21-3401	Email:			

クラブの沿革と特徴

1933年(昭和8年)12月12日、全国13番目(現国内10番目)のクラブとして創立された。

1940年(昭和15年)日満ロータリー連合本部の指示に基づきクラブ解散を決議、国際ロータリーの組織より脱退する。1941年(昭和16年)小樽火曜倶楽部の名で新組織を発足する。当時の会員数は45名、戦時中は苦勞しながらも例会を続行していた。

1949年(昭和24年)9月、第408例会をもって小樽火曜倶楽部を解散、小樽ロータリークラブとして再発足し、国際ロータリーへ同じ登録番号3695番で復帰を果たした。当時会員数は29名であった。

2014年7月末までの通算例会数は3,924回を数える。現在までに6名のガバナーが選出されている。坂牛直太郎、寿原九郎、青木一雄、山賀勇、野口信夫、そして2011-12年度の熊澤隆樹である。

このように、あの不幸な大戦中にあっても、ロータリー精神を守り続けた偉大な先輩がおられた歴史と伝統のあるクラブである。

奉仕の実績

小樽クラブは創立から81年もの長い歴史をもっているため、その間、多種多様な奉仕活動を行ってきた。まず、スポンサークラブとして旭川、函館、小樽南、余市及び岩内の各クラブ創立のサポートを行ってきた。

また、小樽市花園公園には「ロータリーの杜」を造成し、何十年にもわたり現在まで1,700本以上の植樹を行ってきたほか、その前庭に小公園をつくり、この事業を完了させている。

さらに、手宮緑化植物園、朝里ダム周辺公園、朝里川の植樹や、小樽運河には他クラブと合同で水飲み場「ふれあいの泉」を寄贈、フィリピンへは車いすや消防車を贈っている。

2011年からは東日本大震災への支援事業を継続的に実施しており、特に山田RCへは震災から連続訪問、被災幼稚園に浄水器を寄贈するなど、被災地のニーズに沿った支援を行っている。3H運動やポリオプラスにも積極的に関与し、ポールハリスフェロー、マルチプルポールハリスフェロー、米山功労者にも多数輩出している。中国人大学生等の米山奨学生の受入れも活発に行っている。

RI第2510地区 第6グループ	小樽南ロータリークラブ		設立年月日 RI承認月日	1960年(昭和35)2月5日 1960年(昭和35)2月12日		
例 会 場			例 会 日 時			
ニュー三幸 小樽市稲穂1丁目3-6 ☎0134-33-3500			金曜日 12時30分			
創立時ガバナー	スポンサークラブ		特 別 代 表			
真崎 建夫	小樽ロータリークラブ		寿原 九郎			
会員数 創立時：22名、2014年7月1日現在：75名(女性会員2名)						
歴 代 会 長	1997 鳥井 健次	1998 佐藤甚兵衛	1999 佐藤 公亮	2000 見延庄三郎	2001 山谷 隆平	2002 相馬 哲也
	2003 大黒屋宏章	2004 成瀬 桜男	2005 新倉 吉晴	2006 浅原 健藏	2007 廣瀬 保男	2008 福島 正紘
	2009 斎田 義孝	2010 北野 明宣	2011 荒田 一正	2012 岡崎 芳明	2013 吹越 範義	2014 加藤 正幸
結 成 し た 新 ク ラ ブ						
小樽銭函RC(S50.9.18)						
ローターアクトクラブ		インターアクトクラブ		姉妹クラブ/友好クラブ		
				姉妹クラブ：酒田ロータリークラブ 友好クラブ：横浜中ロータリークラブ		
クラブ事務所	小樽市稲穂1丁目3-6 ニュー三幸内 HP：http://rid2510.org/otarusouth TEL：0134-33-3500 FAX：0134-32-5670 Email：					

クラブの沿革と特徴

1960年2月、小樽ロータリークラブの指導のもとに設立された。当時の会員数は22名。現在は75名もの会員をかかえる。

例会場は明治初年に開設された歴史ある料亭・海陽亭から始まり、その後、幾回も会場移転を余儀なくされたが、現在は、レストランの「ニュー三幸」である。その会場で、例年通り、和気藹々とした例会及び年末家族懇親会等が行われている。

小樽は幾度も経済的危機に遭遇してきたが、その都度、官民一体となって乗り越えてきた。そのことは今後も繰り返されると思うが、当クラブほか、小樽RC、銭函RCのメンバーは小樽経済の中核を担うメンバーであり、RC活動の一環である地域の活性化に今後とも邁進できると考える。小樽南RCはその一翼として、下記に述べている「奉仕」の具体的な実践を通して、地域に貢献しようとする意志はクラブメンバー共通の意志でもある。今後とも、そのように培ってきたクラブの伝統を維持・発展させたいと思っている。

奉仕の実績

青少年奉仕委員会及び国際奉仕委員会を中心に、職業奉仕・社会奉仕委員会が協力する体制で、

- 1 小樽市におけるブックスタート事業への協力と後援。
- 2 「小樽こどものポエムコンクール」への協力と後援。
- 3 「小樽音読カップ」への人的協力。
- 4 国際奉仕委員会を中心となり「小樽青少年国際交流会議」の開催。
- 5 その他

上記にあるように、これからの未来を担う青少年の健全な育成を目的とした事業への協力・後援を通じた奉仕活動を継続している。

RI第2510地区 第6グループ	小樽銭函ロータリークラブ		設立年月日 RI承認月日	1975年(昭和50)9月18日 1975年(昭和50)10月21日		
例 会 場			例 会 日 時			
和風レストラン銭函大山 小樽市銭函3丁目4 ☎0134-62-4274			水曜日 12時30分			
創立時ガバナー	スポンサークラブ		特 別 代 表			
青木 一雄	小樽南ロータリークラブ		太田 秀夫			
会員数 創立時：23名、2014年7月1日現在：20名(女性会員2名)						
歴 代 会 長	1997 河崎 義章	1998 阿部 益一	1999 多田 武夫	2000 藤川 正二	2001 河崎 義章	2002 長尾 繁範
	2003 藤田 政昭	2004 江刺家俊輔	2005 石岡 信之	2006 片見 玲子	2007 嶋谷 公幸	2008 櫻場 義春
	2009 松倉 正弘	2010 樹井 齊	2011 濱田 洋幸	2012 千葉 悦子	2013 藤川 正二	2014 笈川 長生
結 成 し た 新 ク ラ ブ						
ローターアクトクラブ		インターアクトクラブ		姉妹クラブ/友好クラブ		
クラブ事務所	小樽市銭函3丁目298番地 医療法人ひまわり会札幌病院内			HP :		
	TEL : 0134-62-4676 FAX : 0134-62-4676			Email :		

クラブの沿革と特徴

1975年9月18日第351地区ガバナー青木一雄氏、並びに小樽南RC会員特別代表太田秀夫氏、分区代理角江哲雄のご尽力により、小樽シーサイドホテルに於いて、小樽銭函(仮)RCの創立総会を行う。同年10月21日付でRIより正式加盟承認の通知があり、小樽銭函市民センターに於いて認証状伝達式を行う。発足当時の会員数は23名であった。発足時の例会場であった小樽シーサイドホテルが閉店となり、その後例会場を「助六にしん場店」の2階大広間に移し、2007年(H19年)7月からは、例会場を「和風レストラン銭函大山」へ移動し、現在に至っている。

2014年7月現在の会員数は20名である。少人数のため会員間の意志の疎通を語りやすい反面、一人の会員が何役もこなさなければならず忙しさもまた格別である。

創立40周年を控え、会員数を一人でも増やそうというのが会員の総意である。本年で第31回を迎えた少年野球大会などを主な奉仕活動として行っている。

奉仕の実績

銭函RCの奉仕活動は、地元重視としている。少年野球大会、植樹、銭函町民運動会、銭函文化団体協議会への協賛等がある。中でも少年野球大会は今年で31回目となり、毎年10月中旬の体育の日に実施している。東小樽、朝里、銭函、隣接の札幌市手稲区星置地区のチームが参加し、8~9チームで2日間の日程で行う。両日共に父母らの応援を受け白熱したプレーが繰り広げられる。又、6年生が出場できる最後の大会として大好評である。植樹事業については、銭函地区の心身障害者施設「松泉学園」や小学校、中学校の他、本年からは幼稚園に通学路や校庭に桜の木を毎年1校毎に植樹している。

町民運動会及び文化団体については協賛、賞品等の寄贈を行っている。

他には国道5号沿いに交通安全看板、銭函市民センターの緞帳巻き上げ機、銭函公園、銭函小学校にベンチ各2脚、銭函地区の小、中学校4校に図書の寄贈等がある。

RI第2510地区 第6グループ	蘭越ロータリークラブ		設立年月日 RI承認月日	1968年(昭和43)4月22日 1968年(昭和43)6月3日		
例 会 場			例 会 日 時			
ふれあいプラザ21 磯谷郡蘭越町蘭越町8番地2 ☎0136-57-5437			月曜日 12時15分			
創立時ガバナー	スポンサークラブ		特 別 代 表			
伊藤 義郎	倶知安ロータリークラブ		佐藤 定夫			
会員数 創立時：25名、2014年7月1日現在：11名(女性会員0名)						
歴 代 会 長	1997 堀川強太郎	1998 佐藤 義久	1999 本間 義明	2000 新見 健	2001 白石 勇	2002 高橋 一郎
	2003 佐藤 義久	2004 金子 一憲	2005 新見 健	2006 堀川強太郎	2007 白石 勇	2008 本間 義明
	2009 志比川 武	2010 佐藤 義久	2011 金子 一憲	2012 新見 健	2013 堀川強太郎	2014 白石 勇
結 成 し た 新 ク ラ ブ						
ローターアクトクラブ		インターアクトクラブ		姉妹クラブ/友好クラブ		
クラブ事務所	磯谷郡蘭越町蘭越町8番地2 ふれあいプラザ21内 HP： TEL：0136-57-5437 FAX：0136-57-5576 Email：					

クラブの沿革と特徴

1968年創立の我クラブは創立45年を迎え、羊蹄山やニセコ連山の麓、清流日本一の尻別川に沿って田園の広がる温泉とお米の町蘭越の会員11名の小さなクラブです。

会員数は少ないクラブですが、活動は全員であたります。家族も含めた夜間例会などで懇親を深め明るいクラブです。出席率は非常に良く、出席100%をたびたび達成しています。

クラブの最大の目標は会員増強です。全会員が増強委員となって会員増強に努めています。

風光明媚な蘭越のすばらしい環境の地で蘭越ロータリークラブは今後も奉仕の精神を忘れずに地域の皆様に喜んでいただける活動を続けてまいります。

奉仕の実績

町内の福祉施設養護老人ホーム一灯園への慰問活動を行い入居されているお年寄りとのふれあいを深め一緒に歌やゲームで楽しんだり、クリスマスには養護施設北海愛星学園にサンタクロースの衣装で大きな袋いっぱいプレゼントを子供たちへ一人ひとり手渡ししてクリスマス会を盛り上げています。また、地域への新世代奉仕の一環として、少年少女カルタ大会へ寄付を行いました、会員自ら参加して日本古来の伝統で、特に北海道独自の百人一首、下の句カルタの伝承のためにカルタ大会の運営に協力し子どもたちと一緒に楽しんでます。

また、会員の70%がポール・ハリスフェローで奉仕の念熱く積極的なクラブです。

RI第2510地区 第6グループ	余市ロータリークラブ		設立年月日 RI承認月日	1961年(昭和36)4月29日 1961年(昭和36)5月18日		
例 会 場			例 会 日 時			
北海信用金庫本店 地下会議室 余市郡余市町黒川町4丁目5番地 ☎0135-22-2121			水曜日 12時30分			
創立時ガバナー	スポンサークラブ		特 別 代 表			
坂牛直太郎	小樽ロータリークラブ		寿原 九郎			
会員数 創立時：23名、2014年7月1日現在：45名(女性会員4名)						
歴 代 会 長	1997 森 義彦	1998 吉田 克英	1999 谷川 淑郎	2000 斉藤 宗利	2001 佐々木忠男	2002 安田 亘
	2003 木村 信一	2004 目黒 幸隆	2005 高橋 哲雄	2006 山本 繁樹	2007 清水 義信	2008 本多 宏行
	2009 川向 基紀	2010 板倉 俊久	2011 中井 克雄	2012 吉原 伸	2013 本間 克朗	2014 高見 祐司
結 成 し た 新 ク ラ ブ						
ローターアクトクラブ		インターアクトクラブ		姉妹クラブ/友好クラブ		
				姉妹クラブ：会津若松城南ロータリークラブ 友好クラブ：岡崎城南ロータリークラブ		
クラブ事務所	余市郡余市町黒川町4丁目93番地 (株)毛利印刷内 HP：http://www5.ocn.ne.jp/~yoichi-r/ TEL：0135-21-4171 FAX：0135-21-4172 Email：					

クラブの沿革と特徴

1961年小樽ロータリークラブのスポンサーをいただき4月29日に荒木長之助初代会長をはじめとする23名の会員を持って創立され、同年5月18日にRI加盟承認がなされました。当クラブは「親睦と奉仕」を目的として会員相互の親睦と友和を図りながら奉仕の理想のもとに着実に地域社会に奉仕の輪を広げてきました。

ロータリー活動はこれからも未来永劫に続くものであり、更に会員同士の仲間意識を高め、人間社会の幸せを願い、人類の平和を求めていくものであります。

現在、会員45名中、女性会員が4名(2014年7月1日現在)在籍しており、幅広い年代層の中、若い会員も多く、豊かな経験と若いパワーを兼ね備えた組織力のあるクラブという特徴を生かし、これからも青少年育成や地域との交流を図っていきます。

奉仕の実績

長期にわたる社会奉仕事業として、1983年より余市ロータリー杯学童水泳大会を主催し、北後志管内の未就学児童及び小中学生の参加による水泳大会を開催しています。

2001年より余市町全日本ジュニアサマーキャンプ大会を後援し、余市町ジャンプ台竹鶴シャンツェにおいて、全国から集まった小中学生が熱戦を繰り広げています。

また、2000年より障害者就労継続授産施設NPO余市はまなす(旧はまなす学園)の園生を招待し、園生との昼食を兼ね、当クラブ所有のリンゴの収穫と収穫したリンゴの寄贈を行っています。

2011年より町内学童の読書感想文コンクールや俳句の集いの後援を行っております。

これらの事業を通じて、当クラブでは青少年育成や地域との交流を図っております。

RI第2510地区 第7グループ	千歳ロータリークラブ		設立年月日 RI承認月日	1968年(昭和43)4月26日 1968年(昭和43)6月20日		
例 会 場			例 会 日 時			
ANAクラウンプラザホテル千歳 千歳市北栄2丁目2-1 ☎0123-23-4470			木曜日 12時30分			
創立時ガバナー	スポンサークラブ		特 別 代 表			
島本 融	札幌ロータリークラブ		秋山康之進			
会員数 創立時：23名、2014年7月1日現在：52名(女性会員4名)						
歴 代 会 長	1997 藤谷 信弘	1998 大沼 三郎	1999 中村 堅次	2000 上井 昭一	2001 横田 義弘	2002 村松 克重
	2003 佐々木 昭	2004 服部 隆志	2005 中山 和朗	2006 五十嵐 宏	2007 福田 武男	2008 末廣 孝
	2009 岩崎 暉久	2010 佐々木金治郎	2011 今村 静男	2012 村田 研一	2013 川端 清	2014 藤本 敏廣
結 成 し た 新 ク ラ ブ						
千歳セントラルRC(H2.11.19)						
ローターアクトクラブ		インターアクトクラブ		姉妹クラブ/友好クラブ		
千歳ローターアクトクラブ		友好クラブ：神戸南ロータリークラブ				
クラブ事務所	千歳市北栄2丁目2-1 ANAクラウンプラザホテル千歳内 HP：http://www.chitose-rc.jp TEL：0123-23-4470 FAX：0123-23-4600 Email：mail@chitose-rc.jp					

クラブの沿革と特徴

1968年4月26日に札幌RCをスポンサークラブとして地区内32番目のクラブとして発足しました。当時のチャーターメンバーは23名、100名以上の会員数を数えた時期もありましたが現在は57名の会員で運営しております。1988年には千歳ローターアクトクラブ、1990年には千歳セントラルRCを2008年には千歳プロバスクラブをそれぞれ創立しました。クラブ創立後25年目にして初めての女性会員が入会し現在は5名、例会場も当初の「西洋軒」から現在の「ANAクラウンプラザホテル千歳」に1997年に移動しております。また、2003年には佐藤秀雄会員を当クラブとして初めて地区ガバナーに輩出、同時に初めての地区大会も同年度に開催しました。第7グループでは最も会員数の多いクラブとして会長を中心に一致団結し地域福祉の向上、商業経済活動の発展を目指し間もなく訪れる創立50周年を大きな目標に日々奉仕活動を行っております。

奉仕の実績

当クラブの特徴的な奉仕としては創立25周年事業の「ロータリーの森林(分収造林)」があげられます。この事業は創立25周年事業として北海道森林管理局から80年契約でお借りした2,811haに赤エゾ松7,300本を植栽し、将来はその収益金の9割を地域福祉の為に役立てる計画です。現在の会員はその姿を見る事は出来ないかもしれませんが、未来に残したいクラブの誇りとして全会員が毎年2回の保全作業に参加しています。過去に行った主な奉仕活動は周年事業として記念植樹や基金の創設、市内各所に様々な公益的物品を寄贈しております。その他、計8件の青少年交換留学の実施およびGSEなどの受入れ、青少年を対象にした各種事業の展開、姉妹クラブ交流(神戸南RC)などが有り会員はロータリー精神を学びながら地域社会であらゆる奉仕を実践しています。

RI第2510地区 第7グループ	千歳セントラルロータリークラブ		設立年月日 RI承認月日	1990年(平成2)11月19日 1990年(平成2)12月12日		
例 会 場			例 会 日 時			
ホテルグランテラス千歳 千歳市本町4丁目4 ☎0123-22-1121			火曜日 12時30分 (第1、第3例会 18時30分)			
創立時ガバナー	スポンサークラブ		特 別 代 表			
白石 欽一	千歳ロータリークラブ		村上 正治			
会員数 創立時：38名、2014年7月1日現在：33名(女性会員3名)						
歴 代 会 長	1997 羽芝 涼一	1998 多賀 勲	1999 坂井 治	2000 松坂 敏之	2001 佐々木俊英	2002 田口 廣
	2003 大野 馮	2004 故)汲田 信夫	2005 須藤 丈	2006 齊藤 博司	2007 入口 博美	2008 井上 英幸
	2009 高塚 信和	2010 坂井 治	2011 羽生 有三	2012 彦坂 忠人	2013 武田 伸也	2014 白木 松敏
結 成 し た 新 ク ラ ブ						
ローターアクトクラブ		インターアクトクラブ		姉妹クラブ/友好クラブ		
千歳ローターアクトクラブ				友好クラブ：第2620地区 長泉ロータリークラブ		
クラブ事務所	千歳市本町4丁目4-4 ホテルグランテラス千歳1階 HP：http://www.ccrj.jp TEL：0123-26-5788 FAX：0123-26-5788 Email：membership-office@ccrc.jp					

クラブの沿革と特徴

38名で創立した当初45歳という平均年齢を誇っていましたが、22年目には56.8歳まで上昇しましたが比較的若い会員も多く活気ある活動をしています。チャーターメンバーは現在8名になりました。2003-2004年にスポンサークラブの千歳ロータリークラブから佐藤ガバナーが輩出された時に当クラブからも2名が地区幹事としてお手伝いをさせていただいたのをきっかけに地区への委員長や委員も多く輩出できるようになり地区内外でも活動の場を広げてきました。しかし少ない会員数のため一時後進の育成が遅れクラブ役員人事に難航することもありました。2006年にはいち早くCLPを導入しクラブ運営に生かしています。2010年から積極的に人材育成を推進し、新しいメンバーの育成が進んでいます。設立当初からかかわってきている米山梅吉記念館の縁で交流が深まり、友好クラブとなった長泉ロータリークラブとの交流は現在も続いています。また2007年から当年まで「RI会長賞」を6年連続して受賞するなどRI方針にものつとった活動を展開しています。

奉仕の実績

- ◎クラブとして初の事業「障がい者とボランティアのパークゴルフの集い」を開催
1999年から3年間継続
- ◎スリランカへ中古ベッドを送る事業
- ◎GSE派遣団受け入れ◎地区協議会ホスト
- ◎長泉RCと共同でWCS事業としてタイ、コンケン少年の家に人道的援助を実施
- ◎「わがまち千歳再発見！まちフォトコンテスト」実施
- ◎WCSプログラム「タイチェンマイ・ウォータープロジェクト」支援参加 以後毎年継続
- ◎ロータリーイメージ向上のため千歳駅に『カラーコルトン』寄贈
- ◎G8サミット併催事業J8サミット2008に協力し独自事業としてアイドリングストップ運動を展開
- ◎市民共働事業「千歳ご当地グルメ」実施
- ◎青少年交換プログラム フィンランドからの交換学生の受け入れ
- ◎新千歳空港国際線ターミナル出発、到着ロビーに募金箱設置。青少年育成などに役立てる
- ◎東日本大震災復興支援事業「絆で結ぶあったか♡千歳」を実施
- ◎東日本大震災の記憶を次世代に繋ぐ「宮城県岩沼市“千年希望の丘”体験ツアーを実施

RI第2510地区 第7グループ	恵庭ロータリークラブ		設立年月日 RI承認月日	1970年(昭和45)3月24日 1970年(昭和45)4月6日		
例 会 場			例 会 日 時			
弘中税理士事務所 2階 恵庭市住吉町2丁目3-21 ☎0123-32-2388			水曜日 12時30分 第4水曜日 18時30分			
創立時ガバナー	スポンサークラブ		特 別 代 表			
秋山康之進	札幌南ロータリークラブ		田中 政士			
会員数創立時：23名、2014年7月1日現在：46名(女性会員3名)						
歴 代 会 長	1997 大川 健一	1998 柴田 弘道	1999 堤 由延	2000 久野 等	2001 眞野 尅巻	2002 早瀬 源一
	2003 清水 明	2004 三浦 孝治	2005 中里 邦治	2006 館内 辰男	2007 中川 富雄	2008 山澤 興治
	2009 村本 満男	2010 斉藤 茂生	2011 鈴木伊佐男	2012 宮内 光則	2013 水野 凡	2014 前田 利和
結 成 し た 新 ク ラ ブ						
長沼RC(H3.12.1) 由仁RC(H4.9.10)						
ローターアクトクラブ		インターアクトクラブ		姉妹クラブ/友好クラブ		
千歳・恵庭・千歳セントラル合同				姉妹クラブ:バーレイヘッズRC(オーストラリア) 友好クラブ:行橋RC(九州福岡市)		
クラブ事務所	恵庭市住吉町2丁目3-21 弘中税理士事務所 2階			HP: http://eniwa-rc.net		
	TEL: 0123-32-2388	FAX: 0123-32-6066	Email: eniwa-rotaryclub@way.ocn.ne.jp			

クラブの沿革と特徴

1970年(昭和45年)恵庭は人口33,600人で広大な土地に民家が散在し恵庭駅と恵み野駅と島松駅を中心とする3市街地からなる町であり他奉仕団体のクラブが既に活躍していた。当時は350地区秋山ガバナーが恵庭と広島の両町を一地域として新クラブ設立の為、スポンサークラブに札幌南RC、コ・スポンサークラブに千歳RC、特別代表に札幌南RCの田中政士が指名された。田中特別代表は椿原分区代理、キーメンバーの清水進氏、伊藤進氏、宮下総一郎氏の3メンバーと幾度かの会合と甚大なる努力の結果23名のチャーターメンバーによって目出度く同年3月に恵庭ロータリークラブが誕生した。創立以来45年が経過し恵庭市は恵み野地域の都市開発と共に人口が増大し現在68,780人、クラブ会員48名(7月31日現在)に増強した現状にある。奉仕活動としては、高校生を対象に国際青少年交換事業、中学生を対象に少年野球大会、小学生を対象に子供相撲大会、ローターアクト活動への参加協力など、クラブ独自の「歯車基金」を設立しその資金を「未来を担う青少年育成事業」の為に運用している。

奉仕の実績

1971～2014年 交換留学生 派遣：23名 受入：22名…継続中
1974～2010年 ロータリーの森～木の実園 植樹管理…休止

1984～1997年 2高校4名に奨学金支援…中止
1985～2014年 恵庭ロータリー旗争奪少年野球大会開催…継続中
1990～ オーストラリア・バーレイヘッズRCと姉妹提携…継続中
1991年度 長沼ロータリークラブ設立
1992～1998年 恵庭ローターアクトクラブ設立…後休会
1992年度 由仁ロータリークラブ設立
1995～2014年 恵庭ロータリークラブ歯車基金設立…継続中
1995～2014年 子供相撲大会の実施…継続中
1997～2014年 日赤献血車による『献血事業』の実施…継続中
1998～2014年 サッポロビール内「おんこ祭」出店…継続中
2004～2014年 千歳・恵庭・千歳セントラル合同ローターアクト実施…継続中
2007～2014年 行橋ロータリークラブと友好クラブ提携…継続中
2012～2014年 「桜の森」植樹祭の実施
2012年11月 東日本震災支援プロジェクト被災町内会施設への備品支援(宮城県・名取ロータリークラブ協力)

RI第2510地区 第7グループ	北広島ロータリークラブ	設立年月日 RI承認月日	1980年(昭和55)4月10日 1980年(昭和55)5月12日			
例 会 場		例 会 日 時				
北広島クラッセホテル 北広島市中の沢316-1 ☎011-373-3800		火曜日 12時15分				
創立時ガバナー	スポンサークラブ	特 別 代 表				
小川 忠一	札幌幌南ロータリークラブ	登坂 三夫				
会員数 創立時：22名、2014年7月1日現在：17名(女性会員1名)						
歴 代 会 長	1997 宮崎 眞	1998 菊池 重敏	1999 加々見盛幸	2000 馬場 信吾	2001 大谷 恵一	2002 真木 孝男
	2003 竹内 賢	2004 斎藤 洌	2005 鈴木 政夫	2006 菊池 重敏	2007 馬場 信吾	2008 瀬川 五水
	2009 真木 孝男	2010 大谷 恵一	2011 菊池 重敏	2012 石塚 正敏	2013 橘 功記	2014 小森 宏明
結 成 し た 新 ク ラ ブ						
ロータリーアクトクラブ		インターアクトクラブ		姉妹クラブ/友好クラブ		
クラブ事務所	北広島市広葉町5丁目6-8 HP: http://rid2510.org/northhiroshima/ TEL: 011-373-8892 FAX: 011-373-8892 Email: krc0512@gmail.com					

クラブの沿革と特徴

当クラブは、1980年4月10日に札幌幌南RCをスポンサークラブとし、チャーターメンバー22名で発足。その後、30名まで増員しましたが、市人口の増加に相反し、現在では17名に減少してしまいました。しかし、自由でのびのびと明るく親愛溢れる雰囲気のあるクラブです。ミニクラブながら積極的に奉仕活動を行い、5回分区代理、ガバナー補佐を引き受け、1990年には10周年、2005年には25周年記念式典を行いました。

近隣クラブとは合同例会、親睦ゴルフコンペを開催し親交を深めております。今後は地域と共に活動し、新しい世代とも共鳴できる。また、幅広い国際活動を目標にして参りたいと考えております。

奉仕の実績

社会奉仕

- ・駅前公園等の清掃、桜のメンテナンスを実施。
- ・青少年スポーツ育成の一環として野球大会、剣道大会、市の吹奏楽団への協力。
- ・特別養護老人施設への訪問、施設の子供たちを招きクリスマスパーティーの開催。
- ・創立25周年を記念し、コンサートを開催し、市の青少年を招く。
- ・市図書館へ本の寄贈。

国際奉仕

- ・6名の交換留学生の受け入れ、7名をカナダ、アメリカ、オーストラリアへの派遣。財団奨学生として、3名をアメリカ、イギリス、オーストラリアへ派遣。
- ・ブータンへの図書寄贈。

職業奉仕

- ・会員 市内の職場訪問、年2回実施。
- ・職業に関する会員卓話を数多く実施。

RI第2510地区 第7グループ	長沼ロータリークラブ		設立年月日 RI承認月日	1991年(平成3)12月1日 1992年(平成4)1月6日		
例 会 場			例 会 日 時			
KSインターナショナル 夕張郡長沼町旭町南1丁目1-2 ☎0123-88-0414			月曜日 19時00分			
創立時ガバナー	スポンサークラブ		特別代表			
佐藤 鉄彌	恵庭ロータリークラブ		宮下総一郎			
会員数 創立時：28名、2014年7月1日現在：19名(女性会員3名)						
歴 代 会 長	1997 青木 雄一	1998 清水 彰	1999 高木 繁秀	2000 天野 敦子	2001 西部 宣雄	2002 三輪 崇穂
	2003 清水 慧子	2004 池内 昌之	2005 森下 伸	2006 政角 勝雄	2007 佐々木信雄	2008 田嶋 俊美
	2009 望月 良典	2010 花輪 博一	2011 高橋 義博	2012 古川 大之	2013 青木 雄一	2014 清水 彰
結 成 し た 新 ク ラ ブ						
ローターアクトクラブ		インターアクトクラブ		姉妹クラブ/友好クラブ		
クラブ事務所	夕張郡長沼町旭町南1丁目1-2 KSインターナショナル2階			HP :		
	TEL : 0123-88-0801	FAX : 0123-88-0801	Email : naganuma-rc@snow.ocn.ne.jp			

クラブの沿革と特徴

恵庭ロータリークラブをスポンサーにし、創立時の佐藤鉄彌ガバナーはじめパストガバナー、宮沢正地区幹事、宮下総一郎特別代表、先輩ロータリアンの多くの皆様のお陰を持ちまして誕生したクラブであります。期せず、チャーターナイトのひと月後に元RI会長のヒュー・アーチャー氏ご夫妻のご来訪の栄を賜り、会員一同世界的なつながりに深い感動を抱かせていただきました。初代が女性会長であるということで、何かと話題性に富んだクラブです。「小さな長沼から世界に目を向け友愛の絆を」という初代会長のスローガンのもと、設立当初より交換留学生の受入れ・派遣事業を活発に行い、また外国の方々と子供を中心とした住民との交流をする為に「国際交流フェスティバル」も継続事業として続けております。以来23年目となり、今ではすっかり町の行事として定着しておりますし、参加していた子供達も成長し、高校生として社会人としてフェスティバルのボランティアとしてお手伝いをいただいております。良い循環が出来上がったと自負しております。平均年齢40歳代でスタートしたクラブも今や60歳代に近い平均年齢となりました。以前ほど機動力はなくなりましたが、気概だけはいまだに衰えておりません。これからもロータリー精神を原点に、地域に根ざした活動を続けていく所存です。宜しくご指導をお願いいたします。

奉仕の実績

20名程度のクラブで人的・金銭的に限界があります。無理のない、持続可能な事業を検討し、活動しております。交換留学生受入れ・派遣はアメリカ、オーストラリア、スウェーデン、スイスとの交換をしております。また、設立以来の継続事業であります国際交流フェスティバルは、ロータリー交換留学生、近隣町村の外国人英語教師、米山奨学生等の協力を得て、参加500余名の町の青少年並びに町民が交流の機会を通し、文化習慣の相互理解、世界理解と親善、世界平和を目指すロータリー活動の一端を一人でも多くの人に理解してもらおう様努力しております。この国際交流フェスティバルによってガバナー賞受賞の栄誉を賜っております。これまで全面的にバックアップしてくれた長沼町教育委員会、また惜しまず協力してくれた長沼高校、そしてロータリー関係各位の皆様は深く感謝致します。その他の継続奉仕活動としては、町立図書館に設置していただいておりますロータリー文庫への寄付金(毎年)、長沼高校の花壇用の花苗の寄贈(毎年)、長沼町スキー場祭りへの参加協力(毎年)等、地域社会のニーズに合った奉仕活動を続けております。

RI第2510地区 第7グループ	由仁ロータリークラブ		設立年月日 RI承認月日	1992年(平成4)9月10日 1992年(平成4)10月6日		
例 会 場			例 会 日 時			
由仁町民センター 夕張郡由仁町本町326 ☎0123-83-2304			木曜日 12時15分			
創立時ガバナー	スポンサークラブ		特 別 代 表			
北村 實	恵庭ロータリークラブ		山岸 貢			
会員数 創立時：25名、2014年7月1日現在：5名(女性会員0名)						
歴 代 会 長	1997 黒瀬 元博	1998 市川由紀男	1999 高山 宏道	2000 竹田 光雄	2001 河端 利男	2002 本間 好道
	2003 川合 俊雄	2004 吉田 弘幸	2005 後藤 篤人	2006 高山 宏道	2007 大坂 直人	2008 川合 俊雄
	2009 本間 好道	2010 後藤 篤人	2011 後藤 篤人	2012 本間 好道	2013 大坂 直人	2014 後藤 篤人
結 成 し た 新 ク ラ ブ						
ローターアクトクラブ		インターアクトクラブ		姉妹クラブ/友好クラブ		
クラブ事務所	夕張郡由仁町東栄78 (株)後藤組内 HP: https://ja-jp.facebook.com/pages/国際ロータリー第2510地区由仁ロータリークラブ TEL: 0123-83-2634 FAX: 0123-83-2564 Email:					

クラブの沿革と特徴

由仁町は道央圏の空知最南端に位置し、農業を基幹産業として明治10年代から開けた、静かな農村風景の街です。当クラブの創立は1992年に恵庭ロータリークラブをスポンサーとして結成しました。爾来、奉仕の実績を各方面に積み上げて参りました。しかし結成10年を過ぎてから例会の慢性化や会員の高年齢化に伴う退会、景気沈静化に伴い会員増強が思うようにならなかった事などから会員数が漸減しながらもロータリー活動に邁進しております。

奉仕の実績

10周年を機に桜を植樹し、管理・補植・増植を続けております。また、会員の土地を借り、ロータリー農園と銘打ち葡萄、栗などを育て行く行くは子供達に開放し葡萄、栗などの収穫祭をしようと計画いたしました。

町内にある老人施設を年の暮れに訪問し、臼や餅米を持ち込んで餅つき大会を開催いたしました。老人に大受けで昔取った杵柄で足元がふらつきながらも杵を取る男性や餅を丸めるご婦人が飛び入りで参加したりと、賑やかに開催いたしました。

少ない会員で交換留学生事業を実施しております。通算で5名の子供達を留学させこの経験が元で留学先の大学に入りのちに国際結婚した子や英会話が機で十勝管内の忠類村に嫁いだりと留学した経験が生きて多方面で活躍されている子供達に話を聞くと苦労した甲斐があったと思います。

RI第2510地区 第8グループ	えりもロータリークラブ		設立年月日 RI承認月日	1972年(昭和47)9月8日 1972年(昭和47)10月7日		
例 会 場			例 会 日 時			
日高信用金庫えりも支店 幌泉郡えりも町字本町170番地の1 ☎01466-2-2311			木曜日 12時15分			
創立時ガバナー		スポンサークラブ		特別代表		
塩谷 猛		様似ロータリークラブ		武岡 春雄		
会員数 創立時：24名、2014年7月1日現在：21名(女性会員1名)						
歴 代 会 長	1997 山内 重保	1998 砂原 勲	1999 吉田 遼	2000 櫛田 道保	2001 小林 強	2002 荒木 義廣
	2003 菅沼 敏昭	2004 新松 隆	2005 山内 重保	2006 牧野 康則	2007 西川 一郎	2008 荒木 義廣
	2009 菊地 竹勇	2010 山科 幸一	2011 砂原 勲	2012 柳 昌好	2013 田中 照彦	2014 佐藤 勝
結 成 し た 新 ク ラ ブ						
ローターアクトクラブ		インターアクトクラブ		姉妹クラブ/友好クラブ		
クラブ事務所	幌泉郡えりも町字本町170-1 日高信用金庫えりも支店内			HP :		
	TEL : 01466-2-2311 FAX : 01466-2-2314			Email :		

クラブの沿革と特徴

当クラブは、隣接町の様似ロータリークラブ武岡春雄氏の約1年間に亘る熱心な勧誘により、ようやく1972年9月8日設立総会、同年10月7日国際ロータリーより正式に認証状の伝達を受けた。

チャーターメンバーは24名であり、殆どのメンバーは自営業であった。

最大の奉仕は、会員の行動で、町民に共鳴を与えることだと考え実施してきました。

1972年には、大阪市との交流事業でウイリアム・R・ロビンズRI会長より「意義ある業績賞」を受賞いたしました。

最近、若手会員の入会と相まって「緑の森づくり」など、環境問題に積極的に取り組んでおります。

奉仕の実績

1974年 大阪市青年とえりも町青年の交流事業（ウイリアム・R・ロビンズRI会長より「意義ある業績賞」）新入学児童ヘランドセルカバー寄贈、現在も継続しております。

1975年 町を明るくする「あいさつ運動」を実施、現在も継続しております。

- ・春秋2回、町を美しくする清掃運動、

町民参加により現在も継続しております。

1982年 創立10周年を記念して、えりも町図書館へ文庫を寄贈いたしました。

1984年 えりも町へ石庭造園工事を行い、「庭園」を寄贈いたしました。

現在も庭園の清掃を行っております。

1986年 フィリピンへ救急車を寄贈しております。

1990年 優良勤労青少年を表彰しております。現在も継続しております。

1992年 創立20周年記念事業として、えりも町の特別養護老人ホーム建設基金として200万円を寄附しております。

1994年 えりも岬緑化事業「緑の森づくり」運動の植樹に参加しております。現在も継続しております。

2002年 青少年の健全育成のため、スポーツ少年団の野球大会を毎年、開催しております。現在も継続しております。

RI第2510地区 第8グループ	三石ロータリークラブ	設立年月日 RI承認月日	1970年(昭和45)11月18日 1970年(昭和45)12月3日
例 会 場		例 会 日 時	
みついしふれあいプラザ 日高郡新ひだか町三石本町59-1 ☎0146-33-2226		月曜日 12時30分	
創立時ガバナー	スポンサークラブ	特 別 代 表	
河野 通正	浦河ロータリークラブ	大針 光吉	
会員数 創立時：22名、2014年7月1日現在：15名(女性会員2名)			
歴 代 会 長	1997 木島 信行	1998 池田 實	1999 東城 薫
	2000 斎藤 順閑	2001 山田 博継	2002 出口 弘史
	2003 小島 安彦	2004 斎藤 順閑	2005 榎本 恵子
	2006 石垣 文雄	2007 山田 博継	2008 小島 安彦
	2009 出口 弘史	2010 志田 力	2011 八木 一洋
	2012 富永 信	2013 榎本 恵子	2014 志田 力
結 成 し た 新 ク ラ ブ			
静内RC (S46.6.28)			
ローターアクトクラブ		インターアクトクラブ	
		姉妹クラブ/友好クラブ	
クラブ事務所	有限会社 八木菓子舗内 日高郡新ひだか町三石本町35 HP： TEL：0146-33-2538 FAX：0146-32-3737 Email：		

クラブの沿革と特徴

1970年11月、元村長松浦作蔵氏の呼びかけでチャーターメンバーに近い人数が集合し、浦河RCの大針光吉氏のロータリーに関する説明を聞いた。早速RCを結成することで意見が一致し11月18日設立総会を開き松浦作蔵氏が会長に就任した。

しかし、三石RCのつまずきは直ちにやっってきた。12月11日に松浦会長が急死し、後を追うように次期会長と目された坂東信之氏の死亡、加えて新入会員の清水氏の急死、認証状伝達式を待たず会員の死に会員の意気は消沈し、退会者が相次いだが残された会員の結束は強く、チャーターナイト及び静内クラブの認証を機にやや持ち直した。

その後数度の危機を乗り越え、若手の新入会員の活躍もあり創立時の会員数に回復したが三石RC設立当時8,000名を超えていた町の人口は徐々に減少、2005年3月静内町と三石町が合併して「新ひだか町」が誕生した時点では5,000名を割り込み、2014年7月現在会員数も15名まで減少している。

当クラブの特徴は設立当時より現在に至るまで会員の結束が強く会長やガバナー補佐経験者が多いこともあり、国際奉仕に関しては2007年以来毎年2510地区の企画する行事に参

加している。

奉仕の実績

◎国際奉仕

フィリピンへ消防車寄贈・・・1984年
タイ・ノンカイ地区等でのダム建設、浄水器設置事業への協力・支援及び検証ツアーの参加・・・2007年度から毎年

◎スポーツ少年団への支援

野球、剣道、綱引き等の各少年団への支援、助成

◎植樹

公園、老人福祉施設、小学校通学路に植樹

◎図書館への図書購入費寄付

ロータリー文庫に図書購入費寄付は昭和49年から現在に至る

◎病院、老人福祉施設に車イス寄贈

◎病院、公園にベンチ設置

◎道路清掃活動

◎中学校吹奏楽部の演奏会開催

◎交通安全啓蒙活動への参加

◎花壇整備団体への協力支援

RI第2510地区 第8グループ	様似ロータリークラブ		設立年月日 RI承認月日	1968年(昭和43)7月26日 1968年(昭和43)9月10日		
例 会 場			例 会 日 時			
日高信用金庫様似支店 様似郡様似町大通2丁目 ☎0146-36-2341			火曜日 12時15分			
創立時ガバナー	スポンサークラブ		特 別 代 表			
島本 融	浦河ロータリークラブ		森 君一			
会員数 創立時：21名、2014年7月1日現在：24名(女性会員1名)						
歴 代 会 長	1997 宮野 俊美	1998 高木 茂一	1999 高木 茂一	2000 宮野 俊美	2001 小林 栄一	2002 坂本 好則
	2003 小野 哲弘	2004 橋坂 兼雄	2005 田中 正之	2006 島田 一省	2007 久野 俊昭	2008 小嶋 仁
	2009 中村 茂	2010 山本 康仁	2011 高村 洋子	2012 田中 正之	2013 久野 俊昭	2014 工藤 仁
結 成 し た 新 ク ラ ブ						
えりもRC (S47.9.8)						
ローターアクトクラブ		インターアクトクラブ		姉妹クラブ/友好クラブ		
				姉妹クラブ：韓国馬山第1ロータリークラブ 友好クラブ：えりもロータリークラブ		
クラブ事務所	様似郡様似町大通2丁目35-2 日高信用金庫様似支店内			HP :		
	TEL : 0146-36-2341 FAX : 0146-36-4584 Email :					

クラブの沿革と特徴

昭和43年9月にRI加盟認証をうけて以来46年を迎えた。当時様似町の人口は1万人を超えていたが、年々人口が減少加速化し現在は4,700人と半減してしまいました。

又会員も最大36名から現在は24人と大幅に減少、平均年齢も64歳と高齢化しています。

このため新規会員の増強を図りながら活性化を促し地域が良くなることを実感できるロータリークラブの活動を継続します。

平成7年6月14日 韓国馬山第1RCと姉妹結縁書に調印し、相互親善交流を図っています。

現在はお互いの経済状況を見ながらとなっていますが、末永く親睦を図っていきたくと考えるところであります。

えりもRCと毎年、友好親睦会を行い交流を図り絆を深めております。

奉仕の実績

年間行事

- 図書館へのロータリー文庫の寄贈を行っている。
- 町内の清掃活動、植樹を行っている。
- 町内の小学校の新入学生に防犯ブザーを寄贈している。
- 町民向けロータリーコンサートを行っている。
- 社会に貢献している青少年を表彰する。
- 交通安全の啓発をえりもRCと各年で行っている。

RI第2510地区 第8グループ	静内ロータリークラブ		設立年月日 RI承認月日	1971年(昭和46)6月28日 1971年(昭和46)7月23日		
例 会 場			例 会 日 時			
天政 新ひだか町静内御幸町1-2-9 ☎0146-43-2481			水曜日 12時30分			
創立時ガバナー	スポンサークラブ		特 別 代 表			
河野 通正	三石ロータリークラブ		佐々木初之助			
会員数 創立時：22名、2014年7月1日現在：60名(女性会員0名)						
歴 代 会 長	1997 奥田 隆一	1998 蚊野 好美	1999 梅庭 泰弘	2000 岩切 隆夫	2001 山田 明	2002 嵐 忠一
	2003 澁井 郁夫	2004 中山弘三郎	2005 不動 信之	2006 高田 達	2007 長浜 和也	2008 吉田 隆
	2009 佐藤 雅裕	2010 倉澤 實	2011 富岡 豊	2012 山口 俊秀	2013 市毛 満	2014 福嶋 尚人
結 成 し た 新 ク ラ ブ						
ローターアクトクラブ		インターアクトクラブ		姉妹クラブ/友好クラブ		
		静内高等学校インターアクトクラブ				
クラブ事務所	日高郡新ひだか町静内本町4-5-10 RLビル1階 HP: http://shizunai-rotary-club.net TEL: 0146-43-2481 FAX: 0146-43-2495 Email: ro-sizu@lapis.plala.or.jp					

クラブの沿革と特徴

98年5月に第1回静内ロータリークラブ杯桜舞サッカーフェスティバルを静内川左岸サッカー場で開催、遠くは札幌地方から地元日高地方各地より16チーム400人の少年少女が参加、以来毎年継続実施している。

2012～13年度は当クラブより選出された2510地区細川好弘ガバナーのもと、中山弘三郎代表幹事の指示を受けながらガバナー補佐会議、地区研修セミナー等諸会議の開催準備に並行して10月13・14日に予定された地区大会の成功を目指し、会員一丸となって協力体制を敷き、地元に必要な会議場がないハンディキャップを克服し、大会も盛会の裡に終えることができた。大会記念誌も予定通り無事に発刊でき会員一同安堵している。これも第8グループの各会員を始めとして大会参加の皆様のご協力の賜物と感謝に堪えない。

奉仕の実績

07年4月環境保全プログラムとして国際ソロプチミスト静内、日高青年会議所との合同奉仕活動を実施、60名の参加により静内川左岸に不法投棄されたトラック2台のゴミを搬出処理、『ゴミを捨てないで』の啓発看板を設置。

同年11月二十間道路桜並木の維持作業を実施、樹木の専門家の指導を受けたあと桜の剪定作業を実施、その後も継続実施。

毎年12月に開催の親睦家族会にインターアクター、両校校長、顧問教師を招待、その席に静内高等学校・静内農業高等学校の部活動等で優秀な成績を収めた生徒をも招待して新世代奨励賞を贈呈し表彰。

11年3月東日本大震災につき6月に予定していた創立40周年記念式典および記念事業を中止、積立金200万円を義援金として寄附。

RI第2510地区 第8グループ	浦河ロータリークラブ			設立年月日 RI承認月日	1961年(昭和36)9月10日 1961年(昭和36)10月12日	
例 会 場				例 会 日 時		
浦河ウエリントンホテル 浦河町大通3丁目 ☎0146-22-8888				火曜日 12時20分		
創立時ガバナー		スポンサークラブ		特 別 代 表		
両角 克治		苫小牧ロータリークラブ		中林清一郎		
会員数 創立時：27名、2014年7月1日現在：24名(女性会員1名)						
歴 代 会 長	1997 木戸口幸吉	1998 花谷 實	1999 酒井 乾	2000 園 修	2001 蘇田 又栄	2002 大山 勝美
	2003 三枝 實	2004 砂原 肇	2005 武田 豊	2006 大針 道生	2007 佐藤 興	2008 高杉 保廣
	2009 秋山 靖典	2010 福士 幹紀	2011 吉川 滋政	2012 武田 豊	2013 小関 孝雄	2014 伊藤 正明
結 成 し た 新 ク ラ ブ						
様似RC (S43.7.26) 三石RC (S45.11.18)						
ローターアクトクラブ		インターアクトクラブ		姉妹クラブ/友好クラブ		
クラブ事務所	浦河郡浦河町堺町西1丁目4-8 AD STUDIO内 HP: http://rid2510.org/urakawa TEL: 0146-22-4765 FAX: 0146-22-2201 Email: adstudio4765@mocha.ocn.ne.jp					

クラブの沿革と特徴

創立：昭和36年9月10日

スポンサークラブ：苫小牧ロータリークラブ

設立以来の会員数の推移：

発足時27名 平成3年52名 平成8年57名
平成13年44名 平成18年33名 平成26年24名

クラブ地域の概況：

・区域：

浦河町(総面積693.2平方km)
東西38.6km 南北60.0km 周囲129.5km
海岸線21.2km

・人口：

昭和25年 19,435人(世帯数3,599)
平成2年 17,862人(世帯数6,502)
平成7年 17,186人(世帯数6,975)
平成12年 16,634人(世帯数6,936)
平成17年 15,698人(世帯数6,782)
平成26年 13,349人(世帯数6,898)

主な記念式典等：

昭和49年6月18日 韓国平沢RCと姉妹結盟式

昭和52年10月10日 創立15周年記念式典

昭和56年9月23日 創立20周年記念式典

昭和58年3月15日 台湾中歴RCと姉妹結盟式

平成3年5月18日 創立30周年記念式典

平成13年5月27日 創立40周年記念式典

平成23年5月22日 創立50周年記念式典東日本大震災で中止

奉仕の実績

春夏秋冬の交通安全街頭啓発運動参加
優駿ロード清掃活動
障害者施設等へ経済援助
南米パラグアイ日本人学校へ本を20年にわたり経済援助
交換留学生を例会に招待
道営競馬の応援ツアー
港まつり防犯パトロールの参加
桜まつり会場へ桜の植樹

RI第2510地区 第9グループ	伊達ロータリークラブ	設立年月日 RI承認月日	1959年(昭和34)11月17日 1960年(昭和35)1月8日
例 会 場		例 会 日 時	
ホテルローヤル 伊達市末永町33-3 ☎0142-23-4888		火曜日 12時30分	
創立時ガバナー	スポンサークラブ	特 別 代 表	
真崎 健夫	室蘭ロータリークラブ	工藤 賢一	
会員数 創立時：32名、2014年7月1日現在：57名(女性会員0名)			
歴 代 会 長	1997 栗原 弘治 1998 高野 一雄 1999 雲津 忠宣 2000 川岸 洋一 2001 山崎 満晴 2002 中井 英光 2003 守谷 保夫 2004 菅 俊治 2005 小野寺隆之 2006 中嶋 康 2007 新井田 孝 2008 笹木 学 2009 栗本 茂生 2010 黒野又四郎 2011 鈴木 啓一 2012 渡部 良一 2013 浅水 勝男 2014 河原 文博		
結 成 し た 新 ク ラ ブ			
洞爺湖RC (S44.2.3)			
ローターアクトクラブ	インターアクトクラブ	姉妹クラブ/友好クラブ	
		姉妹クラブ：亘理ロータリークラブ 友好クラブ：茅ヶ崎湘南ロータリークラブ	
クラブ事務所	伊達市末永町33-3 ホテルローヤル内 HP： TEL：0142-23-0512 FAX：0142-23-0516 Email：date-rc@tmail.plala.or.jp		

クラブの沿革と特徴

1959年、室蘭RCの働きかけにより11月17日設立総会を開く。1960年1月8日承認された。1960年5月24日創立記念式典を挙げる。1969年2月24日新クラブとして洞爺湖RCが結成され、会員7名が移動した。

1971年3月1日仙台亘理RCと姉妹クラブ締結。1994年5月21日茅ヶ崎湘南RCと友好クラブ締結。2009年6月5日創立50周年記念式典を開催。

記念事業として「ふくろうの森」づくり記念植樹・記念碑建設。記念クラシックコンサートを6月8日に開催。

会員32名で発足したクラブも、現在57名となっている。ロータリー全体の会員の減少が激しい中でこれだけキープしている理由に、ベテランと若手の交流が盛んで、活気のある奉仕活動が各委員会を通じて友好的かつ計画的に続けられていることがある。

交流は伊達市内に限らず姉妹クラブの亘理RC、友好クラブの茅ヶ崎湘南RCとも盛んであり、毎年交互にお互いの地を訪れ友情を深め、奉仕活動の糧としている。

北海道でも有数な温暖な気候、自然に恵まれた北の湘南にふさわしい環境をより一層豊かなものにするため河川の清掃、野鳥の保護など地域の青少年、住民らと共に奉仕活動に取り組んでいる。

奉仕の実績

<ここ十数年間の継続事業活動>

1. 伊達ボーイスカウト団に育成金の贈呈。
2. 伊達市内中学校英語暗唱大会の後援及びトロフィーの贈呈。
3. 西胆振少年野球連盟へ伊達ロータリークラブ旗争奪少年野球大会の開催。
4. 歳末助け合い募金運動に協力寄付
5. 伊達歴史の杜カルチャーセンター内の桜の管理
6. 伊達市社会福祉協議会主催「ふれあい広場」の参加協力
7. 北海道ツーデーマーチ開催にあたり奉仕活動
8. WCS事業参加(タイ・インドネシア等へ)
9. 伊達長流川河口の清掃活動及び長流川の野鳥(自然保護区)パンフレット作成配布
10. 情緒障害短期治療施設「バウムハウス」への「ふれあい自然の森」の造成提唱 数年間にわたり苗木植樹
11. 緑の羽根募金運動に協力
12. ポリオ撲滅寄付金の送金・ロータリー財団への寄付金送金
13. その他災害見舞金の随時送金

RI第2510地区 第9グループ	室蘭ロータリークラブ			設立年月日 RI承認月日 RI再承認年月日	1936年(昭和11)10月26日 1936年(昭和11)12月5日 1950年(昭和25)12月15日
例 会 場				例 会 日 時	
室蘭プリンスホテル 室蘭市中央町1-4-9 ☎0143-22-5555				木曜日 12時30分	
創立時ガバナー		スポンサークラブ		特別代表	
佐藤 昌介		札幌ロータリークラブ		伊藤 豊次	
会員数 創立時：23名、2014年7月1日現在：37名(女性会員0名)					
歴 代 会 長	1997 宇賀 晃	1998 木下 博	1999 岩田 弘志	2000 早坂 勝美	2001 田所 邦夫
	2002 牧野 嵩	2003 前田 迪夫	2004 進藤 勝哉	2005 佐藤 寿夫	2006 内山 博
	2007 菊入 剛	2008 吉澤 政彦	2009 飯尾 哲也	2010 濱中 實	2011 平野 和典
	2012 松岡 健一	2013 東海林哲郎	2014 中田 敏行		
結 成 し た 新 ク ラ ブ					
苫小牧RC (S32.1.25) 伊達RC (S35.11.17) 室蘭東RC (S36.1.25)					
ローターアクトクラブ		インターアクトクラブ		姉妹クラブ/友好クラブ	
クラブ事務所	室蘭市中央町2丁目8-10 HP: http://www15.plala.or.jp/muroran-rc/ TEL: 0143-22-7545 FAX: 0143-22-7545 Email: muroran-rc@purple.plala.or.jp				

クラブの沿革と特徴

室蘭RCは1936年に札幌RCをスポンサーとし、栗林徳一氏を初代会長として道内6番目のクラブとして創立された(承認番号4070)。大戦中は一時RIより退会したが、その間、「室蘭経済懇話会」として例会の灯を守り続け、戦後の1950年にRIに復帰し、創立78周年を迎えた。

創立以来、多くの奉仕事業を行っているが、例えば、1955年に建設したプロビデンス号来航記念碑は、英国軍艦の入港時には各艦長の表敬訪問があり、日英両国の親善に寄与している。1988年の室蘭RC50周年記念事業は、地球岬「ロータリー広場」を寄贈。2005年には旧室蘭駅舎広場でチャリティーバザーを実施、その後、同時に子供向けイベントも開催し、現在まで継続している。また、当クラブは、苫小牧、伊達、室蘭東各クラブのスポンサーとなったほか、多くの孫クラブの創設に努力してきた。

クラブは現在、人口減や地域経済の影響も受けているが、クラブ運営の改革も進めながら、奉仕活動に努め、これまで培ってきた伝統を次の世代に確実に引き継いでいくべく活動を続けている。

奉仕の実績

総合美術展覧会(1952.6.1より)東京国立博物館収蔵品ほか200点。観覧者4万人。

プロビデンス号来航記念碑(1955.10.23)水族館に同碑、大黒島に水平オルソンの墓を建設。

英国大使(代理)ほか出席。

マスイチ展望台の寄贈。(1962.7.30)室蘭RC25周年記念事業。

彫像「協奏」の寄贈(1967.4.26)地区大会記念として文化センターに建設。

地球岬「ロータリー広場」造成(1988.4.30)室蘭RC50周年記念事業。

植樹 測量山、入江公園など2,300本以上。

図書館ロータリー文庫 積算1,841冊。

室蘭育英資金 累算450万円

○新室蘭駅前大型プランター(30個)花壇(2000.7.27)

○ポッポらん機関車車輪記念モニュメント設置(2006.9.2)創立70周年記念

○植樹 レインボー通り(2010.10.28)、広域センタービル(2011.4.21)室蘭RC設立75周年記念

○植樹及び屋外緑台設置 地球岬街道「夢の森」(2013.10.24)

RI第2510地区 第9グループ	室蘭東ロータリークラブ		設立年月日 RI承認月日	1961年(昭和36)1月25日 1961年(昭和36)4月26日
例 会 場			例 会 日 時	
蓬峯殿 室蘭市宮の森町1-1-64 ☎0143-44-3338			水曜日 12時30分	
創立時ガバナー		スポンサークラブ		特別代表
坂牛直太郎		室蘭ロータリークラブ		谷村金次郎
会員数 創立時：30名、2014年7月1日現在：35名(女性会員0名)				
歴 代 会 長	1997 松田 幹人 1998 矢萩富士雄 1999 村木 一夫 2000 鈴木 稔之 2001 森川 亮 2002 前田 康博			
	2003 石田 実 2004 芝垣 美男 2005 荒井 孝亘 2006 寄木 清二 2007 佐々木健治 2008 富田 孝夫			
	2009 板東 晃 2010 遊佐 潤 2011 小林 進 2012 松永 英樹 2013 小熊 達也 2014 佐々木彰夫			
結 成 し た 新 ク ラ ブ				
登別RC (S44.12.14) 室蘭北RC (S46.12.19)				
ローターアクトクラブ		インターアクトクラブ		姉妹クラブ/友好クラブ
		北海道大谷室蘭高等学校		
クラブ事務所	室蘭市宮の森町1丁目1-64 中島神社蓬峯殿内 HP： TEL：0143-44-3338 FAX：0143-43-7400 Email：m-east-rotary@atlas.plala.or.jp			

クラブの沿革と特徴

当室蘭東クラブは1961年、1月25日全国で425番目のロータリークラブとして創立54年を迎えます。

スポンサークラブは室蘭クラブです。

創立以来北海道大谷室蘭高校のインターアクトクラブの結成、又スポンサークラブとして、登別ロータリークラブ、室蘭北ロータリークラブの新設、各種奉仕活動を実践してきました。

家族同伴野外例会や夜間例会、国内旅行など家族を含めた参加が多く、特に奥様方相互の交流が盛んで、和やかで楽しい例会が伝統となっています。

創立時30名の会員でありましたが、創立以来、幾多の増減はあるものの現在35名会員数で、地区の中堅クラブとして、伝統であります和やかで親しみのある例会を通じ、奉仕活動を続けております。

奉仕の実績

社会奉仕は当クラブの年間行事として定着したイタンキ浜の清掃活動を継続。会員と共に北海道大谷室蘭高校インターアクトクラブと室蘭工大留学生と協同で開催しています。NPO法人ビオトープ・イタンキ in 室蘭への支援を継続。

今年度は「室蘭市手をつなぐ育成会」の障害者の方々と一緒に「芋掘り収穫祭」に参画します。

職業奉仕は毎年2月に会員の専門職業を生かした「あれこれなんでも相談会」職業奉仕プロジェクトです。

今年度13回目を迎え、相談件数も100件近くになり、地域に根ざした本当に必要とされる事業となっています。

1965年創立から、北海道大谷室蘭高校インターアクトクラブ49年間活動をバックアップしてきました。地区大会への参加、年1回の活動報告などを通じて交流をしています。

NTT室蘭支店が年頭に実施するカレンダー市に協賛し、ネパール教育基金、モンゴル教育基金に寄付しています。

RI第2510地区 第9グループ	室蘭北ロータリークラブ		設立年月日 RI承認月日	1971年(昭和46)12月19日 1972年(昭和47)1月1日		
例 会 場			例 会 日 時			
ホテルサンルート室蘭 室蘭市中島町2丁目28-6 ☎0143-42-2333			火曜日 12時30分			
創立時ガバナー	スポンサークラブ		特 別 代 表			
富田 恭	室蘭東ロータリークラブ		大西 清			
会員数 創立時：31名、2014年7月1日現在：40名(女性会員3名)						
歴 代 会 長	1997 北 正臣	1998 野村 滋	1999 安田 隆義	2000 内池 真人	2001 渡辺 紘一	2002 村井 玄乙
	2003 笹谷 豊明	2004 川本 康裕	2005 神島 章	2006 廣瀬 禎	2007 岩本 信平	2008 齊藤 崇
	2009 斎藤 泰成	2010 加藤 栄吉	2011 松島 茂	2012 西尾 静枝	2013 松田 博文	2014 齊藤 俊一
結 成 し た 新 ク ラ ブ						
ローターアクトクラブ		インターアクトクラブ		姉妹クラブ/友好クラブ		
室蘭北ローターアクトクラブ						
クラブ事務所	室蘭市中島町2丁目28-6 ホテルサンルート室蘭内 HP: http://www.4.ocn.ne.jp/~mur-n.rc TEL: 0143-45-6569 FAX: 0143-50-6578 Email: mur-n.rc@athena.ocn.ne.jp					

クラブの沿革と特徴

当クラブは、1971年12月に創立し、本年度創立43年を迎えます。室蘭市には3クラブありますが最も新しいクラブです。

会員数は、昨年度当クラブとしては近年にない会員増強が図られ、長期にわたる漸減傾向に歯止めを打ち、一挙に40名に回復いたしました。

昨年度の入会者の影響もあって、平均年齢が62歳と比較的若い年齢層のクラブとなりました。女性会員も1名増えて3名有するクラブです。

また、当クラブには、ローターアクトクラブがあり、現在6名の会員が活動しており、当クラブとの定期的な交流や、独自の地域奉仕活動の企画実施、2510地区活動にも積極的に参加しております。

本年度も当クラブ会員、ローターアクトクラブ会員の増強に取り組み益々の活性化を図っていききたいと思います。

奉仕の実績

毎年度実施している継続的な奉仕活動としては、次の四つの活動があります。

1. 知利別川清掃・浄化調査活動

清掃は、知利別川周辺の草刈り、ゴミ拾いを毎年9月に地域のボーイスカウト・カントリーデーに、ボーイスカウトと当クラブメンバーが共同で実施。同時に当クラブによる河川浄化のための調査を実施。

2. 秋の交通安全活動

秋の交通安全運動期間中に、全員参加で例会場近くの幹線道路にて、横断幕をもって交通安全啓発活動を実施。

3. 献血活動

4月に会員及び会員の所属する従業員を中心に献血

4. 青少年健全育成支援活動

6月に蘭東少年野球大会及びジュニアヨットレースに当クラブから優勝杯を寄贈

RI第2510地区 第9グループ	登別ロータリークラブ	設立年月日 RI承認月日	1969年(昭和44)12月14日 1970年(昭和45)1月2日
例 会 場		例 会 日 時	
ホテル平安 登別市中央町5丁目1-1 ☎0143-88-0331		水曜日 12時30分	
創立時ガバナー	スポンサークラブ	特 別 代 表	
秋山康之進	室蘭東ロータリークラブ	東 栄	
会員数 創立時：24名、2014年7月1日現在：31名(女性会員1名)			
歴 代 会 長	1997 工藤 勝雄 1998 山瀬 隆幸 1999 義盛 俊宏 2000 守屋 弘 2001 木村 和夫 2002 高橋 恒夫 2003 寺島紀子夫 2004 中村 雅 2005 斎藤 正史 2006 山口 賢治 2007 千葉 泰二 2008 仲川 弘誓 2009 上田 博子 2010 石井 憲一 2011 高岸 満則 2012 山瀬 隆幸 2013 鈴木 高士 2014 石田 佳久		
結 成 し た 新 ク ラ ブ			
白老RC (S54.6.17)			
ローターアクトクラブ	インターアクトクラブ	姉妹クラブ/友好クラブ	
クラブ事務所	登別市中央町5丁目6-1 登別商工会議所会館内 HP: http://www.ri2510.gr.jp/noboribetsu TEL: 0143-85-4111 FAX: 0143-85-2428 Email:		

クラブの沿革と特徴

登別ロータリークラブは、室蘭東ロータリークラブをホストクラブとして、特別代表東 栄(ひがし さかえ)氏のご指導のもとに1969年12月14日、初代会長南 邦夫を中心として、24名のチャーターメンバーにより創立総会をもったのであります。1970年2月国際ロータリー加盟認証状伝達式を挙行、1973年2月当クラブ最初のIGF開催。1978年9月ポールハリスフェロー一挙に5名誕生。1979年6月登別ロータリークラブ宮武清一氏を特別代表として、白老ロータリークラブ発足、以後毎年親子クラブとして合同懇親例会を開催している。1979年6月登別大谷高等学校インターアクトクラブ発会式を挙行。(2011年登別大谷高等学校が統合により解散)2004-2005年度国際ロータリー第2510地区ガバナーに登別ロータリークラブ会員遠藤秀雄氏就任、2004年10月16・17日地区大会を登別市において挙行。2009年12月9日創立40周年記念式典挙行。
・・・現在に至る

奉仕の実績

1979年9月韓国釜山の「日本図書館」へ図書120冊寄贈。
1980年5月登別市営日の出球場造成に協力。
1981年1月交換留学生ジェニーマドック嬢受け入れ。
登別市図書館ロータリー文庫基金寄付。
日本国際飢餓対策機構への援助。
公園、しんた21等の緑化、植樹、並びに美化事業の推進。
古切手の収集(登別市社協へ)。
カレンダーを世界に贈る運動への協力。
1996年6月登別点訳赤十字奉仕団へ点訳機の寄贈。
登別市へ時計の寄贈。
登別明日中等教育学校寄宿生との交流。
障がい児親子の会「ぼぼくらぶ」との交流。

RI第2510地区 第9グループ	洞爺湖ロータリークラブ	設立年月日 RI承認月日	1969年(昭和44)2月3日 1969年(昭和44)2月24日				
例 会 場		例 会 日 時					
洞爺湖万世閣ホテル レイクサイドテラス 虻田郡洞爺湖町洞爺湖温泉21 ☎0142-75-2171		月曜日 12時30分 (最終例会 18時30分)					
創立時ガバナー	スポンサークラブ	特 別 代 表					
島本 融	伊達ロータリークラブ	寺田 茂巳					
会員数 創立時：26名、2014年7月1日現在：8名(女性会員0名)							
歴 代 会 長	1997 高橋 一夫	1998 皆川 一男	1999 杉西 俊則	2000 松原 欣弥	2001 前谷 休市	2002 川南 明則	
	2003 阿野 康春	2004 三浦 昭三	2005 前谷 休市	2006 秋田 昌昭	2007 川南 明則	2008 阿野 康春	
	2009 三浦 昭三	2010 吉田 聡	2011 前谷 休市	2012 秋田 昌昭	2013 秋田 昌昭	2014 前谷 休市	
結 成 し た 新 ク ラ ブ							
ローターアクトクラブ		インターアクトクラブ		姉妹クラブ/友好クラブ			
クラブ事務所		虻田郡洞爺湖町洞爺湖温泉186 朝日新聞洞爺湖温泉販売所内		HP :			
		TEL : 0142-75-4710 FAX : 0142-75-4705		Email :			

クラブの沿革と特徴

当クラブは、伊達ロータリークラブをスポンサークラブとして、1969年2月3日に創立、同年2月24日RI加盟承認を得て活動を開始、今日に至っています。

創立時26名でスタートした当クラブは順調に会員数も増え、1970年には38名を数えました。しかし、有珠山の二度の噴火や地元企業の廃業等にもなう地域の人口減少に歯止めがかからず、そのことも要因の一つとしてクラブの会員数も大幅に減少しました。現在の会員数は9名(2014年7月現在)で、会員の高齢化もあり早急な対策検討が求められています。このような状況下でこそ、ロータリーの精神を発揮し、先輩諸氏からの伝統の灯を消すことなく地域とともに歩むべく、会員一同、積極的に活動を展開してまいります。

奉仕の実績

- みずうみ読書の家「ロータリー文庫」への図書寄贈(継続事業)
- 交通安全運動(フラッグの寄贈、他)(継続事業)
- ツーデーマーチ(ウォーカーへの飲物等提供)(継続事業)
- 寄贈藤棚の剪定、他(継続事業)
- 市民対象講演会(ウインザーホテル支配人)(2008年)
- 市民対象講演会(柴垣弁護士)(2008年)
- パークゴルフ大会主催(2009年)
- なんでも相談会(弁護士・司法書士・・・室蘭東クラブ合同)(2011年)
- 東日本震災募金活動(2012年)
- 桜苗木植樹寄贈(2013年)

RI第2510地区 第10グループ	函館ロータリークラブ		設立年月日 RI承認月日 RI再承認年月日	1934年(昭和9)10月25日 1935年(昭和10)1月29日 1949年(昭和24)9月16日		
例 会 場			例 会 日 時			
五島軒本店 函館市末広町4番5号 ☎0138-23-1106			木曜日 12時30分			
創立時ガバナー	スポンサークラブ		特別代表			
村田 省藏	小樽ロータリークラブ					
会員数 創立時：25名、2014年7月1日現在：81名(女性会員0名)						
歴 代 会 長	1997 遠藤 哲二	1998 小泉 康祐	1999 佐藤 公郎	2000 森 祐平	2001 若山 直	2002 加藤健太郎
	2003 国立 金助	2004 渡邊 兼一	2005 竹田 公一	2006 小林 敏夫	2007 太宰 昌文	2008 藤井 方雄
	2009 柴田 繁男	2010 坂本 修康	2011 加藤 聡孝	2012 久保 俊幸	2013 額賀 康之	2014 松田 俊司
結 成 し た 新 ク ラ ブ						
函館東RC (S32.8.29) 江差RC (S37.6.13) 森RC (S39.3.22) 松前RC (S44.2.26)						
ロータリーアクトクラブ		インターアクトクラブ		姉妹クラブ/友好クラブ		
				姉妹クラブ：京都洛中ロータリークラブ、青森ロータリークラブ 友好クラブ：澎湖ロータリークラブ(台湾)		
クラブ事務所	函館市大手町5番10号 ニチロビル 4階 HP: http://www.hakodate-rc.com TEL: 0138-23-3870 FAX: 0138-22-2251 Email: info@hakodate-rc.com					

クラブの沿革と特徴

函館RCは昭和9年10月25日に創立されました。当時の函館はJR函館駅から函館の西部エリアが政治・経済の中心地域でした。その為、現在も会員の拠点はこの地域が多いのですが、街の東部地域発展と共に会員の拠点は市内全域に広がっています。

会員の多様性(65業種)が市内他クラブと比べて特徴の一つに数えられます。中でも出先機関の長と言われる会員が19名で会員の20%を超えています。この事が函館RCに色々な意味で良い刺激を与えています。

一方で会員歴20年以上の会員が32名(会員の40%)在籍しており、例会内活動、例会外活動の姿を通じて、我々は自然に函館RCの歴史や精神を学ぶ事ができるという大変恵まれた環境にあります。

奉仕の実績

2000年以降の活動

2000年12月 宝来町護国神社下に「日露友好の碑」建立

2004年10月 創立70周年事業として金森洋物館通りに針葉樹プーゲンストーチ18本植樹

2009年10月 創立75周年記念事業としてペリー広場に「ペリー総督来航記念碑」建立

①社会奉仕活動としては、1964年に創立30周年記念事業として函R奨学金制度を発足し、現在まで約200名に5000万円ほどを支給しています。

②出前授業：クラブ会員が公立はこだて未来大学に出向き職業人として将来の就職活動や進路決定の参考になる講話を行っている。

③高文連の高校生と共同の大森浜清掃活動。

④高校生ボランティアと共同の老人ホームでの奉仕活動。

⑤エゾヒキガエル保護活動、函館山での野鳥観察小屋の設置、管理。

⑥野鳥の巣箱設置と入れ替え。

RI第2510地区 第10グループ	函館亀田ロータリークラブ		設立年月日 RI承認月日	1972年(昭和47)5月29日 1972年(昭和47)6月20日		
例 会 場			例 会 日 時			
ロワジールホテル函館 函館市若松町14番10号 ☎0138-22-0111			月曜日 12時30分			
創立時ガバナー		スポンサークラブ		特 別 代 表		
富田 恭		函館東ロータリークラブ		鈴木 武二		
会員数 創立時：25名、2014年7月1日現在：41名(女性会員5名)						
歴 代 会 長	1997 黒川 則男	1998 笠原啓次郎	1999 板倉 啓信	2000 秋田 正悦	2001 堀 好夫	2002 中村 泰三
	2003 寺田 真三	2004 木下 裕	2005 山口 勝彦	2006 稲葉 直房	2007 松田 武	2008 出戸 秀光
	2009 遠藤美根雄	2010 玉井 清治	2011 坂本 幸夫	2012 豊田 千春	2013 金澤 浩幸	2014 井上 司
結 成 し た 新 ク ラ ブ						
ローターアクトクラブ		インターアクトクラブ		姉妹クラブ/友好クラブ		
				友好クラブ：新発田城南ロータリークラブ		
クラブ事務所	函館市大手町5番10号 ニチロビル 4階 HP：http://www2.hbf.ne.jp/rotary TEL：0138-23-3870 FAX：0138-22-2251 Email：rotarygo@eos.ocn.ne.jp					

クラブの沿革と特徴

1972年に函館東RCがスポンサーとなり鈴木武二氏を特別代表として函館亀田RCが設立致しました。設立時の会員は25名で発足して43年になりますが、当時からのチャーターメンバーの3名は健在で、若い会員へのよき指導者として活躍されております。

当時は、まだ亀田は市になったばかりで亀田RCと呼称しましたが、その1年後に函館市と亀田市が合併により発展改称し現在の函館亀田RCとなり、会員数は42名で各奉仕活動に努力しております。

RIの方針をいち早く受け入れた東RCの女性会員を入会推薦した姿勢に共感し二番目の柔軟さで、女性会員の入会を実現し今では5名になりました。

また、若い世代の会員も増え通常の例会出席や今後の会員増強と積極的な奉仕活動、そして原点を忘れることのないクラブ運営を目指し結束していくのではないかと思います。

奉仕の実績

創立して43年を迎える函館亀田RCは、地域に根ざした奉仕活動を目指して活動して来ました。

人々が東部に向かっていることで、テリトリー内に新設校も多く永年にわたり必ず記念樹を贈呈して来ました。また「安全と公害」を主題として車両点検、ドライバーの血圧測定等も永年続けてきた。

史跡四稜郭については清掃、整備に励み、雑然としていた所でしたが当クラブの働きで函館市を動かし、今では函館市がゴミの処理、清掃等を引き継いで保全するまでになりました。

また、今はテリトリー内の施設の子供達と共にいも掘りを行い楽しく親睦を深めて活動しています。

交換留学生を招いて日本古来の伝統あるそば打ちと餅つき体験やテリトリー内の中学生を対象に職場体験をしております。

RI第2510地区 第10グループ	森ロータリークラブ		設立年月日 RI承認月日	1964年(昭和39)3月22日 1964年(昭和39)4月6日		
例 会 場			例 会 日 時			
プラザ「武蔵」 茅部郡森町字本町122 ☎01374-2-2269			水曜日 12時00分			
創立時ガバナー	スポンサークラブ		特 別 代 表			
滝本 庄蔵	函館ロータリークラブ		大沼 文雄			
会員数 創立時：25名、2014年7月1日現在：39名(女性会員0名)						
歴 代 会 長	1997 梅本 勲	1998 松浦 實	1999 橋本 利弘	2000 長瀬 賢	2001 岩本豊太郎	2002 伊藤 進
	2003 渡辺 英明	2004 野田 剛	2005 松浦 勝	2006 近藤 宣明	2007 櫻田 伸也	2008 出町 英二
	2009 向中野貴夫	2010 福地 隆祐	2011 吉田 豊	2012 石山 嘉治	2013 吉田 好	2014 平山 博
結 成 し た 新 ク ラ ブ						
長万部RC (S43.2.13)						
ローターアクトクラブ		インターアクトクラブ		姉妹クラブ/友好クラブ		
クラブ事務所	茅部郡森町字本町6-22 森商工会議所内 HP： TEL：01374-2-2432 FAX：01374-2-2684 Email：					

クラブの沿革と特徴

昭和39年3月22日設立、発起人5名を含む25名のメンバーにより発足。

昨年度は50周年の節目の年を迎えることが出来ました。

2014年7月現在、クラブ在籍者数39名となっており、30代から70代までと幅広い年齢層で構成され、ここ数年は、若い世代が入会してきており、当クラブの伝統を次の世代へと継承できることは誠に喜ばしいかぎりです。

半世紀にわたり脈々と続いている会員同士の親睦と友情によって培われてきたクラブ運営を通して、地元森町への奉仕活動、国際留学生を招いての歓迎会、同じ地域である第10、11グループの各クラブとのより親密な交流を図るため、当町の桜が咲く5月に一堂に会して「観桜会」例会を開催しております。

これからも会員一同、奉仕の精神で50年の歴史に恥じないように、活動をしてまいります。

奉仕の実績

1. 昨年度50周年事業で森町への記念植樹として小学校の敷地にクラブ会員一同が参加して桜の木を植樹しました。
2. 当クラブ恒例のクリスマス家族会において、チャリティーオークションを開催しその収益金を、森町社会福祉協議会へ寄贈している。同様に4クラブ合同例会(RC、LC(2クラブ)、青年会議所)で年一回、交流会を開催し、同じく寄贈しています。
3. 町内スポーツ少年団などに、金品等を寄贈してきました。

RI第2510地区 第10グループ	七飯ロータリークラブ		設立年月日 RI承認月日	1970年(昭和45)4月18日 1970年(昭和45)5月20日
例 会 場			例 会 日 時	
函館大沼プリンスホテル 亀田郡七飯町西大沼148 ☎0138-67-1111			火曜日 18時30分	
創立時ガバナー	スポンサークラブ		特 別 代 表	
秋山康之進	函館北ロータリークラブ		遠藤 尚義	
会員数 創立時：21名、2014年7月1日現在：18名(女性会員0名)				
歴 代 会 長	1997 大竹幸次郎 1998 宮村 拓郎 1999 黒崎 昭明 2000 横田 有一 2001 菅原 昭 2002 木宮 正樹 2003 山内 一男 2004 柴田 晴史 2005 渡会 元紹 2006 伊藤 一彦 2007 上野 一義 2008 柴田 晴史 2009 菅原 昭 2010 川又 修治 2011 宮村 拓郎 2012 佐藤 幸雄 2013 大竹幸次郎 2014 工藤 悟			
結 成 し た 新 ク ラ ブ				
ローターアクトクラブ		インターアクトクラブ		姉妹クラブ/友好クラブ
クラブ事務所	亀田郡七飯町本町5丁目18-1 上野一義様方 HP : TEL : 0138-62-3385 FAX : 0138-62-3386 Email :			

クラブの沿革と特徴

変革：函館北クラブを親クラブとして1970年4月に創立、40周年記念事業を無事済ませ、次年度に45周年を迎えるところです。

親クラブに敬意を表し函館北クラブとの合同例会を毎年続けています。

会員数としては1994～1996年が46名とピークでしたが、奉仕活動や会員のロータリーへの思い入れとしては会員数が半減してもピーク時に遜色無いものと思われま

特徴：夜間例会。地区には珍しい午後6時30分からの夜間例会です。後に仕事が控えていないため気分的にゆったり出来ますし、引き続き理事会も開けます。

昔は例会で少し飲み、引き続き気の合った会員で飲み直していたようですが、最近の例会では禁煙とは行かないまでも禁酒です。

コンパクトクラブ。18名の小さいクラブですが会員間の交流、親睦も深く奉仕活動は全員参加で、フレンドシップからフェローシップを目指しています。

奉仕の実績

継続事業

1. チャリティカレンダー市
町民からカレンダーを寄贈してもらい、「ドント焼き」の日に神社の境内で安く販売します。カレンダーは5,000部近く集まり、売り上げは10数万円となります。全額社会福祉協議会に寄付します。
2. 国際交流の集い
夏休みに町内にホームステイする留学生10～20名を招いてパーティを行います。最近では日本語の上手な留学生が多くスムーズな交流が出来るようになりました。今年で23回目を迎えます。
3. 合同観月会
10、11グループの会員の参加を得て各クラブ会長の俳句発表、ビンゴゲームなどを楽しみ親睦を深めています。

単年度事業

2016年いよいよ新幹線が函館に来ます。七飯町に車両基地が出来ますので記念事業を予定しています。

RI第2510地区 第10グループ	長万部ロータリークラブ	設立年月日 RI承認月日	1968年(昭和43)2月13日 1968年(昭和43)3月14日			
例 会 場		例 会 日 時				
長万部商工会館 山越郡長万部町本町453-1 ☎01377-2-2270		月曜日 12時10分				
創立時ガバナー	スポンサークラブ	特 別 代 表				
小畑 信愛	森ロータリークラブ	落合嘉久蔵				
会員数 創立時：29名、2014年7月1日現在：9名(女性会員0名)						
歴 代 会 長	1997 佐藤 一雄	1998 北川 武雄	1999 片山 幸夫	2000 佐藤 一雄	2001 高森 治光	2002 片山 幸夫
	2003 片山 幸夫	2004 高森 治光	2005 角 健	2006 角 健	2007 角 健	2008 井上 正範
	2009 井上 正範	2010 井上 正範	2011 村松 和弘	2012 村松 和弘	2013 村松 和弘	2014 赤塚 章
結 成 し た 新 ク ラ ブ						
ローターアクトクラブ		インターアクトクラブ				
		姉妹クラブ/友好クラブ 友好クラブ：森ロータリークラブ 七飯ロータリークラブ				
クラブ事務所	山越郡長万部町字長万部町453-2 長万部商工会館内 HP： TEL：01377-2-2270 FAX：01377-2-5257 Email：syamambe@rose.ocn.ne.jp					

クラブの沿革と特徴

当クラブは、森ロータリークラブをホストクラブとして昭和43年2月13日に29名の会員登録で創立し、国際ロータリーには、昭和43年3月14日に加盟が承認された。その後、会員の増強は進み30数名の会員構成に発展した。

当時は、社会奉仕活動も活発で「町民さくらまつり」の実行委員会を立ち上げ、町民の交流の場を提供。その後、町内会の連合組織にその実行委員会は引き継がれた。

また、平成5年から地域の高齢化に対応した活動として、社会福祉協議会が独居高齢者・障害者を対象に実施している町営の温泉施設を利用した「高齢者温泉入浴サービス事業」では、会員の当番体制で移送車を提供しての奉仕活動に取り組んでいる。現在も体制は維持しているが、利用者の減少により伝統の事業は休業中。

近年では、町の一大イベント「毛がにまつり」会場で出店参加し、「わたあめ・スーパーボール等」を販売して子どもたちとふれあいの場づくりに協力。その収益は社会奉仕、国際奉仕事業に役立てている。

町主催の春季・秋季交通安全キャンペーン事業には、積極的に参加することとしている。

郊外クラブの森RCの観桜会、七飯RCの観月会に参加して交流を深めている。

奉仕の実績

社会奉仕記念事業

10周年記念事業：町民顕彰碑の設置 町福祉センター前

20周年記念事業：ソーラー時計塔の設置 駅前の花壇

25周年記念事業：からくり時計の寄贈 町学習文化センターホール

30周年記念事業：車椅子5台の寄贈 長万部慈恵園

35周年記念事業：町民顕彰碑の移設 町役場庁舎前

国際奉仕事業 「スリランカに中古自転車35台整備寄贈」

40周年記念事業：花時計の設置 長万部庁舎前ポケットパーク

45周年記念事業：ベンチ3台・整理棚の寄贈 長万部観光協会案内所

国際奉仕事業 「タイ国に自転車寄贈」 他クラブと連携

46周年記念事業：花時計に花苗の植樹 長万部庁舎前ポケットパーク

国際奉仕事業 「タイ国に浄水装置寄贈」 他クラブと連携

47周年記念事業：災害避難器具寄贈 いずみ保育園

国際奉仕事業 「タイ国に図書寄贈予定」 他クラブと連携

RI第2510地区 第10グループ	函館セントラルロータリークラブ		設立年月日 RI承認月日	2005年(平成17)7月2日 2005年(平成17)7月20日
例 会 場			例 会 日 時	
函館国際ホテル 函館市大手町5-10 ☎0138-23-5151			火曜日 12時30分	
創立時ガバナー	スポンサークラブ		特 別 代 表	
塚原 房樹	函館ロータリークラブ		亀井 敏清	
会員数 創立時：28名、2014年7月1日現在：27名(女性会員2名)				
歴 代 会 長	創立 坂下 賢二 2006 坂下 賢二 2007 飯田 義雄 2008 鍋谷 操子 2009 鍋谷 操子 2010 葛西 功 2011 小泉謙太郎 2012 小泉謙太郎 2013 坂下 賢二 2014 坂下 賢二			
結 成 し た 新 ク ラ ブ				
ローターアクトクラブ			インターアクトクラブ	
			姉妹クラブ/友好クラブ	
クラブ事務所	函館市大手町5番10号 ニチロビル 4階 HP : TEL : 0138-23-3870 FAX : 0138-22-2251 Email : rotarygo@eos.ocn.ne.jp			

クラブの沿革と特徴

2005（平成17）年7月20日付で国際ロータリー加盟クラブの通知を受け、2005（平成17）年9月3日に認証状を受領し、国際ロータリー第2510地区73番目のクラブとして誕生いたしました。

スポンサークラブは函館ロータリークラブ。チャーターメンバーは28名。

2014（平成26）年7月5日に創立10周年記念式典・祝賀会を函館国際ホテルにて開催いたしました。

若い会員が多く、元気があり活気に溢れています。

歴史が浅いクラブですが、全会員、ロータリーを真摯に受け止め「奉仕と親睦」を基本にロータリーライフを楽しんでおります。

奉仕の実績

創立時の記念事業として2005（平成17）年に函館市4支所へブロンズ製の「函館市民憲章額」を寄贈。

函館市楳法華高齢者福祉センターに「エゾヤマ桜30本」の植樹。

2009（平成21）年に5周年の記念事業として函館市楳法華高齢者福祉センターに「ツツジ150本」の植樹。

10周年の記念事業として函館市梁川交通公園に「原動機付きの重力式ゴーカート3台」と「ベンチ5台」を寄贈。

2007（平成19）年より毎年秋の交通安全の時期には、函館中央警察署前にて交通安全啓蒙活動、2010（平成22）年より函館市在住の留学生との交流会、2014（平成26）年、米山記念奨学生の受入れも3人目となります。

RI第2510地区 第11グループ	江差ロータリークラブ	設立年月日 RI承認月日	1962年(昭和37)6月13日 1962年(昭和37)6月29日
例 会 場		例 会 日 時	
レストラン津花館 桧山郡江差町字橋本町100 ☎0139-52-5151		火曜日 12時30分	
創立時ガバナー	スポンサークラブ	特 別 代 表	
両角 克治	函館ロータリークラブ	光銭源吉郎	
会員数 創立時：33名、2014年7月1日現在：10名(女性会員1名)			
歴 代 会 長	1997 花田 淨恵	1998 渡辺 誠治	1999 棚田 清
	2000 小笠原 隆	2001 打越東亜夫	2002 横内 隆文
	2003 前川 敏雄	2004 深見 秀治	2005 田畑 裕士
	2007 半澤慎太郎	2008 佐藤 英志	
	2009 半澤慎太郎	2010 佐藤 英志	2011 隅田 秀男
	2012 赤石智恵美	2013 半澤慎太郎	2014 半澤慎太郎
結 成 し た 新 ク ラ ブ			
ローターアクトクラブ		インターアクトクラブ	
		姉妹クラブ/友好クラブ	
		姉妹クラブ：岩谷堂ロータリークラブ(第2520地区) 友好クラブ：珠洲ロータリークラブ(第2610地区)	
クラブ事務所	桧山郡江差町字橋本町100 レストラン津花館内 HP：http://www.esashi-rotary.jp TEL：0139-52-5151 FAX：0139-52-1389 Email：info@esashi-rotary.jp		

クラブの沿革と特徴

1962年6月函館ロータリークラブがスポンサーとして準備委員会を結成、同月13日に江差ロータリークラブ結成を経て同29日初代会長に江差町長就任のもと会員33名を以って設立の承認を受ける。更に、函館ロータリークラブの協力のもと同年10月14日、他クラブより84名の出席を頂きチャーターナイトの式典を盛大に開催。

設立後の最初の事業は奥尻町大火の見舞金。1976年6月には当クラブと地名が同じ「えさし」であることから岩手県江刺市の岩谷堂クラブと姉妹クラブを締結し、以降1年交代による双方クラブ訪問や、石川県珠洲ロータリークラブと友好クラブ提携し交流を深めた。

昨今は、過疎化及び少子高齢化と言う構造的な問題や地場産業の衰退による地域経済の低迷から脱会も見られ会員数は設立時から大きく減少、現在は名誉会員1名を含め11名となっている。

会員増強が最大の課題として取り組んでいるところであるが厳しい現状から少数精鋭によるスモール・エクセレントクラブを目指し種々活動に精を出す毎日であります。

奉仕の実績

・社会奉仕活動としては社会福祉事業団に対し寄付金と各種公共施設への物品の寄贈、観光施設の美化清掃及び備品設置、当会創立40年を記念し江差町福祉施設へ絵画の寄贈、災害地域への義援金提供、江差追分全国大会奨励賞(副賞)の贈呈、また町有地(馬場山)に「ロータリーの森」の標柱を設置し樹木(梅・栗)の「剪定作業」、「下刈り作業」及び「植樹」を継続事業として展開しています。

・職業奉仕活動としては新聞配達少年の慰労、会員による無医地区での無料検診、職場見学や「勤労感謝の日」において優良従業員及び技能優秀者を称え表彰、永年職人として匠の技で地元住民に慕われている個人事業経営者を称え表彰等々。

・国際奉仕活動としては交換留学生の受入れと分区内留学生の受入れクラブへの資金援助及び2510地区の受入れ学生の当地見学に対するのプログラム設定・案内やポリオ撲滅への支援等です。

RI第2510地区 第11グループ	函館五稜郭ロータリークラブ			設立年月日 RI承認月日	1970年(昭和45)1月24日 1970年(昭和45)2月6日
例 会 場				例 会 日 時	
ホテル法華クラブ 函館市本町27-1 ☎0138-52-3121				金曜日 12時30分	
創立時ガバナー		スポンサークラブ		特 別 代 表	
秋山康之進		函館東ロータリークラブ		渡辺綱彦・森岡 勝	
会員数 創立時：28名、2014年7月1日現在：49名(女性会員0名)					
歴 代 会 長	1997 清藤 堯士	1998 富田 邦義	1999 貞森 晃	2000 今 均	2001 河村 隆平
	2002 能戸 彰	2003 川上 誠	2004 光銭 裕二	2005 菅谷 剛	2006 藪下 明
	2007 本間 哲	2008 阿彦 治	2009 當摩 浩平	2010 田嶋 英人	2011 横岡 孝一
	2012 大日向豊吉	2013 朝倉 純一	2014 柏木 秀之		
結 成 し た 新 ク ラ ブ					
北斗RC(旧上磯RC) (H8.9.26)					
ローターアクトクラブ		インターアクトクラブ		姉妹クラブ/友好クラブ	
				友好クラブ：東京日野ロータリークラブ、東京飛火野ロータリークラブ、弘前西ロータリークラブ	
クラブ事務所	函館市大手町5番10号 ニチロビル 4階 HP: http://www.goryokaku.org TEL: 0138-23-3870 FAX: 0138-22-2251 Email: rotarygo@eos.ocn.ne.jp				

クラブの沿革と特徴

1970年1月24日、函館東RCをスポンサーとして呱呱の声をあげた。特別代表に渡辺綱彦氏、森岡勝氏が選ばれ、函館東RCから移籍会員9名を含む28名のチャーターメンバーにより同年2月6日、国際ロータリーに加盟認証を受け、伝達式は6月6日に挙行された。

テリトリーに史跡の五稜郭公園を持つことから、新撰組土方歳三副長の縁で東京日野RCと東京飛火野RCと松前藩第13代藩主・松前徳広公の縁で弘前西RCと友好クラブとして友情を育んでいる。

1996年には上磯RC(現北斗RC)をスポンサーとして設立した。

また、2007-2008年度には酒井正人会員をガバナーとして擁立している。

クラブの特徴は会員同士の仲が極めて良いことであり、一度でもクラブに訪問された方はその和気藹々の空気に包まれると言う。また最高齢は87歳、最年少は34歳、平均年齢58歳ではあるが、40歳代会員は2割強在籍しており、行動力に優れたクラブでもある。

奉仕の実績

30周年の記念事業の一環で公立はこだて未来大学に桜の苗木100本を寄贈しました。

40周年には函館市制150周年にあたり公用車1台を寄贈しました。

地域の行事等にも積極的に参加しております。毎年夏に五稜郭公園で行われる、野外劇の参加や五稜郭の維新行列(5月)にも多数の会員が参加しております。

又、現在はベトナムのホーチミン市にある仏教系孤児院に制服・学用品等を継続事業として、3年間連続で寄付しています。

奨学生も毎年受け入れており2013年度には北海道大学水産学部1名(韓国)、公立はこだて未来大学1名(中国)、北海道教育大学1名(中国)の奨学生3名を受け入れました。2014年度は北海道大学水産学部1名(インドネシア)を受け入れています。

RI第2510地区 第11グループ	函館東ロータリークラブ		設立年月日 RI承認月日	1957年(昭和32)8月29日 1958年(昭和33)1月2日		
例 会 場			例 会 日 時			
ホテル 函館ロイヤル 函館市大森町16-9 ☎0138-26-8181			火曜日 12時30分			
創立時ガバナー	スポンサークラブ		特 別 代 表			
佐藤 幸三	函館ロータリークラブ		伊部政次郎			
会員数 創立時：30名、2014年7月1日現在：46名(女性会員5名)						
歴 代 会 長	1997 池垣 清信	1998 小安土達郎	1999 斎藤多実司	2000 菅原 憲夫	2001 森元 浩	2002 吉川 達也
	2003 大桃 泰行	2004 大桃 泰行	2005 時田 茂	2006 今井 義憲	2007 宮崎 裕之	2008 松山 茂
	2009 古田 清一	2010 渡辺 友子	2011 田中 治	2012 黒島 一生	2013 池垣 信一	2014 五十嵐 稔
結 成 し た 新 ク ラ ブ						
函館北RC(S39.6.16) 函館五稜郭RC(S45.1.24) 函館亀田RC(S47.5.29)						
ローターアクトクラブ		インターアクトクラブ		姉妹クラブ/友好クラブ		
函館大学ローターアクトクラブ				友好クラブ：青森東ロータリークラブ 長崎東ロータリークラブ		
クラブ事務所	函館市大手町5番10号 ニチロビル 4階 HP：http://hakodate-east.bfweb.jp/link TEL：0138-23-3870 FAX：0138-22-2251 Email：rotarygo@eos.ocn.ne.jp					

クラブの沿革と特徴

当クラブは1957年(昭和32年)函館ロータリークラブがスポンサーとなり函館市2番目のロータリークラブとして創立されました。

1997年以前の沿革は既発刊の地区史に紹介されているので割愛します。1997年時点では100名を超える会員を有するクラブでしたが、バブル経済崩壊後の経済情勢の悪化により会員は減少し、ピーク時の半数程度の会員数となりましたが、その後はクラブの風通しも良くなり団結力が強まりました。

2008年、創立50周年の記念事業や記念式典に会員が一致団結し取り組み成功裏に終わり、創立57周年を迎えた現在にあっても、初代会長渡辺熊四郎氏のクラブ方針「まずはクラブの内容の充実と会員相互の親睦をモットーとして、会員は袴を脱いで、ざっくばらんに話し合える和やかな楽しい雰囲気になった特色あるクラブに育成したい」の精神を守り、伝統と和やかさの調和のとれたクラブです。

奉仕の実績

当クラブは創立50周年の記念事業として、函館中央郵便局前のグリーンベルト内に柱時計付き四つのテスト碑を建立しました。

また平成19年1月の暴風雪によって函館市の赤川水源地付近の木約3,500本が倒木しましたが、その水源地を守るべくブナなど広葉樹1,700本の植樹事業を行いました。ここ6、7年は市内西木桔梗にある市営野球場周りの植樹を毎年継続的に行い、市民の憩いの場づくりの一助となっています。

また当クラブは道南で唯一ローターアクトクラブを提唱しています。函館大学ローターアクトクラブは、函館大学の学生・OB・OGがメンバーでSTV24時間テレビの募金活動のお手伝い、湯の川海岸の清掃ボランティアなど活発に奉仕活動しておりますが、当クラブは提唱クラブとして物心両面で支援を行っております。

RI第2510地区 第11グループ	函館北ロータリークラブ	設立年月日 RI承認月日	1964年(昭和39)6月16日 1964年(昭和39)10月19日
例 会 場		例 会 日 時	
ロワジールホテル函館 函館市若松町14番10号 ☎0138-22-0111		水曜日 12時30分	
創立時ガバナー	スポンサークラブ	特別代表	
寿原 九郎	函館東ロータリークラブ	富田 恭	
会員数 創立時：30名、2014年7月1日現在：21名(女性会員0名)			
歴 代 会 長	1997 中川 洲平 1998 新 博夫 1999 小池 凌一 2000 松見 修二 2001 藪下 義晴 2002 小笠原 孝 2003 北村 祐治 2004 南木 哲雄 2005 増田 定雄 2006 柴崎 晃 2007 石橋 輝夫 2008 山下 清司 2009 弗田 和則 2010 阿部 誠太 2011 藤田 正男 2012 鳴喰 理三 2013 森 秀樹 2014 石橋 輝夫		
結 成 し た 新 ク ラ ブ			
七飯RC(S45.4.18)			
ローターアクトクラブ		インターアクトクラブ	
		姉妹クラブ/友好クラブ	
		友好クラブ：台北東北ロータリークラブ、千葉港ロータリークラブ、和歌山城南ロータリークラブ	
クラブ事務所	函館市大手町5番10号 ニチロビル 4階 HP： TEL：0138-23-3870 FAX：0138-22-2251 Email：rotarygo@eos.ocn.ne.jp		

クラブの沿革と特徴

昭和39年6月16日、函館東RCのスポンサーにより旧明治生命館に於いて、当クラブの発会式を行う。同年10月19日、RIより正式加盟を認証される。(設立時の会員30名)

平成15年9月21日に創立40周年。平成20年9月27日に創立45周年。平成25年10月26日には創立50周年の記念式典を行いました。今年度51年目を迎える、現在会員21名のクラブです。

この間、昭和54年には地区大会のホストを、IMのホストも数回行っていきます。又、昭和45年には七飯RCの創立をスポンサーしております。

友好クラブとしては台湾の台北東北RC、和歌山城南RC、千葉港RCがあります。

ここ数年、財団に対する認識も高まり、ポール・ハリス・フェロー、米山功労者の数も増えてきており、その他の各部門においてバランスの取れたクラブです。

奉仕の実績

- ◎ 洞爺丸海難慰霊碑の保全、清掃活動
昭和42年、初代会長新善次会員の提唱により七重浜の慰霊碑の周辺に植樹を行って公園化に協力以来、創立25周年記念行事で鎮魂の碑の建立と公園内にトイレの設置を、45周年記念事業で慰霊碑の改修を行いました。又、毎年9月には早朝例会で慰霊碑周辺の清掃活動を行ってきました。
- ◎ 当クラブ奨学会による奨学金の支給
昭和47年、故遠藤尚義会員より「貧者の一灯、一隅を照らす」の心で、毎年10万円の寄付を積立てた「遠藤基金」を基にして、市内の高校生を対象にして月額1万円を支援している。
- ◎ 市主催ハーフマラソンの支援
毎年9月に、函館市が主催して行っているハーフマラソンの4ヶ所の給水所に、紙コップとスポンジを寄贈し、給水作業を行っている。
- ◎ 財団への寄与
現在会員21名中、ポール・ハリス・フェローは16名(内マルチプルは9名)、米山功労者13名を数える。

RI第2510地区 第11グループ	北斗ロータリークラブ		設立年月日 RI承認月日	1996年(平成8)9月26日 1996年(平成8)10月16日									
例 会 場			例 会 日 時										
七重浜の湯 北斗市七重浜8-4-1 ☎0138-49-4411			木曜日 12時30分										
創立時ガバナー	スポンサークラブ		特 別 代 表										
野口 信夫	函館五稜郭ロータリークラブ		瀧野 敏彌										
会員数 創立時：23名、2014年7月1日現在：14名(女性会員0名)													
歴 代 会 長	創立	神田 弘	1998	黒萩 裕	1999	竹内 誠二	2000	大場 公孝	2001	鈴木 淳	2002	増田 幸久	
		2003	大場 公孝	2004	木下 康昭	2005	月舘 久治	2006	光銭 健三	2007	渡邊 春龍	2008	渡邊 景
		2009	竹原 力也	2010	増田 幸久	2011	鈴木 憲明	2012	佐藤 竜也	2013	谷内 修	2014	千秋 栄
結 成 し た 新 ク ラ ブ													
ローターアクトクラブ			インターアクトクラブ		姉妹クラブ/友好クラブ								
クラブ事務所	北斗市七重浜8-4-1 七重浜の湯内 HP: http://www.rid2510.org/hokuto TEL: 0138-49-4411 FAX: 0138-49-2288 Email:												

クラブの沿革と特徴

1996年9月26日創立、RI加盟認証は、同年10月16日。

スポンサークラブは函館五稜郭ロータリークラブ。

特別代表瀧野敏彌氏で開始いたしました。

初代神田弘会長より、今年度で18人目の会長になり、再来年度で20周年を迎えます。

例会場は北斗市七重浜8丁目4-1 七重浜の湯(旧函館スパビーチ)にて毎週木曜日12:30～行っています。

現在会員数14名、少数ながら会員同士、とても仲の良いクラブです。

奉仕の実績

過去の実績として(一例)

1. 薬物乱用防止募金活動を地元の3つの高校と行いました。
 2. 地元小学校前海浜清掃
 3. キッズアドベンチャーキャンプ事業を自衛隊や教育委員会に働きかけ、現在も行っています。
 4. 保育園、幼稚園のキッズサッカーフェスティバルでのボールの寄贈
 5. 会員の会社の訪問見学など
2. 3. 4は現在も行っています。
- 常に事業の反省・見直しを行い、スクラップアンドビルドを繰り返し、時代に即した奉仕活動の実践を行っています。

RI第2510地区 第11グループ	松前ロータリークラブ			設立年月日 RI承認月日	1969年(昭和44)2月26日 1969年(昭和44)3月17日	
例 会 場				例 会 日 時		
龍雲院内 保坂 松前郡松前町字松城305 ☎0139-42-2449				金曜日 7時00分		
創立時ガバナー		スポンサークラブ		特別代表		
島本 融		函館ロータリークラブ				
会員数創立時：24名、2014年7月1日現在：4名(女性会員0名)						
歴 代 会 長	1997 木村 正男	1998 木村 正男	1999 長岡 武久	2000 長岡 武久	2001 長岡 武久	2002 長岡 武久
	2003 長岡 武久	2004 西村吉之助	2005 西村吉之助	2006 西村吉之助	2007 西村吉之助	2008 伊藤 幸司
	2009 佐々木信一	2010 西村吉之助	2011 保坂 良寛	2012 保坂 良寛	2013 保坂 良寛	2014 西村吉之助
結 成 し た 新 ク ラ ブ						
ローターアクトクラブ		インターアクトクラブ		姉妹クラブ/友好クラブ		
クラブ事務所	松前郡松前町字松城305 保坂良寛様方 HP : TEL : 0139-42-2449 Email : rotarygo@eos.ocn.ne.jp					

クラブの沿革と特徴

- 1969年3月 松前ロータリークラブが誕生し、活動を開始する。会員は24名であった。5年後には30名ほどのクラブとなり奉仕活動、地域交流も活発になった。
- 1979年 結成10周年を迎え、街の施設を利用し、地区来訪ロータリアンと共に盛大に祝う。
- 1987年 この頃クラブ内に亀裂が生じ、残念ながら次々と会員はクラブを去って行った。会員はわずか数名となった。
- 1992年 この年に入って会員も少し増え、会員増強優秀賞を受賞、更に1993年と1994年には地区大会登録優秀賞を受賞した。
- 2014年 当町は基幹産業である漁業が衰退し、1987年頃16,000人もあった人口が現在その半分の8,000人台に減少、又経済基盤、経済力の弱い町の状況で、会員増強に困難を感じている。現在当クラブは会員4名である。

奉仕の実績

- 1969年創立より5年間は海浜公園清掃、ゴミ箱設置、図書館、松前各小学校に図書贈呈、公園への植樹、スポーツ大会、歳末助け合い、交通安全に物身両面の支援をする。
- 1975年頃より上記の他に古切手収集、海外旅行者の経験を生かし国際交流も積極的に果たした。会員の職場での懇談会、従業員表彰等慰問激励等実施、会員の職場・家庭の交流を大切にする。
- 1985年会員が減少するも河川の美化環境に力を入れ、河川敷の清掃と看板による啓発と並行して活動した。
- 1995年上記の活動のほか戊辰戦争の戦死者の墓碑を補修、ロシアゴローウニン少佐収容個所の銘を整備する。
- 2012年少年育成支援として少年野球クラブ、サッカー少年クラブ等にユニフォーム寄贈、全動大会、全国大会出場等支援、又小学校に図書贈呈、2014年より会員医師による健康指導講話等実施予定。

RI第2510地区 第12グループ	白老ロータリークラブ		設立年月日 RI承認月日	1979年(昭和54)6月17日 1979年(昭和54)9月7日		
例 会 場			例 会 日 時			
しらおい経済センター 白老郡白老町大町2-3-4 ☎0144-85-2736			水曜日 12時30分			
創立時ガバナー	スポンサークラブ		特 別 代 表			
富田 嘉市	登別ロータリークラブ		宮武 清一			
会員数 創立時：30名、2014年7月1日現在：33名(女性会員2名)						
歴 代 会 長	1997 元木 邦明	1998 川田 恋秀	1999 河合 浩司	2000 和歌 宏侑	2001 谷鳥 純平	2002 高石 誠次
	2003 鈴木 琢磨	2004 門別 紀一	2005 石田 信雄	2006 手塚 貴志	2007 藤田 英雄	2008 山手 康
	2009 仙田 公昭	2010 外崎 晃男	2011 田辺 真樹	2012 熊谷 威二	2013 小西 秀延	2014 清水 尚昭
結 成 し た 新 ク ラ ブ						
ローターアクトクラブ		インターアクトクラブ		姉妹クラブ/友好クラブ		
				姉妹クラブ：仙台西ロータリークラブ カナダB・C州 ケネルロータリークラブ		
クラブ事務所	白老郡白老町大町2-3-4 しらおい経済センター内			HP :		
	TEL : 0144-85-2736 FAX : 0144-85-2988		Email : siraoirc@alto.ocn.ne.jp			

クラブの沿革と特徴

白老ロータリークラブは1979年6月、登別ロータリークラブをスポンサーとし30名の会員で創立しました。

1981年にカナダB・C州ケネルロータリークラブと姉妹クラブを締結し、翌1982年には、白老町にある史跡仙台藩元陣屋がとりもつ縁で仙台西ロータリークラブと姉妹クラブを締結しました。以来、仙台西ロータリークラブとは隔年訪問で相互交流を深め2011年の大震災の際には両クラブで仙台市社会福祉協議会に公用車を寄贈しました。

毎例会、海の幸山の幸と豊富な食材を生かし、メニューも決めての「おいしい例会」を続けて、出席率向上にも繋がっております。

また、白老町は2020年には民族共生の象徴となる空間「国立博物館」がポロト湖畔に開設されます。アイヌ文化と豊かな自然に恵まれた白老町にあり2名の女性会員を含む33名の会員が深い友情で結ばれ、「楽しくなければロータリーではない」をモットーに、地域に根差したロータリー活動を行っております。

奉仕の実績

白老ロータリークラブは、地域に根差した奉仕活動を基に青少年のサッカー大会、町立図書館にロータリー文庫の贈呈などの活動、国際奉仕活動として青少年交換事業、タイノンカイ地区への浄水器設置事業も数年続けて行ってまいりました。

近年は少子化もあり、地域の施設へ憩いの場所となるように、桜の苗木の植樹を続けております。公開例会として著名な講師を招聘しての無料の講演会活動も今年で4回目を迎えます。

このような活動が認められ、2006～2007年度・2008～2009年度・2009～2010年度・2012～2013年度と4回にわたり、RI会長賞を受賞する栄誉に浴しております。

ロータリー財団への寄付活動も、「一人100ドルを」を続け、多くのポール・ハリス・フェローを輩出し、米山功労者もおります。

今後もロータリーの奉仕の歩みを進めてまいりたいと考えております。

RI第2510地区 第12グループ	苫小牧ロータリークラブ			設立年月日 RI承認月日	1957年(昭和32)1月25日 1957年(昭和32)4月15日	
例 会 場				例 会 日 時		
グランドホテルニュー王子 苫小牧市表町4丁目3番1号 ☎0144-31-3111				金曜日 12時30分		
創立時ガバナー		スポンサークラブ		特別代表		
伊藤 文吉		室蘭ロータリークラブ		小林 秀光		
会員数 創立時：24名、2014年7月1日現在：48名(女性会員2名)						
歴 代 会 長	1997 畠山 則繁	1998 藤澤 正昭	1999 松崎 徳一	2000 村上 満男	2001 横田 稔	2002 今野 陽三
	2003 圓谷 敏彦	2004 板谷 剛	2005 山本 正幸	2006 阿部 喜朗	2007 西川 辰美	2008 得能 隆
	2009 佐藤 俊生	2010 市町 峰行	2011 渡辺 健治	2012 梶川 昇	2013 君嶋 基弘	2014 橋本 洋一
結 成 し た 新 ク ラ ブ						
浦河RC(S36.9.10) 苫小牧北RC(S45.1.20)						
ローターアクトクラブ		インターアクトクラブ		姉妹クラブ/友好クラブ		
				姉妹クラブ：相模原ロータリークラブ		
クラブ事務所	苫小牧市表町1丁目1-13 経済センタービル6階 HP: TEL: 0144-36-2688 FAX: 0144-33-3159 Email: tomakomairc@ai.wakwak.com					

クラブの沿革と特徴

昭和31年8月に室蘭ロータリークラブ会長、小林秀光氏の勧誘を受けて設立に踏みきる。発会式は昭和32年1月25日。我が国200番目、道内13番目のクラブとして発足した。

4月15日付で国際ロータリー加盟が正式に認証。昭和32年6月8日チャーターナイトには伊藤文吉ガバナー始め全国会員が150名の多くの方々の列席を得て伝達式が挙行された。

チャーターメンバーは24名でした。以来55名を前後しております。クラブの特徴としてまもなく60年を迎える歴史が有るだけに、パスト会長や、古い会員が多く、また企業や銀行保険会社等の支店長の転勤による異動が多い。

奉仕の実績

〈地区内行事の主催〉

1. 昭和34年9月18日 IGFを開催。
2. 昭和42年5月21日 IGFを開催。
3. 昭和46年6月24日 第351地区協議会を市民会館に於いて開催。
4. 昭和49年10月5日。第351地区年次大会を開催
5. 昭和53年2月18日 IGFを開催。
6. 昭和60年3月10日 IGFを開催。

7. 平成2年2月4日 IGFを開催。

8. 平成13年2月24日 IMを開催。

9. 平成21年3月7日 IMを開催。

10. 平成25年4月7日 IMを開催。

〈RI100周年記念行業〉

平成17年2月23日 第12グループ 4クラブ合同例会開催。

〈姉妹クラブの締結〉

昭和45年10月、相模原RCと姉妹クラブの締結を行う。

〈ガバナーの選出〉

国際ロータリー第251地区ガバナーとして1981-82年度佐久間三八会員を選出。

〈交換学生〉

受入れ

1970年 トレシー・ドウリンさん(アメリカ、ニューヨーク州)

1972年 ジョン・ベリーさん(アメリカ、ニューヨーク州ハミルトン市)

派遣

1971年 中島君代さん(アメリカ、ニューヨーク州シェーリール市)

2008年 長谷川敬さん(フランス、リヨン市)クラブ独自の事業として今迄134人の高校生にロータリークラブ奨学金を支給した。

RI第2510地区 第12グループ	苫小牧東ロータリークラブ		設立年月日 RI承認月日	1992年(平成4)6月11日 1992年(平成4)6月26日		
例 会 場			例 会 日 時			
苫小牧ホテルニュー王子 苫小牧市表町2丁目1番30号 ☎0144-33-6121			木曜日 12時30分 第2例会18時00分			
創立時ガバナー		スポンサークラブ		特別代表		
佐藤 鉄彌		苫小牧北ロータリークラブ		藤田 信一		
会員数 創立時：32名、2014年7月1日現在：27名(女性会員5名)						
歴 代 会 長	1997 菅野 嘉一	1998 川村 義昭	1999 久保喜八郎	2000 青木 孝吉	2001 網木 保利	2002 児玉 和雄
	2003 木村 修	2004 佐藤 正孝	2005 松下 昌平	2006 小林 忠男	2007 松原 賢	2008 高井 昌機
	2009 水元 修治	2010 小林 忠男	2011 佐藤 正	2012 斉藤 英明	2013 長岡 英幸	2014 小幡 直樹
結 成 し た 新 ク ラ ブ						
ローターアクトクラブ		インターアクトクラブ		姉妹クラブ/友好クラブ		
				友好クラブ：網代多賀ロータリークラブ		
クラブ事務所	苫小牧市表町2丁目3-18 富士ビル 5階 HP： TEL：0144-35-3344 FAX：0144-33-7744 Email：east-toma2510@song.ocn.ne.jp					

クラブの沿革と特徴

創立総会平成4年6月11日。創立時ガバナー佐藤鉄彌。特別代表藤田信一(苫小牧北RC)。チャーターメンバー32名。年度末現在27名。認証平成4年6月26日。認証伝達式平成4年9月16日。スポンサークラブ苫小牧北RC。区域限界、苫小牧市、厚真町、早来町。年齢構成40歳代2名、50歳代7名、60歳代12名、70歳代6名、平均年齢60.2歳。平均出席率89.1%。

財団ではMPHF1回目6名、2回目1名、3回目2名、PHF5名、準PHF9名。米山功労者1回5名、2回2名、3回2名、4回1名。創立以来、環境問題に取り組んでいて、創立記念で市内青少年キャンプ村に看板を寄贈して、キャンプ場と市内の清掃活動を行い、1997年創立5周年にはゴミポイ捨て禁止ステッカーを作成して車両等に取付て禁止を呼び掛けたり、2002年には「看板に偽りなし郵便番号053ゼロゴミの街苫小牧」環境標語を募集して市内6カ所に看板を設置した。2003年には環境ソング「クリーンナンバー053」をつくり、苫小牧青少年少女合唱団に全国に発信してもらっている。

奉仕の実績

- ①1992年苫小牧東RC認証記念事業として苫小牧アルテン青少年キャンプ場に標識看板を寄贈
- ②1995年バン格拉デッシュのサンダーバーンRCに対して衛生トイレ25基の建設費として3,000\$の援助資金贈呈
- ③創立以来おこった大震災、大洪水等の災害時には

欠かさず国内、国外に関わらず義援金や見舞金を贈呈

- ④市内留学生を招待(新年会、清掃活動をしての焼肉パーティー、キャンプ)して、交流をしている
- ⑤社会福祉事業として赤い羽根募金、緑の多い環境街づくりとして緑の羽根募金に参加
- ⑥2002年には、ゼロゴミの標語を作り市内6カ所に看板を設置
- ⑦苫小牧少年少女合唱団の後援
- ⑧2011年苫小牧市民文化公園のカルチャーパークアートフェスティバルに20周年の事業としてモニュメントを寄贈
- ⑨20周年事業として龍ヶ崎中央RCとグアムのサンライズRCと協力して、ミクロネシアの島々にプレゼントをする「クリスマスドロップ作戦」に参加するために箱詰作業に参加して後日、アメリカ空軍の協力で上空よりパラシュートでプレゼントを届けた
- ⑩2007年の15周年事業で市内在住の外国人を招待して日本語弁論大会を開催して交流と親睦を深めた。同じく2014年にはインターシティーミーティングの一環で2回目の弁論大会を開催して国際交流に努めた
- ⑪長沼国際交流フェスティバルには1回目より参加している
- ⑫職業奉仕は中学生の職場体験、会員による出前授業を学校に呼びかけ会員の会社で実施している

RI第2510地区 第12グループ	苫小牧北ロータリークラブ		設立年月日 RI承認月日	1970年(昭和45)1月20日 1970年(昭和45)2月4日		
例 会 場			例 会 日 時			
グランドホテルニュー王子 苫小牧市表町4丁目3番1号 ☎0144-31-3111			火曜日 12時30分 最終例会18時00分			
創立時ガバナー	スポンサークラブ		特 別 代 表			
秋山康之進	苫小牧ロータリークラブ		葛森 春明			
会員数 創立時：25名、2014年7月1日現在：30名(女性会員2名)						
歴 代 会 長	1997 中山 佳孝	1998 小野 多七	1999 菊地 芳彦	2000 高木 一男	2001 山本 雅昭	2002 紺野 誠一
	2003 田中 稔	2004 高橋 寛	2005 谷岡 裕司	2006 岡田 秀樹	2007 伊藤 竹雄	2008 廣島 薫
	2009 高橋 康則	2010 菊地 芳彦	2011 阿部 寛	2012 橋 勇治	2013 山田 新一	2014 朝倉 瑞昌
結 成 し た 新 ク ラ ブ						
苫小牧東RC(H4.6.11)						
ローターアクトクラブ		姉妹クラブ/友好クラブ				
		地域共同隊 苫小牧北 RC 地域共同隊 (苫小牧家庭生活カウンセリング協会)	友好クラブ：石巻ロータリークラブ、タラデールロータリー クラブ(ニュージーランド、ネーピア市)			
クラブ事務所	苫小牧市表町2丁目3-18 富士ビル 5階 HP：http://www2.ocn.ne.jp/~ntoma TEL：0144-33-0112 FAX：0144-33-7744 Email：ntoma@plum.ocn.ne.jp					

クラブの沿革と特徴

- 1970年1月20日 創立総会を開催。
- 1970年2月4日 976番目のRCとして国際ロータリーへの加盟が認証。
- 1980年1月20日 創立10周年記念式典・祝賀会を開催。
- 1981～82年度 第251地区年次大会ホストクラブ。
- 1990年 I.G.Fホストクラブ・創立20周年記念式典を開催。
- 1991年6月 石巻RCと友好クラブの締結。
- 1993年6月 当クラブのスポンサーにより苫小牧東RCが誕生。
- 1995年8月 日本で11番目のRCC(地域共同体)別名『苫小牧家庭生活カウンセリング協会』提唱し創立。
- 1996年3月 NZタラデールRCと友好クラブの締結。
- 1998年7月1日 RI第2510地区伊藤長英ガバナーを輩出。
- 2000年2月 第12グループIMホストクラブ・創立30周年記念式典を開催。
- 2000年5月 RCC(地域共同体)の活動に対し「意義ある業績賞」「RI会長賞」が授与。
- 2004年・2008年 第12グループIMホストクラブ。
- 2010年2月 創立40周年記念式典を開催。
- 2012年2月 第12グループIMホストクラブ。

奉仕の実績

青少年への奉仕として、小学生を対象にした北ロータリークラブ杯少年サッカー大会を主催しています。毎年9月に開催する大会の為にチームメイトと一緒にプレーできる最後の大会であり、子供達の思い出に強く残る大会となっています。

当クラブが提唱したRCC別名「苫小牧家庭生活カウンセリング協会」と協力し、カウンセラーの育成を支援をしています。また米山奨学生に対しては、異国での暮らしに対する不安を少しでも軽減できるように会員全員でサポートしています。記念事業としては10周年には苫小牧市役所福祉事務所にソニーオープンリールを贈呈、苫小牧市文化会館に庭石一對を贈呈、20周年には苫小牧駅北口に「いきいきシティマップ」の設置、30周年には苫小牧聴力障害者協会、苫小牧手話の会へ複写機を贈呈、40周年には「四つのテスト」記念碑を設置しました。私たち苫小牧北ロータリークラブの会員はロータリーの目的である「意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある」を常に意識して奉仕に務めています。

あ と が き

当地区の地区史は、最初1996年12月に発刊されました。その後、現在の羽部ガバナーまでの19年間は空白となっております。その空白を埋めるべく、羽部ガバナーの英断で「地区史増補改訂版」の編纂が決まり、地区史編纂委員会が19年ぶりに発足しました。

委員の方々の献身的な努力により、一年に及ぶ作業を終え、今刊行の運びとなり感無量のものがあります。また本作業を進めるに当たり、パスト・ガバナーの皆様や、各クラブの会長・幹事さんには大変ご協力いただき心からの感謝を申し上げます。

「四つのテスト」で有名な元RI会長のハーバート・テラーは、国際ロータリー 50周年のスピーチで「過去に学んで行動せよ」といわれました。ロータリーは、ロータリーを取り巻く環境の変化により、時代とともに変わってまいります。しかし忘れてはならないものがあります。それは先人が歩んだ奉仕の足跡です。ロータリーの役職は年々ローテーションをいたします。新しい門出に際し活動計画書を作りますが、自分のクラブの歴史を知るためにぜひ「地区史」を繙いてください。また新会員の入会式の時にこの地区史をクラブからお渡しください。

「我々はどこへ行くのか」を知るためには、「我々はどこから来たのか」、たどって来た道知らねばなりません。この地区史がいささかでも皆様方のお役にたてることを編集委員一同とともに祈念しております。

(地区史編纂委員会 委員長 塚原房樹)



国際ロータリー第2510地区 地区史編纂委員会

委員長 塚原 房樹
(札幌東ロータリークラブ)

委員の皆さんの真摯な努力により「地区史増補版・地区史Ⅱ」が完成しました。散逸しかけていた当地区の歴史を補完することができました。

委員 松根壽史男
(札幌幌南ロータリークラブ)

平成26年6月24日、第4回の委員会でガバナー編担当を命ぜられ、小里委員と共に皆様のご協力のもとに無事終了する事ができました。自分としては心に遺る1ページであったと感謝して居ります

委員 小里 学
(札幌幌南ロータリークラブ)

地区史編纂にあたり、山の様な資料を整理する事で地区の歴史を感じる事ができました。良い勉強をさせて頂きました。

委員 矢橋潤一郎
(札幌東ロータリークラブ)

99年の入会時に地区史をもらいました。わかりやすく、勉強になりました。その続きに関わることができて光栄です。

副委員長 八木 徹
(札幌東ロータリークラブ)

クラブの大小に係らずRC事業に対して各々すばらしい事業をされていることを知り勉強になりました。若い方たちに読んで頂ければ為になると思います。

委員 岩崎 修一
(札幌東ロータリークラブ)

この半年間、地区史編纂に携わり貴重な経験をさせて頂きました。ロータリーの活動の広さ、ロータリアンとしての心構えを再度勉強させて頂きました。

委員 中村 明広
(札幌手稲ロータリークラブ)

2510地区のクラブの歴史に触れ、皆様の活動への情熱や勇気を感じました。私も、新たな歴史を積み重ねられるよう、活動に励んで行く所存です。

担当事務局 塩谷聖子(札幌東RC)

小澤 翼(札幌幌南RC)

地区史編纂に大変ご協力をいただき有難うございました。

※ 記録・記事につきましては、過去の資料などを参考に抜粋・掲載しております。ご尊名、誤字・脱字などの誤りがありました場合、ロータリーの友情に免じてお許し下さい。

国際ロータリー第2510地区

地区史Ⅱ

2015年3月発行

発行 地区史編集委員会
札幌市内ロータリークラブ合同事務所
〒060-0002 札幌市中央区北2条西4丁目 北海道ビル902号
TEL(011)231-1297

印刷/株式会社須田製版 TEL(011)621-1000